

国際コミュニケーション学科

〈2019年度入学生〉

科目区分	授業科目	授業の方法	単位数		1年				2年				備考	
			必修	選択	準備	導入	実践	検証	定着	応用	発展	完成		
基礎教育科目	社会人基礎入門A(地域と大学・ASP)	講義	1		○	○								
	社会人基礎入門B(茶道文化Ⅰ)	演習	1		○	○								
	茶道文化Ⅱ	演習	1					○						
	茶道文化Ⅲ	演習	1						○	○				
	茶道文化Ⅳ	演習	1								○	○		
	心理学概論	講義		2									○	
	コンピュータリテラシー	演習		1	○	○								*
	コンピュータプレゼン	演習		1					○	○				*
	Office 総合演習	演習		1								○	○	*
	スポーツ実習	実習		1	㊟㊟	㊟		㊟						
専門教育科目	多読演習Ⅰ	演習		2	○	○								
	多読演習Ⅱ	演習		1			○							
	多読演習Ⅲ	演習		2				○						
	英語ライティング&文法Ⅰ	講義		2				○						
	英語ライティング&文法Ⅱ	講義		2							○			
	中国語ライティング&文法Ⅰ	講義		2				○						
	中国語ライティング&文法Ⅱ	講義		2							○			
	韓国語ライティング&文法Ⅰ	講義		2				○						
	韓国語ライティング&文法Ⅱ	講義		2							○			
	日本語ライティング&文法Ⅰ	講義		2	○									
	日本語ライティング&文法Ⅱ	講義		2							○			
	英語演習Ⅰ	演習		2					○	○				
	英語演習Ⅱ	演習		2								○		
	中国語演習Ⅰ	演習		2					○	○				
	中国語演習Ⅱ	演習		2							○	○		
	韓国語演習Ⅰ	演習		2					○	○				
	韓国語演習Ⅱ	演習		2							○	○		
	日本語演習Ⅰ	演習		2					○	○				
	日本語演習Ⅱ	演習		2							○	○		
	英会話Ⅰ	演習	2		○	○								
英会話Ⅱ	演習	1					○							
英会話Ⅲ	演習		2					○	○					
英会話Ⅳ	演習		2							○	○			
中国語Ⅰ	講義		2	○	○									
中国語Ⅱ	講義		2						○					
中国語会話	演習		1				○							

科目区分	授業科目	授業の方法	単位数		1年			2年			備考				
			必修	選択	準備	導入	実践	検証	定着	応用		発展	完成		
専門教育科目	韓国語 I	講義		2	○	○									
	韓国語 II	講義		2						○					
	韓国語会話	演習		1					○						
	総合日本語 A	講義		2				○							
	総合日本語 B	講義		2				○							
	日本語 I	講義		2	○	○									
	日本語 II	講義		2						○					
	日本語会話 I	演習		2	○	○									
	日本語会話 II	演習		1						○					
	日本語会話 III	演習		2						○	○				
	日本語会話 IV	演習		2								○	○		
	英語検定 I	講義		2	○										
	英語検定 II	講義		2			○								
	英語検定 III	講義		2						○					
	中国語検定 I	講義		2	○										
	中国語検定 II	講義		2			○								
	中国語検定 III	講義		2						○					
	韓国語検定 I	講義		2	○										
	韓国語検定 II	講義		2			○								
	韓国語検定 III	講義		2						○					
	日本語検定 I	講義		2	○	○									
	日本語検定 II	講義		2						○					
	日本語検定 III	講義		2								○			
	多文化理解	比較文化研究	講義		2								○		
		異文化理解演習	演習	2		○	○								
		国際・時事研究	講義		2						○				
		英語アクティブラーニング	演習		1								○	○	
		中国語アクティブラーニング	演習		1								○	○	
		韓国語アクティブラーニング	演習		1								○	○	
	キャリアデザイン	日本語アクティブラーニング	演習		1									○	
		キャリアガイダンス	講義	2		○	○			㊟					
		キャリアプランニング	講義	2						○	㊟	㊟			
ビジネス文書		講義		2	㊟	㊟			㊟					*	
ビジネスマナー		演習		1	○	○								*	
ホテル業論		講義		2			○							*	
ホスピタリティビジネス		講義		2								○	○	*	
グローバル・リーダーシップ	講義		2						○						
実践グローバル・リーダーシップ	実習		2						○						

科目区分	授業科目	授業の方法	単位数		1年				2年				備考		
			必修	選択	準備	導入	実践	検証	定着	応用	発展	完成			
専門教育科目	キャリアデザイン 児童英語教授法	講義		2						○	○				
	日本語教授法	講義		2						○	○				
	課題解決	Awesome Sasebo! I (準備・導入)	演習	1		○	○								
		Awesome Sasebo! II (定着)	演習	1						○					
		Awesome Sasebo! III (応用)	演習	1							○				
		Awesome Sasebo! IV (発展)	演習	1								○			
		Awesome Sasebo! V (完成)	演習	1									○		
	ギャップイヤー	ギャップイヤー事前指導	講義	2		○	○								
		海外文化事情(留学)Ⅰ (アジア圏短期研修)	実習		2			○							
		海外文化事情(留学)Ⅱ (英語圏短期研修)	実習		2			○							
		海外文化事情(留学)Ⅲ (中期留学)	実習		6			○		○					
		インターンシップⅠ	実習		2			○					○		*
		インターンシップⅡ	実習		2			○		○					*
		インターンシップⅢ	実習		2			○					○		*
		インターンシップⅣ	実習		2							○			*
		実践Awesome Sasebo! (サービスラーニング)Ⅰ	実習		2			○							
		実践Awesome Sasebo! (サービスラーニング)Ⅱ	実習		2			○							
		実践Awesome Sasebo! (サービスラーニング)Ⅲ	実習		2			○							
		実践Awesome Sasebo! (サービスラーニング)Ⅳ	実習		2			○							
		ギャップイヤー事後指導	講義	2						○					
卒業研究		講義	2									○	○		
合計			25	145											

*：実務経験者が担当

卒業の要件

学生が卒業するためには、短期大学に2年以上在学し、本学が設定した授業科目を履修し、次の各号に定める単位を修得すること。

- 一 基礎教育科目については、必修5単位を含め8単位以上
- 二 専門教育科目「コミュニケーション」については、必修3単位を含め11単位以上
- 三 専門教育科目「多文化理解」については、必修2単位を含め4単位以上
- 四 専門教育科目「キャリアデザイン」については、必修4単位を含め6単位以上
- 五 専門教育科目「課題解決」については、必修5単位以上
- 六 専門教育科目「ギャップイヤー」については、必修4単位を含め8単位以上
- 七 専門教育科目「卒業研究」については必修2単位
- 八 自由選択*18単位以上
- 九 基礎教育科目、専門教育科目、自由選択科目の合計が62単位以上

※自由選択とは、それぞれの領域の最低修得単位数を超えて修得した単位、単位互換制度によって修得した単位を指す。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1単位	必修
担当教員			
安部 直樹・嶋内 麻佐子・萩原 宏美			

講義概要	<p>①茶室は神聖な場所であることを理解する。茶の心を学び、先生を敬い、相手を思いやり、自らを慎む。 ②礼法（座礼、立礼）を覚える。和室での心得を学ぶ。（毎回反復練習をする。） ③茶室に必要な道具名を覚える。点前道具の名称を覚える。道具を大切に扱う。 ④風炉薄茶点前を一人で出来るようになる。 ⑤茶の歴史を学ぶ。鎮信流について学ぶ。</p>
授業計画	<p>1 日本<small>の</small>礼法 ・ 本学における茶道文化について, 礼法について（お辞儀の仕方） 【学習課題】 茶室「不文軒」に来る時は白ソックス、筆記用具を持って来て下さい。 【禅語】「和敬清寂」 【ワンポイント】 教科書、学習帳、服紗ばさみ（名前を書く） ①服紗ばさみの中の説明を受ける（扇子、服紗、出し服紗、菓子切り、懐紙、服紗ばさみ） ・服紗の畳み方、扱い方を学ぶ（教科書P53～P55） ②身だしなみ、玄関での心得について ③正しい靴の脱ぎ方 ④和室で踏んではいけないもの ⑤茶室への出入りの仕方を学ぶ（席入り、床の拝見、退席） ⑥挨拶の仕方・礼法について【座礼（ざれい）・立礼（りつれい）】 ⑦準備当番、茶室での約束事 【授業内容】 ①風炉薄茶点前（見本・説明） ②和・敬・清・寂について（教科書P2～P6） ③座礼（双手礼・爪甲礼）・立礼（会釈・敬礼・最敬礼）を学び体験する・席入り・退席の仕方 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ③規律性（社会のルールや人との約束を守る力）</p> <p>2 風炉薄茶点前①・道具の説明 【学習課題】 予習：ドリル（一般常識：誤字訂正） 復習：四規・授業を受ける時の心構え 【禅語】「看脚下」 【ワンポイント】 ①上着の扱い方 ②茶道具の説明（教科書P37～P50） ・服紗の畳み方、扱い方を体験する（教科書P53～P55） 【授業内容】 ①服紗の畳み方、扱い方を学ぶ（教科書P53～P55） ②班に分かれて体験する ③服紗の付け方（帯の替わりにベルト使用）・捌き方 ④挨拶の仕方・礼法（座礼・立礼）・歩き方（半畳3歩） ⑤席入り・退席の仕方 ⑥服紗の扱い・棗の清め方・茶杓の清め方を体験する（教科書P56～P57） ⑦道具の片付け 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） : 自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） : 内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する ③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） : 相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p> <p>3 風炉薄茶点前②・茶巾の絞り方、茶巾さばき、仕込み茶碗、道具の清め方を体験する 【学習課題】 予習：ドリル（一般常識：慣用句） 復習：礼法、正しい靴の脱ぎ方 【禅語】「洗心」 【ワンポイント】 ・雑巾の絞り方、拭き方、掃除機の掛け方 【授業内容】 ①茶道具の準備と後片付けについて学ぶ ②仕込み茶碗の仕方を学び体験する（教科書P60～P61） ③服紗の扱い・棗の清め方・茶杓の清め方を復習する（教科書P53～P57） 【社会人基礎力】 ①実行力（目的を設定し確実に行動する力） : 小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） : 内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する ③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） : 相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p> <p>4 風炉薄茶点前③・お菓子の取り方、食べ方を学び体験する</p>

	<p>【学習課題】 予習：ドリル（一般常識：適切なことば1） 復習：茶道具と準備と片付けについて</p> <p>【禅語】「大道無門」</p> <p>【ワンポイント】</p> <p>①箸の使い方について</p> <p>②柄杓の持ち方、使い方を学ぶ</p> <p>【授業内容】</p> <p>①お菓子の取り方、食べ方を学び体験する。</p> <p>②柄杓の扱い方・茶道具の持ち方（水指・茶碗・棗・酒）を体験する。</p> <p>③服紗の付け方・さばき方の復習をする。（教科書P53～P55）</p> <p>④茶巾の絞り方、茶巾さばき、仕込み茶碗の仕方を復習する。（教科書P59,60）</p> <p>【社会人基礎力】</p> <p>①実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む</p> <p>②課題発見（現状を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する</p> <p>③計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力） ：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる</p> <p>④傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する</p> <p>5 風炉薄茶点前④・茶筌通し、茶巾の扱い、茶碗の拭き方を体験する</p>
	<p>【学習課題】 予習：ドリル（一般常識：適切なことば2） 復習：箸の使い方、茶道具の名前、席入りの仕方</p> <p>【禅語】「喫茶去」</p> <p>【ワンポイント】</p> <p>①茶筌通し</p> <p>②茶巾の扱い方、茶碗の拭き方（教科書P73～P74）</p> <p>【授業内容】</p> <p>①道具の置き合わせを学び、体験する</p> <p>②棗清め、茶杓清め、柄杓の扱い方の復習</p> <p>③菓子の取り方、食べ方の復習をする</p> <p>④点て出しを体験する</p> <p>【社会人基礎力】</p> <p>①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む</p> <p>②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む</p> <p>③状況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力） ：周囲から期待されている自分の役割を把握して行動する</p> <p>④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p> <p>6 風炉薄茶点前⑤・茶筌通し・茶碗の拭き方まで</p>
	<p>【学習課題】 予習：ドリル（一般常識：四字熟語） 復習：茶道具について・片付け方</p> <p>【禅語】「清風匝地」</p> <p>【ワンポイント】</p> <p>①訪問のマナー</p> <p>②研究室への入り方を学び体験する</p> <p>③敬語について（尊敬語、謙譲語、丁寧語）</p> <p>【授業内容】</p> <p>①茶筌通し・茶巾の扱い方・茶碗の拭き方まで体験する</p> <p>②道具の置き合わせから茶筌通し、お湯を捨てて、茶巾で茶碗を拭き、抹茶を入れ、お湯を入れて茶筌でお茶を点て、飲むまで体験する。（点て出しをする）</p> <p>③道具の片付け</p> <p>【社会人基礎力】</p> <p>①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む</p> <p>②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む</p> <p>③状況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力） ：周囲から期待されている自分の役割を把握して行動する</p> <p>④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p> <p>7 風炉薄茶点前⑥・茶筌通し・茶碗の拭き方までの復習</p>
	<p>【学習課題】 予習：ドリル（一般常識：対義語1） 復習：敬語について、片付け方</p> <p>【禅語】「歩々是道場」</p> <p>【ワンポイント】</p> <p>・衣替えについて</p> <p>【授業内容】</p> <p>①初めから茶筌通し、お湯を捨てて、茶巾で茶碗を拭くまでを復習する。</p> <p>②道具の片付け</p> <p>【社会人基礎力】</p> <p>①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む</p> <p>②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む</p> <p>③課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する</p> <p>④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>

8	<p>風炉薄茶点前⑦・抹茶の入れ方 ・水指の蓋の扱い方・湯の入れ方 ・茶の点て方 【学習課題】 予習：ドリル（一般常識：対義語2） 復習：茶道具について 【禅語】 「日々是好日」 【ワンポイント】 ①「茶の種類」（緑茶・ウーロン茶・紅茶）（教科書P15-P17） ②抹茶の入れ方・水指の蓋の扱い方・湯の入れ方・茶の点て方 （P74-P75） 【授業内容】 ①お茶を点てるまでを復習する ②道具の片付け 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する ④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>
9	<p>風炉薄茶点前⑧・客点前 ・茶碗の取り込み方 【学習課題】 予習：ドリル（一般常識：誤字訂正） 復習：「茶の種類」（緑茶・ウーロン茶・紅茶）、禅語 【禅語】 「且坐喫茶」 【ワンポイント】 ①「茶の飲み方」（団茶法・抹茶法・煎茶法）（教科書P20-P21） ②客点前 ・茶碗の取り込み方（P76） 【授業内容】 ①風炉薄茶前半前復習 ②客点前を体験する ②道具の片付け 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②働きかけ力（他人に働きかけ巻き込む力） ：相手を納得させるために、協力することの必然性（意義、理由、内容等）を伝える ③実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ④傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する ⑤規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>
10	<p>風炉薄茶点前⑨・薄茶点前前半前復習 【学習課題】 予習：ドリル（一般常識：特別な読み方） 復習：「茶の飲み方」（団茶法・抹茶法・煎茶法）、準備・片付け時の注意事項、茶花 【禅語】 「思無邪」 【ワンポイント】 ①「侘び茶」（村田珠光・武野紹？・千利休）教科書P23-P25） 【授業内容】 ①風炉薄茶前半前復習 ②道具の片付け 【社会人基礎力】 ①実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する ③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>
11	<p>風炉薄茶点前⑩・薄茶点前前半前（内検） 【学習課題】 予習：ドリル（一般常識：特別な読み方2） 復習：侘び茶、禁花 【禅語】 「明珠在掌」 【ワンポイント】 ①「試験を受ける心構え」（姿勢・位置・落ち着き） ②服装・身だしなみチェックシート記入 【授業内容】 ①風炉薄茶前半前（内検） 【社会人基礎力】 ①実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する ③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>
12	<p>風炉薄茶点前⑪・薄茶点前後半の見本・説明 【学習課題】 予習：ドリル（一般常識：特別な読み方3） 復習：点前の三要素、試験時に気を付ける点 【禅語】 「処々全真」 【ワンポイント】 ①「武家茶」（古田織部・小堀遠州・片桐石州） 【授業内容】</p>

	<p>①風炉薄茶点前後半の見本・説明 ②風炉薄茶後半点前練習 ③道具の片付け 【社会人基礎力】 ①実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ②課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する ③計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力） ：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる ④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p> <p>13 風炉薄茶点前⑫・薄茶点前練習 【学習課題】 予習：点前の自主練習 復習：「武家茶」（古田織部・小堀遠州・片桐石州）、禅語 【禅語】 「？啄同時」 【ワンポイント】 ①実技試験のチェックポイント 【授業内容】 ①薄茶点前練習 ②道具の片付け 【社会人基礎力】 ①実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ②課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する ③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p> <p>14 風炉薄茶点前確認（実技試験） 【学習課題】 予習：点前の自主練習 復習：今までの復習 【禅語】 「在眼前」 【ワンポイント】 ①実技試験について全体説明 【授業内容】 ①薄茶点前前半確認（実技試験） 実技試験を受けたら、客点前をする。 終わった順に速やかに退席する。 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する</p> <p>15 点前確認の成績発表・利休七則・茶道大会について 【学習課題】 予習：薄茶点前の復習 復習：学習帳のまとめ 【禅語】 「一期一会」 【ワンポイント】 ①着物の種類 ②利休七則について（教科書 P24～P25） ③茶道大会の流れの映像を見る。（DVD） ④各班で成績発表・自己評価・アンケート記入・学習帳回収 【授業内容】 ①自己評価 ②アンケート記入 ③学習帳回収 【社会人基礎力】 ①実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ②課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する ③計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力） ：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる ④発信力（自分の意見をわかりやすく伝える力） ：事例や客観的なデータ等を用いて、具体的にわかりやすく伝える ⑤ストレスコントロール力（ストレスの発生源に対応する力） ：ストレスの原因を見つけて、自力で、または他人の力を借りてでも取り除く</p>
授業形態	講義と演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①茶道文化で身に付けたマナーや礼法を、茶室以外の生活の中でも実践できるようになる。（アクション）：働きかけ力 ②日本の礼儀作法を学び相手を思いやる行動ができるようになる。（チームワーク）：規律性 ③日本の文化を学び、謂れなどを知り、関心を持つようになる。（シンキング）：課題発見力 ④箸の使い方や掃除の仕方を知り、実践できるようになる。（アクション）：主体性 ⑤茶の歴史を知り、自分に置き換えて行動できるようになる。（チームワーク）：状況把握力</p> <p>授業への参加意欲や授業態度：茶道文化の授業に積極的に参加し、講義は真面目に受けているか 15% 授業ごとの理解度を学習帳で確認する：教科書や学習帳で予習・復習をし、講義の内容を分かりやすくまとめているか 10% 毎回のドリルや最終回の感想文：お茶の心や鎮信流の基礎的な知識を得ているか、日常生活に役立っているか 15% 薄茶点前の実技の評価の観点は、正確な薄茶点前が出来るか：薄茶点前を正確にできるようになったか 60%</p>

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：嶋内麻佐子著「茶道文化基礎編」 テキストを補う為に、必要に応じて学習帳やプリントを使用する。
履修条件	長崎短期大学に入学した本科生
履修上の注意	茶室は神聖な場所ですので、茶室に来る時は、必ず白靴下を持参して下さい。（アクション）：主体性 TPOを考え、茶室では私語は慎み、服装や髪型にも気を付けて下さい。（アクション）：働きかけ力 毎回の授業範囲を教科書や学習帳で予習、復習し、専門用語の意味など調べておいて下さい（シンキング）： 課題発見力 授業開始5分前には、席入りを完了し、気持ちを鎮め授業に臨んで下さい。（アクション）：実行力
オフィスアワー	茶室不文軒での授業が入っていない空きコマは、不文軒での自主練習が可能です。 空きコマでの点前指導を行いますので、研究室に声を掛けてください。（チームワーク）：状況把握力
備考・メッセージ	茶道文化を学ぶ意義を理解し、目標を立てて授業を受けてください。（シンキング）：計画力 ①茶道を通して、相手を思いやる心を学びましょう。（チームワーク）：柔軟性 ②心を鎮めて、点前畳に座りましょう。（アクション）：実行力 ③点前を通して、清らかな精神を創りましょう。（シンキング）：計画力 ④日本古来の総合芸術に触れ、自分の感性を磨きましょう。（シンキング）：創造力 ⑤日本の伝統文化を再発見し、真の国際人を目指しましょう。（シンキング）：課題発見力 ⑥日本の礼法を学びましょう。（アクション）：主体性 ⑦茶道鎮信流を通して、地域文化の発展に貢献しましょう。（チームワーク）：発信力 ⑧教師と学生との対話促進により、信頼関係を築きましょう。（チームワーク）：規律性

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1単位	必修
担当教員			
安部 恵美子			

講義概要	講義や講話および地域の方々や仲間との交流等を通じて、長崎短期大学生及び地域の一員としての自覚を深め、社会人としての基本的な教養を培っていく。		
授業計画	1	長崎短期大学での学び1（4月11日）（教務委員担当者） ・オリエンテーション ・自分の主張をきちんと文章で表現する（作文テスト） 学習課題 復習：シラバスを確認し、本授業の意義について理解すること。 予習：学生便覧の教育課程を読んでおくこと	
	2	長崎短期大学での学び2（4月18日）（教務委員長・保健室 養護教諭 木寺先生） 「短大での学びかた」について理解する。 心の健康状態について理解する。UPI検査の実施 学習課題 復習：配布プリント等を再度読み直すこと。 予習：学生便覧の長崎短期大学の全学3ポリシーを読んでおくこと。	
	3	長崎短期大学での学び3（4月25日）（安部恵美子学長） 建学の精神について理解する。 学習課題 復習：配布プリント等を再度読み直すこと。 予習：学生便覧の学生生活要綱を読んでおくこと。	
	4	長崎短期大学での学び4（4月27日）（学生委員会・学友会） 新入生歓迎イベントを通じて短大で学ぶ仲間と交流する。 学習課題 復習：活動内容を振り返りこれからの交流に活かすこと。 予習：学生便覧の学生生活要綱・図書館利用規定を読んでおくこと。	
	5	長崎短期大学での学び5（5月9日）（学生委員長・図書館司書 岩崎先生） 「短大での決まりや社会人としての基本的な生活習慣」について理解する。 図書館・インターネットによる情報収集の方法を理解する。 学習課題 復習：配布プリント等を再度読み直すこと。 予習：短大HPにあるAwesome Sasebo Project(ASP) 活動について読んでおくこと。	
	6	Awesome Sasebo 1（5月16日）（国コミ・食物科、保育学科教員） 各学科で行っている Awesome Sasebo Project(ASP) の活動内容を聞き、その意義について理解する。 学習課題 復習：配布プリント等を再度読み直すこと。 予習：佐世保市の観光資源などを探し、疑問点を整理しておくこと。	
	7	Awesome Sasebo 2（5月23日）（佐世保市観光商工部観光課） 佐世保市の概要及び観光事業について理解する。 学習課題 復習：配布プリント等を再度読み直すこと。 予習：メディア・リテラシーについて調べ、疑問点を整理しておくこと。	
	8	大人になるために1（5月30日）（小浦先生） 情報社会において留意すべきこと及びインターネット・トラブルなどの対応について理解する。 学習課題 復習：配布プリント等を再度読み直すこと。 予習：金融について調べ、疑問点を整理しておくこと。	
	9	大人になるために2（6月6日）（親和銀行コーポレートカルチャー室） 現代社会における金融の基本的な知識について理解する。 学習課題 復習：配布プリント等を再度読み直すこと。 予習：選挙について調べ、疑問点を整理しておくこと。	
	10	大人になるために3（6月13日）（佐世保市選挙管理委員会） 明るい選挙の推進のために「選挙の基礎知識について」理解する。 学習課題 復習：配布プリント等を再度読み直すこと。 予習：公益財団法人メイク・ア・ウィッシュオブジャパンの活動について調べておくこと。	
	11	大人になるために4（6月20日）（メイク・ア・ウィッシュオブジャパン理事 大野寿子氏） 「難病の子どもたちの夢をかなえるお手伝い」について理解する。 学習課題 復習：配布プリント等を再度読み直すこと。 予習：初回の授業で書いた作文について振り返っておくこと	
	12	長崎短期大学での学び6（6月27日） 小論文の書き方について理解する。	

	<p>学習課題 復習：添削された小論文を再度読み直すこと。 予習：認知症について調べておくこと。</p> <p>1 3 大人になるために5（7月4日）（認知症サポーター養成講座／佐世保市役所） 認知症に関する基礎的な知識を理解する。（厚労省認知症対策の国家戦略『新オレンジプラン』の施策の一つ）</p> <p>学習課題 復習：配布プリント等を再度読み直すこと。 予習：依存症について調べておくこと。</p> <p>1 4 大人になるために6（7月11日）（保健講話／佐世保市保健師、長崎県障害福祉課） 生涯にわたる自分の身体の管理及びさまざまな依存症対策（アルコール・薬物・ギャンブル）について理解する。</p> <p>学習課題 復習：配布プリント等を再度読み直すこと。 予習：地域の防犯活動について調べておくこと。</p> <p>1 5 大人になるために7（7月18日）（防犯講話／相浦警察署生活安全課・交通課） 自分たちの生活および地域の防犯、交通安全について理解する。</p> <p>学習課題 復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習：</p>
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>到達目標</p> <p>①長崎短期大学の建学の精神が理解できる。 ②長崎短期大学での学びについて理解し、2年間の学習及び生活の計画を立てることができる。 ③さまざまな分野の仲間と交流し、協調性、コミュニケーション能力、課題解決力を身につけることができる。 ④長崎県及び佐世保市のことを学び、地域の一員としての自覚を深めることができる。 ⑤社会人への準備段階としての知識を学び、大人になるための自覚を深めることができる。</p> <p>評価の観点、手段、方法、評価比率 授業態度及び授業への意欲（40%）、課されたレポート（60%）で総合的に評価する。</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：学生便覧及び配付資料
履修条件	
履修上の注意	講義日程は担当者の都合によって入れ替わることがある。 座席は指定された場所に着席すること。
オフィスアワー	各授業担当者の講義終了後
備考・メッセージ	毎回の資料はファイルに綴じ込み、適宜復習すること。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1st & 2ndQ	1年	1単位	必修
担当教員			
岩崎 千恵 ・ 中里 亜希子			

講義概要	講義や講話および地域の方々や仲間との交流等を通じて、長崎短期大学生及び地域の一員としての自覚を深め、社会人としての基本的な教養を培っていく。
授業計画	<p>1 (4月6-8日) 長崎短期大学での学び1 オリエンテーション</p> <p>2 (4月10日) 長崎短期大学での学び2 (安部恵美子学長) 建学の精神及び本授業開設の意義を理解する。 学習課題 復習：配布プリント等を再度読み直す。 予習：学生便覧の学生生活要綱を読んで理解しておくこと。</p> <p>3 (4月17日) 長崎短期大学での学び3 (教務委員長、学生委員長) 「短大での学びかた」および「短大での決まりや社会人としての基本的な生活習慣」について理解する。 学習課題 復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習：学校のネットに接続できるようにしておくこと</p> <p>4 (4月24日) 長崎短期大学での学び4 (図書館司書 岩崎先生) 図書館・インターネットによる情報収集の方法を理解する。 学習課題 復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習：多くの人と自己紹介できるようにしておく</p> <p>5 (4月日) 仲間作り 新入生歓迎イベントを通じてさまざまな分野の仲間と交流する。</p> <p>6 (5月8日) 長崎短期大学での学び5 自分の主張をきちんと文章で表現する。(小論文テスト)</p> <p>7 (5月15日) 大人になるために1 (18歳選挙権) (橋之口裕太佐世保市議会議員) 18歳で選挙権を得るにあたって、選挙・議員活動等について理解する。 学習課題 復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習：本学HPでAPについて事前学習をする</p> <p>★市議会日程によって変わる可能性有り</p> <p>8 (5月22日) Awesome Sasebo 1 (食物科、保育学科) (食物科教員、保育学科教員) 昨年度、食物科、保育学科で行った Awesome Sasebo の内容を聞き、ASP(Awesome Sasebo Project)の意義について理解する。 学習課題 復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習：本学HPでAPについて事前学習をする</p> <p>9 (5月29日) Awesome Sasebo 2 (国際コミュニケーション学科、茶道文化) (国際コミュニケーション学科教員、茶道文化教員) 昨年度、国際コミュニケーション学科、茶道文化で行った Awesome Sasebo の内容を聞き、ASP(Awesome Sasebo Project)の意義について理解する。 学習課題 復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習：金融に関する知識を得ておく</p> <p>10 (6月5日) 大人になるために2 金融の基礎知識 (仮題) (仮) 現代社会における金融の基本的な知識について理解する。 学習課題 復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習：新聞などからインターネットのトラブルについて調べておく</p> <p>11 (6月12日) 大人になるために2 (メディア・リテラシー) (小浦先生) 情報社会において留意すべきこと及びインターネット・トラブルなどの対応について理解する。 学習課題 復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習：自分の住まう地域情報になにがあるか見ておく</p> <p>12 (6月19日) Awesome Sasebo 3 (防犯講話) (相浦警察署生活安全課) 自分たちの生活および地域の防犯、交通安全について理解する。 学習課題 復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習：佐世保市のHPで観光について調べておく</p> <p>13 (6月26日) Awesome Sasebo 4 (佐世保市の観光の現状) (佐世保市観光商工部観光課) 佐世保市の概要及び観光事業について理解する。</p>

	<p>学習課題 復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習：依存症について調べておく</p> <p>1 4 (7月3日) 大人になるために4 (保健講話) (佐世保市保健師、長崎県障害福祉課) 生涯にわたる自分の身体の管理及びさまざまな依存症対策 (アルコール・薬物・ギャンブル) について理解する。</p> <p>学習課題 復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習：佐世保市の認知症に関する取り組みを調べておく</p> <p>1 5 (7月10日) 大人になるために5 (認知症サポーター養成講座) (佐世保市役所) 認知症に関する基礎的な知識を理解する。(厚労省認知症対策の国家戦略『新オレンジプラン』の施策の一つ)</p> <p>学習課題 復習：配布プリント等を再度読み直すこと</p>
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①長崎短期大学の建学の精神が理解できる。 ②長崎短期大学での学びについて理解し、2年間の学習及び生活の計画を立てることができる。 ③地元である長崎県及び佐世保市のことを学び、地域の一員としての自覚を深めることができる。 ④社会人への準備段階としての知識を学び、大人になるための自覚を深めることができる。 ⑤さまざまな分野の仲間と交流し、協調性、コミュニケーション能力、課題解決力を身につけることができる。</p> <p>授業態度及び授業への意欲 (40%) およびレポート等 (60%) で総合的に評価する。</p>
科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	<p>テキスト：なし (必要に応じて担当教員が補助教材を準備する。) 参考書：適宜指示する。</p>
履修条件	
履修上の注意	<p>講義日程は担当者の都合によって入れ替わることがある。 毎回の資料はファイルに綴じ込み、適宜復習すること。</p>
オフィスアワー	火曜日 (14:50-16:30)
備考・メッセージ	座席は決められた場所に着くこと。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1単位	必修
担当教員			
安部 直樹・嶋内 麻佐子・萩原 宏美			

講義概要	<p>①風炉薄茶点前を一人で出来る。 ②茶花について学ぶ。禅語について学ぶ。 ③大寄せの茶会の心得を学ぶことができる。茶会の客の作法を学ぶことができる。季節と客組みを学ぶことができる。 ④上座、下座を学ぶ。学んだ礼法を日常でも使うことができる。和室での立ち居振る舞いを身に付けることができる。 ⑤前年の茶道大会の映像を見て学ぶ。色々な役割を知ることができる。自分の役割の練習を行い茶道大会に参加する。</p>
授業計画	<p>1 風炉薄茶点前 【禅語】「清風万里秋」 【ワンポイント】 ①「煎茶の入れ方」 【授業内容】 ①本学における茶道の考え方 ②茶道文化の意義 ③準備当番、茶室での約束事 ④玄關での心得について ⑤煎茶の入れ方を学び体験する ⑥礼法・服紗捌き・道具の清め方・仕込み茶碗など復習する ⑦道具の片付け 【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する ④状況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力） ：周囲から期待されている自分の役割を把握して行動する</p> <p>2 【禅語】「平常心是道」 【ワンポイント】 ①平戸について学ぶ（DVD平戸の映像） 【授業内容】 ①鎮信流についてまとめる ④風炉薄茶点前練習 【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する</p> <p>3 着物の名称を知る・着付けを学ぶ・着物の畳み方を知る 【禅語】「桂花露香」 【ワンポイント】「薄茶点前のポイント確認」 【授業内容】 ①着物の名称を知る・着付けを学ぶ・着物の畳み方を知る② ②着物での立ち居振る舞いを体験する ③懐紙、服紗、扇子の付け方を学ぶ ④風炉薄茶点前練習 【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する</p> <p>4 着物の名称を知る・着付けを学ぶ・着物の畳み方を知る 【禅語】「行雲流水」 【ワンポイント】「上座と下座」①</p>

	<p>【授業内容】 ①着物の名称を知る・着付けを学ぶ・着物の畳み方を知る② ②着物での立ち居振る舞いを体験する ③懐紙、服紗、扇子の付け方を学ぶ ④風炉薄茶点前練習</p> <p>【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前の自主練習を行う</p> <p>【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する</p>
5	<p>着物の名称を知る・着付けを学ぶ・着物の畳み方を知る</p> <p>【禅語】「別無工夫」 【ワンポイント】「上座と下座」②</p> <p>【授業内容】 ①着物の名称を知る・着付けを学ぶ・着物の畳み方を知る③ ②着物での立ち居振る舞いを体験する ③懐紙、服紗、扇子の付け方を学ぶ ④風炉薄茶点前練習</p> <p>【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前の自主練習を行う</p> <p>【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する</p>
6	<p>風炉薄茶点前</p> <p>【禅語】「耕不尽」 【ワンポイント】①「旧暦について学ぶ」（1月～12月）</p> <p>【授業内容】 ①立礼見本点前 ②立礼点前練習</p> <p>【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前の自主練習を行う</p> <p>【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する</p>
7	<p>風炉薄茶点前・立礼点前練習</p> <p>【禅語】「放下着」 【ワンポイント】①「二十四節気と五節句」</p> <p>【授業内容】 ①風炉薄茶点前 ②立礼点前練習</p> <p>【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う</p> <p>【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する ④柔軟性（意見の違いや立場の違いを理解する力） ：自分の意思を持ちながら、他人の良い意見を共感を持って受け入れる</p>
8	<p>茶道大会パート別練習</p> <p>【禅語】「泥多仏大」 【ワンポイント】「出し服紗の畳み方・濃茶の飲み方」</p> <p>【授業内容】 ①茶道大会の濃茶水屋、接待、客点前などパート別の仕事内容を学ぶ （3パートを20分ずつローテーション） ②客点前：出し服紗の使い方・濃茶の飲み方・主菓子の頂き方 ③水屋：濃茶を練る ④接待：縁高や濃茶を客へ出す</p> <p>【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う</p> <p>【社会人基礎力】 ①課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する ②計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力） ：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる ③状況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力） ：周囲から期待されている自分の役割を把握して行動する</p>

9	<p>④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p> <p>茶道大会パート別練習</p> <p>【禅語】「無功德」 【ワンポイント】「和食の基本」 【授業内容】 ①茶道大会の立礼水屋、接待、客点前などパート別の仕事内容を学ぶ （3パートを20分ずつローテーション） ②客点前：薄茶の飲み方・干菓子の頂き方 ③水屋：薄茶を点てる ④接待：懐紙にお菓子と薄茶を客へ出す 【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う</p> <p>【社会人基礎力】 ①課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する ②計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力） ：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる ③状況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力） ：周囲から期待されている自分の役割を把握して、行動する ④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>
10	<p>茶道大会で使用する道具について学ぶ</p> <p>【禅語】「徳不孤」 【ワンポイント】「会記について」 【授業内容】 ①茶道大会の会場確認 ②茶道大会で使用する道具について学ぶ 【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う</p> <p>【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する ③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>
11	<p>茶道の歴史について合同講義</p> <p>【授業内容】茶道の歴史について合同講義 第3章 茶の湯に関わった人々（教科書P23～P28） 第4章 鎮信流の茶（教科書P29～P33） 【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う</p> <p>【社会人基礎力】 ①傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する ②規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>
12	<p>風炉薄茶点前・立礼点前練習</p> <p>【禅語】「知足」 【ワンポイント】「縁起物について」 【授業内容】 ①風炉薄茶点前②立礼点前練習 【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う</p> <p>【社会人基礎力】 ①実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ②課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する ③計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力） ：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる ④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>
13	<p>初釜</p> <p>【授業内容】初釜（点前拝見・濃茶飲み方、主菓子取り方、食べ方、裏から点て出し） ①初釜の道具組について説明を聞く ②各班に分かれて新年の抱負を述べ、学習帳 【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う</p> <p>【社会人基礎力】 ①発信力（自分の意見をわかりやすく伝える力） ：事例や客観的なデータなどを用いて、具体的にわかりやすく伝える ②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する ③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>

	<p>理解する</p> <p>14 松芳忌 【授業内容】 松芳忌、礼拝練習 ①経歴紹介（映像にて） ②献茶 ③教職員・学生礼拝 ④講話 ⑤松芳忌・アンケート・自己評価 【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する ②状況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力） ③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p> <p>15 薄茶点前練習・学習のまとめ 【禅語】「一以貫之」 【ワンポイント】「正月飾りについて」 【授業内容】 ①薄茶点前練習 ②学習帳まとめ 【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①薄茶点前の割り稽古により、一人で薄茶点前ができるようになる。（シンキング）：計画力 ②季節の移ろいを感じるようになる。禅語の意味を理解するようになる。（シンキング）：創造力 ③茶会に関する基本的な知識を学び、理解を深めることができるようになる。（チームワーク）：規律性 ④茶道点前を通して身に付けたマナーや作法を、学校や生活の中で役立てることができるようになる。（チームワーク）：発信力 ⑤茶道大会に参加し、自分の役割は責任を持って果たすことを目標とする。（チームワーク）：状況把握 授業への参加意欲や授業態度：茶道文化の授業に積極的に参加し、講義は真面目に受けているか。 15% 授業の理解度：教科書や学習帳で予習、復習をし、講義の内容を分かりやすくまとめているかを学習帳で確認。 10% 毎回の学習帳や最終回の感想文：お茶の心や鎮信流の基礎的な知識を得ているか。日常生活に役立っているか。筆記試験 60% 薄茶点前：薄茶点前を正確にできるようになったか。茶道大会への参加状況といった行動や感想 15%
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：嶋内麻佐子著『茶道文化基礎編』 テキストを補う為に、必要に応じて学習帳やプリントを使用する。
履修条件	茶道文化 I を履修していること
履修上の注意	茶室は神聖な場所ですので、茶室に来る時は、必ず白靴下を持参して下さい。（アクション）：主体性 TPOを考え、茶室では私語は慎み、服装や髪型にも気を付けて下さい。（アクション）：働きかけ力 毎回の授業範囲を教科書や学習帳で予習、復習し、専門用語の意味など調べておいて下さい（シンキング）：課題発見力 授業開始 5 分前には、席入りを完了し、気持ちを鎮め授業に臨んで下さい。（アクション）：実行力
オフィスアワー	茶室不文軒での授業が入っていない空きコマは、不文軒での自主練習が可能です。空きコマでの点前指導を行いますので、研究室に声を掛けてください。（チームワーク）：状況把握力
備考・メッセージ	茶道文化を学ぶ意義を理解し、目標を立てて授業を受けてください。（シンキング）：計画力 ①茶道を通して、相手を思いやる心を学びましょう。（チームワーク）：柔軟性 ②心を鎮めて、点前畳に座りましょう。（アクション）：実行力 ③点前を通して、清らかな精神を創りましょう。（シンキング）：計画力 ④日本古来の総合芸術に触れ、自分の感性を磨きましょう。（シンキング）：創造力 ⑤日本の伝統文化を再発見し、真の国際人を目指しましょう。（シンキング）：課題発見 ⑥日本の礼法を学びましょう。（アクション）：主体性 ⑦茶道鎮信流を通して、地域文化の発展に貢献しましょう。（チームワーク）：発信力 ⑧教師と学生との対話促進により、信頼関係を築きましょう。（チームワーク）：規律性

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1単位	必修
担当教員			
安部 直樹・嶋内 麻佐子・萩原 宏美			

講義概要	<p>①濃茶点前の道具名を覚える。薄茶点前と濃茶点前の違いを知る。濃茶点前の道具の使用方法を知る。</p> <p>②仕覆の扱いを覚える。水次の扱いを覚える。濃茶の練り方を学ぶ。</p> <p>③亭主と客の動きを学ぶ。相客間の心構えを学ぶ。茶花に関する知識を深めることができる。</p> <p>④武家茶について学ぶ。鎮信流発祥の地、平戸について学ぶ。鎮信流歴代の宗家を知る。</p> <p>⑤上座、下座を理解し、家庭や実習先でもマナーに気を付けるようになる。言葉遣いに気を付けるようになる。</p>
授業計画	<p>1 風炉濃茶点前 【禅語】「和敬清寂」 【ワンポイント】「礼儀作法・伝えたいTPO」 【授業内容】 ①濃茶見本点前 ②茶道文化の意義（教科書P7～P12）再確認 ③出し服紗の畳み方確認 ④茶入の扱い方、紐の結び方 ⑤席入り、退席、礼法復習 ⑥茶入の紐結び 【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を丁寧に理解する ③実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む</p> <p>2 風炉濃茶点前 【禅語】「梨花一枝春」 【ワンポイント】「冠婚葬祭」 【授業内容】 ①風炉濃茶点前前半① 【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を丁寧に理解する ③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p> <p>3 風炉濃茶点前 【禅語】「花看半開」 【ワンポイント】「熨斗の知識」 【授業内容】 ①3種類の柄杓の扱い方（切り柄杓・引き柄杓・止め柄杓） ②風炉濃茶点前前半② 【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ②課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する ③計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力） ：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる ④傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を丁寧に理解する ⑤規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p> <p>4 風炉濃茶点前 【禅語】「薰風自南来」 【ワンポイント】「袱紗について」 【授業内容】 ①風炉濃茶点前前半③ 【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む</p>

	<p>②課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する</p> <p>③計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力） ：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる</p> <p>④傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を丁寧に理解する</p> <p>⑤規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>
5	<p>風炉濃茶点前</p> <p>【禅語】「悟無好悪」 【ワンポイント】「食事前に心がけること」 【授業内容】</p> <p>①風炉濃茶点前後半① 【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】</p> <p>①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む</p> <p>②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組み続ける</p> <p>③状況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力） ：周囲から期待されている自分の役割を把握して、行動する</p> <p>④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>
6	<p>風炉濃茶点前</p> <p>【禅語】「千里同風」 【ワンポイント】「器の扱い方」 【授業内容】</p> <p>①風炉濃茶点前後半② 【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】</p> <p>①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む</p> <p>②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む</p> <p>③状況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力） ：周囲から期待されている自分の役割を把握して行動する</p> <p>④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>
7	<p>風炉濃茶点前</p> <p>【禅語】「本来無一物」 【ワンポイント】「衣替えについて・嫌い箸について」 【授業内容】</p> <p>①風炉濃茶点前総復習① 【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】</p> <p>①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む</p> <p>②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む</p> <p>③課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する</p> <p>④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>
8	<p>風炉濃茶点前</p> <p>【禅語】「無事」 【ワンポイント】「雑節について」 【授業内容】風炉濃茶点前総復習② 【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】</p> <p>①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む</p> <p>②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む</p> <p>③傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を丁寧に理解する</p> <p>④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>
9	<p>風炉濃茶点前</p> <p>【禅語】「無心」 【ワンポイント】「身だしなみチェックシート」 【授業内容】風炉濃茶点前総復習③ 【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】</p>

	<p>①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む</p> <p>②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む</p> <p>③傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を丁寧に理解する</p> <p>④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>
10	<p>風炉濃茶点前（内検）</p> <p>【禅語】「白珪尚可磨」</p> <p>【ワンポイント】「試験を受ける心構え」（姿勢・位置・落ち着き）</p> <p>【授業内容】風炉濃茶点前（内検）</p> <p>【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う</p> <p>【社会人基礎力】</p> <p>①実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む</p> <p>②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を丁寧に理解する</p> <p>③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>
11	<p>風炉濃茶点前</p> <p>【禅語】「萬法一如」</p> <p>【ワンポイント】実技試験のチェックポイント</p> <p>【授業内容】風炉濃茶点前練習</p> <p>【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う</p> <p>【社会人基礎力】</p> <p>①実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む</p> <p>②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を丁寧に理解する</p> <p>③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>
12	<p>実技試験</p> <p>【禅語】「平常心是道」</p> <p>【授業内容】</p> <p>①濃茶点前確認（実技試験）</p> <p>【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う</p> <p>【社会人基礎力】</p> <p>①実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む</p> <p>②課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する</p> <p>③計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力） ：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる</p> <p>④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>
13	<p>茶会の流れと花寄せ</p> <p>【禅語】「王三昧」</p> <p>【ワンポイント】「禁花について」</p> <p>【授業内容】</p> <p>①花寄せ</p> <p>②ミニ茶会計画・練習</p> <p>③学習帳</p> <p>【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う</p> <p>【社会人基礎力】</p> <p>①働きかけ方（他人に働きかけ巻き込む力） ：相手を納得させるために、協力することの必然性（意義、理由、内容など）を伝える</p> <p>②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む</p> <p>③課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する</p> <p>④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>
14	<p>合同講義</p> <p>【授業内容】茶道の歴史について合同講義 第4章 鎮信流の茶（教科書P29～P33） 第5章 茶道における諸機能と茶道具について</p> <p>【社会人基礎力】</p> <p>①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む</p> <p>②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を丁寧に理解する</p>

15	<p>③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p> <p>班別ミニ茶会 【禅語】「一期一会」 【ワンポイント】「夏を涼しく」 【授業内容】 ①班別ミニ茶会 ②道具の片付け・アンケート ③学習帳回収 【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ②課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する ③計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力） ：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる ④発信力（自分の意見をわかりやすく伝える力） ：事例や客観的なデータ等を用いて、具体的にわかりやすく伝える</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①濃茶席で使用する茶道具の名称や使用方法を学び、正しく使用できるようになる。（アクション）：発信力 ②地域の伝統文化である鎮信流の濃茶点前ができるようになる。（シンキング）：計画力 ③亭主と客の心得などを習得し、心遣いを生活の中で役立てることができるようになる。（チームワーク）：働きかけ力 ④茶道の歴史を学び、鎮信流について説明することができるようになる。（アクション）：実行力 ⑤茶点前を通して、家庭や社会生活で役立つマナーを身に付けることを目標とする。（チームワーク）：規律性</p> <p>授業への参加意欲や授業態度：茶道文化の授業に積極的に参加し、講義は真面目に受けているか。15% 授業の理解度：教科書や学習帳で予習、復習をし、講義の内容を分かりやすくまとめているかを学習帳で確認。10% 毎回の学習帳や最終回の感想文：お茶の心や鎮信流の基礎的な知識を得ているか。日常生活に役立てているか。15% 濃茶点前の実技の評価の観点は、正確な濃茶点前が出来るか、道具を大切に丁寧に扱うことが出来るか、客点前はできているか、など総合的に評価する。実技試験 60%</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	<p>テキスト：嶋内麻佐子著「茶道文化基礎編」 テキストを補う為に、必要に応じて学習帳やプリントを使用する。</p>
履修条件	茶道文化Ⅰ、Ⅱを履修していること
履修上の注意	<p>茶室に来る時は、必ず白靴下を持参すること。（茶室は神聖な場所である）：主体性 茶室では私語は慎み、服装や髪型にも気を付けること。（TPOを考える）：働きかけ力 毎回の授業範囲を教科書や学習帳で予習、復習し、専門用語の意味など調べておくこと。（自主学習）：課題発見力 授業開始5分前には、席入りを完了し、気持ちを鎮め授業に臨むこと。（時間厳守）：実行力</p>
オフィスアワー	茶室不文軒での授業が入っていない空きコマは、不文軒での自主練習が可能です。空きコマでの点前指導を行いますので、研究室に声を掛けてください。（チームワーク）：状況把握力
備考・メッセージ	<p>茶道文化を学ぶ意義を理解し、目標を立てて授業を受けてください。（シンキング）：計画力 ①茶道を通して、相手を思いやる心を学びましょう。（チームワーク）：柔軟性 ②心を鎮めて、点前豊に座りましょう。（アクション）：実行力 ③点前を通して、清らかな精神を創りましょう。（シンキング）：計画力 ④日本古来の総合芸術に触れ、自分の感性を磨きましょう。（シンキング）：創造力 ⑤日本の伝統文化を再発見し、真の国際人を目指しましょう。（シンキング）：課題発見 ⑥日本の礼法を学びましょう。（アクション）：主体性 ⑦茶道鎮信流を通して、地域文化の発展に貢献しましょう。（チームワーク）：発信力 ⑧教師と学生との対話促進により、信頼関係を築きましょう。（チームワーク）：規律性</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	1単位	必修
担当教員			
安部 直樹・嶋内 麻佐子・萩原 宏美			

講義概要	<p>①風炉濃茶点前を一人で出来る。炉濃茶点前を覚える。美味しい濃茶を練るようになる。 ②季節感豊かな茶花の種類を知る。正月の床飾りを学ぶ。法事の床飾りを学ぶ。 ③和室での歩き方を学ぶ。繰り返しにより自然な動きを身に付けることができる。着物の種類について学ぶ。 ④地域文化の継承に貢献する。茶道大会で自分の役割を果たす。自己の修養、自己の成長を学ぶ。 ⑤人や物を大切にする。おもてなしの心を学ぶ。授業最終時には、別棟の茶室（耳順亭）で茶会の流れを学ぶ。</p>		
授業計画	1	<p>茶室・露地・炭点前 【禅語】「月白風清」 【ワンポイント】「炭の力」 【授業内容】 ①炭点前DVD ②炭の説明 ③炉濃茶置き合わせ確認 ④炉濃茶点前前確認 【学習課題】 予習：教科書P63～P69 風炉炭点前 復習：風炉の濃茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） : 自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） : 小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力） : 成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する ④状況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力） : 周囲から期待されている自分の役割を把握して行動する ⑤規律性（社会のルールや人との約束を守る力） : 相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>	
	2	<p>炉濃茶点前披露 【禅語】「水急不流月」 【ワンポイント】「中秋の名月」 【授業内容】 ①炉濃茶点前前半復習① 【学習課題】 復習：炉の濃茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） : 自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） : 小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） : 相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>	
	3	<p>炉・風炉濃茶点前 【禅語】「釣月耕雲」 【ワンポイント】「和室の名称①」 【授業内容】 ①炉濃茶点前前半練習② 【学習課題】 復習：炉と風炉での置き合わせの違いを確認する 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） : 自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） : 小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） : 相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>	
	4	<p>炉・風炉濃茶点前 【禅語】「悠然見南山」 【ワンポイント】「和室の名称②」 【授業内容】 ①炉濃茶点前後半練習① 【学習課題】 復習：点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） : 自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む</p>	

	<ul style="list-style-type: none"> ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する ④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する
5	<p>炉・風炉濃茶点前</p> <p>【禅語】「独座大雄峰」 【ワンポイント】「祝日・休日について」（1月～3月） 【授業内容】 ①炉濃茶点前後半練習② 【学習課題】 復習：点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する ④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>
6	<p>立礼点前披露</p> <p>【禅語】「直心是道場」 【ワンポイント】「祝日・休日について」（4月～6月） 【授業内容】 ①立礼見本点前 ②立礼点前確認 【学習課題】 復習：点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する ④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>
7	<p>立礼、炉、風炉での濃茶点前と薄茶点前</p> <p>【禅語】「教外別伝不立文字」 【ワンポイント】「祝日・休日について」（7月～9月） 【授業内容】 ①立礼、炉濃茶点前練習① 【学習課題】 復習：点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する ④柔軟性（意見の違いや立場の違いを理解する力） ：自分の意思を持ちながら、他人の良い意見を共感を持って受け入れる ⑤規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>
8	<p>立礼、炉、風炉での濃茶点前と薄茶点前</p> <p>【禅語】「古今無二路」 【ワンポイント】「祝日・休日について」（10月～12月） 【授業内容】 ①立礼・炉濃茶点前練習② 【学習課題】 復習：点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する ②計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力） ：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる ③状況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力） ：周囲から期待されている自分の役割を把握して行動する ④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>
9	<p>茶道大会に向けての練習</p> <p>【禅語】「守拙全天真」 【ワンポイント】「縁起物（だるま）」</p>

	<p>【授業内容】 ①茶道大会 亭主・接待・水屋・客点前などパート別の仕事内容を学ぶ (3パートを20分ずつローテーション) ・客点前：①出し服妙の使い方、②濃茶の飲み方、③主菓子の頂き方 ・水屋：①濃茶を練る、②薄茶を点てる ・接待：①縁高や濃茶を客へ出す、②懐紙に干菓子と薄茶を出す</p> <p>【社会人基礎力】 ①課題発見力 (状況を分析し目的や課題を明らかにする力) ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する ②計画力 (課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力) ：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる ③状況把握力 (自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力) ：周囲から期待されている自分の役割を把握して行動する ④規律性 (社会のルールや人との約束を守る力) ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p> <p>10 茶道大会に向けての練習</p> <p>【禅語】「報恩謝徳」 【ワンポイント】「縁起物 (鶴亀)」</p> <p>【授業内容】 ①茶道大会の道具説明 ②茶道大会当日の役割の練習に参加する</p> <p>【社会人基礎力】 ①主体性 (物事に進んで取り組む力) ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②傾聴力 (相手の意見を丁寧に聞く力) ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する ③規律性 (社会のルールや人との約束を守る力) ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p> <p>11 茶道大会反省会・釜仕舞い</p> <p>【禅語】「門外有松風」 【ワンポイント】「正月飾りについて」</p> <p>【授業内容】 ①お別れの茶会の流れを冊子、映像で学ぶ ②釜仕舞い ③点て出し</p> <p>【社会人基礎力】 ①実行力 (目的を設定し確実に行動する力) ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ②課題発見力 (状況を分析し目的や課題を明らかにする力) ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する ③計画力 (課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力) ：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる ④規律性 (社会のルールや人との約束を守る力) ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p> <p>12 初釜</p> <p>【授業内容】 軸「高砂」「松に双鶴」 ①初釜 (濃茶点前) ②点前拝見・主菓子の取り方・食べ方・濃茶の飲み方 ③初釜の道具組について説明を聞く ④各班に分かれて新年の抱負を語る</p> <p>【社会人基礎力】 ①傾聴力 (相手の意見を丁寧に聞く力) ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する ②発信力 (自分の意見をわかりやすく伝える力) ：事例や客観的なデータ等を用いて、具体的にわかりやすく伝える ③規律性 (社会のルールや人との約束を守る力) ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p> <p>13 学習のまとめ</p> <p>【禅語】「一華開五葉」 【ワンポイント】「縁起物 (松竹梅)」</p> <p>【授業内容】 ①薄茶、濃茶点前練習・学習帳まとめ ②立礼・炉濃茶点前練習</p> <p>【社会人基礎力】 ①主体性 (物事に進んで取り組む力) ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力 (目的を設定し確実に行動する力) ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③課題発見力 (状況を分析し目的や課題を明らかにする力) ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する ④規律性 (社会のルールや人との約束を守る力) ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>
--	--

	<p>14 松芳忌 【ワンポイント】「愛別離苦」 【授業内容】 ①松芳忌、礼拝練習 ②経歴紹介（映像にて） ③献茶 ④教職員・学生礼拝 ⑤講話 ⑥自己評価・アンケート・学習帳 【社会人基礎力】 ①傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する ②状況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力） ④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p> <p>15 卒業記念茶会（別れの茶会） 【禅語】「白珪尚可磨」 【授業内容】お別れの茶会（耳順亭にて） ①茶会の流れ（寄り付き→外待合→蹲踞→躍り口） ②茶席の客体験（主菓子・抹茶） ③点前練習・水屋で点て出し 【学習課題】 予習：「お別れの茶会」の冊子に目を通してくる 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②働きかけ力（他人に働きかけ巻き込む力） ：相手を納得させるために、協力することの必然性（意義、理由、内容など）を伝える ③傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する ④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する ⑤ストレスコントロール力（ストレスの発生源に対応する力） ：ストレスの原因を見つけて、自力で、または他人の力を借りてでも取り除く</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①点前の練習を重ね、薄茶点前、濃茶点前がスムーズにできるようになる。炭点前を学ぶ。（アクション）：主体性 ②季節に応じた茶室・茶道具のあしらいに気付くことができるようになる。（シンキング）：課題発見力 ③茶道文化の授業を受けることにより、和室で自然な立ち居振る舞いができるようになる。（チームワーク）：柔軟性 ④茶道大会の茶席運営に参加し、自分の役割は責任を持って果たすことを目標とする。（チームワーク）：規律性 ⑤茶道を通して身に付けた茶の心を、学校や生活の中で役立て、相手の気持ちを理解できるようになる。（チームワーク）：傾聴力</p> <p>授業への参加意欲や授業態度：茶道文化の授業に積極的に参加し、茶道大会の企画運営への携わり方。15% 授業の理解度：教科書や学習帳で予習、復習をし、講義の内容を分かりやすくまとめているかを学習帳で確認。10% 毎回の学習帳や最終回の感想文：お茶の心や鎮信流の基礎的な知識を得ているか。筆記試験 60% 濃茶点前：濃茶点前を正確にできるようになったか。身に付けたマナーや作法を日常生活で生かしているかといった行動や感想 15%</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	<p>テキスト：嶋内麻佐子著「茶道文化基礎編」 テキストを補う為に、必要に応じて学習帳やプリントを使用する。</p>
履修条件	茶道文化Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを履修していること
履修上の注意	<p>茶室に来る時は、必ず白靴下を持参すること。（茶室は神聖な場所である）：主体性 茶室では私語は慎み、服装や髪型にも気を付けること。（TPOを考える）：働きかけ力 毎回の授業範囲を教科書や学習帳で予習、復習し、専門用語の意味など調べておくこと。（自主学习）：課題発見力 授業開始5分前には、席入りを完了し、気持ちを鎮め、授業に臨むこと。（時間厳守）：実行力</p>
オフィスアワー	茶室不文軒での授業が入っていない空きコマは、不文軒での自主練習が可能です。空きコマでの点前指導を行いますので、研究室に声を掛けてください。（チームワーク）：状況把握力
備考・メッセージ	<p>茶道文化を学ぶ意義を理解し、目標を立てて授業を受けてください。（シンキング）：計画力 ①茶道を通して、相手を思いやる心を学びましょう。（チームワーク）：柔軟性 ②心を鎮めて、点前畳に座りましょう。（アクション）：実行力 ③点前を通して、清らかな精神を創りましょう。（シンキング）：計画力 ④日本古来の総合芸術に触れ、自分の感性を磨きましょう。（シンキング）：創造力 ⑤日本の伝統文化を再発見し、真の国際人を目指しましょう。（シンキング）：課題発見 ⑥日本の礼法を学びましょう。（アクション）：主体性 ⑦茶道鎮信流を通して、地域文化の発展に貢献しましょう。（チームワーク）：発信力</p>

⑧教師と学生との対話促進により、信頼関係を築きましょう。(チームワーク)：規律性

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期（集中）	2年	1単位	選択
担当教員			
宮原 恵子 ・ 小田 和人			

講義概要	スポーツ栄養学で修得した知識をもとに、アスリートの特性やライフスタイルに合わせた献立作成を行う。また、調理実習にて、作成した献立を調理し、対象のアスリートに適切な献立であるかを総合的に評価する。この実習を通して、アスリートへ食事提供できる能力を身に付ける。		
授業計画	1	アスリートの献立作成の概要 アスリートの献立作成におけるポイント 学習課題 復習：アスリートの献立作成の注意点 予習：献立作成のポイント	
	2	基本献立作成 ベースとなる1日分の献立を作成する 学習課題 復習：作成した献立の確認 予習：アスリートの栄養価の算出	
	3	基本献立展開 基本献立を7日分に展開する 学習課題 復習：作成した献立の確認 予習：献立展開に用いるメニューを調べる	
	4	運動種目別① 基本献立を持久的競技のアスリートの献立へ展開 学習課題 復習：作成した献立の確認 予習：持久的競技の特性	
	5	運動種目別② 基本献立を瞬発的競技のアスリートの献立へ展開 学習課題 復習：作成した献立の確認 予習：瞬発的競技の特性	
	6	調理実習（運動種目別献立） 4もしくは5回目で作成した献立の調理実習 学習課題 復習：調理実習後の献立の調整 予習：作成した献立の確認	
	7	試合期① 基本献立を試合前の献立へ展開 学習課題 復習：作成した献立の確認 予習：試合期の食事のポイント	
	8	試合期② 試合当日の献立作成 学習課題 復習：作成した献立の確認 予習：試合当日の食事のポイント	
	9	調理実習（試合期献立） 7もしくは8回目で作成した献立の調理実習 学習課題 復習：調理実習後の献立の調整 予習：作成した献立の確認	
	10	ウエイトコントロール① 基本献立を減量期のアスリートの献立へ展開 学習課題 復習：作成した献立の確認 予習：減量期の食事のポイント	
	11	ウエイトコントロール② 基本献立を増量期のアスリートの献立へ展開 学習課題 復習：作成した献立の確認 予習：増量期の食事のポイント	
	12	調理実習（ウエイトコントロール） 10もしくは11回目で作成した献立の調理実習 学習課題 復習：調理実習後の献立の調整 予習：作成した献立の確認	
	13	ライフスタイル別① 自炊をしているアスリートの献立作成 学習課題 復習：作成した献立の確認 予習：自炊しやすいメニューの検討	
	14	ライフスタイル別② 中食や外食を利用するアスリートの献立作成 学習課題 復習：作成した献立の確認 予習：利用しやすい中食や外食の特徴を調べる	
	15	調理実習（ライフスタイル） 13回目で作成した献立の調理実習 学習課題 復習：調理実習後の献立の調整 予習：作成した献立の確認	

授業形態	実習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>① アスリートの献立作成のポイントについて説明することができる。</p> <p>② 運動種目の特性に応じた献立を作成することができる。</p> <p>③ 試合期など特別な時期に応じた献立を作成することができる。</p> <p>④ ウェイトコントロール時の献立を作成することができる。</p> <p>⑤ アスリート自身が調理できる献立を作成することができる。</p> <p>作成献立（提出状況、テーマに沿ったメニュー、調理実習での評価など総合的に評価する）100%</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	<p>教科書：「スポーツ・運動栄養学」加藤秀夫・中坊幸弘・中村亜紀 編，講談社サイエンティフィック（1年次のスポーツ栄養学で使用したもの）</p> <p>参考書：適宜、紹介する</p>
履修条件	スポーツ栄養学を履修済みであること
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で質問等に対応します
備考・メッセージ	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	1年	1単位	選択
担当教員			
久田 裕己			
実務教員			

講義概要	<p>①コンピュータを活用するために必要な基礎的な知識を学習する</p> <p>②Googleサービスなど、インターネットの活用方法を学習する</p> <p>③Wordを基礎から学習し、文章の入力やコピーなどの操作、ビジネス文書作成に必要な操作方法を学習する</p> <p>④Excelを基礎から学習し、計算式の組み立てや関数の使い方、表の装飾、グラフの作成方法を学習する</p>
授業計画	<p>1 オリエンテーション 短大 (NJC) システムへのログイン フォルダ作成 Googleアカウントの作成 ファイルの移動とコピー (課題提出の方法)</p> <p>2 パソコン基礎 Googleドライブの活用 G-Mailの活用 正しいメール文章の作成、送信</p> <p>3 Word基礎 (1) タッチタイピング 文字入力 (五十音・拗音・促音・アルファベット・記号)</p> <p>4 Word基礎 (2) 入力テクニック (変換の訂正、入力ミスの訂正、文節長さの変更) 10分スピード入力練習</p> <p>5 Word基礎 (3) 10分スピード入力測定、印刷 ビジネス文書の作成 (あいさつ文の挿入、文字の装飾、書式設定、拡張書式設定) 中央揃えやインデントなど文字の配置や飾りつけの練習問題を行う</p> <p>6 Word基礎 (4) 10分スピード入力測定、印刷 表枠作成 (表の挿入、列の分割・結合、罫線の装飾) 表挿入のボタンの位置および完成例をもとにした表枠作成の練習問題を行う</p> <p>7 Word基礎 (5) 10分スピード入力測定、印刷 課題作成 (ビジネス文書作成) レイアウトを整えたビジネス文書を完成させ、印刷し提出を行う</p> <p>8 情報活用技法 ネットでの情報検索、ダウンロード 情報セキュリティ対策 ファイルのパスワードと暗号化</p> <p>9 Excel基礎 (1) Excelの基本操作 (データ入力の基礎、オートフィル、セルの書式設定) 計算式の組み立て (加減乗除) 関数1 (合計、平均、カウント)</p> <p>10 Excel基礎 (2) セルの書式設定 (フォント、配置、表示形式、罫線) セルを飾りながら、見やすい表を作成する</p> <p>11 Excel基礎 (3) 行列操作 (行の挿入と削除、列の挿入と削除) 割合の計算 (構成比、前年比) 絶対参照</p> <p>12 Excel基礎 (4) 関数2 (最大、最小、順位) 関数の探し方、関数パレットの使い方を学ぶ</p> <p>13 Excel基礎 (5) グラフ作成 (棒グラフ、折れ線グラフ) グラフの編集</p> <p>14 Excel基礎 (6) 課題作成 (表計算) 計算式・関数を使った表計算と、それをグラフ化したデータを完成させ、印刷し提出を行う</p> <p>15 総合演習 総復習 これまでに学習してきたパソコン基礎からワープロ、表計算、情報セキュリティなど 総合的に復習を行う</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①Googleサービスを活用し、G-Mailでの送受信やファイル管理がスムーズにできる</p> <p>②ビジネスで活用する文書の形式を理解し、正確に作成することができる</p> <p>③計算式や関数を使った表計算を行うことができ、必要に応じたグラフ作成や印刷などを行うことができる</p>

	G-Mail送受信・ファイル保存の課題：10% タッチタイピングの課題：10% 文書作成 (Word) の課題：40% 表計算 (Excel) の課題：40%
科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：コンピュータリテラシー (テキスト代：1,000円)
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 4thQ	1年	1単位	選択
担当教員			
Luc Roberge			

講義概要	<p>This course is designed to provide students with all the benefits associated with recreation. Students will have the opportunity to learn skills and knowledge that will allow them to gain all the benefits of physical fitness. All instruction will be given in English. Students will also have the opportunity to participate in novel activities.</p>
授業計画	<p>Lesson 1: Introduction to the course and physical fitness. During this course students will participate a wide variety physical activities. Students will have the opportunity to choose which activities in which they will participate. During the year, students will participate in basketball, badminton, volleyball, table tennis, baseball, tennis, California kick ball, capture to flag and more.</p> <p>Lesson 2 During this course students will participate a wide variety physical activities. Students will have the opportunity to choose which activities in which they will participate. During the year, students will participate in basketball, badminton, volleyball, table tennis, baseball, tennis, California kick ball, capture to flag and more.</p> <p>Lesson 3 During this course students will participate a wide variety physical activities. Students will have the opportunity to choose which activities in which they will participate. During the year, students will participate in basketball, badminton, volleyball, table tennis, baseball, tennis, California kick ball, capture to flag and more.</p> <p>Lesson 4 During this course students will participate a wide variety physical activities. Students will have the opportunity to choose which activities in which they will participate. During the year, students will participate in basketball, badminton, volleyball, table tennis, baseball, tennis, California kick ball, capture to flag and more.</p> <p>Lesson 5 During this course students will participate a wide variety physical activities. Students will have the opportunity to choose which activities in which they will participate. During the year, students will participate in basketball, badminton, volleyball, table tennis, baseball, tennis, California kick ball, capture to flag and more.</p> <p>Lesson 6 During this course students will participate a wide variety physical activities. Students will have the opportunity to choose which activities in which they will participate. During the year, students will participate in basketball, badminton, volleyball, table tennis, baseball, tennis, California kick ball, capture to flag and more.</p> <p>Lesson 7 During this course students will participate a wide variety physical activities. Students will have the opportunity to choose which activities in which they will participate. During the year, students will participate in basketball, badminton, volleyball, table tennis, baseball, tennis, California kick ball, capture to flag and more.</p> <p>Lesson 8 During this course students will participate a wide variety physical activities. Students will have the opportunity to choose which activities in which they will participate. During the year, students will participate in basketball, badminton, volleyball, table tennis, baseball, tennis, California kick ball, capture to flag and more.</p> <p>Lesson 9 During this course students will participate a wide variety physical activities. Students will have the opportunity to choose which activities in which they will participate. During the year, students will participate in basketball, badminton, volleyball, table tennis, baseball, tennis, California kick ball, capture to flag and more.</p> <p>Lesson 10 During this course students will participate a wide variety physical activities. Students will have the opportunity to choose which activities in which they will participate. During the year, students will participate in basketball, badminton, volleyball, table tennis, baseball, tennis, California kick ball, capture to flag and more.</p> <p>Lesson 11 During this course students will participate a wide variety physical activities.</p>

	<p>Students will have the opportunity to choose which activities in which they will participate. During the year, students will participate in basketball, badminton, volleyball, table tennis, baseball, tennis, California kick ball, capture to flag and more.</p> <p>Lesson 12</p> <p>During this course students will participate a wide variety physical activities. Students will have the opportunity to choose which activities in which they will participate. During the year, students will participate in basketball, badminton, volleyball, table tennis, baseball, tennis, California kick ball, capture to flag and more.</p> <p>Lesson 13</p> <p>During this course students will participate a wide variety physical activities. Students will have the opportunity to choose which activities in which they will participate. During the year, students will participate in basketball, badminton, volleyball, table tennis, baseball, tennis, California kick ball, capture to flag and more.</p> <p>Lesson 14</p> <p>During this course students will participate a wide variety physical activities. Students will have the opportunity to choose which activities in which they will participate. During the year, students will participate in basketball, badminton, volleyball, table tennis, baseball, tennis, California kick ball, capture to flag and more.</p> <p>Lesson 15: Final Evaluation</p> <p>Students will have a test.</p>
授業形態	practice
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<ol style="list-style-type: none"> 1. Students can set up equipment. 2. Students can keep a lesson log. 3. Students can monitor their daily habits. 4. Students can keep a wellness journal 5. Students can recreate. <p>Grades will be based on engagement, lesson logs, and a wellness journal. Grades will be based on Engagement (50%), Lesson Notes (25%) and wellness log (25%).</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	<p>Feel free to visit me in my office anytime I am not in class or a meeting.</p> <p>Monday 3:00-5:30.</p>
備考・メッセージ	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	1年	1単位	選択
担当教員			
野田 章子			

講義概要	<p>①健康調査をおこなう 体力テストをおこなう 体力評価をおこなう ②さまざまなスポーツのルールを理解できる 試合での実践ができる 意欲的な活動ができる ③チームを編成することができる チームでの練習ができる チームでの試合ができる ④トレーニング論を理解する 基礎トレーニングを理解する チームでの試合ができる ⑤生活習慣を見直す 自分に合った運動プログラムを考える 今後のライフスタイルと運動を考える</p>
授業計画	<p>1 体力テスト 新体力テストの実施</p> <p>2 トレーニング理論 有酸素トレーニングと筋力トレーニングの実践</p> <p>3 バドミントン① ルールの理解と基本練習</p> <p>4 バドミントン② リーグ戦形式によるゲーム</p> <p>5 バドミントン③ リーグ戦形式によるゲーム</p> <p>6 バドミントン④ リーグ戦形式によるゲーム</p> <p>7 バレーボール① ルールの理解と基本練習</p> <p>8 バレーボール② リーグ戦形式によるゲーム</p> <p>9 バレーボール③ リーグ戦形式によるゲーム</p> <p>10 卓球① ルールの理解と基本練習</p> <p>11 卓球② シングルスまたはダブルスのゲーム</p> <p>12 バスケットボール① ルールの理解と基本練習</p> <p>13 バスケットボール② リーグ戦形式によるゲーム</p> <p>14 バスケットボール③ リーグ戦形式によるゲーム</p> <p>15 まとめ 自分に適した運動を考える</p>
授業形態	実習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①自分の健康と体力に関心をもつ ②運動・スポーツの楽しさを味わう ③スポーツを通じたコミュニケーション能力の向上 ④運動技術・知識の向上 ⑤体力年齢の向上</p> <p>課題への取り組み50%、授業内レポート20%、体力テスト10%、実技テスト10%、成果レポート10%を総合して評価を行う。</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：必要に応じて資料を配布
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ & 6thQ	2年	1単位	選択
担当教員			
小浦 康平			
実務教員			

講義概要	MS Wordの復習、MS PowerPointの一般的な操作方法と便利な機能を実践形式で学びます。具体的には日本情報処理検定協会のワープロ検定や文書デザイン検定試験（それぞれ2級レベル以上）に相当する演習、ビジネス文書作成、ポスターチラシなどの作成演習を行います。毎回必ず授業の冒頭にタイピング練習を行います。また、グループワークでフリー課題を解決し発表会（ppt、要旨、ポスターなどをフリー作成）を行います。Word、Excel、PowerPointを扱う個人個人の力を伸ばし、グループワークでのシミュレーション課題に取り組むことにより役割の責任や発表へ向けたコミュニケーション能力を育みます。
授業計画	<p>1 Wordを使ったパンフレット作成復習 Wordの操作の復習とイラスト作成を行いながら図形操作に慣れつつ、時短操作を目指します。 学習課題 前回の復習： この授業の予習：タイピングの基本ポジションを予習しておく。</p> <p>2 Wordを使ったパンフレット作成1 見本を基にWordを使ったパンフレット作成復習を行います。 学習課題 前回の復習： この授業の予習：タイピングの基本ポジションを予習しておく。</p> <p>3 Excelの基本操作の復習 サンプルデータを基にExcelの基本操作の復習を行います。 学習課題 前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習：</p> <p>4 ビジネス文書の作成1 Wordを用いて英語履歴書、FAX用紙の作り方などを学修します。 学習課題 前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習：就職活動に必要な履歴書を準備する。</p> <p>5 Wordを使ったパンフレット作成2 見本を基にWordを使った三つ折りパンフレット作成を行います。 学習課題 前回の復習： この授業の予習：タイピングの基本ポジションを予習しておく。</p> <p>6 Powerpointの基本操作の復習とプレゼンテーションの流れ 見本のプリントを参考にPowerpointの基本操作の復習を行います。 学習課題 前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習：</p> <p>7 フリー課題1 Wordを用いて、条件に沿ってポスターを作成します。題材選び、レイアウト構成などを考えます。 学習課題 前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習：</p> <p>8 フリー課題2 Wordを用いて、条件に沿ってポスターを作成し、提出します。 学習課題 前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習：</p> <p>9 Powerpointのスライド作成演習1 プレゼン内容の文章の要点を理解し、スライドを作成します。 学習課題 前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習：</p> <p>10 Powerpointのスライド作成演習2 効果的にアニメーションを用い、プレゼンテーション資料を完成、提出。 学習課題 前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習：</p> <p>11 グループワーク①グループ分けと構成 グループ結成、企画書類作成のための情報収集と役割分担 学習課題 前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習：</p> <p>12 グループワーク②構成と試算 グループに分かれてWord、Excel、pptを用いた総合的なプレゼンテーションを行う。 学習課題 前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習：</p> <p>13 グループワーク③ポスター作成とプレゼン資料作成 グループに分かれてWord、Excel、pptを用いた総合的なプレゼンテーションを行う。 学習課題 前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習：</p> <p>14 グループワーク④ポスター作成とプレゼン資料作成 グループに分かれてWord、Excel、pptを用いた総合的なプレゼンテーションを行う。 学習課題 前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習：</p> <p>15 グループワーク⑤発表会</p>

	<p>発表会～投票、感想アンケートを提出 学習課題 前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習：どの検定試験（級）にチャレンジするか決めておく。</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①文字入力の手速と正確さを習得する ②Word、Excel、PowerPointの印刷までの基本的な操作ができる ③社内外の実務文書の作成ができる ④プレゼンテーションに必要な事や流れを理解する ⑤情報を収集、解釈し、計画を立てるまでをプレゼンテーションで表現する</p> <p>課題提出（50%）、習熟度（30%）、授業中の態度（20%）</p> <p>授業に対するモチベーション、課題作成の完成度、アプリケーションの習熟度を重視します。</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	毎回、プリントを配布。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業期間中の平日の放課後。
備考・メッセージ	毎回の課題提出が評価に繋がるので休んだ場合も必ず提出する事。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ & 6thQ	2年	1単位	選択
担当教員			
久田 裕己			
実務教員			

講義概要	MS Wordの復習、MS PowerPointの一般的な操作方法と便利な機能を実践形式で学びます。具体的には日本情報処理検定協会のワープロ検定や文書デザイン検定（それぞれ2級レベル以上）に相当する演習、ビジネス文書作成、ポスターチラシなどの作成演習を行います。毎回必ず授業の冒頭にタイピング練習を行います。また、グループワークでフリー課題を解決し発表会（ppt、要旨、ポスターなどをフリー作成）を行います。Word、Excel、PowerPointを扱う個人個人の力を伸ばし、グループワークでのシミュレーション課題に取り組むことにより役割の責任や発表へ向けたコミュニケーション能力を育みます。
授業計画	<p>1 Wordを使ったパンフレット作成復習 Wordの操作の復習とイラスト作成を行いながら図形操作に慣れつつ、時短操作を目指します。</p> <p>2 Wordを使ったパンフレット作成 1 見本をもとにワードを使ったパンフレット作成復習を行います。</p> <p>3 Excelの基本操作の復習 サンプルデータをもとにExcelの基本操作の復習を行います。</p> <p>4 ビジネス文書の作成 Wordを用いて英語履歴書、FAX用紙の作り方などを学習します。</p> <p>5 Wordを使ったパンフレット作成 2 見本をもとにWordを使った三つ折りパンフレット作成を行います。</p> <p>6 PowerPointの基本操作の復習とプレゼンテーションの流れ 見本のプリントを参考にPowerPointの基本操作の復習を行います。</p> <p>7 フリー課題 1 Wordを用いて条件に沿ってポスターを作成します。題材選び、レイアウト構成などを考えます。</p> <p>8 フリー課題 2 Wordを用いて、条件に沿ってポスターを作成し、提出します。</p> <p>9 PowerPointのスライド作成演習 1 プレゼン内容の文章の要点を理解し、スライドを作成します。</p> <p>10 PowerPointのスライド作成演習 2 効果的にアニメーションを用い、プレゼンテーション資料を完成させ、提出します。</p> <p>11 グループワーク 1 グループ分けと構成 グループ結成、企画書類作成のための情報収集と役割分担を行います。</p> <p>12 グループワーク 2 構成と試算 グループに分かれてWord、Excel、PowerPointを用いた総合的なプレゼンテーション資料の作成を行います。</p> <p>13 グループワーク 3 ポスター作成とプレゼン資料作成 グループに分かれてWord、Excel、PowerPointを用いた総合的なプレゼンテーション資料の作成を行います。</p> <p>14 グループワーク 4 課題完成、提出 グループに分かれてWord、Excel、PowerPointを用いた総合的なプレゼンテーション資料の作成を完成させて、印刷物やデータなどでの提出を完了します。</p> <p>15 グループワーク 5 発表会 グループごとに発表会を行い、各グループに投票します。 感想やまとめを行います。</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①文字入力の手速と正確さを習得する ②ワード、Excel、PowerPointの印刷までの基本的な操作ができる ③社内外の実務文書の作成ができる ④プレゼンテーションに必要なことや流れを理解する ⑤情報を収集、解釈し、計画を立てるまでをプレゼンテーションで表現する</p> <p>課題提出（50%）、習熟度（30%）、授業中の態度（20%）</p> <p>授業に対するモチベーション、課題作成の完成度、アプリケーションの習熟度を重視します。</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	毎回、プリントを配布。

履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業終了後
備考・メッセージ	毎回の課題提出が評価につながるので、休んだ場合も必ず提出すること。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ & 8thQ	2年	1単位	選択
担当教員			
久田 裕己			
実務教員			

講義概要	①タイピングを習得し、原稿を見ないで打つタッチタイピングを身につける（ワープロ2級レベル） ②Wordの文書作成応用・図形描画応用など、文書の活用・編集技能を身につける ③Excelの関数応用・データの集計・上級グラフの活用・編集技能を身につける		
授業計画	1	Word基礎復習 タイピングの10分測定 ビジネス文書作成・表作成 3級レベルの復習 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：ホームポジションを守ったタッチタイピングを継続的に学習する	
	2	Word応用（1） タイピング、スピードアップ練習 複雑な表作成1（セルの分割と結合） 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：ホームポジションを守ったタッチタイピングを継続的に学習する	
	3	Word応用（2） タイピング、スピードアップ練習 複雑な表作成2（複合表） 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：ホームポジションを守ったタッチタイピングを継続的に学習する	
	4	Word応用（3） タイピング、スピードアップ練習 図形の基本操作（移動・コピー・拡大縮小） 図形の挿入と編集（ワードアート・オートシェイプ・クリップアート） 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：ホームポジションを守ったタッチタイピングを継続的に学習する	
	5	Word応用（4） タイピング、スピードアップ練習 図形の挿入と編集（テキストボックス） 図形を使った地図の作成 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：ホームポジションを守ったタッチタイピングを継続的に学習する	
	6	Word応用（5） タイピング、スピードアップ練習 段落設定（段組・段区切り・セクション区切り） 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：ホームポジションを守ったタッチタイピングを継続的に学習する	
	7	Word応用まとめ タイピング課題（500文字文章）の10分測定 課題作成（ビジネス社外文書） 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：課題を完成させ、印刷し提出を行う	
	8	Excel基礎復習 計算式・基本関数を使った表作成 3級レベルの復習 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：基本的な計算式や関数を使った表作成がスムーズにできるよう、テキストを見直して練	

	<p>習を行う</p> <p>9 Excel応用 (1) 関数 1 (IF・AND・OR)</p> <p>学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：目的に応じた関数の利用ができるよう、テキストを見直して練習問題を行う</p> <p>10 Excel応用 (2) 関数 2 (VLOOKUP・HLOOKUP・LEFT・RIGHT・MID)</p> <p>学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：目的に応じた関数の利用ができるよう、テキストを見直して練習問題を行う</p> <p>11 Excel応用 (3) 関数 3 (SUMIF・COUNTIF)</p> <p>学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：目的に応じた関数の利用ができるよう、テキストを見直して練習問題を行う</p> <p>12 Excel応用 (4) データベース (データの並べ替え・抽出)</p> <p>学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：目的に応じたデータの抽出等ができるよう、テキストを見直して練習問題を行う</p> <p>13 Excel応用 (5) データベース (データの集計)</p> <p>学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：目的に応じたデータの集計ができるよう、テキストを見直して練習問題を行う</p> <p>14 Excel応用 (6) 上級グラフ (折れ線と縦棒の複合グラフ)</p> <p>学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：目的に応じたグラフの作成ができるよう、テキストを見直して練習問題を行う</p> <p>15 Excel応用まとめ 課題作成 (関数を使った表作成・データベース・グラフ作成)</p> <p>学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：課題を完成させ、印刷し提出を行う</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①正確でスピーディなタイピングを行うことができ、10分間で500文字 (2級レベル) の入力を行うことができる</p> <p>②複雑な表作成・文字の装飾・オブジェクトの活用により文書の作成・編集・構成を行うことができる</p> <p>③関数式の設定による表作成やデータの集計・抽出、高度なグラフ作成を行うことができる</p> <p>積み上げ式の授業内容となるため、授業の中で提出する課題作成を重視する</p> <p>タイピングの測定課題：20% 文書作成 (Word) の課題：30% 表計算 (Excel) の課題：50%</p>
科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：MsOffice演習Ⅱ (テキスト代：1,000円)
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
8thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
中野 明人			

講義概要	<p>①心理学の歴史(流れ)について学ぶ。さまざまな心理検査を通して自分を知る。性格の形成について学ぶ。</p> <p>②第一印象の形成、対人認知、過剰適応について学ぶ。</p> <p>③男女関係の心理、夫婦関係の心理、親子・家族関係の心理について学ぶ。</p> <p>④現代社会の様々な問題(犯罪や非行の心理的背景、摂食障害、依存症)について学ぶ。</p> <p>⑤セルフカウンセリング(コラージュ療法、ロールレタリング)について学び実際に体験する。さまざまな心理療法について学ぶ。</p>
授業計画	<p>1 心理学を学ぶにあたって</p> <p>①心理学を学ぶにあたって。</p> <p>②心理学の歴史や心理学が何を研究対象にしているのかについて学ぶ。</p> <p>学習課題 復習： 予習：フロイト、ユング、来談者中心療法について調べておく。</p> <p>2 自分について知ろう</p> <p>①性格って何？</p> <p>②エゴグラムを使って自分の行動特徴について知る。</p> <p>学習課題 復習：前回のプリントをしっかりと読み込んでおく。 予習：エゴグラムという用語を調べておく。</p> <p>3 人とうまく付き合うために①</p> <p>①第一印象の大切さについて学ぶ。</p> <p>②人と親密になるには、ということについて学ぶ。</p> <p>③自分と似た人違う人、について学ぶ。</p> <p>学習課題 復習：自分の行動特徴を再確認する。 予習：自分の第一印象について周囲に聞いておく。</p> <p>4 人とうまく付き合うために②</p> <p>①好かれる人ってどんな人、「対人魅力」について学ぶ。</p> <p>②なぜ人付き合いで疲れるのか、についてその理由について学ぶ。</p> <p>③いい人はつらい？過剰適応にならないために何が必要かについて学ぶ。</p> <p>学習課題 復習：自分の第一印象を確認し、望ましい自分のイメージを持つ。 予習：対人魅力という言葉の意味を調べておく。</p> <p>5 集団の心理学</p> <p>①集団で浮く人とは。セルフモニタリングについて学ぶ。</p> <p>②リーダーシップとは。さまざまなリーダーについて知り、望ましいリーダーに求められる資質について学ぶ。</p> <p>③PM理論について学ぶ。</p> <p>学習課題 復習：対人魅力となる要素を自分にあてはめて振りかえる。 予習：ストレスコーピングという言葉調べておく。</p> <p>6 コミュニケーションスキル</p> <p>①ストレスをためないために。アサーションについて知り、実践してみる。</p> <p>②相手を説得する方法。上手に相手を説得するにはどうすればいいか、説得力のある話し方について学ぶ。</p> <p>③心の知能指数(EQ)。心の知能指数について、実際に自分で経験をしてみる。特に得意な分野を意識して行動する。</p> <p>学習課題 復習：PM理論をについて再確認し、自分が理想とするリーダー像を作る。 予習：アサーションという言葉調べておく。</p> <p>7 男女関係の心理学①</p> <p>①男女の脳差とコミュニケーション。その違いについて脳科学の観点から理解する。</p> <p>②友情と恋愛。友情と恋愛の違いを知る。</p> <p>③恋心を抱くとき。恋心を抱くには、相手の魅力だけでなく環境的条件も必要であることを学ぶ。</p> <p>学習課題 復習：EQを高めるにはどうすればいいかについて知る。 予習：LoveとLikeの違いについて知る。</p> <p>8 男女関係の心理学②</p> <p>①恋愛の心理学。恋愛の種類について知る。</p> <p>②パートナーと別れられない人。どうして好ましくない恋愛から逃れられないのかについて学ぶ。</p> <p>③共依存の関係について学ぶ</p> <p>学習課題 復習：友情と恋愛の違いについて復習しておく。 予習：共依存という言葉調べておく。</p> <p>9 心理療法①セルフカウンセリングとしてコラージュ両方を体験してみる</p> <p>①コラージュ療法の歴史について学ぶ。</p> <p>②さまざまなコラージュ療法について学ぶ。</p>

	<p>③実際に体験してみる。</p> <p>学習課題 復習：共依存にならないためにはどうすればいいかを復習する。 予習：コラーージュの実例を調べておく。</p> <p>1 0 夫婦関係の心理学 ①よい夫婦は病気を予防する。病気とコミュニケーションの関係について学ぶ。 ②円滑な夫婦間コミュニケーション。よりよい夫婦間のコミュニケーションについて学ぶ。</p> <p>学習課題 復習：コラーージュ療法の歴史を知る。 予習：実際に自分の周囲の夫婦関係を調べて、病気との関係について考える。</p> <p>1 1 家族関係の心理学 ①成熟した親子関係について学ぶ。 ②生まれた順番と性格。長男長女や末っ子の性格特徴を知る。また次男(次女)三男(三女)の特徴を知る。 ③家族のあり方と親の役割。望ましい家族関係について考える。現代社会における親の役割の重要性について知る。</p> <p>学習課題 復習：病気とコミュニケーションの関係について振り返る。 予習：自分の性格についてまとめておく。</p> <p>1 2 犯罪と非行の心理学 ①犯罪の心理。犯罪者の特徴について学ぶ。 ②非行の心理。非行を生み出す原因について、さまざまな理論について学ぶ。 ③どうすれば犯罪や非行は防げるか。社会的絆の理論について学ぶ。</p> <p>学習課題 復習：自分自身の親子関係について振り返る。 予習：最近起こった事件について調べておく。(新聞やニュースなどで)</p> <p>1 3 困っている人の心理学 ①さまざまな依存症について知る。アルコール依存症、ギャンブル依存症、薬物依存、インターネット依存症、ゲーム依存症の原因とそのメカニズムについて学ぶ。 ②いい子たちの叫び、摂食障害について学ぶ。摂食障害の背景について知り、その対処法について学ぶ。 ③アダルトチルドレンについて学ぶ。その社会的背景について知り理解する。</p> <p>学習課題 復習：社会的絆の理論について、自分自身に当てはめて考えておく。 予習：アダルトチルドレンという言葉調べておく。</p> <p>1 4 夢について ①夢と睡眠の関係について学ぶ。環境的な要因についても学ぶ。 ②心理学における夢の理解について、その歴史的な経緯について学ぶ。 ③夢の分析について学ぶ。場面や登場人物についてそれが何を意味するかについて知る。</p> <p>学習課題 復習：さまざまな依存症について振り返る。 予習：最近見た夢などについて記録しておく。</p> <p>1 5 心理療法② セルフカウンセリングとしてロールレタリングを体験する ①ロールレタリングの歴史について学ぶ。 ②ロールレタリングの意義について学ぶ。 ③実際に体験してみる。</p> <p>学習課題 復習：夢の持つ意味について振り返る。 予習：ロールレタリングという言葉調べておく</p>															
授業形態	<p>講義</p> <p>① ②人と上手に付き合う方法について理解し、説明できるようになる ③さまざまな人間関係の心理について理解し、説明できるようになる ④現代社会の特徴と心理学の関係について理解し、説明できるようになる ⑤セルフカウンセリングを実際に体験し、自分自身の変化を説明できるようになる</p>															
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="405 1525 528 1552">評価の観点</th> <th data-bbox="791 1525 967 1552">評価手段・方法</th> <th data-bbox="1011 1525 1107 1552">評価比率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="309 1574 427 1626">関心・意欲 ・態度</td> <td data-bbox="453 1574 995 1626">自分自身について理解し、説明できるようになる。 現代社会</td> <td data-bbox="1034 1574 1299 1601">授業態度 10%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="309 1648 427 1675">思考・判断</td> <td data-bbox="453 1648 995 1700">人と上手に付き合う方法やさまざまな人間関係の心理について考えることができる。</td> <td data-bbox="1034 1648 1299 1675">授業でのタスク 30%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="309 1722 427 1749">技能・表現</td> <td data-bbox="453 1722 995 1774">セルフカウンセリングを通して、自分自身の変化を説明できるようになる。</td> <td data-bbox="1034 1722 1299 1749">授業でのタスク 30%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="309 1796 427 1823">知識・理解</td> <td data-bbox="453 1796 995 1848">現代社会の特徴と心理学の関係について理解し、説明できるようになる。</td> <td data-bbox="1034 1796 1299 1823">授業でのタスク 30%</td> </tr> </tbody> </table>	評価の観点	評価手段・方法	評価比率	関心・意欲 ・態度	自分自身について理解し、説明できるようになる。 現代社会	授業態度 10%	思考・判断	人と上手に付き合う方法やさまざまな人間関係の心理について考えることができる。	授業でのタスク 30%	技能・表現	セルフカウンセリングを通して、自分自身の変化を説明できるようになる。	授業でのタスク 30%	知識・理解	現代社会の特徴と心理学の関係について理解し、説明できるようになる。	授業でのタスク 30%
評価の観点	評価手段・方法	評価比率														
関心・意欲 ・態度	自分自身について理解し、説明できるようになる。 現代社会	授業態度 10%														
思考・判断	人と上手に付き合う方法やさまざまな人間関係の心理について考えることができる。	授業でのタスク 30%														
技能・表現	セルフカウンセリングを通して、自分自身の変化を説明できるようになる。	授業でのタスク 30%														
知識・理解	現代社会の特徴と心理学の関係について理解し、説明できるようになる。	授業でのタスク 30%														
科目(教職課程用)																
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等																
教科書・参考書	<p>テキスト：特に使用しない。必要な事項についてはプリントを準備する。 参考書：随時指示する。</p>															
履修条件																

履修上の注意	自分自身を知るためには積極的に自分自身を知る姿勢が大事になります。毎回興味をもって受講してください。
オフィスアワー	木曜日の放課後をオフィスアワーとして設定しています。事前に予約を取って研究室を訪問してくださると助かります。 また、水曜日以外の昼休みもオフィスアワーとして利用できますので、ぜひ質問にきてください。
備考・メッセージ	心理学は比較的興味を持ってもらいやすい科目ですが、自分自身をより知るためにも積極的に受講して欲しいと思います。毎回ちょっとした心理テストも行いますが、よりよい自分の方向性を見つけるヒントになればうれしいです。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	1年	2単位	選択
担当教員			
Luc Roberge			

講義概要	<p>This is an integrated 4-skills course with a focus on reading and vocabulary development.</p> <p>Students will meet once a week for 15 90-minutes lessons. Student-centered lessons will be conducted entirely in English (for English students). Students will be able to choose the books they read. Students will read both inside and outside of class time.</p> <p>Students will take 10 vocabulary quizzes. Vocabulary will be individualized and each student will learn words at their own level.</p>
授業計画	<p>Lesson 1 Introduction to the course Students will receive and introduction to the course. Key points to be covered: 1. Goals of the course 2. Format of the course and course schedule 3. Groups 4. Evaluation</p> <p>Lesson 2 Introduction to X-Reading and Word-Engine Students will be introduced to Extensive Reading theory. Students will log in and be oriented on how to use both X-Reading and Word-Engine. Students will either use a PC or smartphone.</p> <p>Lesson 3 Extensive Reading and Vocabulary Building Students will take Vocabulary Quiz #1 Students will read silently for 30 minutes. Students will participate in classroom activities selected by the teacher.</p> <p>Lesson 4 Extensive Reading and Vocabulary Building Students will take Vocabulary Quiz #2 Students will read silently for 30 minutes. Students will participate in classroom activities selected by the teacher.</p> <p>Lesson 5 Extensive Reading and Vocabulary Building Students will take Vocabulary Quiz #3 Students will read silently for 30 minutes. Students will participate in classroom activities selected by the teacher.</p> <p>Lesson 6 Extensive Reading and Vocabulary Building Students will take Vocabulary Quiz #4 Students will read silently for 30 minutes. Students will participate in classroom activities selected by the teacher.</p> <p>Lesson 7 Extensive Reading and Vocabulary Building Students will take Vocabulary Quiz #5 Students will read silently for 30 minutes. Students will participate in classroom activities selected by the teacher.</p> <p>Lesson 8 Extensive Reading and Vocabulary Building - Midterm Exam and LOG check. Students will take Vocabulary MIDTERM EXAM #1-5 Vocabulary Words Students will read silently for 30 minutes. Students will participate in classroom activities selected by the teacher.</p> <p>Lesson 9 Extensive Reading and Vocabulary Building Students will take Vocabulary Quiz #6 Students will read silently for 30 minutes. Students will participate in classroom activities selected by the teacher.</p> <p>Lesson 10 Extensive Reading and Vocabulary Building Students will take Vocabulary Quiz #7 Students will read silently for 30 minutes. Students will participate in classroom activities selected by the teacher.</p> <p>Lesson 11 Extensive Reading and Vocabulary Building Students will take Vocabulary Quiz #8 Students will read silently for 30 minutes. Students will participate in classroom activities selected by the teacher.</p> <p>Lesson 12 Extensive Reading and Vocabulary Building Students will take Vocabulary Quiz #9 Students will read silently for 30 minutes. Students will participate in classroom activities selected by the teacher.</p> <p>Lesson 13 Extensive Reading and Vocabulary Building Students will take Vocabulary Quiz #10 Students will read silently for 30 minutes. Students will participate in classroom activities selected by the teacher.</p> <p>Lesson 14 Extensive Reading and Vocabulary Building Students will read silently for 30 minutes.</p>

	<p>Students will be given time to study for the final exam, prepare their final reading and vocabulary logs other complete classwork</p> <p>Lesson 15 Extensive Reading and Vocabulary Building Final Vocabulary exam #1-10.</p> <p>Lesson 16 TBA An additional lesson may be scheduled. Please check the exam schedule carefully of talk with your teacher.</p>
授業形態	Practical/ applied/
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>1. Students will be able to use X Reading. 2. Students will have increased their Vocabulary by 100+ words 3. Students will be able to keep a learning log. 4. Students will be able to use Word Engine. 5. Students be able to summarize books.</p> <p>Due to the interactive nature of the course, regular attendance is required. Also, to be successful, it is estimated that a minimum of 1-2 hours of work outside of class time will be needed.</p> <p>Grades will be based on: 1. Classroom Engagement (20%) 2. Reading (Time and words) (40%) 3. Vocabulary (CR, Quiz Scores, Exam Scores) (40%)</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	For English Students: 1-year X-Reading Membership & 1 year Word Engine Membership. Ask Luc for details.
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	Please feel free to visit during posted visiting hours or Monday from 13:00- 17:00.
備考・メッセージ	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
Q1 & Q2	1年	2単位	必修
担当教員			
Luc Roberge			

講義概要	<p>This is a four skills-based course with a focus on communication designed to provide opportunities to improve English language knowledge and communication skills. Focus will be given to communication skills needed for informal, everyday situations.</p> <p>Students will meet twice a week for 90 minutes (for 30 lessons), and classes will be conducted entirely in English. Students will learn and practice vocabulary, grammar and expressions needed to talk about everyday topics, as well as the conversation strategies needed to communicate naturally. Much of class time will be devoted to small group and class discussion under the guidance of the teacher. Students will also learn about the culture and customs of people from other countries.</p>
授業計画	<p>Lesson 1: Introduction to the course Students will be introduced to the course. Key points covered: 1. Teacher Introductions 2. Format of the course 3. Evaluations. 4. Expectations</p> <p>Lesson 2: Orientation and Team Building Introduction of the textbook, njc.9learn.net, discussion-groups, discussion-group role, YouTube journals and peer-evaluations.</p> <p>Lesson 3: Streamed Groups Students will be streamed into groups based on language test scores and communication ability. Students will have the opportunity to become acquainted with their teacher and their peers. Speed Dating and circle conversations</p> <p>Lesson 4: Gap Lesson: Communicative Activities Gap Lesson - Teachers will prepare interactive activities and games for students. Students will not use the textbook during Gap Lessons but are asked to bring their textbook as teachers may use this time to check student progress.</p> <p>学習課題 復習：TBA by teacher 予習：TBA by teacher</p> <p>Lesson 5: Hometown - Lesson A Lesson A - Students will be introduced to a new chapter of the textbook. Students will work progressively through the chapter to practice their listening, reading, and speaking skills. This will also be an opportunity for students to build their topic-related vocabulary and grammar knowledge.</p> <p>学習課題 復習：TBA by teacher 予習：TBA by teacher</p> <p>Lesson 6: Hometown - Lesson B Lesson B - Students will continue to progressively work through the chapter to practice their listening, reading, and speaking skills. Teachers may choose to bring additional content. Student will build their topic-related vocabulary and grammar knowledge. Students may also be given time to prepare their scrap and scrap presentation. Students should bring photos and other materials for making their scrap for this lesson.</p> <p>学習課題 復習：TBA by teacher 予習：TBA by teacher</p> <p>Lesson 7: Hometown - Lesson C Lesson C - Students may be given time to work on their scrap presentation. Students will make presentation notes in a notebook. Teachers can help students with language during this period. Students should also use this time to practice presenting their scrap with a partner.</p> <p>学習課題 復習：TBA by mini-unit teacher 予習：TBA by mini-unit teacher</p> <p>Lesson 8: Hometown - Lesson D Lesson D - Students will be placed in small discussion groups. Each student will present their scrap and there will be time for a Q&A period after. Students will give presenters feedback. Students will use the peer-feedback to improve their presentation. Following the lesson, students will have 3 days to upload a YouTube video link to the njc9learn cite. Teachers will then evaluate each student presentation.</p> <p>学習課題 復習：TBA by teacher 予習：TBA by teacher</p> <p>Lesson 9: Gap Lesson: Communicative Activities Gap Lesson - Teachers will prepare interactive activities and games for students. Students will not use the textbook during Gap Lessons but are asked to bring their textbook as teachers may use this time to check student progress.</p>

學習課題 復習：TBA by teacher
予習：TBA by teacher

Lesson 10: Music - Lesson A

Lesson A - Students will be introduced to a new chapter of the textbook. Students will work progressively through the chapter to practice their listening, reading, and speaking skills. This will also be an opportunity for students to build their topic-related vocabulary and grammar knowledge.

學習課題 復習：TBA by teacher
予習：TBA by teacher

Lesson 11: Music - Lesson B

Lesson B - Students will continue to progressively work through the chapter to practice their listening, reading, and speaking skills. Teachers may choose to bring additional content. Student will build their topic-related vocabulary and grammar knowledge. Students may also be given time to prepare their scrap and scrap presentation. Students should bring photos and other materials for making their scrap for this lesson.

學習課題 復習：TBA by teacher
予習：TBA by teacher

Lesson 12: Music - Lesson C

Lesson C - Students may be given time to work on their scrap presentation. Students will make presentation notes in a notebook. Teachers can help students with language during this period. Students should also use this time to practice presenting their scrap with a partner.

學習課題 復習：TBA by mini-unit teacher
予習：TBA by mini-unit teacher

Lesson 13: Music - Lesson D

Lesson D - Students will be placed in small discussion groups. Each student will present their scrap and there will be time for a Q&A period after. Students will give presenters feedback. Students will use the peer-feedback to improve their presentation. Following the lesson, students will have 3 days to upload a YouTube video link to the njcQlearn cite. Teachers will then evaluate each student presentation.

學習課題 復習：TBA by teacher
予習：TBA by teacher

Lesson 14: Gap Lesson: Communicative Activities

Gap Lesson - Teachers will prepare interactive activities and games for students. Students will not use the textbook during Gap Lessons but are asked to bring their textbook as teachers may use this time to check student progress.

學習課題 復習：TBA by teacher
予習：TBA by teacher

Lesson 15: Gap Lesson: Communicative Activities

Gap Lesson - Teachers will prepare interactive activities and games for students. Students will not use the textbook during Gap Lessons but are asked to bring their textbook as teachers may use this time to check student progress.

學習課題 復習：TBA by teacher
予習：TBA by teacher

Lesson 16: Gap Lessons

Lesson A - Students will change teachers. Some time will be provided to get to know the new teacher. Students will be introduced to a new chapter of the textbook. Students will work progressively through the chapter to practice their listening, reading, and speaking skills. This will also be an opportunity for students to build their topic-related vocabulary and grammar knowledge.

學習課題 復習：TBA by teacher
予習：TBA by teacher

Lesson 17: Books - Lesson A

Lesson B - Students will continue to progressively work through the chapter to practice their listening, reading, and speaking skills. Teachers may choose to bring additional content. Student will build their topic-related vocabulary and grammar knowledge. Students may also be given time to prepare their scrap and scrap presentation. Students should bring photos and other materials for making their scrap for this lesson.

學習課題 復習：TBA by teacher
予習：TBA by teacher

Lesson 18: Books - Lesson B

Lesson C - Students may be given time to work on their scrap presentation. Students will make presentation notes in a notebook. Teachers can help students with language during this period. Students should also use this time to practice presenting their scrap with a partner.

學習課題 復習：TBA by mini-unit teacher
予習：TBA by mini-unit teacher

Lesson 19: Books - Lesson C

Lesson D - Students will be placed in small discussion groups. Each student will present their scrap and there will be time for a Q&A period after. Students will give presenters feedback. Students will use the peer-feedback to improve their presentation. Following the lesson, students will have 3 days to upload a YouTube video link to the njcQlearn cite. Teachers will then evaluate each student presentation.

學習課題 復習 : TBA by teacher
予習 : TBA by teacher

Lesson 20: Books - Lesson D

Gap Lesson - Teachers will prepare interactive activities and games for students. Students will not use the textbook during Gap Lessons but are asked to bring their textbook as teachers may use this time to check student progress.

學習課題 復習 : TBA by teacher
予習 : TBA by teacher

Lesson 21: Family - Lesson A

Lesson A - Students will change teachers. Some time will be provided to get to know the new teacher. Students will be introduced to a new chapter of the textbook. Students will work progressively through the chapter to practice their listening, reading, and speaking skills. This will also be an opportunity for students to build their topic-related vocabulary and grammar knowledge.

學習課題 復習 : TBA by teacher
予習 : TBA by teacher

Lesson 22: Family - Lesson B

Lesson B - Students will continue to progressively work through the chapter to practice their listening, reading, and speaking skills. Teachers may choose to bring additional content. Student will build their topic-related vocabulary and grammar knowledge. Students may also be given time to prepare their scrap and scrap presentation. Students should bring photos and other materials for making their scrap for this lesson.

學習課題 復習 : TBA by teacher
予習 : TBA by teacher

Lesson 23: Family - Lesson C

Lesson C - Students may be given time to work on their scrap presentation. Students will make presentation notes in a notebook. Teachers can help students with language during this period. Students should also use this time to practice presenting their scrap with a partner.

學習課題 復習 : TBA by mini-unit teacher
予習 : TBA by mini-unit teacher

Lesson 24: Family - Lesson D

Lesson D - Students will be placed in small discussion groups. Each student will present their scrap and there will be time for a Q&A period after. Students will give presenters feedback. Students will use the peer-feedback to improve their presentation. Following the lesson, students will have 3 days to upload a YouTube video link to the njcQlearn cite. Teachers will then evaluate each student presentation.

學習課題 復習 : TBA by teacher
予習 : TBA by teacher

Lesson 25: Gap Lesson: Communicative Activities

Gap Lesson - Teachers will prepare interactive activities and games for students. Students will not use the textbook during Gap Lessons but are asked to bring their textbook as teachers may use this time to check student progress.

學習課題 復習 : TBA by teacher
予習 : TBA by teacher

Lesson 26: Travel - Lesson A

Lesson A - Students will change teachers. Some time will be provided to get to know the new teacher. Students will be introduced to a new chapter of the textbook. Students will work progressively through the chapter to practice their listening, reading, and speaking skills. This will also be an opportunity for students to build their topic-related vocabulary and grammar knowledge.

學習課題 復習 : TBA by teacher
予習 : TBA by teacher

Lesson 27: Travel - Lesson B

Lesson B - Students will continue to progressively work through the chapter to practice their listening, reading, and speaking skills. Teachers may choose to bring additional content. Student will build their topic-related vocabulary and grammar knowledge. Students may also be given time to prepare their scrap and scrap presentation. Students should bring photos and other materials for making their scrap for this lesson.

學習課題 復習 : TBA by teacher
予習 : TBA by teacher

Lesson 28: Travel - Lesson C

Lesson C - Students may be given time to work on their scrap presentation. Students

	<p>will make presentation notes in a notebook. Teachers can help students with language during this period. Students should also use this time to practice presenting their scrap with a partner.</p> <p>学習課題 復習：TBA by mini-unit teacher 予習：TBA by mini-unit teacher</p> <p>Lesson 29: Travel - Lesson D</p> <p>Lesson D - Students will be placed in small discussion groups. Each student will present their scrap and there will be time for a Q&A period after. Students will give presenters feedback. Students will use the peer-feedback to improve their presentation. Following the lesson, students will have 3 days to upload a YouTube video link to the njcQlearn cite. Teachers will then evaluate each student presentation.</p> <p>学習課題 復習：TBA by teacher 予習：TBA by teacher</p> <p>Lesson 30: Gap Lesson - Course Review</p> <p>Gap Lesson - Teachers will prepare interactive activities and games for students. Students will not use the textbook during Gap Lessons but are asked to bring their textbook as teachers may use this time to check student progress.</p> <p>学習課題 復習：TBA by teacher 予習：TBA by teacher</p>
授業形態	Exercises / Practical
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<ol style="list-style-type: none"> 1. Students will be able to present on variety of topics. 2. Students will be able to plan and present in small groups. 3. Students will be able to keep notes in a note book. 4. Students will be able to organize a short presentation and provide visuals. 5. Students will be able to do peer-evaluations and self-evaluations. <p>Due to the interactive nature of the course, regular attendance and active participation are required. Grades will be based on classroom engagement (40%), textbook, scrapbook and notes (30%) and discussion groups (30%)</p> <p>Grades will be based on classroom engagement (40%), textbook, scrapbook and notes (30%) and discussion groups (30%).</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	Cullen, B. & Mulvey, S. (2011). Scraps (3rd Ed.). Nagoya: Perceptia Press
履修条件	Due to the interactive nature of the course, regular attendance and active participation are required. Lessons will be taught entirely in English. To enroll, student must meet the minimum language requirement.
履修上の注意	
オフィスアワー	Thursday after 4:20
備考・メッセージ	Every effort will be made to keep classes size below 20

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	1年	2単位	選択
担当教員			
権 容善 (クオン ヨンソン)			

講義概要	韓国語の入門段階の学習のためハングルの組み合わせと正確な発音を学ぶ。簡単な短文を作成するための基礎文法を学習しながら、実戦会話に活用できるように練習する。
授業計画	<p>1 オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 韓国語とは何か、韓国語の特徴、勉強方法について 学習課題 復習 なし 予習 韓国語の文字、基本母音字、基本子音字について調べる</p> <p>2 韓国語の基本母音字、基本子音字 韓国語の基本母音字、基本子音字について勉強する。 教科書を使って、各文字を繰り返して書きかなら一個ずつ覚える。 学習課題 復習 韓国語の特徴、韓国語の勉強方法についてもう一度確認する 予習 韓国語の複合母音、韓国語のパッチムについて調べる</p> <p>3 韓国語の複合母音、韓国語のパッチム 韓国語の複合母音、韓国語のパッチムについて勉強する。 教科書を使って、各文字を繰り返して書きかなら一個ずつ覚える。 学習課題 復習 韓国語の基本母音字、基本子音字についてもう一度確認する 予習 韓国語の発音の変化について調べる</p> <p>4 韓国語の発音の変化 韓国語の発音の変化について勉強する。 教科書を使って、該当する各例について一個ずつ確認する。 学習課題 復習 韓国語の複合母音、韓国語のパッチムについてもう一度確認する 予習 「～は」「～です」と話す文法について調べる</p> <p>5 韓国語基礎文法・実戦会話1「私は浅井ゆかりです」 挨拶と簡単な自己紹介について勉強する。 学習課題 復習 韓国語の発音の変化についてもう一度確認する 予習 「～が」「～ですか」と話す文法について調べる</p> <p>6 韓国語基礎文法・実戦会話2「出身はソウルです」 「(～ですか?)」について勉強する。 学習課題 復習 挨拶と簡単な自己紹介についてもう一度確認する 予習 「～ではありません(か)」と話す文法について調べる</p> <p>7 韓国語基礎文法・実戦会話3「図書館ではありません」 「(～ではありません)」という否定文について勉強する。 学習課題 復習 「(～ですか?)」についてもう一度確認する 予習 「います・あります」「いません・ありません」と話す文法について調べる</p> <p>8 韓国語基礎文法・実戦会話4「時間がありますか」 「(あります・ありません)」について勉強する。 学習課題 復習 「(～ではありません)」という否定文についてもう一度確認する 予習 「～します」「～しますか」と話す文法について調べる</p> <p>9 韓国語基礎文法・実戦会話5「何をしますか」 「(します・しますか)」について勉強する。 学習課題 復習 「(あります・ありません)」についてもう一度確認する 予習 「します」「しますか」「います」「あります」「いません」「ありません」と話す文法について調べる</p> <p>10 韓国語基礎文法・実戦会話6「貿易会社で働いています」 「(します)」について勉強する。 学習課題 復習 「(します・しますか)」についてもう一度確認する 予習 「～です」「～ます」と話す文法について調べる</p> <p>11 韓国語基礎文法・実戦会話7「服を買います」 「(する)」以外の動詞、形容詞について勉強する 学習課題 復習 「(します)」についてもう一度確認する 予習 韓国語のヨ体(～です、～ます)、「～しに」と話す文法について調べる</p> <p>12 韓国語基礎文法・実戦会話8「スーパーでよく買います」 用言の「ヨ体」について勉強する。 学習課題 復習 「(する)」以外の動詞、形容詞についてもう一度確認する 予習 漢数詞について調べる</p> <p>13 韓国語基礎文法・実戦会話9「2万5千ウォンです」 漢数詞について勉強する。 学習課題 復習 用言の「ヨ体」についてもう一度確認する 予習 固有数詞と「いくつ」「何時何分」と話す文法について調べる</p> <p>14 韓国語基礎文法・実戦会話10「今、何時ですか」 固有数詞と時計の読み方について勉強する。 学習課題 復習 漢数詞についてもう一度確認する 予習 今までの学習内容をまとめる</p>

	15 全体のまとめ 学習課題 復習 授業全体で学んだ内容についてもう一度確認する 予習 なし
授業形態	教科書を中心として講義を行い、必要に応じてパワーポイントやプリント等を利用する。
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①文字と発音をしっかり学習することを目指す。 ②基本的な語彙と短文の理解、簡単な会話、基礎文法の習得を目指す。 ③会話練習や書き取り、聞き取りなどを練習する。 ④韓国の文化に対する関心・理解を高める。 ⑤同時期開催される韓国語科目と連動し、韓国語初級単語を800個以上学習し、TOPIK1級合格を目指す。 授業参加度（10%）、課題又はグループワーク（30%）、定期試験（60%） 基本的には定期試験を中心にし、さらに授業態度・出欠状況・レポート等を考慮して総合的に評価する。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	基礎から学ぶ韓国語講座初級/木内明 著
履修条件	
履修上の注意	予習・復習をしてくること
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	学習者の学習進度やレベルに応じて、学習計画に変更が生じることがある。 個人のレベルに応じてクラス分けを行う。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	1年	2単位	選択
担当教員			
青木 萌			

講義概要	<p>本授業は以下の二点について学ぶ。ひとつは、中国語の発音方法、および、ピンイン（中国語式ローマ字）を学ぶ。その中でも、四声（第一声、第二声、第三声、第四声）と軽声の発音方法を、教員と一対一で何度も練習する。いまひとつは、初歩の中国語の文法と基本語彙を学習し、それらによって形成される中国語の文を正確に発音し、同時に、的確な日本語に翻訳できるようにする。また、中国語の検定試験であるHSKの2級の合格を目指す。</p>		
授業計画	1	<p>オリエンテーション、発音練習 1 単母音について、発音練習、HSK1級の単語の意味を学ぶ</p> <p>学習課題 復習:授業で指定した箇所の音読練習</p>	
	2	<p>発音練習 2 声調について、発音練習、HSK1級の単語の意味を学ぶ</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習</p>	
	3	<p>発音練習 3 複合母音について、発音練習、HSK1級の単語の意味を学ぶ</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習</p>	
	4	<p>発音練習 4 鼻音について、HSK1級の単語の意味を学ぶ</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習</p>	
	5	<p>発音練習 5 子音について(1)、HSK1級の単語の意味を学ぶ</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習</p>	
	6	<p>発音練習 6 子音について(2)、HSK1級の単語の意味を学ぶ</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習</p>	
	7	<p>発音練習 7 軽声について、HSK1級の単語の意味を学ぶ</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習</p>	
	8	<p>課文1(動詞と目的語の関係について) HSK2級の単語の意味を学ぶ、書き取り練習、発音練習、文法説明</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習</p>	
	9	<p>課文2(主語と述語の関係について) HSK2級の単語の意味を学ぶ、書き取り練習、発音練習、文法説明</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習</p>	
	10	<p>課文3(中心語と修飾語について) HSK2級の単語の意味を学ぶ、書き取り練習、発音練習、文法説明</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習</p>	
	11	<p>課文4(連動文について) HSK2級の単語の意味を学ぶ、書き取り練習、発音練習、文法説明</p>	

	<p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習 課文5(前置詞について) HSK2級の単語の意味を学ぶ、書き取り練習、発音練習、文法説明</p> <p>1 2</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習 課文6(疑問文について) HSK2級の単語の意味を学ぶ、書き取り練習、発音練習、文法説明</p> <p>1 3</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習 課文7(動詞と補語の関係について) HSK2級の単語の意味を学ぶ、書き取り練習、発音練習、文法説明</p> <p>1 4</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習 課文8(“(是)・・・的”構文について) HSK2級の単語の意味を学ぶ、書き取り練習、発音練習、文法説明</p> <p>1 5</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習</p>
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>評価の観点は以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 2. 一つの文を一息で発音できる。 3. HSK2級の聞き取り問題に合格(正答率6割)できる。 4. HSK2級の読解問題に合格(正答率6割)できる。 <p>評価手段・方法は、小テストと定期試験によって評価する。</p> <p>評価比率は以下の通りである。 小テスト(50%)、定期試験(50%)</p>
科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	教科書と参考書は開講時に紹介する。
履修条件	
履修上の注意	基礎となる発音を習得するため、繰り返し音読練習を行う。大きな声で発音するよう努められたい。
オフィスアワー	授業終了後その場で、或いは、研究室で受け付ける。
備考・メッセージ	今、中国語は本当に多くの人が使用しています。中国語を学ぶと、就職活動や編入学などに役立つだけでなく、みなさんの人生がより豊かになり、生涯の宝物になります。漢字や語学が苦手な方でも大丈夫です。一緒に楽しく頑張りましょう。ぜひ履修してください。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	1年	2単位	選択
担当教員			
岩崎 千恵			

講義概要	<p>日本語の多読教材や新聞、書籍を集中して読むことによって学習者の日本語能力の中でも「読む」「書く」の能力を伸ばすことができます。また、読んだ内容を学習者同士で説明することで「話す」「聞く」能力も同様に伸ばすことができます。</p> <p>1Q～2Qにおいては日本語の長文のまともになじむように短編から読み始め、4コママンガから文章を読み取ったり、自分で書くことができるようにします。</p>
授業計画	<p>Lesson 1 コース説明 「多読」とは何かの説明を受けて、学習効果について理解します。また、評価方法等を理解し、自己の目標を立てます。</p> <p>Lesson 2 多読① 10分 発音確認 30分 多読 20分 語彙・文法シート活動 20分 発表 10分 振り返り・課題確認</p> <p>Lesson 3 多読② 10分 発音確認 30分 多読 20分 語彙・文法シート活動 20分 発表 10分 振り返り・課題確認</p> <p>Lesson 4 多読③ 10分 発音確認 30分 多読 20分 語彙・文法シート活動 20分 発表 10分 振り返り・課題確認</p> <p>Lesson 5 多読④ 10分 発音確認 30分 多読 20分 語彙・文法シート活動 20分 発表 10分 振り返り・課題確認</p> <p>Lesson 6 多読⑤ 10分 発音確認 30分 多読 20分 語彙・文法シート活動 20分 発表 10分 振り返り・課題確認</p> <p>Lesson 7 多読⑥ 10分 発音確認 30分 多読 20分 語彙・文法シート活動 20分 発表 10分 振り返り・課題確認</p> <p>Lesson 8 多読⑦文章活動 10分 発音確認 30分 多読分 20分 語彙・文法シート活動 30分 地域カルタ説明 遊び</p> <p>Lesson 9 多読⑧文章活動 10分 発音確認 30分 多読分 20分 語彙・文法シート活動 30分 地域カルタ作り</p> <p>Lesson 10 10分 発音確認 30分 多読分 20分 語彙・文法シート活動 30分 地域カルタ作り</p> <p>Lesson 11 Extensive Reading and Vocabulary Building 10分 発音確認 30分 多読分 20分 語彙・文法シート活動 30分 地域カルタ作り</p> <p>Lesson 12 Extensive Reading and Vocabulary Building 10分 発音確認</p>

	<p>30分 多読分 20分 語彙・文法シート活動 30分 地域カルタ作り</p> <p>Lesson 13 Extensive Reading and Vocabulary Building</p> <p>10分 発音確認 30分 多読分 20分 語彙・文法シート活動 30分 地域カルタ作り</p> <p>Lesson 14 Extensive Reading and Vocabulary Building</p> <p>10分 発音確認 30分 多読分 20分 語彙・文法シート活動 30分 地域カルタ作り</p> <p>Lesson 15 Extensive Reading and Vocabulary Building</p> <p>10分 発音確認 30分 多読分 80分 かるた遊び</p>
授業形態	実習、講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①様々な文型を使った文章を読むことができる。 ②多くの分野の文章を読むことによって、基礎的な読む力を身につけることができる。 ③多くの分野の文章を読むことによって、基礎的な書く力を身につけることができる。 ④聴読解能力を養いながら、話したり書いたりする基礎的な表現力を身につけることができる。 ⑤興味ある話題や実体験等について、話したり書いたりする表現力をより多く身につけることができる。</p> <p>学習意欲 (20%) 記録シート (20%) 語彙・表現活動シート (30%) 発表 (10%) 課題 (20%)</p>
科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	多読テキスト (学校で準備)、日本語書籍、各自持参しても可
履修条件	意欲を持って取り組む学生
履修上の注意	欠席する場合は必ず授業が始まる前に連絡をしてください
オフィスアワー	木曜日4コマ目 (1Q)、木曜日2コマ目 (2Q) メールや電話で予約してきてください
備考・メッセージ	初めてまとまった日本語の文章を読む学生も多いと思います。 まずは簡単な日本語のまとまりを読んで、読む力を鍛えましょう！ 自信がどんどんついて、きっと読書が楽しくなりますよ！

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	1年	2単位	選択
担当教員			
中里 亜希子 (1stQ) ・内山 智子 (2ndQ)			

講義概要	受講者の日本語能力を考慮しながらさまざまな教材やプリントを用い、日本語とはどのような言語なのか（総合的な読解力（文字・語彙・文法）の向上も含めて）を講義していく。受講者の活発な質疑応答を期待する。		
授業計画	1	オリエンテーションおよび「日本語とは」 授業に関するオリエンテーション 「日本語とは」 学習課題 復習：オリエンテーションの確認 予習：「漢字」のプリントの語句の意味を調べてくる。	
	2	漢字 漢字の伝来。 漢字表記と送り仮名の考え方。 学習課題 復習：「漢字」の確認 予習：「表記」のプリントの語句の意味を調べてくる。	
	3	表記 仮名づかい 送りかな 学習課題 復習：「表記」の確認 予習：「文法1」のプリントの語句の意味を調べてくる。	
	4	文法1 文の組み立て きまった言い方が下にくる言葉 学習課題 復習：「文法1」の確認 予習：「文法2」のプリントの語句の意味を調べてくる。	
	5	文法2 動詞 文のねじれ 学習課題 復習：「文法2」の確認 予習：「文法3」のプリントの語句の意味を調べてくる。	
	6	文法3 指示語 学習課題 復習：「文法3」の確認 予習：「文法4」のプリントの語句の意味を調べてくる。	
	7	文法4 接続語 学習課題 復習：「文法4」の確認 予習：「文法5」のプリントの語句の意味を調べてくる。	
	8	文法5 助詞 助動詞 学習課題 復習：「文法5」の確認 予習：「語彙1」のプリントの語句の意味を調べてくる。	
	9	語彙1 言葉と言葉の関係 学習課題 復習：「語彙1」の確認 予習：「語彙2」のプリントの語句の意味を調べてくる。	
	10	語彙2 類義語 学習課題 復習：「語彙2」の確認 予習：「語彙3」の語句の意味を調べてくる。	
	11	語彙3 対義語 学習課題 復習：「語彙3」の確認 予習：「言葉の意味1」のプリントの語句の意味を調べてくる。	
	12	言葉の意味1 言葉の使い方 慣用句	

	<p>13</p> <p>学習課題 復習：「言葉の意味1」の確認 予習：「言葉の意味2」のプリントの語句の意味を調べてくる。</p> <p>言葉の意味2 多義語 同じ漢字をふくむ熟語の使い分け</p> <p>14</p> <p>学習課題 復習：「言葉の意味2」の確認 予習：「敬語1」のプリントの語句の意味を調べてくる。</p> <p>敬語1 敬語とは 尊敬語、謙讓語、丁寧語</p> <p>15</p> <p>学習課題 復習：「敬語1」の確認 予習：「敬語2」のプリントの語句の意味を調べてくる。</p> <p>敬語2 状況に合わせた敬語の使い分け</p> <p>学習課題 復習：「敬語2」の確認 予習：レポート作成の準備</p>
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①自国語等と比較し、日本語の「文法」の特徴をつかむことができる。</p> <p>②自国語等と比較し、日本語の「語彙」の特徴をつかむことができる。</p> <p>③自国語等と比較し、日本語の「言葉の意味」の特徴をつかむことができる。</p> <p>④自国語等と比較し、日本語の「表記」および「漢字」の特徴をつかむことができる。</p> <p>⑤自国語等と比較し、日本語の「敬語」の特徴をつかむことができる。</p> <p>平素の学習意欲（20%）を重視し、学習状況並びにレポート（50%）などにより行う。 日頃の提出物（30%）についても随時点検し、評価の対象とする。</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	<p>テキスト：なし。毎回プリントを準備する。</p> <p>参考書：授業を通して紹介する。</p>
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	火曜日4限
備考・メッセージ	・欠席の場合は、必ずメールで連絡すること（連絡法については授業開始時に指示する）。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	1年	2単位	選択
担当教員			
岩見・中里・岩崎・内山			
月曜3クラス、水木2クラス			

講義概要	「日本語能力試験1～2級」の合格力めざして、「文字・語彙・読解・文法」等のオールランドな分野の日本語力を、できるだけ早急に高めていくことを主眼とする。主体的な学習態度・活発な質疑大歓迎。
授業計画	<p>1 オリエンテーション 授業および日本の習慣など 早期に取り組みやすくするための必要事項にふれる。</p> <p>2 演習① 初級段階の日本語の習得度を確認し基礎的な内容から始める。</p> <p>3 演習② 平易な内容の教材で語彙・文法を学習。</p> <p>4 演習③ 前項目の内容に、語彙力を養成するために、小学中学年用教材から入って様子を見る。</p> <p>5 演習④ 「演習③」を補強、進展させる。「書く」力も養成する。(単語レベル)</p> <p>6 演習⑤ 前回同様の内容ながら、初歩的なつまずきを防ぐ。</p> <p>7 演習⑥ 基礎内容の充実に力を入れる。</p> <p>8 演習⑦ Term Exam に向けての復習</p> <p>9 演習⑧ 使い慣れつつある教材の持続使用とともに、新聞記事、随筆物などとり入れる。</p> <p>10 演習⑨ できれば、テーマをあたえての文を書き、発表の場を設ける。</p> <p>11 演習⑩ 平易な教材の使用と、易しい内容の読み物(新聞記事、随筆物)を扱う。</p> <p>12 演習⑪ 「演習⑩」の継続学習</p> <p>13 演習⑫ 演習⑩の継続学習</p> <p>14 演習⑬ 演習⑩の継続学習</p> <p>15 2nd Term Exam に向けての復習</p>
授業形態	選択 演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①普段の生活で、おおまかな意思疎通がとれる聴解の能力をつけることができる。</p> <p>②おおよそ必要とされる基本的漢字、カタカナ、ひらがななどで表記される内容がほぼ理解できる。</p> <p>③日本人特有の感覚を察知できる。</p> <p>④自分の言いたいことを、表現して発言できる。</p> <p>⑤日本人学生との会話が楽しむことができる。</p> <p>受講中の積極的態度を重視し、小テストおよび本試験による 定期試験(40%) ミニテスト(20%) 学習態度(20%) 課題(20%)</p>
科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：最初の授業で指示する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。

備考・メッセージ

基本的な日常会話ができるようになることを目指しましょう。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	1年	2単位	選択
担当教員			
李 載宇			

講義概要	韓国語の入門段階の学習のためハングルの組み合わせと正確な発音を学ぶ。簡単な短文を作成するための基礎文法を学習しながら、実戦会話に活用できるように練習する。
授業計画	<p>1 オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 韓国語とは何か、韓国語の特徴、勉強方法について 学習課題 復習 なし 予習 韓国語の文字、基本母音字、基本子音字について調べる</p> <p>2 韓国語の基本母音字、基本子音字 韓国語の基本母音字、基本子音字について勉強する。 教科書を使って、各文字を繰り返して書きかなら一個ずつ覚える。 学習課題 復習 韓国語の特徴、韓国語の勉強方法についてもう一度確認する 予習 韓国語の複合母音、韓国語のパッチムについて調べる</p> <p>3 韓国語の複合母音、韓国語のパッチム 韓国語の複合母音、韓国語のパッチムについて勉強する。 教科書を使って、各文字を繰り返して書きかなら一個ずつ覚える。 学習課題 復習 韓国語の基本母音字、基本子音字についてもう一度確認する 予習 韓国語の発音の変化について調べる</p> <p>4 韓国語の発音の変化 韓国語の発音の変化について勉強する。 教科書を使って、該当する各例について一個ずつ確認する。 学習課題 復習 韓国語の複合母音、韓国語のパッチムについてもう一度確認する 予習 「～は」「～です」と話す文法について調べる</p> <p>5 韓国語基礎文法・実戦会話1「私は浅井ゆかりです」 挨拶と簡単な自己紹介について勉強する。 学習課題 復習 韓国語の発音の変化についてもう一度確認する 予習 「～が」「～ですか」と話す文法について調べる</p> <p>6 韓国語基礎文法・実戦会話2「出身はソウルです」 「(～ですか?)」について勉強する。 学習課題 復習 挨拶と簡単な自己紹介についてもう一度確認する 予習 「～ではありません(か)」と話す文法について調べる</p> <p>7 韓国語基礎文法・実戦会話3「図書館ではありません」 「(～ではありません)」という否定文について勉強する。 学習課題 復習 「(～ですか?)」についてもう一度確認する 予習 「います・あります」「いません・ありません」と話す文法について調べる</p> <p>8 韓国語基礎文法・実戦会話4「時間がありますか」 「(あります・ありません)」について勉強する。 学習課題 復習 「(～ではありません)」という否定文についてもう一度確認する 予習 「～します」「～しますか」と話す文法について調べる</p> <p>9 韓国語基礎文法・実戦会話5「何をしますか」 「(します・しますか)」について勉強する。 学習課題 復習 「(あります・ありません)」についてもう一度確認する 予習 「します」「しますか」「います」「あります」「いません」「ありません」と話す文法について調べる</p> <p>10 韓国語基礎文法・実戦会話6「貿易会社で働いています」 「(します)」について勉強する。 学習課題 復習 「(します・しますか)」についてもう一度確認する 予習 「～です」「～ます」と話す文法について調べる</p> <p>11 韓国語基礎文法・実戦会話7「服を買います」 「(する)」以外の動詞、形容詞について勉強する 学習課題 復習 「(します)」についてもう一度確認する 予習 韓国語のヨ体(～です、～ます)、「～しに」と話す文法について調べる</p> <p>12 韓国語基礎文法・実戦会話8「スーパーでよく買います」 用言の「ヨ体」について勉強する。 学習課題 復習 「(する)」以外の動詞、形容詞についてもう一度確認する 予習 漢数詞について調べる</p> <p>13 韓国語基礎文法・実戦会話9「2万5千ウォンです」 漢数詞について勉強する。 学習課題 復習 用言の「ヨ体」についてもう一度確認する 予習 固有数詞と「いくつ」「何時何分」と話す文法について調べる</p> <p>14 韓国語基礎文法・実戦会話10「今、何時ですか」 固有数詞と時計の読み方について勉強する。 学習課題 復習 漢数詞についてもう一度確認する 予習 今までの学習内容をまとめる</p>

	15 全体のまとめ 学習課題 復習 授業全体で学んだ内容についてもう一度確認する 予習 なし
授業形態	教科書を中心として講義を行い、必要に応じてパワーポイントやプリント等を利用する。
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①文字と発音をしっかり学習することを目指す。 ②基本的な語彙と短文の理解、簡単な会話、基礎文法の習得を目指す。 ③会話練習や書き取り、聞き取りなどを練習する。 ④韓国の文化に対する関心・理解を高める。 ⑤同時期開催される韓国語科目と連動し、韓国語初級単語を480個以上学習する。 授業参加度（10%）、課題又はグループワーク（30%）、定期試験（60%） 基本的には定期試験を中心にし、さらに授業態度・出欠状況・レポート等を考慮して総合的に評価する。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	基礎から学ぶ韓国語講座初級/木内明 著
履修条件	
履修上の注意	予習・復習をしてくること
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	学習者の学習進度やレベルに応じて、学習計画に変更が生じることがある。 個人のレベルに応じてクラス分けを行う。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	1年	2単位	必修
担当教員			
牟田 美信 ・ 園田 靖 ・ 青木 萌			

講義概要	<p>この授業の目的となるキーワードは、「協働」「異文化理解」「コミュニケーション」「自国文化理解」「創造性」「パソコン・スマホ活用」とする。</p> <p>これからのグローバル社会では、様々な国の出身者と協働で働き、生活を共にすることがますます必要となる。いくつかのプロジェクトを通して、多様な文化を理解し、価値観の違いを知り、また自国文化に関しての理解を深める。</p> <p>グループワークを通じたプロジェクト型の授業となるため、その中でコミュニケーション力を磨き、協調性を培い、責任感を育てる。グループ全員がそれぞれの立場からそれぞれの資質を活かし、プロジェクトにコミットすることに意義があり、共に学ぶ日本人・留学生が協働して、プロジェクトに取り組み、プレゼンテーション等の作成・発表を通して、5つの到達目標達成を目指す。</p>
授業計画	<p>1 Introduction プロジェクト①-1：グループ紹介カード作成 *多国籍</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ分け→各メンバーのプロフィールも盛り込んだビデオを作成する。 (タスクの目的：異なる言語を感じてみよう！異なる文化や生活背景を持つ人と協働で仕事をすることで何を感じますか？！) (タスクの内容) *以下は、大体の指針ですが、グループでユニークなアイディアで自由に作成してください。 (自己紹介部分) 「自分の名前」、「出身地」、「好きな食べ物・嫌いな食べ物」、「NJCで頑張りたいこと！」 *留学生は日本語、日本人は、自己紹介の部分は、留学生の言葉で。 (追加部分) 「なぜxx語を勉強したいと思ったか、きっかけエピソード」 「はまっている趣味や特技」 ・留学生は、自分の言語+日本語で自己紹介 *できるだけ自然な発音になるようにトレーニングしてあげる。 ・日本人は、自分の言語+留学生の言語で自己紹介 *できるだけ自然な発音になるようにトレーニングしてあげる。 <p>2 プロジェクト①-2：グループ紹介カード作成 *多国籍</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成したグループ紹介カードを用いて、他のグループとの「自己・他己紹介」を行う。 <p>予習&復習：できるだけクラスメイトの名前を覚える。</p> <p>プロジェクト②-1 他言語フレーズ集の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ギャップ・アルバイト等で使うであろう、実用的な他言語フレーズ集をEXCELで作成する。 ・留学生言語はカタカナで表記。 ・「日本語」「英語」「グループ内の留学生言語」 例) こんにちは・Hello・ニーハオ <p>4 予習&復習：それぞれのグループで作業を進行させること</p> <p>プロジェクト②-2 他言語フレーズ集の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ギャップ・アルバイト等で使うであろう、実用的な他言語フレーズ集をEXCELで作成する。 ・留学生言語はカタカナで表記。 ・「日本語」「英語」「グループ内の留学生言語」 例) こんにちは・Hello・ニーハオ <p>5 予習&復習：それぞれのグループで作業を進行させること</p> <p>プロジェクト②-3 他言語フレーズ集の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ギャップ・アルバイト等で使うであろう、実用的な他言語フレーズ集をEXCELで作成する。 ・留学生言語はカタカナで表記。 ・「日本語」「英語」「グループ内の留学生言語」 例) こんにちは・Hello・ニーハオ <p>6 予習&復習：それぞれのグループで作業を進行させること</p> <p>プロジェクト②-4 他言語フレーズ集の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他言語フレーズ集を印刷し、データも提出する。 ・データをスクリーンに映し出し、各グループで作成時での「苦労した点」「学んだ点」など、自分たちの作品のアピールを行う。 ・次回のテーマに関して、考えて来るように頭出しする。 <p>予習&復習：特になし。</p> <p>7 プロジェクト③-1 HTB宿泊研修プレゼン準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各チームで、3分以内の異文化紹介歌、スキットなど、HTBの夜に発表。 ・例) 桃太郎の歌をミャンマー語で、私が驚いた日本での経験の寸劇、など。

	<p>8 予習&復習：それぞれのグループで作業を進行させること プロジェクト③-2 HTB宿泊研修 ・ハウステンボス園内散策 ・ハウステンボス・ローレライ宿泊研修 ・各チームで、3分以内の異文化紹介歌、スキットなど、夕食後に発表。</p> <p>9 予習&復習：なし プロジェクト④-1 異文化プレゼンテーション作成 ・異文化交流パーティーでの異文化紹介のプレゼンを準備する。 *対象は、子供達と地域の大人。 ・例えば、観光地紹介、食事、マナーなどを模造紙で作成、言語・文化紹介カルタ作成、などを作成し、当日説明を行う。 ・例えば、自分の国の子供の遊び紹介と実など。 ・国別の歌や踊りなど。</p> <p>10 予習&復習：それぞれのグループで作業を進行させること プロジェクト④-2 異文化プレゼンテーション作成 ・異文化交流パーティーでの異文化紹介のプレゼンを準備する。 *対象は、子供達と地域の大人。 ・例えば、観光地紹介、食事、マナーなどを模造紙で作成、言語・文化紹介カルタ作成、などを作成し、当日説明を行う。 ・例えば、自分の国の子供の遊び紹介と実など。 ・国別の歌や踊りなど。</p> <p>11 予習&復習：それぞれのグループで作業を進行させること プロジェクト④-3 異文化プレゼンテーション作成 ・異文化交流パーティーでの異文化紹介のプレゼンを準備する。 *対象は、子供達と地域の大人。 ・例えば、観光地紹介、食事、マナーなどを模造紙で作成、言語・文化紹介カルタ作成、などを作成し、当日説明を行う。 ・例えば、自分の国の子供の遊び紹介と実など。 ・国別の歌や踊りなど。</p> <p>12 予習&復習：それぞれのグループで作業を進行させること プロジェクト④-4 異文化プレゼンテーション作成 *リハーサルを行う。 ・異文化交流パーティーでの異文化紹介のプレゼンを準備する。 *対象は、子供達と地域の大人。 ・例えば、観光地紹介、食事、マナーなどを模造紙で作成、言語・文化紹介カルタ作成、などを作成し、当日説明を行う。 ・例えば、自分の国の子供の遊び紹介と実など。 ・国別の歌や踊りなど。</p> <p>13 予習&復習：それぞれのグループで作業を進行させること プロジェクト④-5 異文化プレゼンテーション作成 *リハーサルを行う。 ・異文化交流パーティーでの異文化紹介のプレゼンを準備する。 *対象は、子供達と地域の大人。 ・例えば、観光地紹介、食事、マナーなどを模造紙で作成、言語・文化紹介カルタ作成、などを作成し、当日説明を行う。 ・例えば、自分の国の子供の遊び紹介と実など。 ・国別の歌や踊りなど。</p> <p>14 予習&復習：それぞれのグループで作業を進行させること プロジェクト④-6 異文化交流パーティー ・異文化交流パーティーにて実演。</p> <p>15 予習&復習：良かったこと、改善点などを考えてくる。 各プロジェクトの振り返り 「異文化理解演習」での取り組みについて振り返り ・グループで感想（良かったこと、改善点など）をまとめる。 ・ルーブリック評価による自己評価 ・授業評価を実施 予習&復習：特になし。</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>① 日本人と留学生の合同授業で多様な文化や価値観の違いを知り、理解し、自分なりに受容できるようになる。 ② 異文化間交流の中で自国の文化の特性を再認識し、見直し、交流の際の助力とすることができる。 ③ グループワークを通してコミュニケーション能力・リーダーシップ・責任感・協調性を醸成することができる。 ④ プレゼン作成、発表を通し調査・まとめ・発表能力をつけることができる。 ⑤ グループのメンバー一人一人が積極的に行事に参加、プロジェクトに取り組み、必ず自らの役割を果たすことができる。</p> <p>グループワークでの成果物（パワポ、ポスターなど）、発表内容、授業や諸行事への積極的な関わりで評価します。ルーブリック評価も取り入れます。</p> <p>課題40%、授業、グループワークへの積極的な参加30%、プレゼンテーション30%</p>

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	特になし
履修条件	
履修上の注意	グループプロジェクトを実施するが、グループメンバー全員が積極的に活動に参加すること。
オフィスアワー	月曜日1限（9：10～10：40）は研究室にいます。
備考・メッセージ	母語が異なるメンバーによるプロジェクトになるため、コミュニケーションが難しい時がある。その場合、辞書などを上手に使うなど、工夫してプロジェクトを完成すること。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	1年	2単位	必修
担当教員			
中野 明人			

講義概要	<ul style="list-style-type: none"> ・国際コミュニケーション学科の学生の進路は実に多様であり、それぞれが自分自身の生き方(キャリア)を描くことで、自分自身の進路設定をすることができます。 ・しかし、そのキャリアを自分でデザインするためには、それなりに時間をかけて、自己理解や社会理解などの準備をする必要があります。 ・自己理解、社会理解を踏まえ、職業を発見するためのさまざまな取組をへて、就活そしてその後のキャリアをデザインする授業になります。
授業計画	<p>1 ガイダンス この授業がめざすもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この授業が、2年間の学びのどの位置、どの役割を果たすのかについて理解する。 ・就活事情の今について、新聞の切り抜きを見て、考える。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 <p>2 今の自分を知らう①客観的な自分のイメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己認識をする。 ・理想の自己イメージについて考える。 ・自分のパーソナリティ分析をする(ペアワーク)。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 <p>3 今の自分を知らう②私の行動特徴(エゴグラム)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エゴグラムテストで自分の行動特徴を調べる。 ・自分のセルフコントロールしたい自我について考える。 ・ジョハリ ウィンドウについて学ぶ。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 <p>4 職業選択と自己 i 自分のパーソナリティと適職の関係について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろんな職業について知る ・興味のある職業調べを行う。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 <p>5 職業選択と自己 ii 自分の生き方と職業の関係について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分にとって大切なものは何かについて考える。 ・自分と職業の関係についてまとめる。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 <p>6 キャリア選択のバリアー i 自分のバリアーの正体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分にとって大切なものは何かについて考える。 ・自分と職業の関係についてまとめる。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 <p>7 キャリア選択のバリアー ii バリアーの克服法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思い込みについて考える。 ・自分の思い込みについて修正を試みる。 ・キャリア選択におけるバリアーについて考え、自分がどうしたいかについて考えをまとめる。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 <p>8 ライフスタイルと職業選択 i 今までのライフスタイル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの自分を振り返る(ライフラインを書いてみる) ・影響のあった出来事や人物についてか書き出してみる。 ・どんな影響を受けたのかについてまとめる。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 <p>9 ライフスタイルと職業選択 ii ライフスタイルと職業生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業志向条件と勤務条件から職業について調べる ・自分なりに必要な勤務条件について考えてみる ・勤務条件と職業生活について自分の考えをまとめる。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 <p>10 キャリア計画 キャリアレインボーを作る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアレインボーを描いてみる。 ・キャリア計画と目標について、各年代ごとにまとめ、行動目標を作る ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 <p>11 仕事選択職業レディネス度 職業レディネスチェック 資格取得の意志決定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業レディネスチェックをする。 ・自分が選択した職業と資格について調べてまとめる。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 <p>12 就職の意志決定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業情報を集め、自分情報シートをまとめる ・企業情報を自分で調べてまとめる。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 <p>13 面接の備え：自己理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分情報シートについてまとめてみる。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 <p>14 前に進むために 5年後と10年後のわたし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5年後と10年後の、「ありたい姿」の私について考えをまとめる。 ・就職活動のアクションプラン 自分で計画を立てる

	15	プレゼンテーション 未来の自分をプレゼンする ・5年後と10年後の自分について発表し、聞きあい、評価する。 ・就職活動だけでなく、卒業後の自分自身の生き方を主体的に考え、デザインすることができるようになる。																				
授業形態	講義																					
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>評価の観点</th> <th>評価手段・方法</th> <th>評価比率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>関心・意欲・態度</td> <td>自分自身や職業について、広く関心を持つことができる。</td> <td>授業態度</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>思考・判断</td> <td>自らのキャリアについて、職業選択に照らし合わせて考えることができる。</td> <td>授業でのタスク</td> <td>40%(中間評価)</td> </tr> <tr> <td>技能・表現</td> <td>授業で学んだ観点を自分の言葉で表現することができる</td> <td>授業でのタスク</td> <td>40%(最終評価)</td> </tr> <tr> <td>知識・理解</td> <td>自分のキャリアについて、自分のことばで説明す</td> <td>最終プレゼン</td> <td>10%</td> </tr> </tbody> </table>		評価の観点	評価手段・方法	評価比率	関心・意欲・態度	自分自身や職業について、広く関心を持つことができる。	授業態度	10%	思考・判断	自らのキャリアについて、職業選択に照らし合わせて考えることができる。	授業でのタスク	40%(中間評価)	技能・表現	授業で学んだ観点を自分の言葉で表現することができる	授業でのタスク	40%(最終評価)	知識・理解	自分のキャリアについて、自分のことばで説明す	最終プレゼン	10%	
	評価の観点	評価手段・方法	評価比率																			
関心・意欲・態度	自分自身や職業について、広く関心を持つことができる。	授業態度	10%																			
思考・判断	自らのキャリアについて、職業選択に照らし合わせて考えることができる。	授業でのタスク	40%(中間評価)																			
技能・表現	授業で学んだ観点を自分の言葉で表現することができる	授業でのタスク	40%(最終評価)																			
知識・理解	自分のキャリアについて、自分のことばで説明す	最終プレゼン	10%																			
科目(教職課程用)																						
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等																						
教科書・参考書	テキストはありませんが、プリントを配布します。																					
履修条件																						
履修上の注意	① まずA4ファイルを用意してください。 ② 時々メモを取るのでA4のルーズリーフ用紙を用意してください。 ③ 説明をした後に、演習をプリントに行います。 ④ プリントを閉じこんでいきます																					
オフィスアワー	木曜日の放課後をオフィスアワーとして設定しています。事前に予約を取って研究室を訪問してくださると助かります。また、木曜日以外の昼休みもオフィスアワーとして利用できますので、ぜひ質問にきてください。																					
備考・メッセージ	就職活動で内定をえるのはゴールではなく、スタートラインに立つということです。よりよい人生を主体的に生きるためには、キャリアデザインがとても大切になります。計画を立てると修正もできます。早い段階でキャリアについて考えることが大事になります。																					

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	1年	2単位	選択
担当教員			
小嶋 栄子			

講義概要	日本の生活における基礎的なシチュエーションに対応できるように、初級前半の文型、語彙、文字（ひらがな・カタカナ）を学習し、日常的な場面で、場面に応じた適切なコミュニケーションができるようになる。日本語能力試験3～4級合格を目指す内容を扱う。
授業計画	<p>1 オリエンテーション 授業に関するオリエンテーション 自己紹介 学習課題 復習：オリエンテーションの確認 予習：「第1課」の語句の意味を調べてくる。</p> <p>2 第1課 平易な教材を読み進めながら、文法力を高める。 学習課題 復習：「第1課」の確認 予習：「第2課」の語句の意味を調べてくる。</p> <p>3 第2課 平易な教材を読み進めながら、さまざまな文法を理解する。 学習課題 復習：「第2課」の確認 予習：「第3課」の語句の意味を調べてくる。</p> <p>4 第3課 日本語の平易な短文を読み、その中の語句の意味と使い方を理解する。 学習課題 復習：「第3課」の確認 予習：「第4課」の語句の意味を調べてくる。</p> <p>5 第4課 日本語の平易な短文を読み、新しい文型、文構成を理解する。 学習課題 復習：「第4課」の確認 予習：「第5課」の語句の意味を調べてくる。</p> <p>6 第5課 日本語の平易な短文を読み、必要な情報を理解する。 学習課題 復習：「第5課」の確認 予習：「第6課」の語句の意味を調べてくる。</p> <p>7 第6課 日本語の平易な短文を読み、内容を理解する。 学習課題 復習：「第6課」の確認 予習：「第7課」の語句の意味を調べてくる。</p> <p>8 第7課 日本語の平易な短文を読み、論点や要旨をつかむ。 学習課題 復習：「第7課」の確認 予習：「第8課」の語句の意味を調べてくる。</p> <p>9 第8課 日本語の平易な長文を読み、その中の語句の意味と使い方を理解する。 学習課題 復習：「第8課」の確認 予習：「第9課」の語句の意味を調べてくる。</p> <p>10 第9課 日本語の平易な長文を読み、新しい文型、文構成を理解する。 学習課題 復習：「第9課」の確認 予習：「第10課」の語句の意味を調べてくる。</p> <p>11 第10課 日本語の平易な長文を読み、必要な情報を理解する。 学習課題 復習：「第10課」の確認 予習：「第11課」の語句の意味を調べてくる。</p> <p>12 第11課 日本語の平易な長文を読み、内容を理解する。 学習課題 復習：「第11課」の確認 予習：「第12課」の語句の意味を調べてくる。</p> <p>13 第12課</p>

	<p>日本語の平易な長文を読み、論点や要旨をつかむ。</p> <p>学習課題 復習：「第12課」の確認 予習：「第13課」の語句の意味を調べてくる。</p> <p>14 第13課 日本語の平易な長文を読み、論点や要旨をつかむ。</p> <p>学習課題 復習：「第13課」の確認 予習：「第14課」の語句の意味を調べてくる。</p> <p>15 第14課 日本語の平易な長文を読み、論点や要旨をつかむ。</p> <p>学習課題 復習：「第14課」の確認 予習：定期試験の準備</p>
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①日本の生活に必要な基本的会話と心得るべきマナーができるようになる</p> <p>②平易な文章を読んで、必要な情報を読み取ることができる</p> <p>③小学上級学年レベルの基礎的な漢字の習得を目的とし、努力する</p> <p>④理解した文法を、日常的な表現に生かすことができる</p> <p>⑤日常的に日本人との会話を楽しむことができるようになる</p> <p>平素の学習意欲（20%）を重視し、定期試験（50%）、小テスト（30%）などにより行う。</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	<p>テキスト：できる日本語 中級 ワークブック ことばノート</p> <p>参考書：授業を通して紹介する。</p>
履修条件	
履修上の注意	積極的な授業参加を望みます
オフィスアワー	火曜日（16：30-18：00）
備考・メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席の場合は、必ずメールで連絡すること（連絡方法については授業開始時に指示する）。 ・語学は継続的な努力が必要です。一緒に頑張りましょう！

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	1年	2単位	選択
担当教員			
梶谷 良子			
実務教員			

講義概要	<p>① サービス接遇を学ぶことで人に対する思いやり、心配り、気遣いを形として表わす方法を身につける。 ② ビジネスの場にふさわしい電話対応を身につける。 ③ 電話対応を学ぶことで、社会常識や公の場にふさわしい態度（言葉遣いや話方）を身につける。 ④ ビジネス電話実務検定、知識B級（基本）、知識A級（応用）の合格をめざす。 ⑤ サービス接遇実務検定の合格をめざす。 ⑥ 授業は講義を中心にしながら敵直演習を交えて行う。</p>
授業計画	<p>1回 オリエンテーション サービス接遇検定対策 講義のすすめ方・サービス接遇検定について</p> <p>2回 サービススタッフの資質 サービス接遇検定対策 必要される要件・従業要件</p> <p>3回 対人技能 サービス接遇検定対策 人間関係・接遇知識</p> <p>4回 対人技能 サービス接遇検定対策 接遇用語・身だしなみ</p> <p>5回 専門知識 サービス接遇検定対策 サービス知識・従業知識（商業用語・経済用語）</p> <p>6回 一般知識 サービス接遇検定対策 社会常識</p> <p>7回 実務技能 サービス接遇検定対策 問題処理（苦情や問い合わせについての対応）</p> <p>8回 サービス接遇検定 サービス接遇検定対策 最終対策問題</p> <p>9回 ビジネス電話実務検定対策 講義のすすめ方・ビジネス電話検定について</p> <p>10回 知識B級（基本）話し方の知識 ・感じのよい話の仕方 ・敬語 ・言葉の使い分け</p> <p>11回 知識B級（基本）基礎技能 ・明瞭な発音 ・分かりやすい話し方 ・落ち着いた口調の話し方</p> <p>12回 知識B級（基本）電話実務 ・相手の確認 ・用件の尋ね方・受け方 ・伝言の受け方・伝え方</p> <p>13回 知識A級（応用）話し方の知識 ・話の要約 ・敬語 ・言葉遣い</p> <p>14回 知識A級（応用）基礎技能 ・整った口調の話し方 ・端的な話し方 ・電話の特性</p> <p>15回 電話実務 ・感じよく出られる ・相手を確認できる ・用件、伝言を受けられる</p>
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>① 改まった場での日本語の書き方を習得する。 ② 改まった場での日本語の話し方を習得する。 ③ 改まった場での日本語の表現力を身につける。 ④ 実務的な文書の作成を習得する。 ⑤ 社会で必要とされるビジネスマナーの基礎を身につける。</p>

	①平素の学習意欲を重視する。(20%) ②授業中の確認テスト(30%) ③期末試験(50%) これらの結果を総合して評価する。
科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト:「サービス接遇検定実務問題集2級」 「ビジネス電話検定知識B級(基本)」 「ビジネス電話検定知識A級(応用)」 参考書:「ビジネス文書検定受験ガイド1・2級」 (財)実務技能検定協会編(早稲田教育出版)
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で質問等を受付ます
備考・メッセージ	①接客に対応した正しい言葉遣いや会社での公文書作成、校正を視野に入れた授業を行う。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	1年	1単位	選択
担当教員			
梶谷 良子			
日本人クラス	実務教員		

講義概要	心地よい人間関係を築いていくためのマナーを身に付ける 社会人として必要なビジネスマナー、日常マナーを学ぶことで相手を尊重し、敬意をもって人と接するための『気配り』『気働き』『心くばり』の自覚を促す。ホテルでの実務体験より実務業務を学ぶ。		
授業計画	1	人間関係は挨拶から 心地よい人間関係を作るには。	
	2	ホテル実務体験 ホテルステイマナー	
	3	言葉遣い 正しい敬語の遣い方	
	4	和室でのマナー 訪問とおもてなしのマナー、座布団のマナー、和室の席次	
	5	冠婚葬祭のマナー 慶弔の服装・祝儀、不祝儀袋の使い方	
	6	冠婚葬祭のマナー お参りのしかた・贈り物のマナー・お見舞いのマナー	
	7	ホテル実務体験 ホテル宴会場（ブライダル研修）	
	8	電話応対法 （Ⅰ）基礎編	
	9	電話応対法 （Ⅱ）応用編	
	10	来客応対 案内のしかた・洋室の席次	
	11	来客応対 お茶の出し方・いただき方	
	12	面接指導 （Ⅰ）ビデオ	
	13	面接指導 （Ⅱ）ロールプレイング	
	14	面接指導 （Ⅲ）ロールプレイング	
	15	実技 模擬面接（ロールプレイング）	
授業形態	講義		
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①良い人間関係を築くための基本マナーを身につける ②正しい敬語の遣い方を身につける ③和のマナーを習得する ④電話応対を習得する ⑤来客応対の基本を習得する ⑥ホテルでの実務体験 実技、筆記試験、授業態度にて評価する。 実技（20%）・筆記試験（80%）		
科目（教職課程用）			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等			
教科書・参考書	テキスト：「センスアップ マナーアップテキスト」 ソシアル淳心 サービス接遇検定2級問題集		
履修条件			
履修上の注意			
オフィスアワー	授業の前後で対応します。		

備考・メッセージ	原則としてビジネスマナーに相応しい身だしなみ（制服又はスーツ）、髪型をきちんと整えて授業に出席すること。（スリッパ不可）
----------	--

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	1年	1単位	必修
担当教員			
国際コミュニケーション学科教員			

講義概要	<p>長崎短期大学に隣接する「相浦」「黒島」「高島」「三ヶ町商店街」をフィールドとし、「地域を知るプロジェクト」を実施する。私たちが住む街をまず調査し、正しい情報を集め、地域が課題とする問題を明らかにする。</p> <p>このプロジェクトに取り組むことにより、情報収集能力、プレゼンテーション能力を高めることはもちろんのこと、様々な世代や職業の人と接することによりコミュニケーション力を高める。</p>		
授業計画	1	<p>授業内容の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Awesome Saseboの趣旨・目的の説明」、「学修成果記録ノート記入」、活動用シャツ作成 ・ワーク準備：グループ分け、相浦・三ヶ町商店街（黒島・高島）について下調べ、Evernote活用方法に関して <p>予習&復習：フィールドワークがスムーズにできるように内容を理解する。</p>	
	2	<p>グループ分け等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Awesome Saseboの趣旨・目的の説明」、「学修成果記録ノート記入」、活動用シャツ作成 ・ワーク準備：グループ分け、相浦・三ヶ町商店街（黒島・高島）について下調べ、Evernote活用方法に関して <p>予習&復習：フィールドワークがスムーズにできるように内容を理解する。</p>	
	3	<p>フィールドワーク準備（情報収集）</p> <p>黒島フィールドワーク準備：リサーチ項目の確認、持参品などの確認、小中学校での交流準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Awesome Saseboの趣旨・目的の説明」、「学修成果記録ノート記入」、活動用シャツ作成 ・ワーク準備：グループ分け、相浦・三ヶ町商店街（黒島・高島）について下調べ、Evernote活用方法に関して <p>予習&復習：フィールドワークがスムーズにできるように内容を理解する。</p>	
	4	<p>フィールドワーク準備（情報収集）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Awesome Saseboの趣旨・目的の説明」、「学修成果記録ノート記入」、活動用シャツ作成 ・ワーク準備：グループ分け、相浦・三ヶ町商店街（黒島・高島）について下調べ、Evernote活用方法に関して <p>予習&復習：フィールドワークがスムーズにできるように内容を理解する。</p>	
	5	<p>フィールドワーク実施①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「フィールドワーク」の実施 *相浦・三ヶ町商店街（黒島・高島） <p>予習&復習：実施前情報収集と事後のデータのまとめ</p>	
	6	<p>フィールドワーク①のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施したフィールドワークの内容をPPTにまとめる。 <p>予習&復習：実施前情報収集と事後のデータのまとめ</p>	
	7	<p>フィールドワーク①のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施したフィールドワークの内容をPPTにまとめる。 <p>予習&復習：実施前情報収集と事後のデータのまとめ</p>	
	8	<p>フィールドワーク①のプレゼンリハーサル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施したフィールドワークのプレゼンリハーサルを行う。 <p>予習&復習：本番前の最終調整を行う。</p>	
	9	<p>フィールドワーク①の発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィールドワークの内容（気づき、課題、提案）を発表する。 <p>予習&復習：第3者にわかりやすくプレゼンを準備する。</p>	
	10	<p>フィールドワーク実施②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「フィールドワーク」の実施 *相浦・三ヶ町商店街（黒島・高島） <p>予習&復習：実施前情報収集と事後のデータのまとめ</p>	
	11	<p>フィールドワーク②のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施したフィールドワークの内容をPPTにまとめる。 <p>予習&復習：実施前情報収集と事後のデータのまとめ</p>	
	12	<p>フィールドワーク②のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施したフィールドワークの内容をPPTにまとめる。 <p>予習&復習：実施前情報収集と事後のデータのまとめ</p>	
	13	<p>フィールドワーク②のプレゼンリハーサル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施したフィールドワークのプレゼンリハーサルを行う。 	

	14	予習&復習：本番前の最終調整を行う。 フィールドワーク②の発表 ・フィールドワークの内容（気づき、課題、提案）を発表する。
	15	予習&復習：第3者にわかりやすくプレゼンを準備する。 フィールドワーク①②を元に、2年時のプランを考える ・フィールドワーク終了後の2年次の計画を考える。
	16	予習&復習：2年次の本格的な地域活動のイメージを持つ。 評価・振り返り 「学修成果記録ノート記入」
授業形態	演習	
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>「準備ターム」課題発見力（情報収集）：大学生として、また社会人として、正しく情報を収集し、適切な分析を行う力を養うことができる。同時に、獲得した情報をもとに、地域での活動を行う際の課題を発見する力を養うことができる。</p> <p>①様々な取り組みにおいて、正しく情報を収集し、分析することができる。 ②地域活動における課題を発見することができる。 ③地域を知る活動の内容を効果的にプレゼンテーションすることができる。 ④地域の人たちを含めていろいろな人とコミュニケーションができるようになる。 ⑤先輩より留学やインターンシップなどの情報を得て、自分の成長につなげることができる。</p> <p>グループ活動への取り組みに対して総合的に評価する。</p> <p>フィールドワーク感想レポート（30%）最終プレゼンテーションのルーブリック評価（70%）</p>	
科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等		
教科書・参考書	授業中に指示	
履修条件		
履修上の注意	コミュニケーションが特に重要な科目です。普段から、いろいろな人とコミュニケーションをとるように心がけてください。	
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00） *その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可	
備考・メッセージ	グループワークは、メンバー同士のコミュニケーションが非常に重要となります。「ほう（報告）れん（連絡）そう（相談）」を頻繁に行い、グループプロジェクトを完成させてください。	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	1年	2単位	必修
担当教員			
国際コミュニケーション学科教員			

講義概要	<p>1st Quarter：ギャップイヤーに自分が取り組む「留学」「インターンシップ」「サービ斯拉ーニング」に関して、「目的」「目標」を含む綿密な「ギャップイヤー計画表」を作成する。教員、外部講師、2年生から様々な情報を得て、ギャップイヤーに取り組む計画をしっかりと立てる上で、大学生として、正しく情報を収集し、適切な分析を行う力を養うことができるようにする。</p> <p>2nd Quarter：1st Quarterに作成した計画に従って、以下のカテゴリー別に詳細な準備を行う。準備を行う上で、自分の考え、一つの可能性、一つのものの見方にとらわれず、色々な角度から事を考え、他人の意見に耳を傾け、十分に見直しをおこなう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中期（3か月）留学： 渡航手続き、留学・ホームステイアプリケーション作成、異文化理解、ホームシック対応等 ・インターンシップ： インターンシップ先の情報収集、履歴書作成、面接準備、ビジネスマナー等 ・サービ斯拉ーニング： 実施施設の決定、内容の確認、対応マナー等 ・短期（約2週間）留学： 渡航先の決定、渡航手続き、渡航先でのプレゼン準備、異文化理解、ホームシック対応
授業計画	<p>1 留学説明①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・留学説明1（短期研修、3ヶ月留学）＆「3ヶ月留学」への資料配布・希望者の確認 ・2年生による「留学」PPTプレゼン、又は、ポスタープレゼンQ&A <p>予習&復習：留学の概要を理解する。</p> <p>2 インターンシップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ説明 ・2年生による「インターンシップ」、「サービ斯拉ーニング」PPTプレゼン、又はポスタープレゼンQ&A <p>予習&復習：インターンシップの概要を理解する。</p> <p>3 留学説明②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・留学説明2（NZ有給インターンシップ）外部講師（ジーナ&パートナーズ） ・留学説明3（ワーキングホリデー）外部講師（ワーホリ協会） <p>予習&復習：長期留学の概要を理解する。</p> <p>4 ギャップイヤー準備・計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「3ヶ月留学組」「インターンシップ組」を分けて説明・準備 ・履歴書作成、志望動機作成、面接準備、インターンシップ心得、留学、書類作成、留学準備、海外渡航における心得（危機管理） ＊インターンシップ組は外部講師（フレッシュワーク・就職課）によるアドヴァイス：働く心構え、履歴書・志望動機作成、面接の指導 <p>予習&復習：履歴書、留学書類を準備する。</p> <p>5 ギャップイヤー準備・計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「3ヶ月留学組」「インターンシップ組」を分けて説明・準備 ・履歴書作成、志望動機作成、面接準備、インターンシップ心得、留学、書類作成、留学準備、海外渡航における心得（危機管理） ＊インターンシップ組は外部講師（フレッシュワーク・就職課）によるアドヴァイス：働く心構え、履歴書・志望動機作成、面接の指導 <p>予習&復習：履歴書、留学書類を準備する。</p> <p>6 ギャップイヤー準備・計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「3ヶ月留学組」「インターンシップ組」を分けて説明・準備 ・履歴書作成、志望動機作成、面接準備、インターンシップ心得、留学、書類作成、留学準備、海外渡航における心得（危機管理） ＊インターンシップ組は外部講師（フレッシュワーク・就職課）によるアドヴァイス：働く心構え、履歴書・志望動機作成、面接の指導 <p>予習&復習：履歴書、留学書類を準備する。</p> <p>7 ギャップイヤー準備・計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「3ヶ月留学組」「インターンシップ組」を分けて説明・準備 ・履歴書作成、志望動機作成、面接準備、インターンシップ心得、留学、書類作成、留学準備、海外渡航における心得（危機管理） ＊インターンシップ組は外部講師（フレッシュワーク・就職課）によるアドヴァイス：働く心構え、履歴書・志望動機作成、面接の指導 <p>予習&復習：履歴書、留学書類を準備する。</p> <p>8 職業理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「医療事務講座」の説明（ニチイ） ・「エアライン講座」の説明（就職課、エアライン担当者）

	9	予習&復習：医療事務、エアラインの仕事を理解する。 インターンシップ（職業）服装指導 ・リクルートスーツドレスコード説明（紳士服の青山）
	10	予習&復習：インターンシップ時、就職活動時の適切な服装を理解する。 仕事における声の出し方トレーニング ・正しい声出し、話し方トレーニング（卒業生MC高尾先生）
	11	予習&復習：インターンシップ時、就職活動時の適切な声かけ、声の出し方を理解する。 サービス業界の語学 ・サービス業関連の英語・中国語・韓国語フレーズを学ぶ ・留学関連の英語・中国語・韓国語フレーズを学ぶ
	12	予習&復習：簡単なフレーズをスラスラ言えるようになるまで練習する。 サービス業のマナートレーニング ・「サービス業のビジネスマナー（特に挨拶等）」「職場でのコミュニケーションスキル（雑談・スモールトーク）」の練習を行う。
	13	予習&復習：正しいビジネスマナーを実践できるようにする。 日誌・ブログの目的と記入方法 ・「日誌・ブログ等」の記入方法の説明と練習（良い例・悪い例を示しながら日誌の書き方を指導） ・留学・インターンシップ必要事項フォームに回答（別紙参照）
	14	予習&復習：正しい文書作成を理解する。 計画と決意表明の作成 ・ギャップイヤー活動の「計画と決意表明（目標5項目）」の作成と発表練習
	15	予習&復習：じっくり考え、自分の考えを正確に伝える準備をする。 計画と決意表明の発表、評価 ・ギャップイヤー活動の「計画と決意表明（目標5項目）」の発表1
	16	予習&復習：じっくり考え、自分の考えを正確に伝える準備をする。 計画と決意表明の発表、評価 ・ギャップイヤー活動の「計画と決意表明（目標5項目）」の発表2（学生半分） ・「ギャップイヤー実施計画書」の提出 予習&復習：じっくり考え、自分の考えを正確に伝える準備をする。
授業形態		講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率		①ギャップイヤーの活動の目的を正しく理解できる。 ②ギャップイヤーの活動に必要な適切で十分な情報を得ることができる。 ③ギャップイヤーの活動の際のリスクに関しても正しく分析できる。 ④ギャップイヤーの活動計画を立てることができる。 ⑤ギャップイヤーの活動に関する評価システム（活動後に、自らの学びの確認と改善、さらなる学びのために）を理解し、運用できる。 各自作成する「ギャップイヤーの計画表」の内容を評価します。 「ギャップイヤー計画表作成（100%）」
科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等		
教科書・参考書		特になし
履修条件		原則、「海外文化事情（留学）」「インターンシップ」「実践Awesome Sasebo! サービスラーニング」を履修する場合は本講義と「ギャップイヤー事後指導」を履修すること。
履修上の注意		ギャップタームでの経験は、これからの職業や進路選択に重要な時期になるので、真剣に取り組むこと。
オフィスアワー		木曜日（14:50-18:00） *その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ		必要な知識・技術を吸収し、十分な準備をしてギャップイヤーに臨んでください。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ	1年	2単位	選択
担当教員			
牟田 美信			
少人数クラス			

講義概要	目安として (G1) 英検2級以上レベル、(G2) 2級レベル、(G3) 準2級レベルに分け、それぞれ上のクラスに移動することを目標に、卒業時には全員が英検2級以上を取得できるレベルに上げることを目標とする。テキストはVocabulary, Idioms Grammar, Composition, Reading, Listeningを含む英語総合問題集を使用する。かなりのスピードを必要とするので、十分の予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。3人の教員で、レベル別に授業を行う。		
授業計画	1	In Your Free Time いろいろな数値① 基本5文型 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。	
	2	Communication Skills いろいろな数値② 文の種類 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。	
	3	World Languages and Cultures 発音しづらい語句 基本文型 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。	
	4	Healthy Body, Healthy Mind 固有名詞 (人名・地名など) 進行形 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。	
	5	Careers Nowadays 簡単な挨拶文 完了形 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。	
	6	Fashion Trend 提案文、勧誘文 助動詞① (can/may/must/should) 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。	
	7	Planning a Trip Abroad 依頼文 助動詞② (could/might/would) 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。	
	8	Are You into Sports? Yes/No 疑問文 受動態 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。	
	9	Parties Are a Lot of Fun! wh疑問文 不定詞 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。	
	10	Art in Our Life 否定・付加疑問文 動名詞 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。	
	11	What Shall We Eat?	

	<p>カジュアルな表現 分詞</p> <p>12 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。 What Makes a Good Company? フォーマルな表現 比較</p> <p>13 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。 Advances in Science 意味のかたまり (チャンク) 関係代名詞</p> <p>14 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。 Life with Technology 主張や理由を導くキーワード 話法</p> <p>15 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。 Eco-Friendly Life 名詞から話題をイメージする 特殊構文 (強調・倒置・同格)</p> <p>16 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。 総合評価</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>このタームの終了時の目標として、G1は、TOEIC(CASEC) 700点、G2は、TOEIC(CASEC) 500点、G3は、TOEIC(CASEC) 400点を目指します。</p> <p>特に、上記の目標達成のために、以下の5項目で各レベルまでの達成を目指します。</p> <p>① Vocabulary、Idiom：語彙やイディオムを増やす。 ② Grammar：苦手とする文法を理解する。 ③ Composition：基本的な英作文ができるようにする。 ④ Reading：英文読解の精度とスピードをあげる。 ⑤ Listening：正確に英語を聞き取れるようになる。</p> <p>授業への取り組み・姿勢、予習・復習の状況、筆記試験で総合的に評価する。</p> <p>筆記試験 (80%)、授業態度及び授業中に課す課題 (20%)</p>
科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	(レベルに合わせたクラス分け後に) 授業中に指示します。参考) Target! - Elementary 金星堂
履修条件	
履修上の注意	授業に参加するにあたり、予習復習を必ずしておくこと。
オフィスアワー	木曜日 (14:50-18:00) *その他、空きコマ (研究室ドアに掲示) も可
備考・メッセージ	資格取得を意識した短期集中型の授業なので進度も早い、個人個人で予習復習を十分にして積極的に取り組むこと。

講義科目名称：英語検定 I

授業コード：42152

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ	1年	2単位	選択
担当教員			
内山 智子			

講義概要	
授業計画	
授業形態	
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	
備考・メッセージ	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ	1年	2単位	選択
担当教員			
園田 靖			

講義概要	<p>目安として (G1) 英検2級以上レベル、(G2) 2級レベル、(G3) 準2級レベルに分け、それぞれ上のクラスに移動することを目標に、卒業時には全員が英検2級以上を取得できるレベルに上げることを目標とする。テキストはVocabulary, Idioms Grammar, Composition, Reading, Listeningを含む英語総合問題集を使用する。かなりのスピードを必要とするので、十分の予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。3人の教員で、レベル別に授業を行う。</p>
授業計画	<p>1. 初回オリエンテーション 実用英語技能検定の概要説明 導入・サンプル問題演習</p> <p>※ハンドアウト配布</p> <p>2. 問題演習：一問一答形式(1) 実際の出題形式を模した問題演習を行う。 必要な語彙力を養いつつ、出題傾向の把握や問題形式への慣れを図る。</p> <p>時間の余裕があれば、適宜リスニング練習も行う。</p> <p>※進捗状況に応じてハンドアウトを配布</p> <p>3. 問題演習：一問一答形式(2) 前回に引き続き問題演習を行う。 単語だけでなくイディオムを問うタイプの問題や、品詞の見分け方の基本などを身に着ける。</p> <p>時間の余裕があれば、適宜リスニング練習も行う。</p> <p>※進捗状況に応じてハンドアウトを配布</p> <p>4. 問題演習：一問一答形式(3) & 会話文(1) 問題演習を行う。 会話でよく用いられる表現についてや、応答の基本を学ぶ。</p> <p>時間の余裕があれば、適宜リスニング練習も行う。</p> <p>※進捗状況に応じてハンドアウトを配布</p> <p>5. 問題演習：会話文(2) 問題演習を行う。 文脈に応じた適切な受け答えや、文法知識を生かした空欄補充などを練習する。</p> <p>時間の余裕があれば、適宜リスニング練習も行う。</p> <p>※進捗状況に応じてハンドアウトを配布</p> <p>6. 問題演習：空欄補充(1) 文法知識と読解で、文脈に応じた表現を選べるよう練習する。 2パラグラフ程度の英文を読むことに慣れる。</p> <p>時間の余裕があれば、適宜リスニング練習も行う。</p> <p>※進捗状況に応じてハンドアウトを配布</p> <p>7. 問題演習：空欄補充(2) 前置詞を用いた慣用表現、動名詞や不定詞の使い分け等に注意しつつ、 3パラグラフ程度の英文の文脈を読んで正答を選べるよう練習する。</p> <p>時間の余裕があれば、適宜リスニング練習も行う。</p> <p>※進捗状況に応じてハンドアウトを配布</p> <p>8. 問題演習：長文読解(1) 必ず出題されるEメール形式の問題について演習する。 どこに注目して読むべきか、よく用いられる表現など、 文法・語彙力以外の点でも対策を行う。</p> <p>時間の余裕があれば、適宜リスニング練習も行う。</p> <p>※進捗状況に応じてハンドアウトを配布</p> <p>9. 問題演習：長文読解(2) 4パラグラフ程度の比較的長さのある文章に慣れ、抵抗をなくす。 パラグラフ構造とはそもそも何かを知り、 全体を一読して大まかな情報を読み取る力をつける。</p> <p>時間の余裕があれば、適宜リスニング練習も行う。</p>

	<p>10. ※進捗状況に応じてハンドアウトを配布 問題演習：長文読解(3) 内容理解問題について学ぶ。 疑問詞の働きや疑問文の構造について復習しつつ、 正しい答えを選べるようになるよう練習する。</p> <p>時間の余裕があれば、適宜リスニング練習も行う。</p> <p>※進捗状況に応じてハンドアウトを配布</p> <p>11. ライティング(1) パラグラフ構造についての復習、およびパラグラフ・ライティングについての知識を得る。 検定試験特有のパターンを知り解答作成に活かせるようにする。 自身の意見を端的に、平易な表現で書く練習をする。</p> <p>時間の余裕があれば、適宜リスニング練習も行う。</p> <p>※進捗状況に応じてハンドアウトを配布</p> <p>12. ライティング(2) 自身の意見を補強するための理由を書く練習をする。 実際の検定の際にも使いやすい表現、組み立てやすい文章構造について学ぶ。</p> <p>時間の余裕があれば、適宜リスニング練習も行う。</p> <p>※進捗状況に応じてハンドアウトを配布</p> <p>13. ライティング(3) 設問の条件を満たした英文を最初から最後まで通して書く練習をする。 意見と各理由を述べる際のつなぎ言葉、エッセイを書く際の便利な決まり文句について学ぶ。</p> <p>時間の余裕があれば、適宜リスニング練習も行う。</p> <p>※進捗状況に応じてハンドアウトを配布</p> <p>14. リスニング問題演習(1) 実際の問題形式に従ったリスニング問題の演習を行う。 音声聞き取る際、注意しておくべきポイントについて学ぶ。</p> <p>※進捗状況に応じてハンドアウトを配布</p> <p>15. リスニング問題演習(2)&面接について リスニングの問題演習を引き続き行うのと並行して、 二次試験の面接の概略を説明する。 その中で行われる音読の練習、 意見を問われるタイプの問題についての考え方などを学ぶ。</p> <p>※進捗状況に応じてハンドアウトを配布</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	筆記試験（期末）：70% 通常授業時の取り組み・課題提出状況：30% 授業中の問題演習の一部を課題として随時回収し、必要に応じて解説する。 ※主に理解度の確認が目的であり、この課題の正答率の高さが成績に直結するわけではありません。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	授業の中で適宜ハンドアウトを配布する。
履修条件	
履修上の注意	水曜1限（09:10～10:40） ほか、空きコマでも随時対応。
オフィスアワー	
備考・メッセージ	1Q終了後、ほとんど間を置かずに年度初回の英検が実施されます。ぜひ受検してみましょう！

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ	1年	2単位	選択
担当教員			
青木 萌			

講義概要	本授業では、就職活動や編入学に大きく役立つ中国語の検定試験HSK(漢語水平考試)の模擬問題を用いて中国語を学習し、HSK1級の合格を目指す。主として、中国語の簡単な単語とフレーズを理解し、使用することができるようにする。授業の前半では、模擬問題を解き、その後、答え合わせを行う。そして、問題の中で読み方や日本語の意味が分からなかった単語を黒板に書いて、学習する。授業の後半においては、書き取りの練習や発音練習を行う。		
授業計画	1	オリエンテーション、模擬問題1 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	2	模擬問題2 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	3	模擬問題3 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	4	模擬問題4 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	5	模擬問題5 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	6	模擬問題6 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	7	模擬問題7 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	8	模擬問題8 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	9	模擬問題9 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	10	模擬問題10 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	11	模擬問題11 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習	

	<p>学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 模擬問題12 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 模擬問題13 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 模擬問題14 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 模擬問題15 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する</p>
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>評価の観点は以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 2. 一つの文を一息で発音できる。 3. HSK1級の聞き取り問題に合格(正答率6割)できる。 4. HSK1級の読解問題に合格(正答率6割)できる。 <p>評価手段・方法は、小テストと定期試験によって評価する。</p> <p>評価比率は以下の通りである。 小テスト(50%)、定期試験(50%)</p>
科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	教科書と参考書は開講時に紹介する。
履修条件	
履修上の注意	毎回、模擬問題の解答や解答理由を求めらるので、予習と復習を欠かさず行うこと。
オフィスアワー	授業終了後にその場で、或は、研究室で受け付ける。
備考・メッセージ	HSKの資格を持っていると、就職活動や編入学の際にとっても有利になります。HSKで高得点を取るコツを教えます。 また、中国語の実践的な運用能力も向上させることができるので、ぜひ履修して下さい。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ	1年	2単位	選択
担当教員			
井上 麗奈			

講義概要	本授業では、就職活動や編入学に大きく役立つ中国語の検定試験HSK(漢語水平考試)の模擬問題を用いて中国語を学習し、HSK1級の合格を目指す。主として、中国語の簡単な単語とフレーズを理解し、使用することができるようにする。授業の前半では、模擬問題を解き、その後、答え合わせを行う。そして、問題の中で読み方や日本語の意味が分からなかった単語を黒板に書いて、学習する。授業の後半においては、書き取りの練習や発音練習を行う。		
授業計画	1	オリエンテーション、模擬問題1 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	2	模擬問題2 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	3	模擬問題3 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	4	模擬問題4 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	5	模擬問題5 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	6	模擬問題6 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	7	模擬問題7 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	8	模擬問題8 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	9	模擬問題9 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	10	模擬問題10 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	11	模擬問題11 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習	

	<p>学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 模擬問題12 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 模擬問題13 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 模擬問題14 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 模擬問題15 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する</p>
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>評価の観点は以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 2. 一つの文を一息で発音できる。 3. HSK1級の聞き取り問題に合格(正答率6割)できる。 4. HSK1級の読解問題に合格(正答率6割)できる。 <p>評価手段・方法は、小テストと定期試験によって評価する。</p> <p>評価比率は以下の通りである。 小テスト(50%)、定期試験(50%)</p>
科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	教科書と参考書は開講時に紹介する。
履修条件	
履修上の注意	毎回、模擬問題の解答や解答理由を求めらるので、予習と復習を欠かさず行うこと。
オフィスアワー	授業終了後にその場で、或は、研究室で受け付ける。
備考・メッセージ	HSKの資格を持っていると、就職活動や編入学の際にとっても有利になります。HSKで高得点を取るコツを教えます。 また、中国語の実践的な運用能力も向上させることができるので、ぜひ履修して下さい。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ	1年	2単位	選択
担当教員			
キャロライン キム			

講義概要	韓国語能力試験(TOPIK)は大韓民国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語試験である。韓国語(ハンゲル)の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示するとともに、韓国語の普及や試験結果の学習・留学・就職等への活用などを目的に、世界70カ国以上で一斉に実施されている。本授業は「TOPIK I」を取得するために必要である文法・聞き取り・読解などを学習した上で模擬試験を行い、本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにする。
授業計画	<p>1 オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKIの特徴、勉強方法について 学習課題 復習 なし 予習 韓国語能力試験(TOPIK)聞き取りについて調べておく</p> <p>2 TOPIK(聞き取り1) TOPIKの聞き取り概要、問題類型分析、問題解説 学習課題 復習 TOPIK概要、勉強方法についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)読解について調べておく</p> <p>3 TOPIK(読解1) TOPIKの読解概要、問題類型分析、問題解説 学習課題 復習 TOPIKの聞き取り概要、問題類型についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)聞き取り既出問題について調べておく</p> <p>4 TOPIK(聞き取り2) TOPIKの聞き取り既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの読解概要、問題類型についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)聞き取り既出問題について調べておく</p> <p>5 TOPIK(聞き取り3) TOPIKの聞き取り既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの聞き取り既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)聞き取り既出問題について調べておく</p> <p>6 TOPIK(聞き取り4) TOPIKの聞き取り既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの聞き取り既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)聞き取りの模擬テストを準備する</p> <p>7 TOPIK(聞き取り5) TOPIKの聞き取り模擬テスト 学習課題 復習 TOPIKの聞き取り既出問題についてもう一度確認する 予習 模擬テストで間違った問題について調べておく</p> <p>8 TOPIK(聞き取り6) TOPIKの聞き取り模擬テスト解説 学習課題 復習 模擬テストで間違った問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)読解既出問題について調べておく</p> <p>9 TOPIK(読解2) TOPIKの読解既出問題分析 学習課題 復習 模擬テストで間違った問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)読解既出問題について調べておく</p> <p>10 TOPIK(読解3) TOPIKの読解既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの読解既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)読解既出問題について調べておく</p> <p>11 TOPIK(読解4) TOPIKの読解既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの読解既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)読解の模擬テストを準備する</p> <p>12 TOPIK(読解5) TOPIKの読解模擬テスト 学習課題 復習 TOPIKの読解既出問題についてもう一度確認する 予習 模擬テストで間違った問題について調べておく</p> <p>13 TOPIK(読解6) TOPIKの読解模擬テスト解説 学習課題 復習 模擬テストで間違った問題についてもう一度確認する 予習 聞き取り・読解両方の模擬テストで間違った問題について調べておく</p> <p>14 TOPIK(聞き取り7、読解7) TOPIK聞き取り、読解模擬テスト解説、質疑応答 学習課題 復習 模擬テストで間違った問題についてもう一度確認する 予習 今までの学習内容をまとめる</p> <p>15 全体まとめ 学習課題 復習 韓国語能力試験(TOPIK)のという試験についてもう一度確認する</p>

予習 なし	
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>授業参加態度 (10%)、課題又はグループワーク (30%)、定期試験 (60%)</p> <p>到達目標</p> <p>①韓国語能力試験 (TOPIK) Iの合格基準、格科目の細部内容、問題の構成などについて把握できる。</p> <p>②韓国語能力試験 (TOPIK) Iの「読解」問題にある程度対応できる。</p> <p>③韓国語能力試験 (TOPIK) Iの「聞き取り」問題にある程度対応できる。</p> <p>④韓国語能力試験 (TOPIK) Iのレベルに合わせた単語をある程度覚えることができる。</p> <p>⑤同時期開催される韓国語科目と連動し、韓国語初級単語を800個以上学習し、TOPIK I 級合格を目指す。</p>
科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	<p>各授業で配布</p> <p>参考書：「韓国語能力試験TOPIK I 完全対策」など</p>
履修条件	
履修上の注意	予習・復習をしてくること
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	学習者の学習進度やレベルに応じて、学習計画に変更が生じることがある。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ	1年	2単位	選択
担当教員			
李 載宇			

講義概要	韓国語能力試験(TOPIK)は大韓民国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語試験である。韓国語(ハングル)の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示するとともに、韓国語の普及や試験結果の学習・留学・就職等への活用などを目的に、世界70カ国以上で一斉に実施されている。本授業は「TOPIK I」を取得するために必要である文法・聞き取り・読解などを学習した上で模擬試験を行い、本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにする。		
授業計画	1	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIK Iの特徴、勉強方法について 学習課題 復習 なし 予習 韓国語敬語の形について調べる	
	2	韓国語基礎文法・実戦会話1「日本語を話されますか」 韓国語敬語の形について、敬語の特集例について勉強する。 学習課題 復習 TOPIK概要、勉強方法についてもう一度確認する 予習 動詞や形容詞の否定文について調べる	
	3	韓国語基礎文法・実戦会話2「バスは行きません」 動詞や形容詞の否定文について勉強する。 学習課題 復習 韓国語敬語の形、敬語の特集例についてもう一度確認する 予習 韓国語過去形について調べる	
	4	韓国語基礎文法・実戦会話3「いつ韓国に来ましたか」 韓国語過去形について勉強する。 学習課題 復習 動詞や形容詞の否定文についてもう一度確認する 予習 文法「～しましょう」について調べる	
	5	韓国語基礎文法・実戦会話4「一緒にお昼を食べましょう」 文法「～しましょう」について勉強する。 学習課題 復習 韓国語過去形についてもう一度確認する 予習 文法「～している」について調べる	
	6	韓国語基礎文法・実戦会話5「パーティーの準備をしています」 文法「～している」について勉強する。 学習課題 復習 文法「～しましょう」についてもう一度確認する 予習 TOPIKの聞き取り既出問題について調べる	
	7	TOPIK(聞き取り1) TOPIKの聞き取り既出問題分析 学習課題 復習 文法「～している」についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)聞き取り既出問題について調べておく	
	8	TOPIK(聞き取り2) TOPIKの聞き取り既出問題分析 学習課題 復習 韓国語能力試験(TOPIK)聞き取り既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)聞き取り既出問題について調べておく	
	9	TOPIK(聞き取り3) TOPIKの聞き取り既出問題分析 学習課題 復習 韓国語能力試験(TOPIK)聞き取り既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)読解既出問題について調べておく	
	10	TOPIK(読解1) TOPIKの読解既出問題分析 学習課題 復習 韓国語能力試験(TOPIK)聞き取り既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)読解既出問題について調べておく	
	11	TOPIK(読解2) TOPIKの読解既出問題分析 学習課題 復習 韓国語能力試験(TOPIK)読解既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)読解既出問題について調べておく	
	12	TOPIK(読解3) TOPIKの読解既出問題分析 学習課題 復習 韓国語能力試験(TOPIK)読解既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)聞き取り、読解既出問題について調べておく	
	13	TOPIK(聞き取り4、読解4) TOPIKの聞き取り、読解既出問題分析 学習課題 復習 韓国語能力試験(TOPIK)読解既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)聞き取り、読解既出問題について調べておく	
	14	TOPIK(聞き取り5、読解5) TOPIKの聞き取り、読解既出問題分析 学習課題 復習 韓国語能力試験(TOPIK)聞き取り、読解既出問題についてもう一度確認する 予習 今までの学習内容をまとめる	
	15	全体まとめ 学習課題 復習 韓国語能力試験(TOPIK)のという試験についてもう一度確認する	

予習 なし	
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	授業参加態度 (10%)、課題又はグループワーク (30%)、定期試験 (60%) 到達目標 ①韓国語能力試験 (TOPIK) Iの合格基準、格科目の細部内容、問題の構成などについて把握できる。 ②韓国語能力試験 (TOPIK) Iの「読解」問題にある程度対応できる。 ③韓国語能力試験 (TOPIK) Iの「聞き取り」問題にある程度対応できる。 ④韓国語能力試験 (TOPIK) Iのレベルに合わせた単語をある程度覚えることができる。 ⑤同時期開催される韓国語科目と連動し、韓国語初級単語を480個以上学習する。
科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	基礎から学ぶ韓国語講座初級/木内明 著 参考書:「韓国語能力試験TOPIK I 完全対策」など
履修条件	
履修上の注意	予習・復習をしてくること
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	学習者の学習進度やレベルに応じて、学習計画に変更が生じることがある。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ	1年	2単位	選択
担当教員			
山本 みづほ			

講義概要	模擬試験形式を含めながら、日本語能力の各分野（文字・語彙・文法・読解・聴解）の総合的な力を身に付けていく。		
授業計画	1	オリエンテーション 授業に関するオリエンテーション 学習課題 予習： 次回の授業の問題に目を通しておく。 復習： 勉強した内容を理解しなおす。	
	2	日本語能力試験 日本語能力試験 文字・語彙・文法 1 学習課題 予習： 次回の授業の問題に目を通しておく。 復習： 勉強した内容を理解しなおす。	
	3	日本語能力試験 日本語能力試験 聴解 1 学習課題 予習： 次回の授業の問題に目を通しておく。 復習： 勉強した内容を理解しなおす。	
	4	日本語能力試験 日本語能力試験 文字・語彙・文法 2 学習課題 予習： 次回の授業の問題に目を通しておく。 復習： 勉強した内容を理解しなおす。	
	5	日本語能力試験 日本語能力試験 読解 1 学習課題 予習： 次回の授業の問題に目を通しておく。 復習： 勉強した内容を理解しなおす。	
	6	日本語能力試験 日本語能力試験 文字・語彙・文法 3 学習課題 予習： 次回の授業の問題に目を通しておく。 復習： 勉強した内容を理解しなおす。	
	7	日本語能力試験 日本語能力試験 聴解 2 学習課題 予習： 次回の授業の問題に目を通しておく。 復習： 勉強した内容を理解しなおす。	
	8	日本語能力試験 日本語能力試験 文字・語彙・文法 4 学習課題 予習： 次回の授業の問題に目を通しておく。 復習： 勉強した内容を理解しなおす。	
	9	日本語能力試験 日本語能力試験 読解 2 学習課題 予習： 次回の授業の問題に目を通しておく。 復習： 勉強した内容を理解しなおす。	
	10	日本語能力試験 日本語能力試験 文字・語彙・文法 5 学習課題 予習： 次回の授業の問題に目を通しておく。 復習： 勉強した内容を理解しなおす。	
	11	日本語能力試験 日本語能力試験 聴解 3 学習課題 予習： 次回の授業の問題に目を通しておく。 復習： 勉強した内容を理解しなおす。	
	12	日本語能力試験 日本語能力試験 文字・語彙・文法 6 学習課題 予習： 次回の授業の問題に目を通しておく。 復習： 勉強した内容を理解しなおす。	
	13	日本語能力試験 日本語能力試験 読解 3 学習課題 予習： 次回の授業の問題に目を通しておく。 復習： 勉強した内容を理解しなおす。	
	14	模擬試験 模擬試験 1 学習課題 予習： 次回の授業の問題に目を通しておく。 復習： 勉強した内容を理解しなおす。	
	15	模擬試験 模擬試験 2 学習課題 予習： 次回の授業の問題に目を通しておく。 復習： 勉強した内容を理解しなおす。	
授業形態	演習		

評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①日本語能力試験N2・N3の「文字・語彙」問題に対応できる ②日本語能力試験N2・N3の「文法」問題に対応できる ①日本語能力試験N2・N3の「読解」問題に対応できる ①日本語能力試験N2・N3の「聴解」問題に対応できる ①日本語能力試験N3を取得する力を身に付けることを目標に、自己の能力を把握し、各分野の能力を総合的に向上させる</p> <p>平素の学習意欲（30%）を重視し、小テスト、課題（20%）および定期試験（50%）により行う。</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	<p>テキスト：最初の授業で指示する。 参考書：授業を通して紹介する。</p>
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	<p>本授業は、日本語能力検定N2、N3の過去問題を中心に授業を行います。 検定試験合格には、授業の中だけではなく、日々コツコツと努力することが求められますが、必ず自分の力になります。 一緒に日本語運用能力を高めていきましょう。</p>

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ	1年	2単位	選択
担当教員			
福元 美和子			

講義概要	模擬試験形式を含めながら、日本語能力の各分野（文字・語彙・文法・読解・聴解）の総合的な力を身に付けていく。		
授業計画	1	オリエンテーション 授業に関するオリエンテーション 学習課題 予習： 次回の授業の問題に目を通しておく。 復習： 勉強した内容を理解しなおす。	
	2	日本語能力試験 日本語能力試験 文字・語彙・文法1 学習課題 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。 復習：勉強した内容を理解しなおす。	
	3	日本語能力試験 日本語能力試験 聴解1 学習課題 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。 復習：勉強した内容を理解しなおす。	
	4	日本語能力試験 日本語能力試験 文字・語彙・文法2 学習課題 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。 復習：勉強した内容を理解しなおす。	
	5	日本語能力試験 日本語能力試験 読解1 学習課題 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。 復習：勉強した内容を理解しなおす。	
	6	日本語能力試験 日本語能力試験 文字・語彙・文法3 学習課題 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。 復習：勉強した内容を理解しなおす。	
	7	日本語能力試験 日本語能力試験 聴解2 学習課題 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。 復習：勉強した内容を理解しなおす。	
	8	日本語能力試験 日本語能力試験 文字・語彙・文法4 学習課題 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。 復習：勉強した内容を理解しなおす。	
	9	日本語能力試験 日本語能力試験 読解2 学習課題 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。 復習：勉強した内容を理解しなおす。	
	10	日本語能力試験 日本語能力試験 文字・語彙・文法5 学習課題 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。 復習：勉強した内容を理解しなおす。	
	11	日本語能力試験 日本語能力試験 聴解3 学習課題 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。 復習：勉強した内容を理解しなおす。	
	12	日本語能力試験 日本語能力試験 文字・語彙・文法6 学習課題 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。 復習：勉強した内容を理解しなおす。	
	13	日本語能力試験 日本語能力試験 読解3 学習課題 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。 復習：勉強した内容を理解しなおす。	
	14	模擬試験 模擬試験1 学習課題 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。 復習：勉強した内容を理解しなおす。	
	15	模擬試験 模擬試験2 学習課題 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。 復習：勉強した内容を理解しなおす。	
授業形態	演習		

評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①日本語能力試験N2・N3の「文字・語彙」問題に対応できる ②日本語能力試験N2・N3の「文法」問題に対応できる ①日本語能力試験N2・N3の「読解」問題に対応できる ①日本語能力試験N2・N3の「聴解」問題に対応できる ①日本語能力試験N3を取得する力を身に付けることを目標に、自己の能力を把握し、各分野の能力を総合的に向上させる</p> <p>平素の学習意欲（30％）を重視し、小テスト、課題（20％）および定期試験（50％）により行う。</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	<p>テキスト：最初の授業で指示する。 参考書：授業を通して紹介する。</p>
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	<p>本授業は、日本語能力検定N2、N3の過去問題を中心に授業を行います。 検定試験合格には、授業の中だけではなく、日々コツコツと努力することが求められますが、必ず自分の力になります。 一緒に日本語運用能力を高めていきましょう。</p>

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ	1年	2単位	選択
担当教員			
岩崎 千恵			

講義概要	基礎的な日本語文法を使って、実用的な文章を作成することができる。 また、パソコンを使って文章を入力し、自分で添削ができるようになる。		
授業計画	1	<p>コース説明 日本語ライティング&文法のコース説明および評価方法を理解する 教科書所持確認 文体の確認、文章の書き方</p>	
	2	<p>→教員から提供される語彙を勉強 自分の身の回りのことについて書こう① 自己紹介文を詳細に書く→友人との協働作業→教員へメールで添付提出 次に今、住んでいる家の間取りを絵で描く 【間取りクイズ】 隣の人の間取りを聞いて、想像して絵を描く</p>	
	3	<p>自分の身の回りのことについて書こう② コラムを読んで書き写す 読解</p>	
	4	<p>→教員から提供される語彙を勉強 自分の身の回りのことについて書こう③ 学校以外の活動について書く（アルバイト、クラブ活動など）→友人との協働作業→教員へメールで添付提出</p>	
	5	<p>自分の身の回りのことについて書こう④ コラムを読んで書き写す 読解</p>	
	6	<p>→教員から提供される語彙を勉強 ①比較するものについて書こう① 学生本人と友人、家族誰かに関して比較して書く→友人との協働作業→教員へメールで添付提出</p>	
	7	<p>比較するものについて書こう② コラムを読んで書き写す 読解</p>	
	8	<p>→教員から提供される語彙を勉強 比較するものについて書こう③ 母国と日本に関して比較して書く→友人との協働作業→教員へメールで添付提出</p>	
	9	<p>比較するものについて書こう④ コラムを読んで書き写す 読解</p>	
	10	<p>→教員から提供される語彙を勉強 抽象的な事柄に関して書こう① 健康とは何だろう→友人との協働作業→教員へメールで添付提出</p>	
	11	<p>→教員から提供される語彙を勉強 抽象的な事柄に関して書こう② コラムを読んで書き写す 読解</p>	
	12	<p>→教員から提供される語彙を勉強 具体的な計画について書こう① これから1年間の学びについて具体的な計画書を作成 週間計画 →友人との協働作業→教員へメールで添付提出</p>	
	13	<p>具体的な計画について書こう② 12で作成した内容に関する発表 報告書の作成方法を学ぶ</p>	
	14	<p>先週の行動に関して報告書を作成する→友人との協働作業→教員へメールで添付提出 SNSでの日本語を書こう 友人との連絡に今やSNSは有用なコミュニケーションツールであるため SNSでの日本語入力や日本語表現についても学ぶ</p>	
	15	<p>ライティング&文法まとめ 今学期の内容まとめ</p>	
	16	<p>試験 定期試験実施</p>	

授業形態	演習、講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①教科書に出てくる文章を自分に置き換えて身の回りのことに関して表現することができる。 ②教科書に出てくる文章を自分に置き換えて抽象的な事象に関して表現することができる。 ③自国の民話等を日本語訳できるようになる。 ④自分で作った日本語の文章を手書きの身だけでなく、パソコン入力ができるようになる。 ⑤SNSを利用して、自己表現ができるようになる。</p> <p>学習意欲 (20%) 語彙・表現活動シート (30%) 課題 (30%) 民話訳 (20%)</p>
科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	「できる日本語」初中級、ことばノート初中級
履修条件	多読授業を受講していること
履修上の注意	欠席する場合は必ず授業が始まる前に連絡をしてください
オフィスアワー	木曜日 4 コマ目 (1Q)
備考・メッセージ	これから日本で学習する上で、また発表の機会がある場合に必要な日本語表現力を高める授業です。積極的に参加してください。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	1年	2単位	選択
担当教員			
張 逸芝			

講義概要	本授業は以下の二点について学ぶ。ひとつは、中国語の発音方法、および、ピンイン（中国語式ローマ字）を学ぶ。その中でも、四声（第一声、第二声、第三声、第四声）と軽声の発音方法を、教員と一対一で何度も練習する。いまひとつは、初歩の中国語の文法と基本語彙を学習し、それらによって形成される中国語の文を正確に発音し、同時に、的確な日本語に翻訳できるようにする。また、中国語の検定試験であるHSKの2級の合格を目指す。		
授業計画	1	オリエンテーション、発音練習 1 単母音について、発音練習、HSK1級の単語の意味を学ぶ 学習課題 復習:授業で指定した箇所の音読練習	
	2	発音練習 2 声調について、発音練習、HSK1級の単語の意味を学ぶ 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習	
	3	発音練習 3 複合母音について、発音練習、HSK1級の単語の意味を学ぶ 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習	
	4	発音練習 4 鼻音について、HSK1級の単語の意味を学ぶ 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習	
	5	発音練習 5 子音について(1)、HSK1級の単語の意味を学ぶ 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習	
	6	発音練習 6 子音について(2)、HSK1級の単語の意味を学ぶ 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習	
	7	発音練習 7 軽声について、HSK1級の単語の意味を学ぶ 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習	
	8	課文1(動詞と目的語の関係について) HSK2級の単語の意味を学ぶ、書き取り練習、発音練習、文法説明 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習	
	9	課文2(主語と述語の関係について) HSK2級の単語の意味を学ぶ、書き取り練習、発音練習、文法説明 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習	
	10	課文3(中心語と修飾語について) HSK2級の単語の意味を学ぶ、書き取り練習、発音練習、文法説明 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習	
	11	課文4(連動文について) HSK2級の単語の意味を学ぶ、書き取り練習、発音練習、文法説明	

	<p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習 課文5(前置詞について) HSK2級の単語の意味を学ぶ、書き取り練習、発音練習、文法説明</p> <p>1 2</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習 課文6(疑問文について) HSK2級の単語の意味を学ぶ、書き取り練習、発音練習、文法説明</p> <p>1 3</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習 課文7(動詞と補語の関係について) HSK2級の単語の意味を学ぶ、書き取り練習、発音練習、文法説明</p> <p>1 4</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習 課文8(“(是)・・・的”構文について) HSK2級の単語の意味を学ぶ、書き取り練習、発音練習、文法説明</p> <p>1 5</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で指定した箇所の音読練習</p>
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>評価の観点は以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 2. 一つの文を一息で発音できる。 3. HSK2級の聞き取り問題に合格(正答率6割)できる。 4. HSK2級の読解問題に合格(正答率6割)できる。 <p>評価手段・方法は、小テストと定期試験によって評価する。</p> <p>評価比率は以下の通りである。 小テスト(50%)、定期試験(50%)</p>
科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	教科書と参考書は開講時に紹介する。
履修条件	
履修上の注意	基礎となる発音を習得するため、繰り返し音読練習を行う。大きな声で発音するよう努められたい。
オフィスアワー	授業終了後その場で、或いは、研究室で受け付ける。
備考・メッセージ	今、中国語は本当に多くの人が使用しています。中国語を学ぶと、就職活動や編入学などに役立つだけでなく、みなさんの人生がより豊かになり、生涯の宝物になります。漢字や語学が苦手な方でも大丈夫です。一緒に楽しく頑張りましょう。ぜひ履修してください。

講義科目名称：日本語ライティング & グラマー I 中級

授業コード：21153

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ	1年	2単位	選択
担当教員			
中里 亜希子			

講義概要	
授業計画	
授業形態	
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	
備考・メッセージ	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4thQ	1年	2単位	選択
担当教員			
福元 美和子			

講義概要	一口にビジネス文書といっても、さまざまな手段、形式、用途がある。本授業では、毎時間一つのテーマに焦点をあて、基本的な文書形式・必要な日本語(敬語の使い分け)の習得を目指す。また独自の言い回し等を掴むために、ビジネス場面を想定したロールプレイも行ってもらおう。受講者には、日頃から、日本の社会では場面ごとにどのような日本語が使われているか興味を持ってもらいたい。その上で時折ディスカッションの時間も設けたい。
授業計画	<p>1 オリエンテーション 予習：敬語を確認する。</p> <p>2 敬語の確認 【ロールプレイ】ビジネス場面における自己紹介他己紹介 日本語の丁寧語・尊敬語・謙譲語を確認する。 復習：授業で配布されたプリントを確認。 予習：次回のプリントを確認し、漢字や語彙を調べる。</p> <p>3 仕事の日本語についてのディスカッション ・アルバイトをしているときどのような日本語を使っているのか。 ・コンビニやファーストフードショップやチェーン店ではどのような日本語が使われているのか。 ・不思議だと思う日本語について</p> <p>4 履歴書の書き方 ・履歴書のルール ・実際に履歴書を書く ・【ロールプレイ】社内・社外での自己紹介(1) 復習：授業で配布されたプリントを確認。 予習：次回のプリントを確認し、漢字や語彙を調べる。</p> <p>5 封筒やハガキの書き方 ・【ロールプレイ】社内・社外での自己紹介(2) 復習：授業で配布されたプリントを確認。 予習：次回のプリントを確認し、漢字や語彙を調べる。</p> <p>6 ビジネスメール1 ・メール機能に関する日本語の基本用語 【ロールプレイ】社内・社外での挨拶 ・入社時・退社時 ・久しぶりに会ったときの挨拶 復習：授業で配布されたプリントを確認。 予習：次回のプリントを確認し、漢字や語彙を調べる。</p> <p>7 ビジネスメール2 ・メール機能に関する日本語の基本用語 ・書き方の基本と文例 【ロールプレイ】社内：欠勤・残業の日本語 社外：訪問客を迎える際の日本語 復習：授業で配布されたプリントを確認。 予習：次回のプリントを確認し、漢字や語彙を調べる。</p> <p>8 ビジネスメール3 ・メール機能に関する日本語の基本用語 ・書き方の基本と文例 【ロールプレイ】社内・社外：許可をもらう日本語 ・意向を尋ねて許可を求める ・可能性を尋ねて許可を求める 復習：授業で配布されたプリントを確認。 予習：次回のプリントを確認し、漢字や語彙を調べる。</p> <p>9 これまでの確認 復習：授業で配布されたプリントを確認。 予習：次回のプリントを確認し、漢字や語彙を調べる。</p> <p>10 ビジネスメール4 ・メール機能に関する日本語の基本用語 ・書き方の用例を読み解く ・実際にビジネスメールを書いてみる 【ロールプレイ】社内：許可をもらう際の日本語 休暇願い、物の貸し借り 社外：訪問のお願い 復習：授業で配布されたプリントを確認。 予習：次回のプリントを確認し、漢字や語彙を調べる。</p> <p>11 BJT(ビジネス日本語能力テスト)の短文読解問題を読み解く1 【ロールプレイ】社内・社外：依頼する際の日本語 ・依頼を受ける、断る</p>

	<p>・上司に頼む、他</p> <p>12 復習：授業で配布されたプリントを確認。 予習：次回のプリントを確認し、漢字や語彙を調べる。 BJT（ビジネス日本語能力テスト）の短文読解問題を読み解く 2 【ロールプレイ】社内・社外：誘いの際の日本語 ・誘いを受ける、断る、勧める</p> <p>13 復習：授業で配布されたプリントを確認。 予習：次回のプリントを確認し、漢字や語彙を調べる。 BJT（ビジネス日本語能力テスト）の短文読解問題を読み解く 3 【ロールプレイ】社内・社外：電話での日本語 ・電話を取り次ぐ、伝言を頼む、伝言を申し出る、伝言を伝える</p> <p>14 復習：授業で配布されたプリントを確認。 予習：次回のプリントを確認し、漢字や語彙を調べる。 BJT（ビジネス日本語能力テスト）の短文読解問題を読み解く 4 【ロールプレイ】社内・社外アポイント際の日本語 ・アポイントの入れ方、申し入れ、日時の設定、ほか</p> <p>15 復習：授業で配布されたプリントを確認。 予習：次回のプリントを確認し、漢字や語彙を調べる。 BJT（ビジネス日本語能力テスト）の短文読解問題を読み解く 5 【ロールプレイ】社内・社外：提案・申し出の際の日本語 ・提案を受ける、断る、申し出る、他</p> <p>●本授業の総まとめ 復習：授業で配布されたプリントを確認し、漢字や語彙を調べる。</p>
授業形態	演習（一部講義）
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①日本のビジネス文書の基本ルールや種類を理解する。 ②ビジネス文書を読解できるようになる。 ③ビジネスや改まった場で適切な話し言葉があることを理解する。 ④ビジネスや改まった場にふさわしい会話表現ができるようになる。</p> <p>①定期試験（50%） ②発表・提出物（20%） ③学習意欲・出席（50%）</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	<p>プリントを配布する。 参考書：『にほんご敬語トレーニング』（アクセス出版）他</p>
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	1年	1単位	選択
担当教員			
梶谷 良子			
留学生クラス			

講義概要	日本のビジネスマナーの基礎を学ぶ。日本の『おもてなしの心』を学ぶ事で相手を尊重し、敬意をもって人と接するための「気配り」「気働き」「心くばり」の自覚を促す。 国際社会で、また日本社会でのグローバルな人間関係を築いていける力をつける。
授業計画	<p>1 オリエンテーション 授業のすすめ方について、内容について</p> <p>2 人間関係は挨拶から 好感もてる日本の挨拶のしかた</p> <p>3 日本の「おもてなし」について 日本の「おもてなしの心」とは。</p> <p>4 美しい立ち居振る舞い 好感もてる笑顔の演出</p> <p>5 言葉遣い 正しい敬語の遣い方</p> <p>6 言葉遣い ロールプレイング（接客用語）</p> <p>7 面接指導 面接での立ち居振る舞い</p> <p>8 面接指導 ロールプレイング</p> <p>9 電話応対 （Ⅰ）基礎編</p> <p>10 電話応対 （Ⅱ）応用編</p> <p>11 電話応対 （Ⅲ）応用編</p> <p>12 来客応対 身だしなみ・対応</p> <p>13 来客応対 案内のしかた・洋室の席次</p> <p>14 来客応対 日本の名刺交換</p> <p>15 実技 好感もてる挨拶・立ち居振る舞い（ロールプレイング）</p>
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①良い人間関係を築くための基本マナーを理解する</p> <p>②日本の『おもてなしの心』とは何かを学ぶ</p> <p>③正しい敬語の遣い方を身につける</p> <p>④ビジネスでの電話応対を習得する</p> <p>⑤来客応対の基本を習得する</p> <p>実技、筆記試験、授業態度にて評価する。 実技（20%）・筆記試験（80%）</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：プリント『センスアップ マナーテキスト』 ソシアル淳心 参考書：配布
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	原則としてビジネスマナーに相応しい身だしなみ（制服又はスーツ）、髪型をきちんと整えて授業に出席する

こと。(スリッパ不可)

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4thQ	1年	2単位	必修
担当教員			
梶谷 良子			

講義概要	<ul style="list-style-type: none"> ・国際コミュニケーション学科の学生の進路は実に多様であり、それぞれが自分自身の生き方(キャリア)を描くことで、自分自身の進路設定をすることができます。 ・しかし、そのキャリアを自分でデザインするためには、それなりに時間をかけて、自己理解や社会理解などの準備をする必要があります。 ・自己理解、社会理解を踏まえ、職業を発見するためのさまざまな取組をへて、就活そしてその後のキャリアをデザインする授業になります。
授業計画	<p>1 ガイダンス この授業がめざすもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この授業が、2年間の学びのどの位置、どの役割を果たすのかについて理解する。 ・就活事情の今について、新聞の切り抜きを見て、考える。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 <p>2 今の自分を知ろう①客観的な自分のイメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己認識をする。 ・理想の自己イメージについて考える。 ・自分のパーソナリティ分析をする(ペアワーク)。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 <p>3 今の自分を知ろう②私の行動特徴(エゴグラム)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エゴグラムテストで自分の行動特徴を調べる。 ・自分のセルフコントロールしたい自我について考える。 ・ジョハリ ウィンドウについて学ぶ。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 <p>4 職業選択と自己 i 自分のパーソナリティと適職の関係について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろんな職業について知る ・興味のある職業調べを行う。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 <p>5 職業選択と自己 ii 自分の生き方と職業の関係について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分にとって大切なものは何かについて考える。 ・自分と職業の関係についてまとめる。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 <p>6 キャリア選択のバリアー i 自分のバリアーの正体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分にとって大切なものは何かについて考える。 ・自分と職業の関係についてまとめる。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 <p>7 キャリア選択のバリアー ii バリアーの克服法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思い込みについて考える。 ・自分の思い込みについて修正を試みる。 ・キャリア選択におけるバリアーについて考え、自分がどうしたいかについて考えをまとめる。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 <p>8 ライフスタイルと職業選択 i 今までのライフスタイル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの自分を振り返る(ライフラインを書いてみる) ・影響のあった出来事や人物についてか書き出してみる。 ・どんな影響を受けたのかについてまとめる。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 <p>9 ライフスタイルと職業選択 ii ライフスタイルと職業生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業志向条件と勤務条件から職業について調べる ・自分なりに必要な勤務条件について考えてみる ・勤務条件と職業生活について自分の考えをまとめる。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 <p>10 キャリア計画 キャリアレインボーを作る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアレインボーを描いてみる。 ・キャリア計画と目標について、各年代ごとにまとめ、行動目標を作る ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 <p>11 仕事選択職業レディネス度 職業レディネスチェック 資格取得の意志決定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業レディネスチェックをする。 ・自分が選択した職業と資格について調べてまとめる。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 <p>12 就職の意志決定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業情報を集め、自分情報シートをまとめる ・企業情報を自分で調べてまとめる。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 <p>13 面接の備え：自己理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分情報シートについてまとめてみる。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。 <p>14 前に進むために 5年後と10年後のわたし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5年後と10年後の、「ありたい姿」の私について考えをまとめる。 ・就職活動のアクションプラン 自分で計画を立てる

	15 プレゼンテーション 未来の自分をプレゼンする ・5年後と10年後の自分について発表し、聞きあい、評価する。 ・就職活動だけでなく、卒業後の自分自身の生き方を主体的に考え、デザインすることができるようになる。
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①自分自身について知ることができる。 ②職業について理解し、選択できるようになる。 ③自分自身の考え方のバリア(限界)を知り、克服することができる。 ④就活を計画し、実行することができる。 ⑤キャリア計画を立てることができる。
科目(教職課程用)	①毎回配布するプリントの内容を評価する。それぞれのプリントが適切に記入されていることを評価の内容とする。 ②授業内容を振り返るコミュニケーションシートにその日の学ぶや気づきについて記入し、その内容を評価する。 ③最終回に実施する「5年後の自分、10年後の自分」についてのプレゼンを実施し、評価する。
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	①14回×5点満点 ②コミュニケーションシートの記入 15回×1点 ③プレゼンの評価 1回×15点
教科書・参考書	テキストはありませんが、プリントを配布します。
履修条件	
履修上の注意	① まずA4ファイルを用意してください。 ② 時々メモを取るのでA4のルーズリーフ用紙を用意してください。 ③ 説明をした後に、演習をプリントに行います。 ④ プリントを閉じこんでいきます
オフィスアワー	木曜日の放課後をオフィスアワーとして設定しています。事前に予約を取って研究室を訪問して下さると助かります。 また、木曜日以外の昼休みもオフィスアワーとして利用できますので、ぜひ質問にきてください。
備考・メッセージ	就職活動で内定をえるのはゴールではなく、スタートラインに立つということです。よりよい人生を主体的に生きるためには、キャリアデザインがとても大切になります。計画を立てると修正もできます。早い段階でキャリアについて考えることが大事になります。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	1年	2単位	必修
担当教員			
中里 亜希子 ・ 岩崎 千恵			

講義概要	<p>この授業の目的となるキーワードは、「協働」「異文化理解」「コミュニケーション」「自国文化理解」「創造性」「パソコン・スマホ活用」とする。</p> <p>これからのグローバル社会では、様々な国の出身者と協働で働き、生活を共にすることがますます必要となる。いくつかのプロジェクトを通して、多様な文化を理解し、価値観の違いを知り、また自国文化に関する理解を深める。</p> <p>グループワークを通したプロジェクト型の授業となるため、その中でコミュニケーション力を磨き、協調性を培い、責任感を育てる。グループ全員がそれぞれの立場からそれぞれの資質を活かし、プロジェクトにコミットすることに意義があり、共に学ぶ日本人・留学生が協働して、プロジェクトに取り組み、プレゼンテーション等の作成・発表を通して、5つの到達目標達成を目指す。</p>
授業計画	<p>1 Introduction プロジェクト①-1：グループ紹介カード作成 *多国籍 (4/13)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ分け→グループ名決定→グループメンバー紹介カード(名刺)作成 *日本・中国・台湾・韓国・ベトナム・ミャンマー→ ・画用紙1枚に、グループ写真を貼り、各メンバーのプロフィールを(ユニークに)色などを使い自由に書込み作成する。 <p>予習&復習：自己紹介ができるように口頭練習を行う。</p> <p>2 プロジェクト①-2：グループ紹介カード作成 *多国籍 (4/20)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成したグループ紹介カードを用いて、他のグループとの「自己・他己紹介」を行う。 <p>予習&復習：できるだけクラスメイトの名前を覚える。</p> <p>プロジェクト②-1 他言語フレーズ集の作成 (4/27)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ギャップ・アルバイト等で使うであろう、実用的な他言語フレーズ集をEXCELで作成する。 ・留学生言語はカタカナで表記。 ・「日本語」「英語」「グループ内の留学生言語」 例) こんにちは・Hello・ニーハオ <p>予習&復習：それぞれのグループで作業を進行させること</p> <p>4 プロジェクト②-2 他言語フレーズ集の作成 (5/11)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ギャップ・アルバイト等で使うであろう、実用的な他言語フレーズ集をEXCELで作成する。 ・留学生言語はカタカナで表記。 ・「日本語」「英語」「グループ内の留学生言語」 例) こんにちは・Hello・ニーハオ <p>予習&復習：それぞれのグループで作業を進行させること</p> <p>5 プロジェクト②-3 他言語フレーズ集の作成 (5/18)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ギャップ・アルバイト等で使うであろう、実用的な他言語フレーズ集をEXCELで作成する。 ・留学生言語はカタカナで表記。 ・「日本語」「英語」「グループ内の留学生言語」 例) こんにちは・Hello・ニーハオ <p>予習&復習：それぞれのグループで作業を進行させること</p> <p>6 プロジェクト②-4 他言語フレーズ集の作成 (5/25)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他言語フレーズ集を印刷し、データも提出する。 ・データをスクリーンに映し出し、各グループで作成時での「苦労した点」「学んだ点」など、自分たちの作品のアピールを行う。 ・次回のテーマに関して、考えて来るように頭出しする。 <p>予習&復習：特になし。</p> <p>7 プロジェクト③-1 HTB宿泊研修プレゼン準備 (6/1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各チームで、3分以内の異文化紹介歌、スキットなど、HTBの夜に発表。 ・例) 桃太郎の歌をミャンマー語で、私が驚いた日本での経験の寸劇、など。 <p>予習&復習：それぞれのグループで作業を進行させること</p> <p>8 プロジェクト③-2 HTB宿泊研修 (6/11&6/12)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハウステンボス園内散策 ・ハウステンボス・ローレライ宿泊研修 ・各チームで、3分以内の異文化紹介歌、スキットなど、夕食後に発表。 <p>予習&復習：なし</p>

	<p>9 プロジェクト④-1 異文化プレゼンテーション作成 (6/19)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異文化交流パーティーでの異文化紹介のプレゼンを準備する。 *対象は、子供達と地域の大人。 ・例えば、観光地紹介、食事、マナーなどを模造紙で作成、言語・文化紹介カルタ作成、などを作成し、当日説明を行う。 ・例えば、自分の国の子供の遊び紹介と実など。 ・国別の歌や踊りなど。 <p>10 予習&復習：それぞれのグループで作業を進行させること プロジェクト④-2 異文化プレゼンテーション作成 (6/26)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異文化交流パーティーでの異文化紹介のプレゼンを準備する。 *対象は、子供達と地域の大人。 ・例えば、観光地紹介、食事、マナーなどを模造紙で作成、言語・文化紹介カルタ作成、などを作成し、当日説明を行う。 ・例えば、自分の国の子供の遊び紹介と実など。 ・国別の歌や踊りなど。 <p>11 予習&復習：それぞれのグループで作業を進行させること プロジェクト④-3 異文化プレゼンテーション作成 (7/3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異文化交流パーティーでの異文化紹介のプレゼンを準備する。 *対象は、子供達と地域の大人。 ・例えば、観光地紹介、食事、マナーなどを模造紙で作成、言語・文化紹介カルタ作成、などを作成し、当日説明を行う。 ・例えば、自分の国の子供の遊び紹介と実など。 ・国別の歌や踊りなど。 <p>12 予習&復習：それぞれのグループで作業を進行させること プロジェクト④-4 異文化プレゼンテーション作成 (7/10) *シミュレーションを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異文化交流パーティーでの異文化紹介のプレゼンを準備する。 *対象は、子供達と地域の大人。 ・例えば、観光地紹介、食事、マナーなどを模造紙で作成、言語・文化紹介カルタ作成、などを作成し、当日説明を行う。 ・例えば、自分の国の子供の遊び紹介と実など。 ・国別の歌や踊りなど。 <p>13 予習&復習：それぞれのグループで作業を進行させること プロジェクト④-5 異文化プレゼンテーション作成 (7/17) *シミュレーションを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異文化交流パーティーでの異文化紹介のプレゼンを準備する。 *対象は、子供達と地域の大人。 ・例えば、観光地紹介、食事、マナーなどを模造紙で作成、言語・文化紹介カルタ作成、などを作成し、当日説明を行う。 ・例えば、自分の国の子供の遊び紹介と実など。 ・国別の歌や踊りなど。 <p>14 予習&復習：それぞれのグループで作業を進行させること プロジェクト④-6 異文化交流パーティー (7/21)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異文化交流パーティーにて実演。 <p>15 予習&復習：良かったこと、改善点などを考えてくる。 各プロジェクトの振り返り (7/24) 「異文化理解演習」での取り組みについて振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで感想（良かったこと、改善点など）をまとめる。 ・ルーブリック評価による自己評価 ・授業評価を実施 <p>予習&復習：特になし。</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>① 日本人と留学生の合同授業で多様な文化や価値観の違いを知り、理解し、自分なりに受容できるようになる。</p> <p>② 異文化間交流の中で自国の文化の特性を再認識し、見直し、交流の際の助力とすることができる。</p> <p>③ グループワークを通してコミュニケーション能力・リーダーシップ・責任感・協調性を醸成することができる。</p> <p>④ プレゼン作成、発表を通し調査・まとめ・発表能力をつけることができる。</p> <p>⑤ グループのメンバー一人一人が積極的に行事に参加、プロジェクトに取り組み、必ず自らの役割を果たすことができる。</p> <p>グループワークでの成果物（パワポ、ポスターなど）、発表内容、授業や諸行事への積極的な関わりで評価します。ルーブリック評価も取り入れます。</p> <p>課題40%、授業、グループワークへの積極的な参加30%、プレゼンテーション30%</p> <p>備考) 宿泊研修、土曜日実施イベント参加で、6/8、7/31は授業は実施しない。</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	特になし

履修条件	
履修上の注意	グループプロジェクトを実施するが、グループメンバー全員が積極的に活動に参加すること。
オフィスアワー	火曜日 5 限。
備考・メッセージ	母語が異なるメンバーによるプロジェクトになるため、コミュニケーションが難しい時がある。その場合、辞書などを上手に使うなど、工夫してプロジェクトを完成すること。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
2ndQ	1年	2単位	選択
担当教員			
松井 英治			
実務教員			

講義概要	①基本的なホテル業務内容を学ぶ。 ②日本に於けるホテル業の歴史を学ぶ。 ③今後のインターンシップ等に活かせる事を学ぶ。		
授業計画	1	オリエンテーション 担当教員のビジネスマンとしてのホテル業への関わりについて 復習：実践した体験を振り返り、ノートにまとめておく	
	2	オリエンテーション 基本的なホテルの仕事と構造について 予習：次回の実践に関してHPで調べたり、友人と話し合ったりしておく 復習：実践した体験を振り返り、ノートにまとめておく	
	3	ホテルでの実務体験 ホテルオークラのサービスについて 予習：次回の実践に関してHPで調べたり、友人と話し合ったりしておく 復習：実践した体験を振り返り、ノートにまとめておく	
	4	ホテルでの実務体験 ホテルのベットメイキング体験および館内見学 予習：次回の実践に関してHPで調べたり、友人と話し合ったりしておく 復習：実践した体験を振り返り、ノートにまとめておく	
	5	ホテルのベットメイキング体験および館内見学 ホテルの発展の歴史を学びます。 予習：次回の実践に関してHPで調べたり、友人と話し合ったりしておく 復習：実践した体験を振り返り、ノートにまとめておく	
	6	ホテルの歴史とブライダルについて ホテルの発展の歴史を学びます。 予習：次回の実践に関してHPで調べたり、友人と話し合ったりしておく 復習：実践した体験を振り返り、ノートにまとめておく	
	7	ホテルの歴史とブライダルについて ブライダルビジネスについて 予習：次回の実践に関してHPで調べたり、友人と話し合ったりしておく 復習：実践した体験を振り返り、ノートにまとめておく	
	8	ホテルでの実務体験 ブライダル研修（衣装・美容・写真など） 予習：次回の実践に関してHPで調べたり、友人と話し合ったりしておく 復習：実践した体験を振り返り、ノートにまとめておく	
	9	ホテルでの実務体験 予習：次回の実践に関してHPで調べたり、友人と話し合ったりしておく 復習：実践した体験を振り返り、ノートにまとめておく	
	10	ブライダル入場デモンストレーションなど プレゼン資料作成 予習：次回の実践に関してHPで調べたり、友人と話し合ったりしておく 復習：実践した体験を振り返り、ノートにまとめておく	
	11	グループ研究発表 ホテル業態の特徴・ホテルチェーンについて 予習：次回の実践に関してHPで調べたり、友人と話し合ったりしておく 復習：実践した体験を振り返り、ノートにまとめておく	
	12	グループ研究 プレゼン資料作成 予習：次回の実践に関してHPで調べたり、友人と話し合ったりしておく 復習：実践した体験を振り返り、ノートにまとめておく	
	13	グループ研究発表 ホテル業態の特徴・ホテルチェーンについて 予習：次回の実践に関してHPで調べたり、友人と話し合ったりしておく 復習：実践した体験を振り返り、ノートにまとめておく	

	14 グループ研究発表 パワーポイントにてプレゼン 予習：次回の実践に関してHPで調べたり、友人と話し合ったりしておく 復習：実践した体験を振り返り、ノートにまとめておく 15 上記のふり返りと評価 復習：実践した体験を振り返り、ノートにまとめておく
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	テーマ：めざましい発展をみせた日本のホテル産業の内容を理解する 到達目標：①ホテル業を理解して、利用することができるようになる。 ②ビジネスマナーを学ぶことができる。 期末試験 70% 授業への取り組み 20% 実習レポート 10%
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：あり（別紙）、プリント配布 参考書：なし
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	授業中にホテルの専門用語がでるかもしれません。その都度、質問してください。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
2ndQ	1年	2単位	選択
担当教員			
牟田 美信			

講義概要	目安として (G1) 英検2級以上レベル、(G2) 2級レベル、(G3) 準2級レベルに分け、それぞれ上のクラスに移動することを目標に、卒業時には全員が英検2級以上を取得できるレベルに上げることを目標とする。テキストはVocabulary, Idioms Grammar, Composition, Reading, Listeningを含む英語総合問題集を使用する。かなりのスピードを必要とするので、十分の予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。3人の教員で、レベル別に授業を行う。		
授業計画	1	Small Talk いろいろな数値① 基本5文型 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。	
	2	Humann Relations いろいろな数値② 文の種類 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。	
	3	Culture and Globalization 発音しづらい語句 基本文型 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。	
	4	Heathy Life 固有名詞（人名・地名など） 進行形 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。	
	5	Future Careers 簡単な挨拶文 完了形 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。	
	6	That Shirt Suits You! 提案文、勧誘文 助動詞①（can/may/must/should） 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。	
	7	Taking a Trip 依頼文 助動詞②（could/might/would） 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。	
	8	Do You Like Sports? Yes/No 疑問文 受動態 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。	
	9	Let's Do Something Fun! wh疑問文 不定詞 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。	
	10	Art Appreciation 否定・付加疑問文 動名詞 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。	
	11	Let's Eat Out!	

	<p>カジュアルな表現 分詞</p> <p>12 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。 A Career in International Business フォーマルな表現 比較</p> <p>13 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。 Science for the Future 意味のかたまり (チャンク) 関係代名詞</p> <p>14 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。 Technology and Modern Life 主張や理由を導くキーワード 話法</p> <p>15 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。 Saving the Environment 名詞から話題をイメージする 特殊構文 (強調・倒置・同格)</p> <p>16 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと。 総合評価</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>このタームの終了時の目標として、G1は、TOEIC(CASEC) 700点、G2は、TOEIC(CASEC) 500点、G3は、TOEIC(CASEC) 400点を目指します。 特に、上記の目標達成のために、以下の5項目で各レベルまでの達成を目指します。</p> <p>① Vocabulary、Idiom：語彙やイディオムを増やす。 ② Grammar：苦手とする文法を理解する。 ③ Composition：基本的な英作文ができるようにする。 ④ Reading：英文読解の精度とスピードをあげる。 ⑤ Listening：正確に英語を聞き取れるようになる。</p> <p>授業への取り組み・姿勢、予習・復習の状況、筆記試験で総合的に評価する。</p> <p>筆記試験 (80%)、授業態度及び授業中に課す課題 (20%)</p>
科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	(レベルに合わせたクラス分け後に) 授業中に指示します。参考) Target! - pre-intermediate 金星堂
履修条件	
履修上の注意	授業に参加するにあたり、予習復習を必ずしておくこと。
オフィスアワー	木曜日 (14:50-18:00) *その他、空きコマ (研究室ドアに掲示) も可
備考・メッセージ	資格取得を意識した短期集中型の授業なので進度も早い、個人個人で予習復習を十分にして積極的に取り組むこと。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
2ndQ	1年	2単位	選択
担当教員			
内山 智子			

講義概要	目安として (G1) 英検2級以上レベル、(G2) 2級レベル、(G3) 準2級レベルに分け、それぞれ上のクラスに移動することを目標に、卒業時には全員が英検2級以上を取得できるレベルに上げることを目標とする。テキストはVocabulary, Idioms Grammar, Composition, Reading, Listeningを含む英語総合問題集を使用する。かなりのスピードを必要とするので、十分の予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。3人の教員で、レベル別に授業を行う。		
授業計画	1	Let's Clean Up! 音の変化現象 文の種類 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと	
	2	Human Society いろいろな数値 動詞 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと	
	3	Express yourself with Emoji! 発音しづらい音を含む、語句の聞き取り 動詞 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと	
	4	Good Sleep, Good Health 挨拶文の聞き取り 助動詞 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと	
	5	Job Interview Success 提案文、勧誘文の聞き取り 名詞・冠詞 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと	
	6	Dress Your Own Way 依頼文の聞き取り 代名詞 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと	
	7	New Ways to Travel 絵や写真を頼りに聞き取る 形容詞・副詞 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと	
	8	Sports Anytime, Anywhere 疑問文の聞き取り 受動態 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと	
	9	How Do You Enjoy Music? 意見や主張を聞き取る 完了形 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと	
	10	Choose What Color to Paint カジュアルな言い回しや表現 不定詞 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと	
	11	The Future of Food	

	<p>フォーマルな言い回し表現 分詞・動名詞</p> <p>12 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと To Gain Experience in Business チャンクを意識する 比較</p> <p>13 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと Science We Should Know 場面を把握する 関係詞</p> <p>14 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと Apps That Change Your Life 話題を把握する 時制の一致</p> <p>15 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと If We Did Nothing for the Enviroment 要点を確実に聞き取る 仮定法</p> <p>復習：学習した内容をノートに整理しておくこと 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>このタームの終了時の目標として、G1は、TOEIC(CASEC) 700点、G2は、TOEIC(CASEC) 500点、G3は、TOEIC(CASEC)400点を目指します。</p> <p>特に、上記の目標達成のために、以下の5項目で各レベルまでの達成を目指します。</p> <p>① Vocabulary、Idiom：語彙やイディオムを増やす。 ② Grammar：苦手とする文法を理解する。 ③ Composition：基本的な英作文ができるようにする。 ④ Reading：英文読解の精度とスピードをあげる。 ⑤ Listening：正確に英語を聞き取れるようになる。</p> <p>授業への取り組み・姿勢、予習・復習の状況、筆記試験で総合的に評価する。</p> <p>筆記試験（80%）、授業態度及び授業中に課す課題（20%）</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	（レベルに合わせたクラス分け後に）授業中に指示します。参考）Target! Intermediate 金星堂
履修条件	
履修上の注意	授業に参加するにあたり、予習復習を必ずしておくこと。
オフィスアワー	木曜日（14：50－18：00） *その他、空きコマ（研究室ドアに掲示）も可
備考・メッセージ	資格取得を意識した短期集中型の授業なので進度も早い、個人個人で予習復習を十分にして積極的に取り組むこと。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
2ndQ	1年	2単位	選択
担当教員			
園田 靖			

講義概要	<p>目安として (G1) 英検2級以上レベル、(G2) 2級レベル、(G3) 準2級レベルに分け、それぞれ上のクラスに移動することを目標に、卒業時には全員が英検2級以上を取得できるレベルに上げることを目標とする。テキストはVocabulary, Idioms Grammar, Composition, Reading, Listeningを含む英語総合問題集を使用する。かなりのスピードを必要とするので、十分の予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。3人の教員で、レベル別に授業を行う。</p>
授業計画	<p>1. 初回オリエンテーション 実用英語技能検定の概要説明 導入・サンプル問題演習</p> <p>※ハンドアウト配布</p> <p>2. 問題演習：一問一答形式(1) 実際の出題形式を模した問題演習を行う。 必要な語彙力を養いつつ、出題傾向の把握や問題形式への慣れを図る。</p> <p>時間の余裕があれば、適宜リスニング練習も行う。</p> <p>※進捗状況に応じてハンドアウトを配布</p> <p>3. 問題演習：一問一答形式(2) 前回に引き続き問題演習を行う。 単語だけでなくイディオムを問うタイプの問題や、品詞の見分け方の基本などを身に着ける。</p> <p>時間の余裕があれば、適宜リスニング練習も行う。</p> <p>※進捗状況に応じてハンドアウトを配布</p> <p>4. 問題演習：一問一答形式(3) & 会話文(1) 問題演習を行う。 会話でよく用いられる表現についてや、応答の基本を学ぶ。</p> <p>時間の余裕があれば、適宜リスニング練習も行う。</p> <p>※進捗状況に応じてハンドアウトを配布</p> <p>5. 問題演習：会話文(2) 問題演習を行う。 文脈に応じた適切な受け答えや、文法知識を生かした空欄補充などを練習する。</p> <p>時間の余裕があれば、適宜リスニング練習も行う。</p> <p>※進捗状況に応じてハンドアウトを配布</p> <p>6. 問題演習：空欄補充(1) 文法知識と読解で、文脈に応じた表現を選べるよう練習する。 2パラグラフ程度の英文を読むことに慣れる。</p> <p>時間の余裕があれば、適宜リスニング練習も行う。</p> <p>※進捗状況に応じてハンドアウトを配布</p> <p>7. 問題演習：空欄補充(2) 前置詞を用いた慣用表現、動名詞や不定詞の使い分け等に注意しつつ、 3パラグラフ程度の英文の文脈を読んで正答を選べるよう練習する。</p> <p>時間の余裕があれば、適宜リスニング練習も行う。</p> <p>※進捗状況に応じてハンドアウトを配布</p> <p>8. 問題演習：長文読解(1) 問題演習：長文読解(1) 必ず出題されるEメール形式の問題について演習する。 どこに注目して読むべきか、よく用いられる表現など、 文法・語彙力以外の点でも対策を行う。</p> <p>時間の余裕があれば、適宜リスニング練習も行う。</p> <p>※進捗状況に応じてハンドアウトを配布</p> <p>9. 問題演習：長文読解(2) 4パラグラフ程度の比較的長さのある文章に慣れ、抵抗をなくす。 パラグラフ構造とはそもそも何かを知り、 全体を一読して大まかな情報を読み取る力をつける。</p> <p>時間の余裕があれば、適宜リスニング練習も行う。</p>

	<p>10. ※進捗状況に応じてハンドアウトを配布 問題演習：長文読解(3) 内容理解問題について学ぶ。 疑問詞の働きや疑問文の構造について復習しつつ、 正しい答えを選べるようになるよう練習する。</p> <p>時間の余裕があれば、適宜リスニング練習も行う。</p> <p>11. ※進捗状況に応じてハンドアウトを配布 ライティング(1) パラグラフ構造についての復習、およびパラグラフ・ライティングについての知識を得る。 検定試験特有のパターンを知り解答作成に活かせるようにする。 自身の意見を端的に、平易な表現で書く練習をする。</p> <p>時間の余裕があれば、適宜リスニング練習も行う。</p> <p>12. ※進捗状況に応じてハンドアウトを配布 ライティング(2) 自身の意見を補強するための理由を書く練習をする。 実際の検定の際にも使いやすい表現、組み立てやすい文章構造について学ぶ。</p> <p>時間の余裕があれば、適宜リスニング練習も行う。</p> <p>13. ※進捗状況に応じてハンドアウトを配布 ライティング(3) 設問の条件を満たした英文を最初から最後まで通して書く練習をする。 意見と各理由を述べる際のつなぎ言葉、エッセイを書く際の便利な決まり文句について学ぶ。</p> <p>時間の余裕があれば、適宜リスニング練習も行う。</p> <p>14. ※進捗状況に応じてハンドアウトを配布 リスニング問題演習(1) 実際の問題形式に従ったリスニング問題の演習を行う。 音声を聞き取る際、注意しておくべきポイントについて学ぶ。</p> <p>15. ※進捗状況に応じてハンドアウトを配布 リスニング問題演習(2)&面接について リスニングの問題演習を引き続き行うのと並行して、 二次試験の面接の概略を説明する。 その中で行われる音読の練習、 意見を問われるタイプの問題についての考え方などを学ぶ。</p> <p>※進捗状況に応じてハンドアウトを配布</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	筆記試験（期末）：70% 通常授業時の取り組み・課題提出状況：30% 授業中の問題演習の一部を課題として随時回収し、必要に応じて解説する。 ※主に理解度の確認が目的であり、この課題の正答率の高さが成績に直結するわけではありません。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	授業の中で適宜ハンドアウトを配布する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	水曜1限（09:10～10:40） ほか、空きコマでも随時対応。
備考・メッセージ	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
2ndQ	1年	2単位	選択
担当教員			
青木 萌			

講義概要	本授業では、就職活動や編入学に大きく役立つ中国語の検定試験HSK(漢語水平考試)の模擬問題を用いて中国語を学習し、HSK2級の合格を目指す。これによって、中国語で身近な日常生活の話題について、簡単な交流ができるようになる。まず、本授業の前半においては、模擬問題を解いて、その後、答え合わせを行う。そして、問題の中で読み方や日本語の意味が分からなかった単語を黒板に書いて、学習する。そして、授業の後半においては、書き取りの練習や発音練習を行う。		
授業計画	1	オリエンテーション、模擬問題1 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習 学習課題 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	2	模擬問題2 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	3	模擬問題3 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	4	模擬問題4 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	5	模擬問題5 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	6	模擬問題6 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	7	模擬問題7 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	8	模擬問題8 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	9	模擬問題9 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	10	模擬問題10 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	11	模擬問題11 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習	

	<p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 模擬問題12 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 模擬問題13 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 模擬問題14 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 模擬問題15 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する</p>
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>評価の観点は以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 2. 一つの文を一息で発音できる。 3. HSK2級の聞き取り問題に合格(正答率6割)できる。 4. HSK2級の読解問題に合格(正答率6割)できる。 <p>評価手段・方法は、小テストと定期試験によって評価する。</p> <p>評価比率は以下の通りである。 小テスト(50%)、定期試験(50%)</p>
科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	教科書と参考書は開講時に紹介する。
履修条件	
履修上の注意	毎回、模擬問題の解答や解答理由を求めらるので、予習と復習を欠かさず行うこと。
オフィスアワー	授業終了後にその場で、或は、研究室で受け付ける。
備考・メッセージ	HSKの資格を持っていると、就職活動や編入学の際にとっても有利になります。HSKで高得点を取るコツを教えます。 また、中国語の実践的な運用能力も向上させることができますので、ぜひ履修して下さい。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
2ndQ	1年	2単位	選択
担当教員			
井上 麗奈			

講義概要	本授業では、就職活動や編入学に大きく役立つ中国語の検定試験HSK(漢語水平考試)の模擬問題を用いて中国語を学習し、HSK2級の合格を目指す。これによって、中国語で身近な日常生活の話題について、簡単な交流ができるようになる。まず、本授業の前半においては、模擬問題を解いて、その後、答え合わせを行う。そして、問題の中で読み方や日本語の意味が分からなかった単語を黒板に書いて、学習する。そして、授業の後半においては、書き取りの練習や発音練習を行う。		
授業計画	1	オリエンテーション、模擬問題1 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習 学習課題 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	2	模擬問題2 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	3	模擬問題3 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	4	模擬問題4 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	5	模擬問題5 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	6	模擬問題6 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	7	模擬問題7 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	8	模擬問題8 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	9	模擬問題9 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	10	模擬問題10 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	11	模擬問題11 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習	

	<p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 模擬問題12 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 模擬問題13 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 模擬問題14 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 模擬問題15 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する</p>
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>評価の観点は以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 2. 一つの文を一息で発音できる。 3. HSK2級の聞き取り問題に合格(正答率6割)できる。 4. HSK2級の読解問題に合格(正答率6割)できる。 <p>評価手段・方法は、小テストと定期試験によって評価する。</p> <p>評価比率は以下の通りである。 小テスト(50%)、定期試験(50%)</p>
科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	教科書と参考書は開講時に紹介する。
履修条件	
履修上の注意	毎回、模擬問題の解答や解答理由を求めらるので、予習と復習を欠かさず行うこと。
オフィスアワー	授業終了後にその場で、或は、研究室で受け付ける。
備考・メッセージ	HSKの資格を持っていると、就職活動や編入学の際にとっても有利になります。HSKで高得点を取るコツを教えます。 また、中国語の実践的な運用能力も向上させることができますので、ぜひ履修して下さい。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
2ndQ	1年	2単位	選択
担当教員			
キャロライン キム			

講義概要	
韓国語能力試験(TOPIK)は大韓民国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語試験である。韓国語(ハンゲル)の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示するとともに、韓国語の普及や試験結果の学習・留学・就職等への活用などを目的に、世界70カ国以上で一斉に実施されている。本授業は「TOPIK I」を取得するために必要である文法・聞き取り・読解などを学習した上で模擬試験を行い、本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにする。	
授業計画	<p>1 オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKIの特徴、勉強方法について 学習課題 復習 なし 予習 韓国語能力試験(TOPIK)聞き取りについて調べておく</p> <p>2 TOPIK(聞き取り1) TOPIKの聞き取り概要、問題類型分析、問題解説 学習課題 復習 TOPIK概要、勉強方法についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)読解について調べておく</p> <p>3 TOPIK(読解1) TOPIKの読解概要、問題類型分析、問題解説 学習課題 復習 TOPIKの聞き取り概要、問題類型についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)聞き取り既出問題について調べておく</p> <p>4 TOPIK(聞き取り2) TOPIKの聞き取り既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの読解概要、問題類型についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)聞き取り既出問題について調べておく</p> <p>5 TOPIK(聞き取り3) TOPIKの聞き取り既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの聞き取り既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)聞き取り既出問題について調べておく</p> <p>6 TOPIK(聞き取り4) TOPIKの聞き取り既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの聞き取り既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)聞き取りの模擬テストを準備する</p> <p>7 TOPIK(聞き取り5) TOPIKの聞き取り模擬テスト 学習課題 復習 TOPIKの聞き取り既出問題についてもう一度確認する 予習 模擬テストで間違った問題について調べておく</p> <p>8 TOPIK(聞き取り6) TOPIKの聞き取り模擬テスト解説 学習課題 復習 模擬テストで間違った問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)読解既出問題について調べておく</p> <p>9 TOPIK(読解2) TOPIKの読解既出問題分析 学習課題 復習 模擬テストで間違った問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)読解既出問題について調べておく</p> <p>10 TOPIK(読解3) TOPIKの読解既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの読解既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)読解既出問題について調べておく</p> <p>11 TOPIK(読解4) TOPIKの読解既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの読解既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)読解の模擬テストを準備する</p> <p>12 TOPIK(読解5) TOPIKの読解模擬テスト 学習課題 復習 TOPIKの読解既出問題についてもう一度確認する 予習 模擬テストで間違った問題について調べておく</p> <p>13 TOPIK(読解6) TOPIKの読解模擬テスト解説 学習課題 復習 模擬テストで間違った問題についてもう一度確認する 予習 聞き取り・読解両方の模擬テストで間違った問題について調べておく</p> <p>14 TOPIK(聞き取り7、読解7) TOPIK聞き取り、読解模擬テスト解説、質疑応答 学習課題 復習 模擬テストで間違った問題についてもう一度確認する 予習 今までの学習内容をまとめる</p> <p>15 全体まとめ 学習課題 復習 韓国語能力試験(TOPIK)のという試験についてもう一度確認する</p>

予習 なし	
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>授業参加態度 (10%)、課題又はグループワーク (30%)、定期試験 (60%)</p> <p>到達目標</p> <p>①韓国語能力試験 (TOPIK) Iの合格基準、格科目の細部内容、問題の構成などについて把握できる。</p> <p>②韓国語能力試験 (TOPIK) Iの「読解」問題にある程度対応できる。</p> <p>③韓国語能力試験 (TOPIK) Iの「聞き取り」問題にある程度対応できる。</p> <p>④韓国語能力試験 (TOPIK) Iのレベルに合わせた単語をある程度覚えることができる。</p> <p>⑤同時期開催される韓国語科目と連動し、韓国語初級単語を800個以上学習し、TOPIK I 級合格を目指す。</p>
科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	<p>各授業で配布</p> <p>参考書：「韓国語能力試験TOPIK I 完全対策」など</p>
履修条件	
履修上の注意	予習・復習をしてくること
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	学習者の学習進度やレベルに応じて、学習計画に変更が生じることがある。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
2ndQ	1年	2単位	選択
担当教員			
李 載宇			

講義概要	韓国語能力試験(TOPIK)は大韓民国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語試験である。韓国語(ハングル)の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示するとともに、韓国語の普及や試験結果の学習・留学・就職等への活用などを目的に、世界70カ国以上で一斉に実施されている。本授業は「TOPIK I」を取得するために必要である文法・聞き取り・読解などを学習した上で模擬試験を行い、本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにする。		
授業計画	1	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKIの特徴、勉強方法について 学習課題 復習 なし 予習 文法「～できる」「～できない」について調べる	
	2	韓国語基礎文法・実戦会話1「何も食べられませんでした」 文法「～できる」「～できない」について勉強する。 学習課題 復習 TOPIK概要、勉強方法についてもう一度確認する 予習 文法「～したい」「～してください」について調べる	
	3	韓国語基礎文法・実戦会話2「陶磁器が見たいです」 文法「～したい」「～してください」について勉強する。 学習課題 復習 文法「～できる」「～できない」についてもう一度確認する 予習 文法「～しても良い」「～しないでください」について調べる	
	4	韓国語基礎文法・実戦会話3「写真を撮ってもいいですか」 文法「～しても良い」「～しないでください」について勉強する。 学習課題 復習 文法「～したい」「～してください」についてもう一度確認する 予習 文法「～しなければならない」について調べる	
	5	韓国語基礎文法・実戦会話4「帰国しなければいけません」 文法「～しなければならない」について勉強する。 学習課題 復習 文法「～しても良い」「～しないでください」についてもう一度確認する 予習 文法「～と思います」「～するつもりです」について調べる	
	6	韓国語基礎文法・実戦会話5「手紙を書きますよ」 文法「～と思います」「～するつもりです」について勉強する。 学習課題 復習 文法「～しなければならない」についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)聞き取り既出問題について調べておく	
	7	TOPIK(聞き取り1) TOPIKの聞き取り既出問題分析 学習課題 復習 文法「～と思います」「～するつもりです」についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)聞き取り既出問題について調べておく	
	8	TOPIK(聞き取り2) TOPIKの聞き取り既出問題分析 学習課題 復習 韓国語能力試験(TOPIK)聞き取り既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)聞き取り既出問題について調べておく	
	9	TOPIK(聞き取り3) TOPIKの聞き取り既出問題分析 学習課題 復習 韓国語能力試験(TOPIK)聞き取り既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)読解既出問題について調べておく	
	10	TOPIK(読解1) TOPIKの読解既出問題分析 学習課題 復習 韓国語能力試験(TOPIK)聞き取り既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)読解既出問題について調べておく	
	11	TOPIK(読解2) TOPIKの読解既出問題分析 学習課題 復習 韓国語能力試験(TOPIK)読解既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)読解既出問題について調べておく	
	12	TOPIK(読解3) TOPIKの読解既出問題分析 学習課題 復習 韓国語能力試験(TOPIK)読解既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)聞き取り、読解既出問題について調べておく	
	13	TOPIK(聞き取り4、読解4) TOPIKの聞き取り、読解既出問題分析 学習課題 復習 韓国語能力試験(TOPIK)読解既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)聞き取り、読解既出問題について調べておく	
	14	TOPIK(聞き取り5、読解5) TOPIKの聞き取り、読解既出問題分析 学習課題 復習 韓国語能力試験(TOPIK)聞き取り、読解既出問題についてもう一度確認する 予習 今までの学習内容をまとめる	
	15	全体まとめ 学習課題 復習 韓国語能力試験(TOPIK)のという試験についてもう一度確認する	

予習 なし	
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	授業参加態度 (10%)、課題又はグループワーク (30%)、定期試験 (60%) 到達目標 ①韓国語能力試験 (TOPIK) Iの合格基準、格科目の細部内容、問題の構成などについて把握できる。 ②韓国語能力試験 (TOPIK) Iの「読解」問題にある程度対応できる。 ③韓国語能力試験 (TOPIK) Iの「聞き取り」問題にある程度対応できる。 ④韓国語能力試験 (TOPIK) Iのレベルに合わせた単語をある程度覚えることができる。 ⑤同時期開催される韓国語科目と連動し、韓国語初級単語を480個以上学習する。
科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	基礎から学ぶ韓国語講座初級/木内明 著 参考書：「韓国語能力試験TOPIK I 完全対策」など
履修条件	
履修上の注意	予習・復習をしてくること
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	学習者の学習進度やレベルに応じて、学習計画に変更が生じることがある。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3rdQ	1年	2単位	選択
担当教員			
牟田 美信			

講義概要	<p>【海外短期研修ーアジア圏】 授業で学んでいる外国語を海外で試し、知識として得た異文化情報を実際に海外で直に感じてみる短期（約10日間）海外研修プログラムです。渡航前に、訪問する国についての文化、言語、観光地、マナー等を事前に学習します。 主に、韓国や中国・台湾の姉妹大学を訪問し、現地の学生と交流活動を行います。滞在中、自分たちで地元のスーパーなどで買物や観光を行い、現地の人と同じ生活体験をします。可能な限り、現地の言語を使ってもらうために、現地での手続き等もできるだけ学生で行います。</p>
授業計画	留学をし、予定されている学校での授業やプログラムで学ぶ。
授業形態	実習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①海外渡航する場合に必要な情報収集方法、必要とされる知識を獲得することができる。 ②渡航先の国、都市、大学に関する情報を収集し、必要とされる知識を獲得することができる。 ③渡航先で活用できる、基本的な現地語をマスターすることができる。 ④姉妹校の学生との交流会（又は、ホームステイ）などを通して現地の文化を理解することができる。 ⑤帰国後に、渡航先の国と母国と比較した場合の違いなどをまとめ、発表をおこなうことができる。</p> <p>最終レポートとプレゼンテーションで総合的に判断する。 最終レポート（80%）、プレゼンテーション（20%）</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	必要に応じてプリント等を配布します。
履修条件	授業（遅刻、欠席）や大学生活一般に問題がなく、自ら留学したいという意思が強いこと。
履修上の注意	毎年の世界情勢により、内容が異なることがあります。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00） *その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	<p>1) 授業への出席状況が悪く、生活態度が留学にふさわしくない場合は、申込み後も留学を辞退させることもある。</p> <p>2) 自分の体調や留学に対する親の同意を必ず確認し申込むこと。また、留学先では、自己責任の部分が高くなることを理解しておくこと。</p> <p>3) 渡航前には、韓国、中国、台湾、ミャンマー、ベトナム、フィリピンなどアジアからの留学生から様々な情報を得て、有意義な研修になるように努めること。</p>

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3rdQ	1年	2単位	選択
担当教員			
牟田 美信			

講義概要	<p>【海外短期研修—英語圏】 授業で学んでいる外国語を海外で試し、知識として得た異文化情報を実際に海外で直に感じてみる短期（約10日間）海外研修プログラムです。渡航前に、訪問する国についての文化、言語、観光地、マナー等を事前に学習します。 滞在中、自分たちで地元のスーパーなどで買物や観光を行い、現地の人と同じ生活体験をします。可能な限り、現地の言語を使ってもらうために、現地での手続き等もできるだけ学生で行います。 渡航先は、参加者の希望や人数で毎年変更する可能性があります。（過去にはカナダ、オーストラリア、イギリス、アメリカ（ハワイ）、ニュージーランドへの研修を実施しました）</p>
授業計画	留学をし、予定されている学校での授業やプログラムで学ぶ。
授業形態	実習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①海外渡航する場合に必要な情報収集方法、必要とされる知識を獲得することができる。 ②渡航先の国、都市、大学に関する情報を収集し、必要とされる知識を獲得することができる。 ③渡航先で活用できる、基本的な現地語をマスターすることができる。 ④姉妹校の学生との交流会（又は、ホームステイ）などを通して現地の文化を理解することができる。 ⑤帰国後に、渡航先の国と母国と比較した場合の違いなどをまとめ、発表をおこなうことができる。</p> <p>最終レポートとプレゼンテーションで総合的に判断します。 最終レポート（80%）、プレゼンテーション（20%）</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	特になし。一般の留学に関する本や雑誌を各自必ず読んでおくこと。
履修条件	授業（遅刻、欠席）や大学生活一般に問題がなく、自ら留学したいという意思が強いこと。
履修上の注意	毎年の世界情勢により、内容が異なることがあります。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00） *その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	<p>1）授業への出席状況が悪く、短大での生活態度が留学にふさわしくないと場合は、申込後も留学を辞退させることもある。 2）自分の体調や留学に対する親の同意を必ず確認し申込むこと。また、留学先では、自己責任の部分が高くなることを理解しておくこと。 3）渡航前に、留学生から様々な情報を得て、有意義な研修になるよう、努めること。</p>

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3rdQ	1年	6単位	選択
担当教員			
牟田 美信			
講義概要	<p>【海外中期（3か月）留学】 以下のような海外への、約3ヶ月間の留学となります。：*希望人数により、渡航できない国もあります。 （英語圏）カナダ、オーストラリア、イギリス、ニュージーランド （アジア圏）韓国、中国、台湾 現地での授業内容（例）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション 2 プレイメントテスト 3 語学学習（月～金、週約30時間） 4 セルフスタディ（スーパーバイザ指導のもと） 5 コンピュータやランゲージラボを使用した学習 6 定期的な授業外の課外活動（フィリドトリップ、地域でのボランティア活動、等々） 7 適期テスト（評価あり） 8 成績所及び修了証書授与 		
授業計画	留学をし、予定されている学校での授業やプログラムで学ぶ。		
授業形態	演習		
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>海外に3ヶ月間留学し、主に語学と文化を集中的に学びます。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①海外渡航する場合に必要な情報収集方法、必要とされる知識を獲得することができる。 ②渡航先の国、都市、大学に関する情報を収集し、必要とされる知識を獲得することができる。 ③渡航先で活用できる、基本的な現地語をマスターすることができる。 ④姉妹校の学生との交流会（又は、ホームステイ）などを通して現地の文化を理解することができる。 ⑤帰国後に、渡航先の国と母国と比較した場合の違いなどをまとめ、発表をおこなうことができる。 <p>留学先での学習状況、レポート提出で評価をします。</p> <p>留学先からの成績表(50%)、E-レポート(20%)、最終レポート(30%)</p>		
科目（教職課程用）			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等			
教科書・参考書	必要に応じてプリント等を配布します。		
履修条件	授業（遅刻、欠席）や大学生活一般に問題がなく、自ら留学したいという意思が強いこと。		
履修上の注意	毎年の世界情勢により、内容が異なることがあります。		
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00） *その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可		
備考・メッセージ	<ol style="list-style-type: none"> 1) 授業への出席状況が悪く、短大での生活態度が留学にふさわしくない場合は、申込後も留学を辞退させることもある。 2) 自分の体調や留学に対する親の同意を必ず確認し申込むこと。また、留学先では、自己責任の部分が高くなることを理解しておくこと。 		

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3rdQ	1年	2単位	選択
担当教員			
牟田 美信			
実務教員			
講義概要	<p>将来、ホテル・航空・旅行業界などのホスピタリティビジネス（サービス業）に従事しようと考えている者が、実際のサービスの在り方を学び、働くことの本質を体験から学ぶ。 「ギャップイヤー事前指導」でインターンシップ参加に必要な知識を得た後、インターンシップに参加することになる。 インターンシップ期間中は、担当教員が各施設を訪問し、現場担当者との意見交換を実施し、インターンシップ状況を確認する。参加者は毎回の出勤日の日誌をネット上で記入する。 インターンシップ終了後、「ギャップイヤー事後指導」において、職業体験の振り返りをおこなう。同一の職場での継続、又は異なる職場でも構わないが、90時間以上の就業体験をもって評価を行う。</p>		
授業計画	インターンシップ先で就業体験をする。		
授業形態	実習		
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>本科目をインターンシップ I（基礎）と位置づけ、5つの指標を到達目標として設定する。</p> <p>①【自己変革】就業体験をする中で長所・短所、思考回路等、自分の性格や特性を深く知ることができる。 ②【主体性】与えられた役割に積極的に取りかかることができる。 ③【規律性・忍耐力】インターンシップ先の規律や自分に与えられた役割のルールを理解し、自ら立てた目標を再確認し、守ることができる。 ④【ストレスコントロール力】自分が負担・ストレスに思うことを認識することができる。 ⑤【良い行いの習慣化】自分に与えられた役割全体を理解することができる。</p> <p>インターンシップ期間中及び終了後の提出物で評価する。 インターンシップ日誌（80%）、職場担当者の評価（20%）</p>		
科目（教職課程用）			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等			
教科書・参考書	授業中に指示をする。		
履修条件	「ギャップイヤー事前指導」の単位を修得し、「ギャップイヤー事後指導」を履修すること。		
履修上の注意	インターンシップに参加するという明確な意識を持ち、日頃の学習態度、服装等に注意を払うこと。上記が守れない場合や学習態度等、インターンシップに不適切であると判断した場合は、参加を辞退してもらう。		
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00） *その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可		
備考・メッセージ	インターンシップに参加することで、自分の適性を知ることができ、働くことの自信に繋がります。積極的に参加することを勧めます。		

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3rdQ	1年	2単位	選択
担当教員			
牟田 美信			
実務教員			
講義概要	<p>将来、ホテル・航空・旅行業界などのホスピタリティビジネス（サービス業）に従事しようと考えている者が、実際のサービスの在り方を学び、働くことの本質を体験から学ぶ。 「ギャップイヤー事前指導」でインターンシップ参加に必要な知識を得た後、インターンシップに参加することになる。 インターンシップ期間中は、担当教員が各施設を訪問し、現場担当者との意見交換を実施し、インターンシップ状況を確認する。参加者は毎回の出勤日の日誌をネット上で記入する。 インターンシップ終了後、「ギャップイヤー事後指導」において、職業体験の振り返りをおこなう。同一の職場での継続、又は異なる職場でも構わないが、90時間以上の就業体験をもって評価を行う。</p>		
授業計画	インターンシップ先で就業体験をする。		
授業形態	実習		
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>本科目をインターンシップⅡ（定着）と位置づけ、5つの指標を到達目標として設定する。</p> <p>①【自己変革】短所・弱点・苦手部分等の改善に努めることができる。 ②【主体性】与えられた役割の意義を確認しながら、誠意をもって役割を果たすことができる。 ③【規律性・忍耐力】自分に与えられた役割のルールを理解した上で、役割を着実に全うできる。 ④【ストレスコントロール力】与えられた役割の意義を確認する中で、自分が負担・ストレスに思う根源を考えることができる。 ⑤【良い行いの習慣化】自分に与えられた役割を着実に実行することができる。</p> <p>インターンシップ期間中及び終了後の提出物で評価する。 インターンシップ日誌（80%）、職場担当者の評価（20%）</p>		
科目（教職課程用）			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等			
教科書・参考書	授業中に指示をする。		
履修条件	「ギャップイヤー事前指導」の単位を修得し、「ギャップイヤー事後指導」を履修すること。		
履修上の注意	インターンシップに参加するという明確な意識を持ち、日頃の学習態度、服装等に注意を払うこと。上記が守れない場合や学習態度等、インターンシップに不適切であると判断した場合は、参加を辞退してもらう。		
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00） *その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可		
備考・メッセージ	インターンシップに参加することで、自分の適性を知ることができ、働くことの自信に繋がります。積極的に参加することを勧めます。		

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3rdQ	1年	2単位	選択
担当教員			
牟田 美信			
実務教員			

講義概要	<p>将来、ホテル・航空・旅行業界などのホスピタリティビジネス（サービス業）に従事しようと考えている者が、実際のサービスの在り方を学び、働くことの本質を体験から学ぶ。 「ギャップイヤー事前指導」でインターンシップ参加に必要な知識を得た後、インターンシップに参加することになる。 インターンシップ期間中は、担当教員が各施設を訪問し、現場担当者との意見交換を実施し、インターンシップ状況を確認する。参加者は毎回の出勤日の日誌をネット上で記入する。 インターンシップ終了後、「ギャップイヤー事後指導」において、職業体験の振り返りをおこなう。同一の職場での継続、又は異なる職場でも構わないが、90時間以上の就業体験をもって評価を行う。</p>
授業計画	インターンシップ先で就業体験をする。
授業形態	実習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>本科目をインターンシップⅢ（応用）と位置づけ、5つの指標を到達目標として設定する。</p> <p>①【自己変革】長所・強みを仕事に活かすよう努めることができる。 ②【主体性】社会・実習先の帰属意識を高め、周囲の状況を判断し積極的に自分ができることを探すことができる。 ③【規律性・忍耐力】自分の取り組みの中で新たな課題を発見し、目標を追加・再設定した上で、確実に役割・目標を全うできる。 ④【ストレスコントロール力】自分が負担・ストレスに思うことを解決する具体的な方法を発見することができる。 ⑤【良い行いの習慣化】周囲の社員の行動を見つめなおし、自分の役割を洗練させることができる。</p> <p>インターンシップ期間中及び終了後の提出物で評価する。 インターンシップ日誌（80%）、職場担当者の評価（20%）</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	授業中に指示をする。
履修条件	「ギャップイヤー事前指導」の単位を修得し、「ギャップイヤー事後指導」を履修すること。
履修上の注意	インターンシップに参加するという明確な意識を持ち、日頃の学習態度、服装等に注意を払うこと。上記が守れない場合や学習態度等、インターンシップに不適切であると判断した場合は、参加を辞退してもらう。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00） *その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	インターンシップに参加することで、自分の適性を知ることができ、働くことの自信に繋がります。積極的に参加することを勧めます。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3rdQ	1年	2単位	選択
担当教員			
国際コミュニケーション学科教員			
講義概要	<p>この授業では、次の3項目を意識しながら様々な活動に参加してもらう。</p> <p>1) 教室で獲得した知識を社会的活動の中で実際に活用することで、現実社会で実際に活用できる知識・技能へと変化させること。</p> <p>2) 社会的活動を通して、将来の職業について考える機会を持つこと。</p> <p>3) 自らの社会的役割を意識し、市民として必要な資質や能力を高めること。</p> <p>学びの実践例：授業で身につけた語学力を活用し、地域で必要とされる情報発信のために翻訳や通訳をする。地域の子供達に英語を教える。高齢化で年々担い手が少なくなる地域のお祭りを支援する。 地域例：相浦地区、高島地区、黒島地区（公民館活動、地域の歴史のお祭り支援、等） 短大での活動例：学園祭の企画運営 等 その他例：「ねんりんピック長崎2016」活動支援、長崎新聞「JAM」発行活動 災害支援活動、米軍基地ボランティア等</p>		
授業計画	各自、参加する活動の準備（打ち合わせ含む）・計画・実践を行う。 原則、火曜日と金曜日を授業日とする。		
授業形態	実習		
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>本科目をサービスラーニング I（基礎）と位置づけ、5つの指標を到達目標として設定する。</p> <p>①【コミュニケーション力】活動の打ち合わせ時等に他人の話を丁寧に聞き、意図をしっかりと理解することができる。</p> <p>②【主体性】与えられた役割に積極的に取り組むことができる。</p> <p>③【規律性・忍耐力】グループ内や共に活動する人との規律や、自分に与えられた役割のルールを理解し、自ら立てた目標を再確認し、守ることができる。</p> <p>④【ストレスコントロール力】自分が負担・ストレスに思うことを認識することができる。</p> <p>⑤【課題発見力】活動全体を知ることができる。</p> <p>活動報告書、活動関係者の評価をもって判定する。 尚、60時間以上の活動をもって評価をする。</p> <p>活動報告書（60%）、活動関係者評価（40%）</p>		
科目（教職課程用）			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等			
教科書・参考書	授業中に指示をする。		
履修条件	「ギャップイヤー事前指導」を履修し、「ギャップイヤー事後指導」を履修すること。		
履修上の注意	積極的に地域の方々とコミュニケーションをとるようにすること。 インターンシップ希望者も、インターンシップ実施に影響がなく、並行して参加できる地域活動等があれば参加が可能な場合もある。担当の教員に確認すること。		
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00） *その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可		
備考・メッセージ	将来、社会で生き生きと活躍するために、地域での活動はとても貴重な経験となります。 積極的に参加することを勧めます。		

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3rdQ	1年	2単位	選択
担当教員			
国際コミュニケーション学科教員			
講義概要	<p>この授業では、次の3項目を意識しながら様々な活動に参加してもらう。</p> <p>1) 教室で獲得した知識を社会的活動の中で実際に活用することで、現実社会で実際に活用できる知識・技能へと変化させること。</p> <p>2) 社会的活動を通して、将来の職業について考える機会を持つこと。</p> <p>3) 自らの社会的役割を意識し、市民として必要な資質や能力を高めること。</p> <p>学びの実践例：授業で身につけた語学力を活用し、地域で必要とされる情報発信のために翻訳や通訳をする。地域の子供達に英語を教える。高齢化で年々担い手が少くなる地域のお祭りを支援する。 地域の例：相浦地区、高島地区、黒島地区（公民館活動、地域の歴史のお祭り支援、等） 短大での活動例：学園祭の企画運営 等 その他例：「ねんりんピック長崎2016」活動支援、長崎新聞「JAM」発行活動 災害支援活動、米軍基地ボランティア等</p>		
授業計画	各自、参加する活動の準備（打ち合わせ含む）・計画・実践を行う。 原則、火曜日と金曜日を授業日とする。		
授業形態	実習		
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>本科目をサービスラーニングⅡ（定着）と位置づけ、5つの指標を到達目標として設定する。</p> <p>①【コミュニケーション力】意見や話を聞くのが困難である場合でも（例：時間に制限がある）、態度に出さず、丁寧に話を聞き、意図をしっかりと受け止めることができる。</p> <p>②【主体性】与えられた役割の意義を確認しながら、誠意をもって役割を果たすことができる。</p> <p>③【規律性・忍耐力】自分に与えられた役割のルールを理解した上で、役割を着実に全うできる。</p> <p>④【ストレスコントロール力】与えられた役割の意義を確認する中で、自分が負担・ストレスに思う根源を考えることができる。</p> <p>⑤【課題発見力】活動全体を知り、一つ一つの役割の意義を確認することができる。</p> <p>活動報告書、活動関係者の評価をもって判定する。 尚、60時間以上の活動をもって評価する。</p> <p>活動報告書（60%）、活動関係者評価（40%）</p>		
科目（教職課程用）			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等			
教科書・参考書	授業中に指示をする。		
履修条件	「ギャップイヤー事前指導」を履修し、「ギャップイヤー事後指導」を履修すること。		
履修上の注意	積極的に地域の方々とコミュニケーションをとるようにすること。 インターンシップ希望者も、インターンシップ実施に影響がなく、並行して参加できる地域活動等があれば参加が可能な場合もある。担当の教員に確認すること。		
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00） *その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可		
備考・メッセージ	将来、社会で生き生きと活躍するために、地域での活動はとても貴重な経験となります。 積極的に参加することを勧めます。		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3rdQ	1年	2単位	選択
担当教員			
小嶋 栄子			

講義概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活における日本語運用力向上につながるよう配慮しながら授業を行う ・学生の表現能力の実態に基づいた、能力差に配慮した授業を行う ・日本語能力試験N1・N2の試験対策の練習問題を学習する
授業計画	<p>1 オリエンテーション 授業に関するオリエンテーション <学習課題> 復習：オリエンテーションの確認 予習：「文型1」の語句を調べてくる。</p> <p>2 文型1 様々な文型を使って、話したり書いたりする表現力を高める1。 <学習課題> 復習：「文型1」の確認・見直し 予習：「文型2」の語句を調べてくる。</p> <p>3 文型2 様々な文型を使って、話したり書いたりする表現力を高める2。 <学習課題> 復習：「文型2」の確認・見直し 予習：「文型3」の語句を調べてくる。</p> <p>4 文型3 様々な文型を使って、話したり書いたりする表現力を高める3。 <学習課題> 復習：「文型3」の確認・見直し 予習：「文型4」の語句を調べてくる。</p> <p>5 文型4 様々な文型を使って、話したり書いたりする表現力を高める4。 <学習課題> 復習：「文型4」の確認・見直し 予習：「文章1」の語句を調べてくる。</p> <p>6 文章1 文や文章を読む学習を通して、話したり書いたりする表現力を高める1。 <学習課題> 復習：「文章1」の確認・見直し 予習：「文章2」の語句を調べてくる。</p> <p>7 文章2 文や文章を読む学習を通して、話したり書いたりする表現力を高める2。 <学習課題> 復習：「文章2」の確認・見直し 予習：「文章3」の語句を調べてくる。</p> <p>8 文章3 文や文章を読む学習を通して、話したり書いたりする表現力を高める3。 <学習課題> 復習：「文章3」の確認・見直し 予習：「文章4」の語句を調べてくる。</p> <p>9 文章4 聴解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力を高める1。 文や文章を読む学習を通して、話したり書いたりする表現力を高める。 <学習課題> 復習：「文章4」の確認・見直し 予習：「聴解1」の語句を調べてくる。</p> <p>10 聴解1 聴解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力を高める2。 <学習課題> 復習：「聴解1」のスキットの見直し 予習：「聴解2」の語句を調べてくる。</p> <p>11 聴解2 聴解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力を高める3。 日本語能力試験N1・N2対策の問題を解く1。 <学習課題> 復習：「聴解2」のスキットの見直し 予習：「聴解3」の語句を調べてくる。</p> <p>12 聴解3 聴解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力を高める3 日本語能力試験N1・N2対策の問題を解く2。 <学習課題> 復習：「聴解3」のスキットの見直し 予習：「聴読解1」の語句を調べてくる。</p> <p>13 聴読解から1 聴読解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力を高める。 日本語能力試験N1・N2対策の問題を解く3。 <学習能力> 復習：「聴読解から1」のスキットの見直し 予習：「聴読解から2」の語句を調べてくる。</p> <p>14 聴読解から2 聴読解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力を高める。 日本語能力試験N1・N2対策の問題を解く4。 <学習能力> 復習：「聴読解から2」のスキットの見直し 予習：「聴読解から3」の語句を調べてくる。</p>

	15 聴読解から3 聴読解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力を高める。 日本語能力試験N1・N2対策の問題を解く5。 <学習能力> 復習：「聴読解から3」のスキプトの見直し 予習：試験の準備
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①学習した文型を使って話したり書いたりする表現力を高める。 ②聴解能力を高めながら話したり書いたりする表現力を高める。 ③聴読解能力を高めながら話したり書いたりする表現力を高める。 ④興味ある話題や課題等について、質疑応答できる表現力を高める。 ⑤様々な場面で学習内容を円滑に運用できる表現力を高める。 平素の学習意欲（30%） レポート・発表（20%） 定期試験（50%）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：最初の授業で指示する。 参考書：授業で随時指示する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3rdQ	1年	2単位	選択
担当教員			
内山 智子			

講義概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活における日本語運用力向上につながるよう配慮しながら授業を行う ・学生の表現能力の実態に基づいた、能力差に配慮した授業を行う ・日本語能力試験N1・N2の試験対策の練習問題を学習する
授業計画	<p>1 オリエンテーション 授業に関するオリエンテーション <学習課題> 復習：オリエンテーションの確認 予習：「文型1」の語句を調べてくる。</p> <p>2 文型1 様々な文型を使って、話したり書いたりする表現力を高める1。 <学習課題> 復習：「文型1」の確認・見直し 予習：「文型2」の語句を調べてくる。</p> <p>3 文型2 様々な文型を使って、話したり書いたりする表現力を高める2。 <学習課題> 復習：「文型2」の確認・見直し 予習：「文型3」の語句を調べてくる。</p> <p>4 文型3 様々な文型を使って、話したり書いたりする表現力を高める3。 <学習課題> 復習：「文型3」の確認・見直し 予習：「文型4」の語句を調べてくる。</p> <p>5 文型4 様々な文型を使って、話したり書いたりする表現力を高める4。 <学習課題> 復習：「文型4」の確認・見直し 予習：「文章1」の語句を調べてくる。</p> <p>6 文章1 文や文章を読む学習を通して、話したり書いたりする表現力を高める1。 <学習課題> 復習：「文章1」の確認・見直し 予習：「文章2」の語句を調べてくる。</p> <p>7 文章2 文や文章を読む学習を通して、話したり書いたりする表現力を高める2。 <学習課題> 復習：「文章2」の確認・見直し 予習：「文章3」の語句を調べてくる。</p> <p>8 文章3 文や文章を読む学習を通して、話したり書いたりする表現力を高める3。 <学習課題> 復習：「文章3」の確認・見直し 予習：「文章4」の語句を調べてくる。</p> <p>9 文章4 聴解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力を高める1。 文や文章を読む学習を通して、話したり書いたりする表現力を高める。 <学習課題> 復習：「文章4」の確認・見直し 予習：「聴解1」の語句を調べてくる。</p> <p>10 聴解1 聴解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力を高める2。 <学習課題> 復習：「聴解1」のスキットの見直し 予習：「聴解2」の語句を調べてくる。</p> <p>11 聴解2 聴解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力を高める3。 日本語能力試験N1・N2対策の問題を解く1。 <学習課題> 復習：「聴解2」のスキットの見直し 予習：「聴解3」の語句を調べてくる。</p> <p>12 聴解3 聴解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力を高める3 日本語能力試験N1・N2対策の問題を解く2。 <学習課題> 復習：「聴解3」のスキットの見直し 予習：「聴読解1」の語句を調べてくる。</p> <p>13 聴読解から1 聴読解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力を高める。 日本語能力試験N1・N2対策の問題を解く3。 <学習能力> 復習：「聴読解から1」のスキットの見直し 予習：「聴読解から2」の語句を調べてくる。</p> <p>14 聴読解から2 聴読解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力を高める。 日本語能力試験N1・N2対策の問題を解く4。 <学習能力> 復習：「聴読解から2」のスキットの見直し 予習：「聴読解から3」の語句を調べてくる。</p>

	15 聴読解から3 聴読解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力を高める。 日本語能力試験N1・N2対策の問題を解く5。 <学習能力> 復習：「聴読解から3」のスキプトの見直し 予習：試験の準備
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①学習した文型を使って話したり書いたりする表現力を高める。 ②聴解能力を高めながら話したり書いたりする表現力を高める。 ③聴読解能力を高めながら話したり書いたりする表現力を高める。 ④興味ある話題や課題等について、質疑応答できる表現力を高める。 ⑤様々な場面で学習内容を円滑に運用できる表現力を高める。 平素の学習意欲 (30%) レポート・発表 (20%) 定期試験 (50%)
科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：最初の授業で指示する。 参考書：授業で随時指示する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3rdQ	1年	2単位	選択
担当教員			
中里 亜希子			

講義概要	<ul style="list-style-type: none"> ・読んだり聞いたりする学習が幅広い生活の表現力向上に生きてはたらくように配慮しながら授業を行う ・学生の表現能力の実態に基づきながら、能力差に配慮した授業を行う
授業計画	<p>1 授業に関するオリエンテーション</p> <p>2 文型から1 様々な文型を使って話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける1</p> <p>3 文型から2 様々な文型を使って話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける2</p> <p>4 文型から3 様々な文型を使って話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける3</p> <p>5 文型から4 様々な文型を使って話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける4</p> <p>6 文章から1 文や文章を読む学習を通して、基礎的な書く力を身につける1</p> <p>7 文章から2 文や文章を読む学習を通して、基礎的な書く力を身につける2</p> <p>8 文章から3 文や文章を読む学習を通して、基礎的な書く力を身につける3</p> <p>9 文章から4 文や文章を読む学習を通して、基礎的な書く力を身につける4</p> <p>10 聴解から1 聴解能力を養う訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける1</p> <p>11 聴解から2 聴解能力を養う訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける2</p> <p>12 聴解から3 聴解能力を養う訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける3</p> <p>13 聴読解から1 聴読解能力を養う訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける1</p> <p>14 聴読解から2 聴読解能力を養う訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける2</p> <p>15 聴読解から3 聴読解能力を養う訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける3</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①様々な文型を使って話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける。 ②多くの分野の文章を読むことによって、基礎的な書く力を身につける。 ③聴解能力を養いながら、話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける。 ④聴読解能力を養いながら、話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける。 ⑤興味ある話題や課題等について、話したり書いたりする表現力をより多く身につける。</p> <p>平素の学習意欲 (20%) レポート・発表 (20%) 定期試験 (60%)</p>
科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	<p>テキスト：最初の授業で指示する。 参考書：授業で随時指示する。</p>
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3rdQ	1年	2単位	選択
担当教員			
岩崎 千恵			

講義概要	<ul style="list-style-type: none"> ・読んだり聞いたりする学習が幅広い生活の表現力向上に生きてはたらくように配慮しながら授業を行う ・学生の表現能力の実態に基づきながら、能力差に配慮した授業を行う
授業計画	<p>1 授業に関するオリエンテーション</p> <p>2 文型から1 様々な文型を使って話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける1</p> <p>3 文型から2 様々な文型を使って話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける2</p> <p>4 文型から3 様々な文型を使って話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける3</p> <p>5 文型から4 様々な文型を使って話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける4</p> <p>6 文章から1 文や文章を読む学習を通して、基礎的な書く力を身につける1</p> <p>7 文章から2 文や文章を読む学習を通して、基礎的な書く力を身につける2</p> <p>8 文章から3 文や文章を読む学習を通して、基礎的な書く力を身につける3</p> <p>9 文章から4 文や文章を読む学習を通して、基礎的な書く力を身につける4</p> <p>10 聴解から1 聴解能力を養う訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける1</p> <p>11 聴解から2 聴解能力を養う訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける2</p> <p>12 聴解から3 聴解能力を養う訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける3</p> <p>13 聴読解から1 聴読解能力を養う訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける1</p> <p>14 聴読解から2 聴読解能力を養う訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける2</p> <p>15 聴読解から3 聴読解能力を養う訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける3</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①様々な文型を使って話したり書いたりする基礎的な表現力を身につけることができる。</p> <p>②多くの分野の文章を読むことによって、基礎的な書く力を身につけることができる。</p> <p>③聴解能力を養いながら、話したり書いたりする基礎的な表現力を身につけることができる。</p> <p>④聴読解能力を養いながら、話したり書いたりする基礎的な表現力を身につけることができる。</p> <p>⑤興味ある話題や課題等について、話したり書いたりする表現力をより多く身につけることができる。</p> <p>平素の学習意欲 (20%) 課題 (30%) 試験 (50%)</p>
科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	<p>テキスト：最初の授業で指示する。</p> <p>参考書：授業で随時指示する。</p>
履修条件	意欲溢れる学生を期待します
履修上の注意	欠席する場合は必ず授業が始まる前に連絡をしてください
オフィスアワー	授業の前後で対応します。

備考・メッセージ	日本語の総合的な能力育成のために、必ず課題はしてきましょう！わからないところを明日に残さないようにしましょう。
----------	---

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3rdQ	1年	1単位	選択
担当教員			
岩崎 千恵			

講義概要	<p>この授業では、自己の興味や日本語理解能力に応じた短い多読学習用書籍や新聞記事等を購読することによって、日常語を含む多くの語彙や日本語表現をインプットし、それらを文脈で理解できることを目標とする。同時に、その中で得た知識を日本語でアウトプットできるようになる。</p> <p>日本語のレベルに応じた多読教材を準備します。従来の読解演習とは別の学習法なので、興味やレベルに即して読書を楽しみながら日本語のレベルを上げていきましょう。</p>
授業計画	<p>1 オリエンテーション 多読とはなにか。 レベルに応じた多読の方法を説明します。 レベル確認テスト</p> <p>復習：多読とは何かをもう一度復習する 予習：次の授業での目標を立てる</p> <p>2 多読演習 1 事前準備：今日の目標を立てる 内容：自己の興味・日本語のレベルに応じた教材を自分で選んで購読する 多読目標シートへのまとめ なぞなぞ作り</p> <p>復習：多読の中で新出単語をまとめる 予習：次の授業での目標を立てる</p> <p>3 多読演習 2 事前準備：今日の目標を立てる 内容：自己の興味・日本語のレベルに応じた教材を自分で選んで購読する 多読目標シートへのまとめ なぞなぞ作り</p> <p>復習：多読の中で新出単語をまとめる 予習：次の授業での目標を立てる</p> <p>4 多読演習 3 事前準備：今日の目標を立てる 内容：自己の興味・日本語のレベルに応じた教材を自分で選んで購読する 多読目標シートへのまとめ なぞなぞ作り</p> <p>復習：多読の中で新出単語をまとめる 予習：次の授業での目標を立てる</p> <p>5 多読演習 4 事前準備：今日の目標を立てる 内容：自己の興味・日本語のレベルに応じた教材を自分で選んで購読する 多読目標シートへのまとめ なぞなぞ作り</p> <p>復習：多読の中で新出単語をまとめる 予習：次の授業での目標を立てる</p> <p>6 多読演習 5 事前準備：今日の目標を立てる 内容：自己の興味・日本語のレベルに応じた教材を自分で選んで購読する 多読目標シートへのまとめ なぞなぞ作り</p> <p>復習：多読の中で新出単語をまとめる 予習：次の授業での目標を立てる</p> <p>7 多読演習 6 事前準備：今日の目標を立てる 内容：自己の興味・日本語のレベルに応じた教材を自分で選んで購読する 多読目標シートへのまとめ なぞなぞ作り</p> <p>復習：多読の中で新出単語をまとめる 予習：次の授業での目標を立てる</p> <p>8 多読演習 7 事前準備：今日の目標を立てる 内容：自己の興味・日本語のレベルに応じた教材を自分で選んで購読する 多読目標シートへのまとめ なぞなぞ作り</p>

	<p>9</p> <p>復習：多読の中で新出単語をまとめる 予習：次の授業での目標を立てる 多読演習 8 事前準備：今日の目標を立てる 内容：自己の興味・日本語のレベルに応じた教材を自分で選んで購読する 多読目標シートへのまとめ なぞなぞ作り</p> <p>10</p> <p>復習：多読の中で新出単語をまとめる 予習：次の授業での目標を立てる 多読演習 9 事前準備：今日の目標を立てる 内容：自己の興味・日本語のレベルに応じた教材を自分で選んで購読する 多読目標シートへのまとめ なぞなぞ作り</p> <p>11</p> <p>復習：多読の中で新出単語をまとめる 予習：次の授業での目標を立てる 多読演習 10 事前準備：今日の目標を立てる 内容：自己の興味・日本語のレベルに応じた教材を自分で選んで購読する 多読目標シートへのまとめ なぞなぞ作り</p> <p>12</p> <p>復習：多読の中で新出単語をまとめる 予習：次の授業での目標を立てる 多読演習：多読教材を作ってみよう① 多読教材作り 事前準備：今日の目標を立てる 内容：自己の興味・日本語のレベルに応じた教材を自分で選んで作成する 多読目標シートへのまとめ</p> <p>13</p> <p>復習：多読の中で新出単語をまとめる 予習：多読教材の題材・構成を考える 多読演習：多読教材を作ってみよう② 多読教材作り 事前準備：今日の目標を立てる 内容：自己の興味・日本語のレベルに応じた教材を自分で選んで作成する 多読目標シートへのまとめ</p> <p>14</p> <p>復習：多読の中で新出単語をまとめる 予習：多読教材の題材・構成を考える 発表① 多読教材作り 事前準備：今日の目標を立てる 内容：作成した多読教材を音読で発表する 多読目標シートへのまとめ</p> <p>15</p> <p>復習：多読の中で新出単語をまとめる 予習：多読教材の改善を行う 発表② 多読教材作り 事前準備：今日の目標を立てる 内容：作成した多読教材を音読で発表する 多読目標シートへのまとめ</p> <p>今期のまとめ</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①様々な文型を使った文章を読むことができる。 ②多くの分野の文章を読むことによって、基礎的な読む力を身につけることができる。 ③多くの分野の文章を読むことによって、基礎的な書く力を身につけることができる。 ④聴読解能力を養いながら、話したり書いたりする基礎的な表現力を身につけることができる。 ⑤興味ある話題や実体験等について、話したり書いたりする表現力をより多く身につけることができる。</p> <p>学習意欲 (20%) 記録シート (20%) 語彙・表現活動シート (30%) 発表 (10%) 課題 (20%)</p>
科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	教科書はなし 多読教材を準備します 補助プリントを適時配布
履修条件	意欲を持って取り組む学生

履修上の注意	静かに集中して読む時間があります。
オフィスアワー	火曜日3コマ目
備考・メッセージ	「多読」は読んで字の如く、「たくさん（の本や文章を）読むこと」です。多くの日本語の文章に触れることで、日常語はもちろん、まだ習っていない単語にも出会えます。文脈から不明な単語を推察する能力も高めることができます。きっと楽しい時間になりますよ。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4thQ	1年	2単位	選択
担当教員			
Luc Roberge			

講義概要	<p>This is an integrated 4-skills course with a focus on reading and vocabulary development.</p> <p>Students will meet twice a week for fifteen 90-minute lessons. Student-centered lessons will be conducted entirely in English (for English students). Students will be able to choose the books they read. Students will read both inside and outside of class time.</p> <p>Students will take 5 vocabulary quizzes. Vocabulary will be individualized and each student will learn words at their own level.</p>
授業計画	<p>Lesson 1 Introduction to the course Students will receive an introduction to the course. Key points to be covered: 1. Goals of the course 2. Format of the course and course schedule 3. Groups 4. Evaluation</p> <p>Lesson 2 Introduction to X-Reading and Word-Engine Students will be introduced to Extensive Reading theory. Students will log in and be oriented on how to use both X-Reading and Word-Engine. Students will either use a PC or smartphone.</p> <p>Lesson 3 Extensive Reading and Vocabulary Building Students will read silently for 30 minutes. Students will participate in classroom activities selected by the teacher.</p> <p>Lesson 4 Extensive Reading and Vocabulary Building Students will take Vocabulary Quiz #1 Students will read silently for 30 minutes. Students will participate in classroom activities selected by the teacher.</p> <p>Lesson 5 Extensive Reading and Vocabulary Building Students will read silently for 30 minutes. Students will participate in classroom activities selected by the teacher.</p> <p>Lesson 6 Extensive Reading and Vocabulary Building Students will take Vocabulary Quiz #2 Students will read silently for 30 minutes. Students will participate in classroom activities selected by the teacher.</p> <p>Lesson 7 Extensive Reading and Vocabulary Building Students will read silently for 30 minutes. Students will participate in classroom activities selected by the teacher.</p> <p>Lesson 8 Extensive Reading and Vocabulary Building Students will take Vocabulary Quiz #3 Students will read silently for 30 minutes. Students will participate in classroom activities selected by the teacher.</p> <p>Lesson 9 Extensive Reading and Vocabulary Building Students will read silently for 30 minutes. Students will participate in classroom activities selected by the teacher.</p> <p>Lesson 10 Extensive Reading and Vocabulary Building Students will take Vocabulary Quiz #4 Students will read silently for 30 minutes. Students will participate in classroom activities selected by the teacher.</p> <p>Lesson 11 Extensive Reading and Vocabulary Building Students will read silently for 30 minutes. Students will participate in classroom activities selected by the teacher.</p> <p>Lesson 12 Extensive Reading and Vocabulary Building Students will take Vocabulary Quiz #5 Students will read silently for 30 minutes. Students will participate in classroom activities selected by the teacher.</p> <p>Lesson 13 Extensive Reading and Vocabulary Building Students will read silently for 30 minutes. Students will participate in classroom activities selected by the teacher.</p> <p>Lesson 14 Extensive Reading and Vocabulary Building Students will read silently for 30 minutes.</p> <p>Students will be given time to study for the final exam, prepare their final reading and vocabulary logs, and complete classwork.</p> <p>Lesson 15 Extensive Reading and Vocabulary Building Final Vocabulary exam #1-5</p> <p>Lesson 16 TBA</p>

	An additional lesson may be scheduled. Please check the exam schedule carefully of talk with your teacher.
授業形態	Practical/ applied/
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<ol style="list-style-type: none"> 1. Students will read inside and outside of class (a minimum of 22.5 hours) 2. Students will take 5 Vocabulary Quizzes and 1 Vocabulary Exams 3. Students will keep a reading log and vocabulary log 4. Students will participate in class activities 5. Students will take book quizzes <p>Due to the interactive nature of the course, regular attendance is required. Also, to be successful, it is estimated that a minimum of 1-2 hours of work outside of class time will be needed.</p> <p>Grades will be based on:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Classroom Engagement (20%) 2. Reading (Time and words) (40%) 3. Vocabulary (CR, Quiz Scores, Exam Scores) (40%)
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	For English Students: 1-year X-Reading Membership & 1 year Word Engine Membership. Ask Luc for details.
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	Please feel free to visit during posted visiting hours or Monday from 13:00- 17:00.
備考・メッセージ	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4thQ	1年	1単位	必修
担当教員			
Luc Roberge			

講義概要	<p>This is a four skills-based course with a focus on communication designed to provide opportunities to improve English language knowledge and communication skills. Focus will be given to communication skills needed for informal, everyday situations.</p> <p>Students will meet twice a week for 90 minutes (for 15 lessons), and classes will be conducted entirely in English. Students will learn and practice vocabulary, grammar and expressions needed to talk about everyday topics, as well as the conversation strategies needed to communicate naturally. Much of class time will be devoted to small group and class discussion under the guidance of the teacher. Students will also learn about the culture and customs of people from other countries.</p>
授業計画	<p>Lesson 1: Introduction to the course Students will discuss in small groups about their Gap Term. Students will prepare a short informal presentation (poster, photo or other) about their Gap Term activities.</p> <p>Lesson 2: Gap Term Discussion Groups 学習課題 復習: None 予習: Gap Term Presentation</p> <p>Lesson 3: Streamed Groups, Gap Term Lesson A Students will be streamed into groups based on language test scores and communication ability. Students will have the opportunity to become acquainted with their teacher and their peers. Students will be introduced to the topics that will be covered during the course, the discussion cycle and overall course evaluation.</p> <p>Lesson 4: Gap Term - Lesson B 学習課題 復習: Students will work on building a presentation. Students will brainstorm, organize and prepare under the guidance of the teacher. 予習: TBA by teacher</p> <p>Lesson 5: Gap Term - Lesson C 学習課題 復習: Students should bring materials for making their Scraps. A draft of the presentation notes should be complete so teachers can check language. 予習: TBA by teacher</p> <p>Lesson 6: Gap Term - Lesson D Students will present and participate in discussion groups. 学習課題 復習: TBA by teacher 予習: TBA by teacher</p> <p>Lesson 7: Christmas Party 学習課題 Students will meet in Perch for Christmas Activities.</p> <p>Lesson 8: Gap Lesson - New Year in Different Countries 学習課題 復習: TBA by teacher 予習: TBA by teacher</p> <p>Lesson 9: Gap Lesson - New Year in Different Countries 学習課題 復習: TBA by teacher 予習: TBA by teacher</p> <p>Lesson 10: School - Lesson A 学習課題 復習: TBA by mini-unit teacher 予習: TBA by mini-unit teacher</p> <p>Lesson 11: School - Lesson B 学習課題 復習: TBA by teacher 予習: TBA by teacher</p> <p>Lesson 12: School - Lesson C 学習課題 復習: Students should bring materials for making their Scraps. A draft of the presentation notes should be complete so teachers can check language. 予習: TBA by teacher</p> <p>Lesson 13: School - Lesson D: Discussion Group 学習課題 復習: TBA by teacher 予習: TBA by teacher</p> <p>Lesson 14: Gap Lesson - Final Evaluations 学習課題 復習: TBA by teacher 予習: TBA by teacher</p> <p>Lesson 15: Gap Lesson - Final Evaluations This is the final lesson</p>

	学習課題 復習：TBA by teacher 予習：TBA by teacher
授業形態	Exercises/ Practical Experience
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<ol style="list-style-type: none"> 1. Students will be able to develop language related to topics determined in class. 2. Students will be able to participate in group discussions. 3. Students will be able to make video journals. 4. Students will be able to make a scrap book. 5. Students will be able to do peer-evaluations and self-evaluations <p>Due to the interactive nature of the course, regular attendance and active participation are required. Grades will be based on classroom engagement (40%), textbook, scrapbook and notes (30%) and discussion groups (30%)</p> <p>Grades will be based on classroom engagement (40%), textbook, scrapbook and notes (30%) and discussion groups (30%)</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	Cullen, B. & Mulvey, S. (2011). Scraps (3rd Ed.). Nagoya: Perceptia Press
履修条件	Due to the interactive nature of the course, regular attendance and active participation are required. Lessons will be taught entirely in English. To enroll, student must meet the minimum language requirement.
履修上の注意	
オフィスアワー	To be announced
備考・メッセージ	Every effort will be keep classes size below 20 students

講義科目名称：多読演習Ⅲ

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4thQ	1年	2単位	選択
担当教員			
岩崎 千恵			

講義概要	<p>日本語の多読教材や新聞、書籍を集中して読むことによって学習者の日本語能力の中でも「読む」「書く」の能力を伸ばすことができます。また、読んだ内容を学習者同士で説明することで「話す」「聞く」能力も同様に伸ばすことができます。</p> <p>4Qにおいてはビブリオバトルを実施して、総合的な日本語表現能力の育成を目指します。</p>		
授業計画	1	10分 発音確認 30分 多読 20分 語彙・文法シート活動 20分 発表 10分 振り返り・課題確認	
	2	10分 発音確認 30分 多読 20分 語彙・文法シート活動 20分 発表 10分 振り返り・課題確認	
	3	10分 発音確認 30分 多読 20分 語彙・文法シート活動 20分 発表 10分 振り返り・課題確認	
	4	10分 発音確認 30分 多読 20分 語彙・文法シート活動 20分 発表 10分 振り返り・課題確認	
	5	10分 発音確認 30分 多読 20分 語彙・文法シート活動 20分 発表 10分 振り返り・課題確認	
	6	10分 発音確認 30分 多読 20分 語彙・文法シート活動 20分 発表 10分 振り返り・課題確認	
	7	10分 発音確認 30分 多読 20分 語彙・文法シート活動 20分 発表 10分 振り返り・課題確認	
	8	10分 発音確認 30分 多読 20分 語彙・文法シート活動 20分 発表 10分 振り返り・課題確認	
	9	10分 発音確認 30分 多読 20分 語彙・文法シート活動 20分 発表 10分 振り返り・課題確認	
	10	10分 発音確認 30分 多読分 20分 語彙・文法シート活動 30分 ビブリオバトル	ビブリオバトル①
	11	10分 発音確認 30分 多読分	ビブリオバトル②

	<p>20分 語彙・文法シート活動 30分 ビブリオバトル ビブリオバトル③</p> <p>10分 発音確認 30分 多読分 20分 語彙・文法シート活動 30分 ビブリオバトル ビブリオバトル④</p> <p>10分 発音確認 30分 多読分 20分 語彙・文法シート活動 30分 ビブリオバトル ビブリオバトル⑤</p> <p>10分 発音確認 30分 多読分 20分 語彙・文法シート活動 30分 ビブリオバトル ビブリオバトル 準決勝</p> <p>10分 発音確認 30分 多読分 20分 語彙・文法シート活動 30分 ビブリオバトル ビブリオバトル 決勝</p> <p>10分 発音確認 30分 多読分 20分 語彙・文法シート活動 30分 ビブリオバトル</p>
授業形態	個別に読書の時間を設けますが、残り30分は全体での発表や活動です
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①様々な文型を使った文章を読むことができる。 ②多くの分野の文章を読むことによって、基礎的な読む力を身につけることができる。 ③多くの分野の文章を読むことによって、基礎的な書く力を身につけることができる。 ④聴読解能力を養いながら、話したり書いたりする基礎的な表現力を身につけることができる。 ⑤興味ある話題や実体験等について、話したり書いたりする表現力をより多く身につけることができる。</p> <p>学習意欲 (20%) 記録シート (20%) 語彙・表現活動シート (30%) 発表 (10%) 課題 (20%)</p>
科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	日本語多読教材等を使用、個別の持ち込みも可
履修条件	意欲を持って取り組む学生
履修上の注意	欠席する場合は必ず授業が始まる前に連絡をしてください
オフィスアワー	水曜日3コマ目 メールや電話で予約してきてください
備考・メッセージ	集中して読むことは慣れが大事です。初めは難しいかもしれませんが、慣れてくるまで頑張りましょう 日本語で本が読むことができる達成感を味わいませんか

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4thQ	1年	1単位	選択
担当教員			
青木 萌			

講義概要	本授業では、中国の日常生活において必要とされる会話を学ぶ。まず、中国のテレビドラマから収集した実用的な表現を受講者に提示し、解説を行う。その後、解説を行った表現に対する音読練習を何度も行う。このように映像言語資料を有効的に活用して、どのような場面でどのような表現を行うのかを効率良く理解する。また、授業の前半で学んだ複数の表現を用いて、教員と学生、あるいは、学生同士が一对一で会話練習を行い、流暢にやりとりが行えるよう反復練習する。		
授業計画	1	オリエンテーション、会話練習1 用例の提示、用例の解説、発音練習、会話練習 学習課題 復習:授業で学んだ表現を音読練習する	
	2	会話練習2 用例の提示、用例の解説、発音練習、会話練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で学んだ表現を音読練習する	
	3	会話練習3 用例の提示、用例の解説、発音練習、会話練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で学んだ表現を音読練習する	
	4	会話練習4 用例の提示、用例の解説、発音練習、会話練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で学んだ表現を音読練習する	
	5	会話練習5 用例の提示、用例の解説、発音練習、会話練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で学んだ表現を音読練習する	
	6	会話練習6 用例の提示、用例の解説、発音練習、会話練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で学んだ表現を音読練習する	
	7	会話練習7 用例の提示、用例の解説、発音練習、会話練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で学んだ表現を音読練習する	
	8	会話練習8 用例の提示、用例の解説、発音練習、会話練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で学んだ表現を音読練習する	
	9	会話練習9 用例の提示、用例の解説、発音練習、会話練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で学んだ表現を音読練習する	
	10	会話練習10 用例の提示、用例の解説、発音練習、会話練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で学んだ表現を音読練習する	
	11	会話練習11 用例の提示、用例の解説、発音練習、会話練習	

	<p>1 2</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で学んだ表現を音読練習する 会話練習12 用例の提示、用例の解説、発音練習、会話練習</p> <p>1 3</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で学んだ表現を音読練習する 会話練習13 用例の提示、用例の解説、発音練習、会話練習</p> <p>1 4</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で学んだ表現を音読練習する 会話練習14 用例の提示、用例の解説、発音練習、会話練習</p> <p>1 5</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で学んだ表現を音読練習する 会話練習15 用例の提示、用例の解説、発音練習、会話練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で学んだ表現を音読練習する</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>評価の観点は以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 2. 一つの文を一息で発音できる。 3. 授業で学習した表現を用いて流暢にやりとりが行える。 <p>評価手段・方法は、小テストと定期試験によって評価する。</p> <p>評価比率は以下の通りである。 小テスト(50%)、定期試験(50%)</p>
科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	教科書と参考書は開講時に紹介する。
履修条件	
履修上の注意	予習と復習を欠かさず行うこと。
オフィスアワー	授業終了後その場で、或いは、研究室で受け付ける。
備考・メッセージ	反復練習を徹底しますが、ドラマを用いるので、楽しく学ぶことができます。中国文化についての理解も深まると思います。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4thQ	1年	1単位	選択
担当教員			
内山 智子			

講義概要	幅広い話題に対応できる日本語力を高めていく。その際、必要となる語彙や文法も併せて紹介し理解を深める。会話力の向上を目指す授業なので、ペアやグループワークが中心。また、会話だけではなく、ある一つのテーマについて人に伝える力も身に着けるため、時折、簡単なプレゼンテーションを行う。
授業計画	<p>1. イン트로ダクション 課題：次回の予習 — プリントを配布</p> <p>2. ギャップイヤーを振り返ろう ①シートにまとめる。 ②ペアまたはグループで発表する。 ③仲間の報告を聞き取りまとめる。 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>3. おもしろい名前を探そう—商品パッケージ1 ①お菓子や食品のパッケージからユニークな名前がついているものを探し、なぜその名前になったか想像してみる 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>4. リサイクルマークを探そう—商品パッケージ2 ①さまざまな商品パッケージから「リサイクルマーク」、「健康に関することば」を見つけ出し、言葉の意味を話し合う。 ②自国の商品パッケージとの比較、またリサイクルや健康意識と比較しグループで発表し合う。 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>5. 新聞の見出しを読み解こう ①新聞の見出しから、どんなニュースを伝えようとしているのか想像し発表し合う。 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>6. 漫画のストーリーを考えてみよう ①いくつかの漫画のコマを見て、順番を決め、それぞれどのような場面か話し合いストーリーを完成させる。 擬態語・擬音語を考える 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>7. 友達にインタビューしよう1 ①質問文を考える ②インタビューをする（携帯電話などで録音、録画する） 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>8. 友達にインタビューしよう2 ①インタビューの内容をまとめる ②内容を精査し、聞きたかった内容が質問できたか判断する グループで発表し合う 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>9. 友達にインタビューしよう3 ①自分がインタビューした内容を発表する（録音・録画資料を使って） ②仲間の発表に対して質問する 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>10. 周りの人にインタビューしてみよう1 ①質問文を考える ②インタビューする（携帯電話などで録音、録画する） 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>11. 周りの人にインタビューしてみよう2 ①インタビューした内容をまとめる ②内容を精査し、聞きたかった内容が質問できたか判断する グループで話し合う 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>12. 周りの人にインタビューしてみよう3 ①自分がインタビューした内容を発表する（録音・録画資料を使って） ②仲間の発表に対して質問する 振り返る—自分のインタビューについて、また仲間のインタビューの良かった点について話し合う 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>13. 一年を振り返ろう ①もっとも印象に残っていることや、失敗したこと、日本の生活で驚いたことなど、仲間と話し合う。 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>14. 授業のまとめ1 ①すべての授業を振り返り、自分で理解度を確認する 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>15. 授業のまとめ2</p>

	①すべての授業を振り返り、自分で理解度を確認する 課題：授業の復習 — プリントを配布
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①既知の文法や語彙を会話場面で適切に使うことができるようになる。 ②特定の話題について、考えを述べ合い、相互の文化や習慣・考えの理解を深める。 ③さまざまな教材に接しながら、読む・書く・聞く・話すなどの基本的な技能を向上させる。 ④基本的なプレゼンテーションやスピーチができる。 ⑤日本語能力試験等、資格取得に向けて必要となる日本語表現を身に着ける。 授業参加度（積極性）、課題・グループワーク、小テスト、定期試験 授業参加度（積極性）20%、課題・グループワーク20%、小テスト10%、定期試験50%
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：最初の授業で指示する。 参考書：授業で随時指示する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で質問等を受け付けます
備考・メッセージ	授業の最初に日常の出来事を短いスピーチにまとめて発表してもらいます。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4thQ	1年	2単位	選択
担当教員			
牟田 美信			

講義概要	毎回、異なる題材に沿って、英語で文章を書き、自分の意見を的確に表現できるようにする。また、TOEICの学習をベースに、実践的に英語の文法を学習する。授業の中で、語彙数を増やし、リスニング力を高め、文法理解力を高める。		
授業計画	1	Introduction & 英語で自己紹介 授業の進め方、評価方法の説明、Moodleの使い方 レベル別の3クラスが全体で初回を行う。 「自己紹介」を英語で書いてみよう。内容の添削、発表練習 学習課題 復習：ライティング課題と発表の練習 予習：辞書の準備	
	2	Unit 1: Going Overseas Grammar Points: Sentence Patterns (5文型) Writing Task 学習課題 復習：自己紹介で使う表現を復習 予習：事項珠海の内容を考える	
	3	Unit2: Going Shopping Grammar Points: Nouns and Modifiers (名詞とその修飾句) Writing Task 学習課題 復習：このUnitで学んだ文法項目の復習。 予習：次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。	
	4	Unit 3: Talking about Food and Health Grammar Points: Adjectives and Adverbs (形容詞と副詞) Writing Task 学習課題 復習：このUnitで学んだ文法項目の復習。 予習：次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。	
	5	Unit 4: Enjoying Sports and Entertainment Grammar Points: Tricky Prepositions (間違いやすい前置詞) Writing Task 学習課題 復習：このUnitで学んだ文法項目の復習。 予習：次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。	
	6	Review Test レビューテスト 学習課題 復習：Unit 1 - 4 を復習 予習：次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。	
	7	Unit 5: Preserving Nature Grammar Points: Auxiliary Verbs (助動詞) Writing Task 学習課題 復習：このUnitで学んだ文法項目の復習。 予習：次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。	
	8	Unit 6: Giving Directions Grammar Points: Causative Verbs and Verbs of Perception (使役動詞と知覚動詞) Writing Task 学習課題 復習：このUnitで学んだ文法項目の復習。 予習：次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。	
	9	Unit 7: Going Job Hunting Grammar Points: Conjunctions (小さい接続詞と大きな接続詞) Writing Task 学習課題 復習：このUnitで学んだ文法項目の復習。 予習：次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。	
	10	Unit 8: Working in the Office Grammar Points: Relative Clauses (関係詞) Writing Task 学習課題 復習：このUnitで学んだ文法項目の復習。 予習：次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。	
	11	Review Test 2 レビューテスト	

	<p>12 学習課題 復習：Unit 5 - 8を復習 予習：次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。 Unit 9: Paying the Bills Grammar Points: Tense (時制) Writing Task</p> <p>13 学習課題 復習：このUnitで学んだ文法項目の復習。 予習：次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。 Unit 10: Advertising a New Product Grammar Points: Quantifiers and the Correct Verbs (数量詞と動詞の関係) Writing Task</p> <p>14 学習課題 復習：このUnitで学んだ文法項目の復習。 予習：次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。 Unit 11: Renting an Apartment Grammar Points: Conditional Sentences (条件文・仮定法) Writing Task</p> <p>15 学習課題 復習：このUnitで学んだ文法項目の復習。 予習：次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。 Unit 12: Renting an Apartmnet Grammar Points: Verb+ing vs. Verb+to+Stem Verb (～ingにつく動詞・toにつく動詞) Writing Task</p> <p>16 学習課題 復習：このUnitで学んだ文法項目の復習。 予習：次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。 総合評価</p>
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①語彙数を増やす。 ②苦手とする英文法を正しく理解する。 ③正確に英語の音声聞きとる。 ④英文の内容を正しく理解できる。 ⑤日常で使う使う簡単な英語の文章をかくことができる。</p> <p>英文ライティングタスクと筆記試験で総合的に評価する。 筆記試験（80%）、英語ライティングタスク（20%）</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	参考) 「TOEIC Test : On Target book 1 - 南雲堂」、プリント教材、授業の中で指示する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	木曜日（14:50 - 16:20）
備考・メッセージ	英語ライティングに関して、個人個人のレベルは大きく異なる。様々な日常と関連した問題に取り組み、自分のレベル、弱点を早く発見し、それぞれにあった問題に取り組み弱みを克服することが肝要である。また、様々な日常の場面や、就職活動で役立つライティングスキルをしっかりと学んで欲しい。実際に英語を使う場面に応じた実践的な内容でもある。英語力の向上に期待したい。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4thQ	1年	1単位	選択
担当教員			
未定			

講義概要	本授業は門段階の韓国語を学習した人が会話を中心としたコミュニケーション能力を身に付けることを目標としている。さまざまな場面で核心フレーズをベースとして日常生活を自ら作り出し、それを持ってネイティブの韓国人学生達と話して会話の「感」を覚える。
授業計画	<p>1 オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 「会話」の定義、韓国語会話の作り方について 学習課題 復習 なし 予習 韓国語の挨拶について調べる</p> <p>2 アンニョンハセヨ 自己紹介と挨拶が出来る。 核心フレーズをベースで自分のことを話し、相手のことを聞く「やり取り」を準備する。 学習課題 復習 韓国語会話の作り方についてもう一度確認する。 予習 韓国語会話文を準備する</p> <p>3 実戦会話 勉強したフレーズを使って実際に会話練習を行う 学習課題 復習 韓国語の挨拶についてもう一度確認する。 予習 韓国語の住居に関する表現について調べておく</p> <p>4 オディエサラヨ 住んでいるところについて表現出来る。 核心フレーズをベースで自分のことを話し、相手のことを聞く「やり取り」を準備する。 学習課題 復習 自分が作った韓国語会話文もう一度確認する 予習 韓国語会話文を準備する</p> <p>5 実戦会話 勉強したフレーズを使って実際に会話練習を行う 学習課題 復習 韓国語の住居に関する表現についてもう一度確認する。 予習 韓国語の好き嫌いに関する表現について調べておく</p> <p>6 ジョアヘヨ・シロヘヨ 好き嫌いについて表現出来る。 核心フレーズをベースで自分のことを話し、相手のことを聞く「やり取り」を準備する。 学習課題 復習 自分が作った韓国語会話文もう一度確認する 予習 韓国語会話文を準備する</p> <p>7 実戦会話 勉強したフレーズを使って実際に会話練習を行う 学習課題 復習 韓国語の好き嫌いに関する表現についてもう一度確認する。 予習 韓国語の数字について調べておく</p> <p>8 オルマエヨ 値段を聞いたり品物を買ったりすることが出来る。 核心フレーズをベースで自分のことを話し、相手のことを聞く「やり取り」を準備する。 学習課題 復習 自分が作った韓国語会話文もう一度確認する 予習 韓国語会話文を準備する</p> <p>9 実戦会話 勉強したフレーズを使って実際に会話練習を行う 学習課題 復習 韓国語の数字についてもう一度確認する。 予習 韓国語の数え方について調べておく</p> <p>10 カジヨギミヨツミョンイエヨ 家族の構成と人数を放して、人数や個数を数えることが出来る。 核心フレーズをベースで自分のことを話し、相手のことを聞く「やり取り」を準備する。 学習課題 復習 自分が作った韓国語会話文もう一度確認する 予習 韓国語会話文を準備する</p> <p>11 実戦会話 勉強したフレーズを使って実際に会話練習を行う 学習課題 復習 韓国語の数字についてもう一度確認する。 予習 韓国語の数え方について調べておく</p> <p>12 ガジゴイツソヨ 持っているものについて話すことが出来る 核心フレーズをベースで自分のことを話し、相手のことを聞く「やり取り」を準備する。 学習課題 復習 自分が作った韓国語会話文もう一度確認する 予習 韓国語会話文を準備する</p> <p>13 実戦会話 勉強したフレーズを使って実際に会話練習を行う 学習課題 復習 韓国語の数え方についてもう一度確認する。 予習 今まで勉強したフレーズを整理しておく</p> <p>14 会話文作り 1 今まで勉強した内容をまとめ、自分が選んだテーマで「会話文」を作ることが出来る。 勉強した内容の全体まとめ、会話文作成の作業</p>

	<p>学習課題 復習 今まで勉強した単語・表現をもう一度確認する。 予習 韓国語会話文を準備する</p> <p>15 会話文作り2・まとめ 今まで勉強した内容をまとめ、自分が選んだテーマで「会話文」を作ることが出来る。 会話文発表、授業アンケート作成 学習課題 復習 今まで勉強した単語・表現をもう一度確認する。 予習 なし</p>
授業形態	講義・演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>授業参加度（10％）、課題又はグループワーク（30％）、定期試験（60％）</p> <p>①学習者が実際に韓国訪問した際や韓国人との交流の中で必要な単語・表現を身につける。 ②ネイティブとの会話練習を通じて、あらゆる場面で適切な対応が出来るようになる。 ③演習を通して韓国語に多く触れ、韓国語に対する興味を深める。 ④同時期開催される韓国語科目と連動し、韓国語初級単語を1500個以上学習し、TOPIK2級合格を目指す。</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	毎回パワーポイントの資料を準備する。
履修条件	
履修上の注意	韓国・釜山観光高校実習行程に合わせて内容を調整する場合がある
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	学習進度やレベルに応じて、学習計画に変更が生じることがある。 個人のレベルに応じてクラス分けを行う。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4thQ	1年	2単位	選択
担当教員			
Luc Roberge			

講義概要	This course is designed to give students various opportunities to develop their skills and confidence to communicate through reading and writing tasks. The course will follow a student-centred model.		
授業計画	Lesson 1	Introduction to Writing and Grammar In the first lesson, the course goals, evaluation and semester plan will be explained. Some Ice-breaker games and warm-up activities will be played. 学習課題 復習：TBD 予習：TBD	
	Lesson 2	Writing Tasks In this lesson, students will be introduced to extensive reading and will begin writing a series of writing tasks using Google Documents. Students will communicate with student from Columbia in an online forum. Students will learn that for each writing task, they will be given class time to complete. They will then digitally share the file with the teacher who will provide them with feedback. Students will then have to correct mistakes 学習課題 復習：TBD 予習：TBD	
	Lesson 3	Personal Profile Students will communicate with student from Columbia in an online forum. Student will begin their first writing topic - a digital personal profile. 学習課題 復習：TBD 予習：TBD	
	Lesson 4	Introduction Letter 1 Students will communicate with student from Columbia in an online forum. Student will begin their 2nd writing topic - an introduction letter. The focus will be on identifying standard components of an informal letter. Class time will also be used to complete activities in areas where students need additional practice. Students will also use class time to correct teacher feedback from previous writing assignments. 学習課題 復習：TBD 予習：TBD	
	Lesson 5	Introduction Letter 2 Students will communicate with student from Columbia in an online forum. Student will finish their 2nd writing topic - an introduction letter. The focus will be on identifying standard components of an informal letter. Class time will also be used to complete activities in areas where students need additional practice. Students will also use class time to correct teacher feedback from previous writing assignments. 学習課題 復習：TBD 予習：TBD	
	Lesson 6	My Home Town and my Hobbies 1 Students will communicate with student from Columbia in an online forum. Student will start their 3rd writing topic - two paragraphs. The focus will the form of a paragraph. Class time will also be used to complete activities in areas where students need additional practice. Students will also use class time to correct teacher feedback from previous writing assignments. 学習課題 復習：TBD 予習：TBD	
	Lesson 7	My Home Town and my Hobbies 2 Students will communicate with student from Columbia in an online forum. Student will finish their 3rd writing topic - two paragraphs. The focus will the form	

		<p>of a paragraph.</p> <p>Class time will also be used to complete activities in areas where students need additional practice. Students will also use class time to correct teacher feedback from previous writing assignments.</p> <p>學習課題 復習：TBD 予習：TBD</p>
Lesson 8	In Ten Years 1	<p>Students will communicate with student from Columbia in an online forum.</p> <p>Students will start their 4th writing topic - a 2-4 paragraph personal reflection writing topic about their future. The focus will be the form of a paragraph and using future potential language.</p> <p>Class time will also be used to complete activities in areas where students need additional practice. Students will also use class time to correct teacher feedback from previous writing assignments.</p> <p>學習課題 復習：TBD 予習：TBD</p>
Lesson 9	In Ten Years 2	<p>Students will communicate with student from Columbia in an online forum.</p> <p>Students will continue their 4th writing topic - a 2-4 paragraph personal reflection writing topic about their future. The focus will be the form of a paragraph and using future potential language.</p> <p>Class time will also be used to complete activities in areas where students need additional practice. Students will also use class time to correct teacher feedback from previous writing assignments.</p> <p>學習課題 復習：TBD 予習：TBD</p>
Lesson 10	In Ten Years 3	<p>Students will communicate with student from Columbia in an online forum.</p> <p>Students will finish their 4th writing topic - a 2-4 paragraph personal reflection writing topic about their future. The focus will be the form of a paragraph and using future potential language.</p> <p>Students will participate in a share activity. Students will share some of their writing with peers.</p> <p>Class time will also be used to complete activities in areas where students need additional practice. Students will also use class time to correct teacher feedback from previous writing assignments.</p> <p>學習課題 復習：TBD 予習：TBD</p>
Lesson 11	Man on the Beach 1	<p>Students will communicate with student from Columbia in an online forum.</p> <p>Students will start their 5th and last writing topic a 3-5 paragraph story based on their interpretation of a photo. The focus will be on using descriptive language to explain the who, what, when, where and why of the person in the photo.</p> <p>Class time will also be used to complete activities in areas where students need additional practice. Students will also use class time to correct teacher feedback from previous writing assignments.</p> <p>學習課題 復習：TBD 予習：TBD</p>
Lesson 12	Man on the Beach 2	<p>Students will communicate with student from Columbia in an online forum.</p> <p>Students will continue their 5th and last writing topic a 3-5 paragraph story based on their interpretation of a photo. The focus will be on using descriptive language to explain the who, what, when, where and why of the person in the photo.</p> <p>Class time will also be used to complete activities in areas where students need additional practice. Students will also use class time to correct teacher feedback from previous writing assignments.</p> <p>學習課題 復習：TBD 予習：TBD</p>
Lesson 13	Man on the Beach 3	<p>Students will communicate with student from Columbia in an online forum.</p> <p>Students will finish their 5th and last writing topic - a 3-5 paragraph story based on their interpretation of a photo. The focus will be on using descriptive language to explain the who, what, when, where and why of the person in the photo.</p>

	<p>Class time will also be used to complete activities in areas where students need additional practice. Students will also use class time to correct teacher feedback from previous writing assignments.</p> <p>学習課題 復習 : TBD 予習 : TBD</p> <p>Lesson 14 Final Assignment Students will communicate with student from Columbia in an online forum.</p> <p>Students will finalize all their writing tasks and prepare for the final activity in the last lesson.</p> <p>Lesson 15 Students will communicate with student from Columbia in an online forum. Final Lesson. Students will communicate with student from Columbia in an online forum.</p> <p>Students will submit all their remaining work.</p> <p>Students will complete course evaluations.</p> <p>Students will participate in a writing share activity where they can share a piece of writing with peers.</p>
授業形態	lecture
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<ol style="list-style-type: none"> 1. Students will be able to use google documents. 2. Students will be able to submit work through njc9.learn.net 3. Students will be able to use google documents to complete forms. 4. Students will be able to write diaries/ journals. 5. Students will be able to identify in which ways they could improve their written communication skills. <p>Due to the interactive nature of the course, regular attendance and active participation are required. Grades will be based on classroom engagement (25%), writing tasks (60%), digital booklet (15%).</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	Due to the interactive nature of the course, regular attendance and active participation are required. Grades will be based on classroom engagement (25%), writing tasks (60%), digital booklet (15%).
教科書・参考書	
履修条件	Due to the interactive nature of the course, regular attendance and active participation are required. Lessons will be taught entirely in English. To enroll, student must meet the minimum language requirement.
履修上の注意	
オフィスアワー	Monday 13:00 - 18:00
備考・メッセージ	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4thQ	1年	2単位	選択
担当教員			
園田 靖			

講義概要	高校までに習得した英語の文法知識の復習と、説得力のある論理的な構造をもった英文を書けるようになることを目標とする。合わせて、ライティングだけでなく、リーディング・リスニング・スピーキングの各技能についても問題演習などを通じて養成することを目指す。
授業計画	<p>1. 初回オリエンテーション 授業概要の説明 「パラグラフ」と「段落」の違いについて、日本語話者にはなじみのない概念の知識を得る。</p> <p>※ハンドアウトを配布</p> <p>2. 時制の基本(1) 現在形と現在進行形、過去形 動詞の活用や時勢に合わせた変化についての復習をするとともに、各時制についてのイメージを捉え直す。</p> <p>3. 時制の基本(2) 現在完了形・過去完了系 「完了形」という名前のために勘違いしがちな英語の時制の感覚を把握する。</p> <p>4. 「法」について(1) 仮定法/命令法/直説法 高校までの文法事項の中で比較的難易度が高いと思われる「仮定法」の復習を前に、そもそも英文法における「法」とはなにかを学習する。</p> <p>5. 「法」について(2) 仮定法過去 基本となる仮定法過去の文法事項を確認し、同時にこの表現のもつイメージをつかむ。</p> <p>6. 「法」について(3) 仮定法過去完了 さらに仮定法についての復習を行うことで知識を深めつつ、助動詞の過去形の性質についても理解を広げる。</p> <p>7.</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	筆記試験（期末）：75% 授業態度や取り組み、授業内での課題等：25%
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	授業内で適宜ハンドアウトを配布する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	水曜1限（9:10～10:40） ほか、空きコマでも随時対応します。
備考・メッセージ	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4thQ	1年	2単位	必修
担当教員			
国際コミュニケーション学科教員			

講義概要	<p>1st Quarter、2nd Quarterに計画準備を行い、3rd Quarterで体験した、留学・インターンシップ・サービスラーニングに関して、個人、グループでまとめ、プレゼンテーションを作成し、発表を行う。</p> <p>(プレゼンに盛り込む主な内容：体験の言語化)</p> <p>留学・インターンシップ・サービスラーニング各活動において、</p> <p>①「何のために参加したのか」</p> <p>②「成果・学んだこと」(ネガティブな点、ポジティブな点を詳細に書き出す。友達同士でも質問し合う)</p> <p>③「ギャップタームの経験をどのように将来生かして行くか」</p>
授業計画	<p>1 ギャップイヤー振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「インターンシップ・留学・サービスラーニング振り返りシート」、「振り返りアンケート」(ギャップイヤー事後、社会人基礎力、目標達成度)等の記入 <p>予習&復習：ギャップタームでの経験を日誌を見ながら分析する。</p> <p>2 ギャップイヤー振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「インターンシップ・留学・サービスラーニング振り返りシート」、「振り返りアンケート」(ギャップイヤー事後、社会人基礎力、目標達成度)等の記入 <p>予習&復習：ギャップタームでの経験を日誌を見ながら分析する。</p> <p>3 ギャップイヤー振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「振り返りアンケート」(ギャップイヤー事後、社会人基礎力、目標達成度)等の記入 ・ギャップイヤーでの経験を言語化する1 (プレゼン準備・ポスター等の作成) <p>予習&復習：ギャップタームでの経験を日誌を見ながら分析する。</p> <p>4 ギャップイヤー振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「振り返りアンケート」(ギャップイヤー事後、社会人基礎力、目標達成度)等の記入 ・ギャップイヤーでの経験を言語化する1 (プレゼン準備・ポスター等の作成) <p>予習&復習：ギャップタームでの経験を日誌を見ながら分析する。</p> <p>5 体験の言語化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ギャップタームでの経験を言語化する (プレゼン準備・ポスター等の作成) <p>予習&復習：第3者に自分の経験を正確に伝える準備をする。</p> <p>6 就職セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「就職における適性、志望動機、エントリーシートについて」(講師：フレッシュワーク佐世保) <p>予習&復習：就職活動の基本を習得する。</p> <p>7 就職セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リクルートスーツの選び方・着こなし指導 (講師：紳士服の青山) <p>予習&復習：就職活動の基本を習得する。</p> <p>8 体験の言語化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ギャップタームでの経験を言語化する (PPTプレゼン準備→ポスタープレゼンの作成) <p>予習&復習：第3者に自分の経験を正確に伝える準備をする。</p> <p>9 体験の言語化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ギャップタームでの経験を言語化する (PPTプレゼン準備→ポスタープレゼンの作成) <p>予習&復習：第3者に自分の経験を正確に伝える準備をする。</p> <p>10 体験の言語化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ギャップタームでの経験を言語化する (PPTプレゼン準備→ポスタープレゼンの作成) <p>予習&復習：第3者に自分の経験を正確に伝える準備をする。</p> <p>11 体験の言語化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション実践リハーサル <p>予習&復習：発表の態度や声の出し方も意識した練習を行う。</p> <p>12 体験の言語化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション実践リハーサル <p>予習&復習：発表の態度や声の出し方も意識した練習を行う。</p> <p>13 ポスタープレゼン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション実践リハーサル

	<p>14 予習&復習：発表の態度や声の出し方も意識した練習を行う。 ポスタープレゼン ・PPTプレゼンの実施</p> <p>15 予習&復習：発表の最終調整を行う。 振り返りスピーチ&評価 ・PPTプレゼンの実施</p> <p>16 予習&復習：発表の最終調整を行う。 振り返りスピーチ&評価 ・評価+アンケート（クォーター制・学外学修体験について）</p> <p>予習&復習：特になし</p>
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①ギャップイヤーの活動において、自らで立てた目標を達成することができる。</p> <p>②ギャップイヤーの活動において、さらに新しい知識情報を得ることができる。</p> <p>③ギャップイヤーの活動において、起こったリスクに関しても正しく分析・理解し、解決することができる。</p> <p>④ギャップイヤーの活動において、活動計画に沿って問題なく実施することができる。</p> <p>⑤ギャップイヤーの活動において、評価システムに沿って評価することができる。</p> <p>授業中に行う「ポスター等の資料作成（50%）」、「プレゼンテーション（50%）」で総合的に評価を行う。</p> <p>ポスター等の資料作成（50%）、プレゼンテーション（50%）</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	特になし
履修条件	
履修上の注意	経験してことを具体的に文章化やプレゼンテーションを行うことで、確実なものとなるので、真剣に取り組むこと。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00） *その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	体験したことを可能な限り言語化できるように日頃からメモをとるようにしてください。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4thQ	1年	2単位	選択
担当教員			
青木 萌			

講義概要	本授業は中国語の基礎となる文法知識と作文能力を身に付けることができる。主として、就職活動や編入学に大きく役立つ中国語の検定試験HSK(漢語水平考試)の読解問題と作文問題を用いて、日常生活、学校、仕事、旅行などにおいて必要とされる中国語の基本的な読解と作文のテクニックの向上を目指す。本授業の前半では、模擬問題を解き、その後、重要な文法事項を確認しながら、答え合わせを行う。そして、問題の中で読み方や日本語の意味が分からなかった単語を黒板に書いて、学習する。授業の後半においては、問題に出てくる文を1人ずつ何度も発音する。		
授業計画	1	オリエンテーション、模擬問題1 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	2	模擬問題2 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	3	模擬問題3 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	4	模擬問題4 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	5	模擬問題5 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	6	模擬問題6 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	7	模擬問題7 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	8	模擬問題8 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	9	模擬問題9 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	10	模擬問題10 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	11	模擬問題11 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習	

	<p>模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する</p> <p>1 2 模擬問題12 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する</p> <p>1 3 模擬問題13 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する</p> <p>1 4 模擬問題14 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する</p> <p>1 5 模擬問題15 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する</p>
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>評価の観点は以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 2. 一つの文を一息で発音できる。 3. HSK3級の読解問題に合格(正答率6割)できる。 4. HSK3級の作文問題に合格(正答率6割)できる。 <p>評価手段・方法は、小テストと定期試験によって評価する。</p> <p>評価比率は以下の通りである。 小テスト(50%)、定期試験(50%)</p>
科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	教科書は使用せずプリントを配布する。参考書は適宜紹介する。
履修条件	
履修上の注意	毎回、模擬問題の解答や解答理由を求めるので、予習と復習を欠かさず行うこと。
オフィスアワー	授業終了後にその場で、或は、研究室で受け付ける。
備考・メッセージ	HSKの資格を持っていると、就職活動や編入学の際にとっても有利になります。HSKで高得点を取るコツを教えま す。 また、中国語の実践的な運用能力も向上させることができるので、ぜひ履修して下さい。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4thQ	1年	2単位	選択
担当教員			
井上 麗奈			

講義概要	本授業は中国語の基礎となる文法知識と作文能力を身に付けることができる。主として、就職活動や編入学に大きく役立つ中国語の検定試験HSK(漢語水平考試)の読解問題と作文問題を用いて、日常生活、学校、仕事、旅行などにおいて必要とされる中国語の基本的な読解と作文のテクニックの向上を目指す。本授業の前半では、模擬問題を解き、その後、重要な文法事項を確認しながら、答え合わせを行う。そして、問題の中で読み方や日本語の意味が分からなかった単語を黒板に書いて、学習する。授業の後半においては、問題に出てくる文を1人ずつ何度も発音する。		
授業計画	1	オリエンテーション、模擬問題1 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	2	模擬問題2 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	3	模擬問題3 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	4	模擬問題4 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	5	模擬問題5 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	6	模擬問題6 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	7	模擬問題7 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	8	模擬問題8 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	9	模擬問題9 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	10	模擬問題10 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	11	模擬問題11 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習	

	<p>模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する</p> <p>1 2 模擬問題12 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する</p> <p>1 3 模擬問題13 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する</p> <p>1 4 模擬問題14 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する</p> <p>1 5 模擬問題15 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する</p>
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>評価の観点は以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 2. 一つの文を一息で発音できる。 3. HSK3級の読解問題に合格(正答率6割)できる。 4. HSK3級の作文問題に合格(正答率6割)できる。 <p>評価手段・方法は、小テストと定期試験によって評価する。</p> <p>評価比率は以下の通りである。 小テスト(50%)、定期試験(50%)</p>
科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	教科書は使用せずプリントを配布する。参考書は適宜紹介する。
履修条件	
履修上の注意	毎回、模擬問題の解答や解答理由を求めるので、予習と復習を欠かさず行うこと。
オフィスアワー	授業終了後にその場で、或は、研究室で受け付ける。
備考・メッセージ	HSKの資格を持っていると、就職活動や編入学の際にとっても有利になります。HSKで高得点を取るコツを教えま す。 また、中国語の実践的な運用能力も向上させることができますので、ぜひ履修して下さい。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4thQ	1年	2単位	選択
担当教員			
未定			

講義概要	基本になる文型と単語を学習し、その文法を使った韓国語文章を正書法とともに繰り返して書く練習を行う。また、学習した文法を実際の会話で応用し、自分自身の文章を作る原理と活用方法が理解できる。
授業計画	<p>1 オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 文法とは何か、「書く」能力を磨く方法について 学習課題 復習：なし 予習：韓国語の母音と子音について調べておく</p> <p>2 ハングルの母音と子音 ハングルの母音と子音の書き方を繰り返して練習する。 また、正しい組み合わせの方法を勉強する。 学習課題 復習：文法と書き方についてもう一度確認する 予習：ハングルのバッチムについて調べておく</p> <p>3 ハングルのバッチム ハングルの「バッチム」の書き方を繰り返して練習する。 また、正しい書き方を勉強する。 学習課題 復習：韓国語の母音と子音についてもう一度確認する 予習：名前と国籍を聞く表現について調べておく</p> <p>4 第1課「こんにちは」 名前と国籍を尋ねる文型を勉強する。 また、その文法を使って文章を作る練習を行う。 学習課題 復習：ハングルのバッチムについてもう一度確認する 予習：人数と年齢を聞く表現について調べておく</p> <p>5 第2課「この人は誰ですか」 人数と年齢を尋ねる文型を勉強する。 また、その文法を使って文章を作る練習を行う。 学習課題 復習：名前と国籍を聞く表現についてもう一度確認する 予習：お店で注文する表現について調べておく</p> <p>6 第3課「これは何ですか」 お店で注文する文型を勉強する。 また、その文法を使って文章を作る練習を行う。 学習課題 復習：人数と年齢を聞く表現についてもう一度確認する 予習：応答表現について調べておく</p> <p>7 第4課「今どこに行きますか」 質問に対する応答する文型を勉強する。 また、その文法を使って文章を作る練習を行う。 学習課題 復習：お店で注文する表現についてもう一度確認する 予習：趣味を聞いて答える表現について調べておく</p> <p>8 第5課「趣味は何ですか」 趣味を聞いて答える文型を勉強する。 また、その文法を使って文章を作る練習を行う。 学習課題 復習：応答表現についてもう一度確認する 予習：お店で使う表現について調べておく</p> <p>9 第6課「運動靴を買いたいです」 お店で使う文型について勉強する。 また、その文法を使って文章を作る練習を行う。 学習課題 復習：趣味を聞いて答える表現についてもう一度確認する 予習：天気と味を聞く表現について調べておく</p> <p>10 第7課「ソウルの天気はどうですか」 天気と料理の味を尋ねる文型について勉強する。 また、その文法を使って文章を作る練習を行う。 学習課題 復習：お店で使う表現についてもう一度確認する 予習：時刻と誕生日を聞く表現について調べておく</p> <p>11 第8課「韓国語の試験はいつですか」 時刻と誕生日を尋ねる文型について勉強する。 また、その文法を使って文章を作る練習を行う。 学習課題 復習：天気と味を聞く表現についてもう一度確認する 予習：移動手段や時間に関する表現について調べておく</p> <p>12 第9課「地下鉄3号線に乗ってください」 移動手段と所要時間について尋ねる文型について勉強する。 また、その文法を使って文章を作る練習を行う。 学習課題 復習：時刻と誕生日を聞く表現についてもう一度確認する 予習：休暇の予定を聞く表現について調べておく</p> <p>13 第10課「冬休みに何を予定ですか」 休暇予定を尋ねる文型について勉強する。 また、その文法を使って文章を作る練習を行う。</p>

	<p>14</p> <p>学習課題 復習：移動手段や時間に関する表現についても一度確認する 予習：今まで勉強した文型・単語について調べておく</p> <p>作文練習 今まで勉強した文型・単語を活用して、実際原稿用紙で作文を行う。 テーマは授業当日に公開する。</p> <p>15</p> <p>学習課題 復習：休暇の予定を聞く表現についても一度確認する 予習：今までの学習内容について調べておく</p> <p>まとめ 作文を添削し、これからの作文練習方法を伝える。</p> <p>学習課題 復習：今までの学習内容についても一度確認する 予習：なし</p>
授業形態	講義・演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>授業参加度（10％）、課題・グループワーク（30％）、定期テスト（60％）</p> <p>①初級レベルの文法を学習し、文章が書けるようになる。 ②単語や文を繰り返し書くことでその意味と活用方法が理解できる。 ③簡単な会話表現が身につく ④同時期開催される韓国語科目と連動し、韓国語初級単語を1500個以上学習し、TOPIK2級合格を目指す。</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	『いよいよ韓国語』 金菊熙他 朝日出版社
履修条件	
履修上の注意	予習・復習をしてこること
オフィスアワー	授業の前後で対応します
備考・メッセージ	学習者の学習進度やレベルに応じて、学習計画を変更する場合があります。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4thQ	1年	2単位	選択
担当教員			
李 載宇			

講義概要	基本になる文型と単語を学習し、その文法を使った韓国語文章を正書法とともに繰り返し書く練習を行う。また、学習した文法を実際の会話で応用し、自分自身の文章を作る原理と活用方法が理解できる。
授業計画	<p>1 オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 文法とは何か、「書く」能力を磨く方法について 学習課題 復習：なし 予習：韓国語の母音と子音について調べておく</p> <p>2 ハングルの母音と子音 ハングルの母音と子音の書き方を繰り返して練習する。 また、正しい組み合わせの方法を勉強する。 学習課題 復習：文法と書き方についてもう一度確認する 予習：ハングルのバッチムについて調べておく</p> <p>3 ハングルのバッチム ハングルの「バッチム」の書き方を繰り返して練習する。 また、正しい書き方を勉強する。 学習課題 復習：韓国語の母音と子音についてもう一度確認する 予習：名前と国籍を聞く表現について調べておく</p> <p>4 第1課「こんにちは」 名前と国籍を尋ねる文型を勉強する。 また、その文法を使って文章を作る練習を行う。 学習課題 復習：ハングルのバッチムについてもう一度確認する 予習：人数と年齢を聞く表現について調べておく</p> <p>5 第2課「この人は誰ですか」 人数と年齢を尋ねる文型を勉強する。 また、その文法を使って文章を作る練習を行う。 学習課題 復習：名前と国籍を聞く表現についてもう一度確認する 予習：お店で注文する表現について調べておく</p> <p>6 第3課「これは何ですか」 お店で注文する文型を勉強する。 また、その文法を使って文章を作る練習を行う。 学習課題 復習：人数と年齢を聞く表現についてもう一度確認する 予習：応答表現について調べておく</p> <p>7 第4課「今どこに行きますか」 質問に対する応答する文型を勉強する。 また、その文法を使って文章を作る練習を行う。 学習課題 復習：お店で注文する表現についてもう一度確認する 予習：趣味を聞いて答える表現について調べておく</p> <p>8 第5課「趣味は何ですか」 趣味を聞いて答える文型を勉強する。 また、その文法を使って文章を作る練習を行う。 学習課題 復習：応答表現についてもう一度確認する 予習：お店で使う表現について調べておく</p> <p>9 第6課「運動靴を買いたいです」 お店で使う文型について勉強する。 また、その文法を使って文章を作る練習を行う。 学習課題 復習：趣味を聞いて答える表現についてもう一度確認する 予習：天気と味を聞く表現について調べておく</p> <p>10 第7課「ソウルの天気はどうですか」 天気と料理の味を尋ねる文型について勉強する。 また、その文法を使って文章を作る練習を行う。 学習課題 復習：お店で使う表現についてもう一度確認する 予習：時刻と誕生日を聞く表現について調べておく</p> <p>11 第8課「韓国語の試験はいつですか」 時刻と誕生日を尋ねる文型について勉強する。 また、その文法を使って文章を作る練習を行う。 学習課題 復習：天気と味を聞く表現についてもう一度確認する 予習：移動手段や時間に関する表現について調べておく</p> <p>12 第9課「地下鉄3号線に乗ってください」 移動手段と所要時間について尋ねる文型について勉強する。 また、その文法を使って文章を作る練習を行う。 学習課題 復習：時刻と誕生日を聞く表現についてもう一度確認する 予習：休暇の予定を聞く表現について調べておく</p> <p>13 第10課「冬休みに何を予定ですか」 休暇予定を尋ねる文型について勉強する。 また、その文法を使って文章を作る練習を行う。</p>

	<p>14</p> <p>学習課題 復習：移動手段や時間に関する表現についてもう一度確認する 予習：今まで勉強した文型・単語について調べておく</p> <p>作文練習 今まで勉強した文型・単語を活用して、実際原稿用紙で作文を行う。 テーマは授業当日に公開する。</p> <p>15</p> <p>学習課題 復習：休暇の予定を聞く表現についてもう一度確認する 予習：今までの学習内容について調べておく</p> <p>まとめ 作文を添削し、これからの作文練習方法を伝える。</p> <p>学習課題 復習：今までの学習内容についてもう一度確認する 予習：なし</p>
授業形態	講義・演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>授業参加度（10％）、課題・グループワーク（30％）、定期テスト（60％）</p> <p>①初級レベルの文法を学習し、文章が書けるようになる。 ②単語や文を繰り返し書くことでその意味と活用方法が理解できる。 ③簡単な会話表現が身につく ④同時期開催される韓国語科目と連動し、韓国語初級単語を800個以上学習し、TOPIK1級合格を目指す。</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	『いよいよ韓国語』 金菊熙他 朝日出版社
履修条件	
履修上の注意	予習・復習をしてくること
オフィスアワー	授業の前後で対応します
備考・メッセージ	学習者の学習進度やレベルに応じて、学習計画を変更する場合がある。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4thQ	1年	1単位	選択
担当教員			
李 載宇			

講義概要	本授業は門段階の韓国語を学習した人が会話を中心としたコミュニケーション能力を身に付けることを目標としている。さまざまな場面で核心フレーズをベースとして日常生活を自ら作り出し、それを持ってネイティブの韓国人学生達と話して会話の「感」を覚える。
授業計画	<p>1 オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 「会話」の定義、韓国語会話の作り方について 学習課題 復習 なし 予習 韓国語の挨拶について調べる</p> <p>2 アンニョンハセヨ 自己紹介と挨拶が出来る。 核心フレーズをベースで自分のことを話し、相手のことを聞く「やり取り」を準備する。 学習課題 復習 韓国語会話の作り方についてもう一度確認する。 予習 韓国語会話を準備する</p> <p>3 実戦会話 勉強したフレーズを使って実際に会話練習を行う 学習課題 復習 韓国語の挨拶についてもう一度確認する。 予習 韓国語の住居に関する表現について調べておく</p> <p>4 オディエサラヨ 住んでいるところについて表現出来る。 核心フレーズをベースで自分のことを話し、相手のことを聞く「やり取り」を準備する。 学習課題 復習 自分が作った韓国語会話文もう一度確認する 予習 韓国語会話を準備する</p> <p>5 実戦会話 勉強したフレーズを使って実際に会話練習を行う 学習課題 復習 韓国語の住居に関する表現についてもう一度確認する。 予習 韓国語の好き嫌いに関する表現について調べておく</p> <p>6 ジョアヘヨ・シロヘヨ 好き嫌いについて表現出来る。 核心フレーズをベースで自分のことを話し、相手のことを聞く「やり取り」を準備する。 学習課題 復習 自分が作った韓国語会話文もう一度確認する 予習 韓国語会話を準備する</p> <p>7 実戦会話 勉強したフレーズを使って実際に会話練習を行う 学習課題 復習 韓国語の好き嫌いに関する表現についてもう一度確認する。 予習 韓国語の数字について調べておく</p> <p>8 オルマエヨ 値段を聞いたり品物を買ったりすることが出来る。 核心フレーズをベースで自分のことを話し、相手のことを聞く「やり取り」を準備する。 学習課題 復習 自分が作った韓国語会話文もう一度確認する 予習 韓国語会話を準備する</p> <p>9 実戦会話 勉強したフレーズを使って実際に会話練習を行う 学習課題 復習 韓国語の数字についてもう一度確認する。 予習 韓国語の数え方について調べておく</p> <p>10 カジヨギミヨッミョンイエヨ 家族の構成と人数を放して、人数や個数を数えることが出来る。 核心フレーズをベースで自分のことを話し、相手のことを聞く「やり取り」を準備する。 学習課題 復習 自分が作った韓国語会話文もう一度確認する 予習 韓国語会話を準備する</p> <p>11 実戦会話 勉強したフレーズを使って実際に会話練習を行う 学習課題 復習 韓国語の数字についてもう一度確認する。 予習 韓国語の数え方について調べておく</p> <p>12 ガジゴイツソヨ 持っているものについて話すことが出来る 核心フレーズをベースで自分のことを話し、相手のことを聞く「やり取り」を準備する。 学習課題 復習 自分が作った韓国語会話文もう一度確認する 予習 韓国語会話を準備する</p> <p>13 実戦会話 勉強したフレーズを使って実際に会話練習を行う 学習課題 復習 韓国語の数え方についてもう一度確認する。 予習 今まで勉強したフレーズを整理しておく</p> <p>14 会話文作り 1 今まで勉強した内容をまとめ、自分が選んだテーマで「会話文」を作ることが出来る。 勉強した内容の全体まとめ、会話文作成の作業</p>

	<p>学習課題 復習 今まで勉強した単語・表現をもう一度確認する。 予習 韓国語会話文を準備する</p> <p>15 会話文作り2・まとめ 今まで勉強した内容をまとめ、自分が選んだテーマで「会話文」を作ることが出来る。 会話文発表、授業アンケート作成 学習課題 復習 今まで勉強した単語・表現をもう一度確認する。 予習 なし</p>
授業形態	講義・演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>授業参加度（10％）、課題又はグループワーク（30％）、定期試験（60％）</p> <p>①学習者が実際に韓国訪問した際や韓国人との交流の中で必要な単語・表現を身につける。 ②ネイティブとの会話練習を通じて、あらゆる場面で適切な対応が出来るようになる。 ③演習を通して韓国語に多く触れ、韓国語に対する興味を深める。 ④同時期開催される韓国語科目と連動し、韓国語初級単語を800個以上学習し、TOPIK1級合格を目指す。</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	毎回パワーポイントの資料を準備する。
履修条件	
履修上の注意	韓国・釜山観光高校実習行程に合わせて内容を調整する場合がある
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	学習進度やレベルに応じて、学習計画に変更が生じることがある。 個人のレベルに応じてクラス分けを行う。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4thQ	1年	1単位	選択
担当教員			
福元 美和子			

講義概要	幅広い話題に対応できる日本語力を高めていく。その際、必要となる語彙や文法も併せて紹介し理解を深める。会話力の向上を目指す授業なので、ペアやグループワークが中心。また、会話だけではなく、ある一つのテーマについて人に伝える力も身に着けるため、時折、簡単なプレゼンテーションを行う。
授業計画	<p>1. イン트로ダクション 課題：次回の予習 — プリントを配布</p> <p>2. ギャップイヤーを振り返ろう ①シートにまとめる。 ②ペアまたはグループで発表する。 ③仲間の報告を聞き取りまとめる。 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>3. おもしろい名前を探そう—商品パッケージ1 ①お菓子や食品のパッケージからユニークな名前がついているものを探し、なぜその名前になったか想像してみる 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>4. リサイクルマークを探そう—商品パッケージ2 ①さまざまな商品パッケージから「リサイクルマーク」、「健康に関することば」を見つけ出し、言葉の意味を話し合う。 ②自国の商品パッケージとの比較、またリサイクルや健康意識と比較しグループで発表し合う。 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>5. 新聞の見出しを読み解こう ①新聞の見出しから、どんなニュースを伝えようとしているのか想像し発表し合う。 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>6. 漫画のストーリーを考えてみよう ①いくつかの漫画のコマを見て、順番を決め、それぞれどのような場面か話し合いストーリーを完成させる。 擬態語・擬音語を考える 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>7. 友達にインタビューしよう1 ①質問文を考える ②インタビューをする（携帯電話などで録音、録画する） 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>8. 友達にインタビューしよう2 ①インタビューの内容をまとめる ②内容を精査し、聞いたかった内容が質問できたか判断する グループで発表し合う 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>9. 友達にインタビューしよう3 ①自分がインタビューした内容を発表する（録音・録画資料を使って） ②仲間の発表に対して質問する 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>10. 周りの人にインタビューしてみよう1 ①質問文を考える ②インタビューする（携帯電話などで録音、録画する） 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>11. 周りの人にインタビューしてみよう2 ①インタビューした内容をまとめる ②内容を精査し、聞いたかった内容が質問できたか判断する グループで話し合う 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>12. 周りの人にインタビューしてみよう3 ①自分がインタビューした内容を発表する（録音・録画資料を使って） ②仲間の発表に対して質問する 振り返る—自分のインタビューについて、また仲間のインタビューの良かった点について話し合う 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>13. 一年を振り返ろう ①もっとも印象に残っていることや、失敗したこと、日本の生活で驚いたことなど、仲間と話し合う。 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>14. 授業のまとめ1 ①すべての授業を振り返り、自分で理解度を確認する 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布</p> <p>15. 授業のまとめ2</p>

	①すべての授業を振り返り、自分で理解度を確認する 課題：授業の復習 ー プリントを配布
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①既知の文法や語彙を会話場面で適切に使うことができる。 ②特定の話題について、考えを述べ合い、相互の文化や習慣・考えの理解を深める。 ③さまざまな教材に接しながら、読む・書く・聞く・話すなどの基本的な技能を向上させる。 ④基本的なプレゼンテーションやスピーチができる。 ⑤日本語能力試験等、資格取得に向けて必要となる日本語表現を身に着ける。 授業参加度（積極性）20%、課題・グループワーク20%、小テスト10%、定期試験50%
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	教科書：授業で指示する。 参考書：授業をとおして紹介する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で質問等を受け付けます
備考・メッセージ	少し詳しい内容の会話ができるようになることを目指しましょう。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4thQ	1年	2単位	必修
担当教員			
中野 明人			

講義概要	<p>国際コミュニケーション学科の学生の進路は実に多様であり、それぞれが自分自身の生き方(キャリア)を描くことで、自分自身の進路設定をすることができます。しかし、そのキャリアを自分でプランニングするためには、それなりに時間をかけて、準備をする必要があります。</p> <p>この授業では、最新の就職活動の情報をもとに、自分自身をしっかりと理解したうえで相手にどのように自分を知ってもらおうかということについて学びます。</p> <p>また、就職試験の実際について知ることで、自分の能力を知り、具体的な目標を設定し、その目標をクリアするために何が必要かということについて学びます。</p> <p>最終的には、自分のキャリアについてみんなの前でプレゼンをすることで、自分のキャリアを意識化することを目標とします。</p> <p>ギャップイヤーで発見した自分自身について振り返り、将来のビジョンを設計することを目標とします。</p>
授業計画	<p>1 就職活動とキャリアプランニング</p> <p>①今年の就活スケジュール</p> <p>②就活とは</p> <p>③就職するとは(求人票や給与明細の見方)</p> <p>④社会が求める3つの能力と12の能力要素</p> <p>2 合同企業説明会参加の準備をする</p> <p>①話を聞きたい企業を3つ選び、事前調べを行い、質問を考えておく。</p> <p>②自分をPRするための名刺を作成する</p> <p>3 PROGテスト実施</p> <p>①ギャップタームを終えて、自分の社会人基礎力がどう変化したかを知る。</p> <p>4 自分をプレゼンするために</p> <p>①紳士服会社様を招いて、就活や社会人としてふさわしい服装について学ぶ。</p> <p>5 合同企業説明会に参加する</p> <p>①合同企業説明会に参加し、県内の企業について学ぶ。</p> <p>②学んだことをまとめる。</p> <p>6 自分をプレゼンするために2</p> <p>①化粧品会社様を招いて、就活や社会人としてふさわしいメイクについて学ぶ。</p> <p>7 ハローワークを利用しよう①</p> <p>①ハローワークの方を招いて来年度の就活の見通しについて学ぶ。</p> <p>②今年度の2年生の就活について学ぶ。</p> <p>8 長崎県の就職事情について学ぶ</p> <p>①長崎県の職員を招き、県内の就職事情について学ぶ。</p> <p>9 フレッシュワークを利用しよう①</p> <p>①フレッシュワークの方を招いて、履歴書の書き方について学ぶ。</p> <p>②実際に自己PRや志望動機を書いてみる。</p> <p>10 卒業生から学ぶ</p> <p>①卒業生を招き、就活について今の段階あっておいたほうが良いこと、努力したことなど、実際の体験談を聞き、進路選択に役立てる。</p> <p>11 フレッシュワークを利用する②</p> <p>①フレッシュワークの利用の仕方について学ぶ</p> <p>12 フレッシュワークを利用しよう③</p> <p>①地元の企業を招いて企業説明会を体験してみる。</p> <p>13 公務員について学ぶ</p> <p>①警察署の方を招いて公務員(警察官)の業務内容を学ぶ。</p> <p>②公務員試験について知る。</p> <p>14 ハローワークを利用しよう②</p> <p>①長崎労働局の方を招いて労働法規(長崎労働基準法、労働安全衛生法、男女雇用機会均等法)について学ぶ。</p> <p>②実例を通してブラック企業、ブラックアルバイトについて学ぶ。</p> <p>15 プレゼンテーション</p> <p>①自分の今後のキャリアについて発表する</p>
授業形態	<p>講義</p> <p>①就職活動を含めたキャリアプランニングを作成することができる。</p> <p>②社会が求める3つの能力と12の能力要素を理解することができる。</p> <p>③</p> <p>④就活上のビジネスマナーを身につけることができる。</p> <p>⑤働く上で必要な労働法規を理解することができる。</p> <p>授業中に行う演習(文書作成)60%、そして最終回のプレゼン(40%)で評価をします。</p>

評価の観点、評価手段・方法、評価比率	評価の観点	評価手段・方法	評価比率
	<p>関心・意欲・態度 就職活動の実態について幅広く関心を持ち、意欲的に行動することができる。</p> <p>思考・判断 社会が求める能力を理解し、職業選択に照らし合わせて考えることができる。</p> <p>技能・表現 自己PR、志望動機、履歴書を書くことができる。</p> <p>知識・理解 働く上で必要な法律やビジネスマナーを理解し身につけることができる。</p>	<p>授業態度</p> <p>授業でのタスク</p> <p>授業でのタスク</p> <p>最終プレゼン</p>	<p>10%</p> <p>40%(中間評価)</p> <p>40%(最終評価)</p> <p>10%</p>
科目(教職課程用)			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等			
教科書・参考書	特に指定はしません。 毎回必要な資料を配布します		
履修条件			
履修上の注意	キャリアガイダンスでしっかりと基本的なことを身につけてください。		
オフィスアワー	中野については、火曜日の4コマ目と木曜日の放課後をオフィスアワーとして対応します。		
備考・メッセージ	研究室に不在の可能性もあるので、事前にメール等で予約を取っていただくと助かります。		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4thQ	1年	1単位	選択
担当教員			
張逸芝			

講義概要	本授業では、中国の日常生活において必要とされる会話を学ぶ。まず、中国のテレビドラマから収集した実用的な表現を受講者に提示し、解説を行う。その後、解説を行った表現に対する音読練習を何度も行う。このように映像言語資料を有効的に活用して、どのような場面でどのような表現を行うのかを効率良く理解する。また、授業の前半で学んだ複数の表現を用いて、教員と学生、あるいは、学生同士が一对一で会話練習を行い、流暢にやりとりが行えるよう反復練習する。		
授業計画	1	オリエンテーション、会話練習1 用例の提示、用例の解説、発音練習、会話練習 学習課題 復習:授業で学んだ表現を音読練習する	
	2	会話練習2 用例の提示、用例の解説、発音練習、会話練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で学んだ表現を音読練習する	
	3	会話練習3 用例の提示、用例の解説、発音練習、会話練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で学んだ表現を音読練習する	
	4	会話練習4 用例の提示、用例の解説、発音練習、会話練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で学んだ表現を音読練習する	
	5	会話練習5 用例の提示、用例の解説、発音練習、会話練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で学んだ表現を音読練習する	
	6	会話練習6 用例の提示、用例の解説、発音練習、会話練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で学んだ表現を音読練習する	
	7	会話練習7 用例の提示、用例の解説、発音練習、会話練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で学んだ表現を音読練習する	
	8	会話練習8 用例の提示、用例の解説、発音練習、会話練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で学んだ表現を音読練習する	
	9	会話練習9 用例の提示、用例の解説、発音練習、会話練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で学んだ表現を音読練習する	
	10	会話練習10 用例の提示、用例の解説、発音練習、会話練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で学んだ表現を音読練習する	
	11	会話練習11 用例の提示、用例の解説、発音練習、会話練習	

	<p>1 2</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で学んだ表現を音読練習する 会話練習12 用例の提示、用例の解説、発音練習、会話練習</p> <p>1 3</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で学んだ表現を音読練習する 会話練習13 用例の提示、用例の解説、発音練習、会話練習</p> <p>1 4</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で学んだ表現を音読練習する 会話練習14 用例の提示、用例の解説、発音練習、会話練習</p> <p>1 5</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で学んだ表現を音読練習する 会話練習15 用例の提示、用例の解説、発音練習、会話練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:授業で学んだ表現を音読練習する</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>評価の観点は以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 2. 一つの文を一息で発音できる。 3. 授業で学習した表現を用いて流暢にやりとりが行える。 <p>評価手段・方法は、小テストと定期試験によって評価する。</p> <p>評価比率は以下の通りである。 小テスト(50%)、定期試験(50%)</p>
科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	教科書と参考書は開講時に紹介する。
履修条件	
履修上の注意	予習と復習を欠かさず行うこと。
オフィスアワー	授業終了後その場で、或いは、研究室で受け付ける。
備考・メッセージ	反復練習を徹底しますが、ドラマを用いるので、楽しく学ぶことができます。中国文化についての理解も深まると思います。

講義科目名称：グローバル・リーダーシップ

授業コード：90151

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4thQ	1年	2単位	選択
担当教員			
牟田 美信			

講義概要	
授業計画	
授業形態	
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	
備考・メッセージ	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4thQ	1年	2単位	選択
担当教員			
牟田 美信			
講義概要	<p>生活する地域の異なる学生や地域市民と相互交流することで、自分たちの視野を広げ、豊かな人間関係を築く楽しさを感じると同時に、学生主体で活動を行うことで、グローバルな感覚を持ったリーダーシップの育成も行う。平成28年度は、韓国の3つの大学を訪問し現地大学生と相互にプレゼンや意見交換を行った。また、現地日系企業を訪れ、ビジネス内容や異文化でのビジネスの難しさや、現地生活での楽しさなども聞かせていただいた。平成29年度は、日本国内でも北（北海道）と南（長崎）という、気候も生活の仕方も異なる地域で生活する学生同士が、互いに「地元の観光、食、文化の紹介、自分達の大学紹介、自分たちのキャリアプランなど」についてプレゼンし、質問し合い、互いに学び感じ、刺激を受け合う国内研修を実施した。平成30年度は、ミャンマーを訪問し、現地の日本語学校で日本語の模擬授業、現地学生とグループワークなどを実施した。</p> <p>留学生も地域の小中高などへ赴き、自国の文化や言語、観光資源などを紹介することも実施する。</p>		
授業計画	事前準備、現地での交流事業（模擬授業、学生交流、等）、事後発表までを含む。		
授業形態	実習		
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>評価の観点（どれだけ積極的に自分の意見を述べることができるか）</p> <p>①地域を訪問するにあたり、綿密な計画を立て、十分な情報を集める事ができる。</p> <p>②現地で効果的なプレゼンテーションと意見交換ができる。</p> <p>③現地の人たちと積極的にコミュニケーションができるようになる。</p> <p>④現地の様々な情報を収集することができる。</p> <p>⑤地域を訪問後、実施したプログラムを検証し、学んだことや改善すべきことをまとめ、簡潔に発表することができる。</p> <p>準備作業（30%） 現地でのプレゼンテーション（50%） 帰国後の報告書作成と発表（20%）</p>		
科目（教職課程用）			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等			
教科書・参考書	特になし		
履修条件	特になし		
履修上の注意	他大学の同世代の学生と交流を行うため、自分意見をしっかり述べられるように準備すること。		
オフィスアワー	月曜日（9:10-10:40）		
備考・メッセージ	事前の十分な準備、事後の報告書の作成など、しっかりと取り組むことができるもの。		

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ & 6thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
Luc Roberge and TBA			

講義概要	<p>This is a four skills-based course with a focus on communication designed to provide opportunities to improve English language knowledge and communication skills. Focus will be given to communication skills needed for everyday situations, working in hospitality and travel</p> <p>Students will meet twice a week for 90 minutes (for 30 lessons), and classes will be conducted entirely in English. Students will learn and practice vocabulary, grammar and expressions needed to talk about everyday topics, as well as the conversation strategies needed to communicate naturally. Much of class time will be devoted to small group and class discussion under the guidance of the teacher. Students will also learn about the culture and customs of people from other countries.</p>
授業計画	<p>Lesson 1: Introduction to the course Students will be introduced to the course. Key points covered: 1. Teacher Introductions 2. Format of the course 3. Evaluations. 4. Expectations. 5. Project work</p> <p>The structure of the course will be different than conversation 1. Three teachers will deliver the course. Students will be placed in 1 of 3 groups. The curriculum, plan, groups can all be accessed by students using the NJC Q-learn system.</p> <p>学習課題 復習：TBA by teacher 予習：TBA by teacher</p> <p>Lesson 2: Communicative Games and Icebreakers Students will participate in communicative games and icebreakers.</p> <p>Students will participate in a series of communicative games. Students will need to understand the rules of the game, negotiate meaning (in English) when there is gaps in their knowledge. Students will be encouraged to only use English. During the play of the game, students will participate in casual conversation practice.</p> <p>学習課題 復習：TBA by teacher 予習：TBA by teacher</p> <p>Lesson 3: Food - Lesson A 学習課題 復習：TBA by teacher 予習：TBA by teacher</p> <p>Lesson 4: Food - Lesson B 学習課題 復習：TBA by teacher 予習：TBA by teacher</p> <p>Lesson 5: Food - Lesson C 学習課題 復習：TBA by teacher 予習：TBA by teacher</p> <p>Lesson 6: Food - Lesson D 学習課題 復習：TBA by teacher 予習：TBA by teacher</p> <p>Lesson 7: Gap Lesson - Communicative Games Students will participate in a series of communicative games. Students will need to understand the rules of the game, negotiate meaning (in English) when there is gaps in their knowledge. Students will be encouraged to only use English. During the play of the game, students will participate in casual conversation practice.</p> <p>学習課題 復習：TBA by mini-unit teacher 予習：TBA by mini-unit teacher</p> <p>Lesson 8: Friends Lesson A 学習課題 復習：TBA by teacher 予習：TBA by teacher</p> <p>Lesson 9: Friends Lesson B 学習課題 復習：TBA by teacher 予習：TBA by teacher</p> <p>Lesson 10: Friends Lesson C 学習課題 復習：TBA by teacher 予習：TBA by teacher</p> <p>Lesson 11: Friends Lesson D : Discussion Groups Students will participate in an end of quarter project. The project will be described to the student in detail. Expectations, timing etc. will be explained. Students will spend the remaining 4 lessons preparing for a final presentation during the last lesson.</p> <p>学習課題 復習：TBA by teacher 予習：TBA by teacher</p>

Lesson 12: 5 things to do in... Preparation Lesson
Students will choose a city or area outside of Japan. They will then need to research 5 things to do in, as a tourist in that city. Students will then prepare a 5-slide Google Slides presentation to their group the following lesson. Students will need to build individual specific knowledge and language to give a 3-5 minute mini presentations in small groups the following lesson.

学習課題 復習 : TBA by teacher
予習 : TBA by teacher

Lesson 13: 5 things to do in... Presentation Lesson

Students will participate in an end of quarter project. Students will continue preparing for a final presentation during the last lesson.

学習課題 復習 : TBA by teacher
予習 : TBA by teacher

Lesson 14: Show and Tell : Preparation Lesson

Students must bring 1 or more items to class. Students will explain why the item is important. Students will be expected to talk for 1-2 minutes about the item without the use of notes. During this lesson, students will organize their ideas and thoughts and practice.

学習課題 復習 : TBA by teacher
予習 : TBA by teacher

Lesson 15: Show and Tell : Presentation Lesson

Students must bring 1 or more items to class. Students will explain why the item is important. Students will be expected to talk for 1-2 minutes about the item without the use of notes.

学習課題 復習 : TBA by teacher
予習 : TBA by teacher

Lesson 16: End of Quarter Social

Students will meet in Perch for a social event.

学習課題 復習 : TBA by teacher
予習 : TBA by teacher

Lesson 17: Mini-Unit #1

Depending on student numbers, students will be separated in 2-3 groups.

Students will spend 5 lessons with a teacher working on a ESP mini-unit before rotating to a new teacher. Each student group will have the opportunity to participate in each mini-unit in turn. In the mini-unit, under the guidance of the teachers, students will develop specific language and communication skills. Mini-units will be Drama, Hospitality and Travel.

学習課題 復習 : TBA by teacher
予習 : TBA by teacher

Lesson 18: Mini-Unit #1

Students will spend 5 lessons with a teacher working on a ESP mini-unit before rotating to a new teacher. Each student group will have the opportunity to participate in each mini-unit in turn. In the mini-unit, under the guidance of the teachers, students will develop specific language and communication skills. Mini-units will be Drama, Hospitality and Travel.

学習課題 復習 : TBA by teacher
予習 : TBA by teacher

Lesson 19: Mini-Unit #1

Students will spend 5 lessons with a teacher working on a ESP mini-unit before rotating to a new teacher. Each student group will have the opportunity to participate in each mini-unit in turn. In the mini-unit, under the guidance of the teachers, students will develop specific language and communication skills. Mini-units will be Drama, Hospitality and Travel.

学習課題 復習 : TBA by teacher
予習 : TBA by teacher

Lesson 20: Mini-Unit #1

Students will spend 5 lessons with a teacher working on a ESP mini-unit before rotating to a new teacher. Each student group will have the opportunity to participate in each mini-unit in turn. In the mini-unit, under the guidance of the teachers, students will develop specific language and communication skills. Mini-units will be Drama, Hospitality and Travel.

学習課題 復習 : TBA by teacher
予習 : TBA by teacher

Lesson 21: Mini-Unit #2

Students will spend 5 lessons with a teacher working on a ESP mini-unit before rotating to a new teacher. Each student group will have the opportunity to participate in each mini-unit in turn. In the mini-unit, under the guidance of the teachers, students will develop specific language and communication skills. Mini-units will be Drama, Hospitality and Travel.

學習課題 復習 : TBA by teacher
予習 : TBA by teacher

Lesson 22: Mini-Unit #2

Students will spend 5 lessons with a teacher working on a ESP mini-unit before rotating to a new teacher. Each student group will have the opportunity to participate in each mini-unit in turn. In the mini-unit, under the guidance of the teachers, students will develop specific language and communication skills. Mini-units will be Drama, Hospitality and Travel.

學習課題 復習 : TBA by teacher
予習 : TBA by teacher

Lesson 23: Mini-Unit #2

Students will spend 5 lessons with a teacher working on a ESP mini-unit before rotating to a new teacher. Each student group will have the opportunity to participate in each mini-unit in turn. In the mini-unit, under the guidance of the teachers, students will develop specific language and communication skills. Mini-units will be Drama, Hospitality and Travel.

學習課題 復習 : TBA by teacher
予習 : TBA by teacher

Lesson 24: Mini-Unit #2

Students will spend 5 lessons with a teacher working on a ESP mini-unit before rotating to a new teacher. Each student group will have the opportunity to participate in each mini-unit in turn. In the mini-unit, under the guidance of the teachers, students will develop specific language and communication skills. Mini-units will be Drama, Hospitality and Travel.

學習課題 復習 : TBA by teacher
予習 : TBA by teacher

Lesson 25: Mini-Unit #2

Students will spend 5 lessons with a teacher working on a ESP mini-unit before rotating to a new teacher. Each student group will have the opportunity to participate in each mini-unit in turn. In the mini-unit, under the guidance of the teachers, students will develop specific language and communication skills. Mini-units will be Drama, Hospitality and Travel.

學習課題 復習 : TBA by teacher
予習 : TBA by teacher

Lesson 26: Mini-Unit #3

Students will spend 5 lessons with a teacher working on a ESP mini-unit before rotating to a new teacher. Each student group will have the opportunity to participate in each mini-unit in turn. In the mini-unit, under the guidance of the teachers, students will develop specific language and communication skills. Mini-units will be Drama, Hospitality and Travel.

學習課題 復習 : TBA by teacher
予習 : TBA by teacher

Lesson 27: Mini-Unit #3

Students will spend 5 lessons with a teacher working on a ESP mini-unit before rotating to a new teacher. Each student group will have the opportunity to participate in each mini-unit in turn. In the mini-unit, under the guidance of the teachers, students will develop specific language and communication skills. Mini-units will be Drama, Hospitality and Travel.

學習課題 復習 : TBA by teacher
予習 : TBA by teacher

Lesson 28: Mini-Unit #3

Students will spend 5 lessons with a teacher working on a ESP mini-unit before rotating to a new teacher. Each student group will have the opportunity to participate in each mini-unit in turn. In the mini-unit, under the guidance of the teachers, students will develop specific language and communication skills. Mini-units will be Drama, Hospitality and Travel.

學習課題 復習 : TBA by teacher
予習 : TBA by teacher

Lesson 29: Mini-Unit #3

Students will spend 5 lessons with a teacher working on a ESP mini-unit before rotating to a new teacher. Each student group will have the opportunity to participate in each mini-unit in turn. In the mini-unit, under the guidance of the teachers, students will develop specific language and communication skills. Mini-units will be Drama, Hospitality and Travel.

學習課題 復習 : TBA by teacher

	<p>予習 : TBA by teacher</p> <p>Lesson 30: Mini-Unit #3</p> <p>Students will spend 5 lessons with a teacher working on a ESP mini-unit before rotating to a new teacher. Each student group will have the opportunity to participate in each mini-unit in turn. In the mini-unit, under the guidance of the teachers, students will develop specific language and communication skills. Mini-units will be Drama, Hospitality and Travel.</p>
授業形態	exercises/ practical activities
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<ol style="list-style-type: none"> 1. Students will be able to plan, write, translate and perform a skit. 2. Students will be able to plan, write, prepare, and discuss their "life in a bag" 3. Students will be able to participate in discussion groups. 4. Students will be able to make two YouTube video journals 5. Students will be able to participate in presentations, conversation and discussions in both small groups and to the whole class. <p>Due to the interactive nature of the course, regular attendance and active participation are required. Grades will be based on classroom engagement (20%), mini presentations and discussion groups (30%) and projects (50%)</p> <p>Grades will be based on classroom engagement (20%), mini presentations and discussion groups (30%) and projects (50%).</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	Students will complete SCRAPS. Students are required to bring a notebook, and any materials provided by the teacher.
履修条件	Due to the interactive nature of the course, regular attendance and active participation are required. Lessons will be taught entirely in English. To enroll, student must meet the minimum language requirement. Lessons will be taught entirely in English. To enroll, student must meet the minimum language requirement.
履修上の注意	
オフィスアワー	To be announced
備考・メッセージ	An effort will be made to keep class sizes below 20 students.

講義科目名称：英語演習 I

授業コード：33551

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ & 6thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
内山 智子			

講義概要	
授業計画	
授業形態	
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	
備考・メッセージ	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ & 6thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
園田 靖			

講義概要	佐世保を舞台としたアニメーション作品『坂道のアポロン』（2012）を教材として用いる。 全12話からなる本作品を基本的に1コマにつき1編ずつ鑑賞しながら、 英語字幕・英語音声を用いて表現や文法についての理解を深める。
授業計画	<p>オリエンテーション&OPテーマ「坂道のメロディ」について 講義内容の説明を行う。 また、『坂道のアポロン』作品そのものについての簡単な説明と、 番組OPテーマ「坂道のメロディ」を映像とともに紹介し、その英語表現について解説する。</p> <p>#1 モーニン 第1話「モーニン」を視聴し、ストーリーを確認したのち、 人物設定や舞台背景、特徴的な英語表現などについて説明・学習する。</p> <p>※基本的に、まずエピソード全体を英語音声+英語字幕で視聴後、 こちらで選んだパートや希望のあったパートについて内容を再確認しつつ、解説を加える。 以降の各エピソードについても同様に進める。</p> <p>#2 サマータイム 第2話「サマータイム」を視聴し、ストーリーを確認したのち、 人物設定や舞台背景、特徴的な英語表現などについて説明・学習する。</p> <p>#3 いつか王子様が 第3話「いつか王子様が」を視聴し、ストーリーを確認したのち、 人物設定や舞台背景、特徴的な英語表現などについて説明・学習する。</p> <p>#4 バット・ノット・フォー・ミー 第4話「バット・ノット・フォー・ミー」を視聴し、ストーリーを確認したのち、 人物設定や舞台背景、特徴的な英語表現などについて説明・学習する。</p> <p>#5 バードランドの子守唄 第5話「バードランドの子守唄」を視聴し、ストーリーを確認したのち、 人物設定や舞台背景、特徴的な英語表現などについて説明・学習する。</p> <p>#6 ユー・ドント・ノウ・ホワット・ラブ・イズ 第6話「ユー・ドント・ノウ・ホワット・ラブ・イズ」を視聴し、ストーリーを確認したのち、 人物設定や舞台背景、特徴的な英語表現などについて説明・学習する</p> <p>#7 ナウズ・ザ・タイム 第7話「ナウズ・ザ・タイム」を視聴し、ストーリーを確認したのち、 人物設定や舞台背景、特徴的な英語表現などについて説明・学習する</p> <p>#8 ジーズ・フーリッシュ・シングス 第8話「ジーズ・フーリッシュ・シングス」を視聴し、ストーリーを確認したのち、 人物設定や舞台背景、特徴的な英語表現などについて説明・学習する</p> <p>#9 ラヴ・ミー・オア・リーヴ・ミー 第9話「ラヴ・ミー・オア・リーヴ・ミー」を視聴し、ストーリーを確認したのち、 人物設定や舞台背景、特徴的な英語表現などについて説明・学習する</p> <p>#10 イン・ア・センチメンタル・ムード 第10話「イン・ア・センチメンタル・ムード」を視聴し、ストーリーを確認したのち、 人物設定や舞台背景、特徴的な英語表現などについて説明・学習する</p> <p>#11 レフト・アローン 第11話「レフト・アローン」を視聴し、ストーリーを確認したのち、 人物設定や舞台背景、特徴的な英語表現などについて説明・学習する</p> <p>#12 オール・ブルース 第12話「オール・ブルース」を視聴し、ストーリーを確認したのち、 人物設定や舞台背景、特徴的な英語表現などについて説明・学習する</p> <p>EDテーマ「アルタイトル」について&ここまでの総括 番組EDテーマ「アルタイトル」の英語表現について説明する。 また、全12話のエピソードについて、タイトルについてなどを総括的に振り返る。 最終確認テスト これまで学んだ表現等について、テスト形式で確認する。</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価 手段・方法、評価 比率	<p>以下の項目について達成を目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 学生と同年代の若者が用いる会話表現など、実践的な、活きた英語表現に触れる 2) 作中で用いられる英語表現をベースに、文法事項や単語について復習する 3) 日本語オリジナルの作品を英語で翻訳する場合の表現技法を知る 4) ナチュラルスピードの英語音声を聞く経験を積む 5) 作品の舞台となった、1960年代後半の佐世保および日本という、学生にとっての異文化について理解を深める

	<p>ただアニメを見て終わりの授業ではなく、なぜこの日本語の台詞が英語ではこうなるのか？ や 50年近く前の佐世保あるいは日本はどんなところだったか？ といったさまざまな観点から、作品を楽しみつつ知識・教養を深めることを目指す。</p> <p>評価手段：授業内での提出物・参加姿勢(50%)</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	必要なハンドアウトを授業内で配布するため、購入不要です。
履修条件	毎回、前回の続きを視聴していくことになるので、欠席すると話がわからなくなります。体調管理に気をつけてください。
履修上の注意	本作には実写映画版・アニメ版・コミック版がありますが、ストーリーを楽しみたいなら未見のまま、英語表現等により集中したいなら事前にどれかに触れておくとスムーズです。
オフィスアワー	金曜13:10～16:20・もしくは空きコマ（応相談）
備考・メッセージ	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
青木 萌			

講義概要	<p>本授業では、就職活動や編入学に大きく役立つ中国語の検定試験HSK(漢語水平考試)の模擬問題を用いて中国語を学習し、HSK4級の合格を目指す。主に、読解の対策を行う。これにより、受講者は、幅広い範囲にわたる話題について、中国語でコミュニケーションをする力を養い、かつ、中国語の母語話者と流暢に話すことができる力を高めることができる。本授業の前半では、模擬問題を解いて、その後、答え合わせを行う。そして、問題の中で読み方や日本語の意味が分からなかった単語を黒板に書いて、学習する。授業の後半においては、問題に出てくる文を1人ずつ何度も発音する。</p>		
授業計画	1	オリエンテーション、模擬問題1 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習	
		学習課題 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	2	模擬問題2 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習	
		学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	3	模擬問題3 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習	
		学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	4	模擬問題4 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習	
		学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	5	模擬問題5 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習	
		学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	6	模擬問題6 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習	
		学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	7	模擬問題7 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習	
		学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	8	模擬問題8 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習	
		学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	9	模擬問題9 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習	
		学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	10	模擬問題10 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習	
		学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	11	模擬問題11	

	<p>模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する</p> <p>1 2 模擬問題12 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する</p> <p>1 3 模擬問題13 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する</p> <p>1 4 模擬問題14 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する</p> <p>1 5 模擬問題15 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する</p>
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>1. 評価の観点 HSK4級の読解問題に合格(正答率6割)できる。</p> <p>2. 評価手段・方法 小テストと定期試験によって評価する。</p> <p>3. 評価比率 小テスト(50%)、定期試験(50%)</p>
科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	教科書と参考書は開講時に紹介する。
履修条件	
履修上の注意	毎回、模擬問題の解答や解答理由を求めるので、予習と復習を欠かさず行うこと。
オフィスアワー	授業終了後にその場で、或は、研究室で受け付ける。
備考・メッセージ	HSKの資格を持っていると、就職活動や編入学の際にとっても有利になります。HSKで高得点を取るコツを教えません。また、中国語の実践的な運用能力も向上させることができますので、ぜひ履修して下さい。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
井上 麗奈			

講義概要	本授業では、就職活動や編入学に大きく役立つ中国語の検定試験HSK(漢語水平考試)の模擬問題を用いて中国語を学習し、HSK4級の合格を目指す。主に、読解の対策を行う。これにより、受講者は、幅広い範囲にわたる話題について、中国語でコミュニケーションをする力を養い、かつ、中国語の母語話者と流暢に話すことができる力を高めることができる。本授業の前半では、模擬問題を解いて、その後、答え合わせを行う。そして、問題の中で読み方や日本語の意味が分からなかった単語を黒板に書いて、学習する。授業の後半においては、問題に出てくる文を1人ずつ何度も発音する。		
授業計画	1	オリエンテーション、模擬問題1 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	2	模擬問題2 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	3	模擬問題3 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	4	模擬問題4 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	5	模擬問題5 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	6	模擬問題6 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	7	模擬問題7 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	8	模擬問題8 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	9	模擬問題9 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	10	模擬問題10 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	11	模擬問題11 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習	

	<p>模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する</p> <p>1 2 模擬問題12 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する</p> <p>1 3 模擬問題13 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する</p> <p>1 4 模擬問題14 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する</p> <p>1 5 模擬問題15 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する</p>
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>1. 評価の観点 HSK4級の読解問題に合格(正答率6割)できる。</p> <p>2. 評価手段・方法 小テストと定期試験によって評価する。</p> <p>3. 評価比率 小テスト(50%)、定期試験(50%)</p>
科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	教科書と参考書は開講時に紹介する。
履修条件	
履修上の注意	毎回、模擬問題の解答や解答理由を求めるので、予習と復習を欠かさず行うこと。
オフィスアワー	授業終了後にその場で、或は、研究室で受け付ける。
備考・メッセージ	HSKの資格を持っていると、就職活動や編入学の際にとっても有利になります。HSKで高得点を取るコツを教えません。また、中国語の実践的な運用能力も向上させることができますので、ぜひ履修して下さい。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ & 6thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
青木 萌			

講義概要	就職活動や編入学に大きく役立つ中国語の検定試験HSK(漢語水平考試)の模擬問題を用いて中国語を学習し、HSK4級を確実に合格できるようにする。主に、聞き取りの対策を行う。これにより、受講者は、幅広い範囲にわたる話題について、中国語でコミュニケーションをする力を養うことができ、かつ、中国語の母語話者と流暢に話すことができる力が身に着く。授業の前半では、模擬問題を解き、その後、答え合わせを行う。そして、問題の中で読み方や日本語の意味が分からなかった単語を黒板に書いて、学習する。授業の後半においては、書き取りの練習や発音練習を行う。		
授業計画	1	オリエンテーション、模擬問題1 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習 学習課題 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	2	模擬問題2 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	3	模擬問題3 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	4	模擬問題4 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	5	模擬問題5 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	6	模擬問題6 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	7	模擬問題7 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	8	模擬問題8 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	9	模擬問題9 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	10	模擬問題10 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	11	模擬問題11 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習	

	<p>模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する</p> <p>1 2 模擬問題12 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する</p> <p>1 3 模擬問題13 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する</p> <p>1 4 模擬問題14 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する</p> <p>1 5 模擬問題15 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する</p>
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>1. 評価の観点 HSK4級の聞き取り問題に合格(正答率6割)できる。</p> <p>2. 評価手段・方法 小テストと定期試験によって評価する。</p> <p>3. 評価比率 小テスト(50%)、定期試験(50%)</p>
科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	教科書と参考書は開講時に紹介する。
履修条件	
履修上の注意	毎回、模擬問題の解答や解答理由を求めるので、予習と復習を欠かさず行うこと。
オフィスアワー	授業終了後にその場で、或は、研究室で受け付ける。
備考・メッセージ	HSKの資格を持っていると、就職活動や編入学の際にとっても有利になります。HSKで高得点を取るコツを教えません。また、中国語の実践的な運用能力も向上させることができますので、ぜひ履修して下さい。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ & 6thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
張 逸芝			

講義概要	就職活動や編入学に大きく役立つ中国語の検定試験HSK(漢語水平考試)の模擬問題を用いて中国語を学習し、HSK4級を確実に合格できるようにする。主に、聞き取りの対策を行う。これにより、受講者は、幅広い範囲にわたる話題について、中国語でコミュニケーションをする力を養うことができ、かつ、中国語の母語話者と流暢に話すことができる力が身に着く。授業の前半では、模擬問題を解き、その後、答え合わせを行う。そして、問題の中で読み方や日本語の意味が分からなかった単語を黒板に書いて、学習する。授業の後半においては、書き取りの練習や発音練習を行う。		
授業計画	1	オリエンテーション、模擬問題1 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習	
		学習課題 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	2	模擬問題2 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習	
		学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	3	模擬問題3 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習	
		学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	4	模擬問題4 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習	
		学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	5	模擬問題5 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習	
		学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	6	模擬問題6 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習	
		学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	7	模擬問題7 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習	
		学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	8	模擬問題8 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習	
		学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	9	模擬問題9 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習	
		学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	10	模擬問題10 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習	
		学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	11	模擬問題11	

	<p>模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する</p> <p>1 2 模擬問題12 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する</p> <p>1 3 模擬問題13 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する</p> <p>1 4 模擬問題14 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する</p> <p>1 5 模擬問題15 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する</p>
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>1. 評価の観点 HSK4級の聞き取り問題に合格(正答率6割)できる。</p> <p>2. 評価手段・方法 小テストと定期試験によって評価する。</p> <p>3. 評価比率 小テスト(50%)、定期試験(50%)</p>
科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	教科書と参考書は開講時に紹介する。
履修条件	
履修上の注意	毎回、模擬問題の解答や解答理由を求めるので、予習と復習を欠かさず行うこと。
オフィスアワー	授業終了後にその場で、或は、研究室で受け付ける。
備考・メッセージ	HSKの資格を持っていると、就職活動や編入学の際にとっても有利になります。HSKで高得点を取るコツを教えません。また、中国語の実践的な運用能力も向上させることができますので、ぜひ履修して下さい。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ & 6thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
沈 智炫			

講義概要	韓国語能力試験(TOPIK)は大韓民国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語試験である。韓国語(ハングル)の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示するとともに、韓国語の普及や試験結果の学習・留学・就職等への活用などを目的に、世界70カ国以上で一斉に実施されている。本授業は「TOPIK I I」を取得するために必要である文法・聞き取り・書き取り・読解などを学習した上で模擬試験を行い、本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにする。
授業計画	<p>1 オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIK I Iの特徴、勉強方法について 学習課題 復習 なし 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 聞き取りについて調べておく</p> <p>2 TOPIK(聞き取り1) TOPIKの聞き取り概要、問題類型分析、問題解説 学習課題 復習 TOPIK概要、勉強方法についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 書き取りについて調べておく</p> <p>3 TOPIK(書き取り1) TOPIKの書き取り概要、問題類型分析、問題解説 学習課題 復習 TOPIKの聞き取り概要、問題類型についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 読解について調べておく</p> <p>4 TOPIK(読解1) TOPIKの読解概要、問題類型分析、問題解説 学習課題 復習 TOPIKの書き取り概要、問題類型についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 聞き取り既出問題について調べておく</p> <p>5 TOPIK(聞き取り2) TOPIKの聞き取り既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの読解概要、問題類型についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 聞き取り既出問題について調べておく</p> <p>6 TOPIK(聞き取り3) TOPIKの聞き取り既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの聞き取り既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 書き取り既出問題について調べておく</p> <p>7 TOPIK(書き取り2) TOPIKの書き取り既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの聞き取り既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 書き取り既出問題について調べておく</p> <p>8 TOPIK(書き取り3) TOPIKの書き取り既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの書き取り既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 読解既出問題について調べておく</p> <p>9 TOPIK(読解2) TOPIKの読解既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの書き取り既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 読解既出問題について調べておく</p> <p>10 TOPIK(読解3) TOPIKの読解既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの読解既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 聞き取りの模擬テストを準備する</p> <p>11 TOPIK(聞き取り模擬テスト) TOPIKの聞き取り模擬テスト実施 学習課題 復習 TOPIKの読解既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 書き取りの模擬テストを準備する</p> <p>12 TOPIK(書き取り模擬テスト) TOPIKの書き取り模擬テスト実施 学習課題 復習 聞き取り模擬テストで間違った問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 読解の模擬テストを準備する</p> <p>13 TOPIK(読解模擬テスト) TOPIKの読解模擬テスト実施 学習課題 復習 書き取り模擬テストで間違った問題についてもう一度確認する 予習 今までの模擬テストで間違った問題について調べておく</p> <p>14 TOPIK(模擬テスト解説) TOPIK聞き取り、書き取り、読解の模擬テスト解説、質疑応答 学習課題 復習 読解模擬テストで間違った問題についてもう一度確認する 予習 今までの学習内容をまとめる</p> <p>15 全体まとめ 学習課題 復習 韓国語能力試験(TOPIK) のという試験についてもう一度確認する</p>

予習 なし	
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	授業参加態度 (10%)、課題又はグループワーク (30%)、定期試験 (60%) 到達目標 ①韓国語能力試験 (TOPIK) II の合格基準、格科目の細部内容、問題の構成などについて把握できる。 ②韓国語能力試験 (TOPIK) II の「読解」問題にある程度対応できる。 ③韓国語能力試験 (TOPIK) II の「聞き取り」問題にある程度対応できる。 ④韓国語能力試験 (TOPIK) II の「書取り」問題にある程度対応できる。 ⑤韓国語能力試験 (TOPIK) II の 3 級以上習得を目指す。
科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	各授業で配布 参考書：「韓国語能力試験 TOPIK I I 完全対策」など
履修条件	
履修上の注意	予習・復習をしてくること
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	習者の学習進度やレベルに応じて、学習計画に変更が生じることがある。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ & 6thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
李 載宇			

講義概要	韓国語能力試験(TOPIK)は大韓民国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語試験である。韓国語(ハンゲル)の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示するとともに、韓国語の普及や試験結果の学習・留学・就職等への活用などを目的に、世界70カ国以上で一斉に実施されている。本授業は「TOPIK I」を取得するために必要である文法・聞き取り・読解などを学習した上で模擬試験を行い、本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにする。
授業計画	<p>1 オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKIの特徴、勉強方法について 学習課題 復習 なし 予習 韓国語能力試験(TOPIK)聞き取りについて調べておく</p> <p>2 TOPIK(聞き取り1) TOPIKの聞き取り概要、問題類型分析、問題解説 学習課題 復習 TOPIK概要、勉強方法についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)読解について調べておく</p> <p>3 TOPIK(読解1) TOPIKの読解概要、問題類型分析、問題解説 学習課題 復習 TOPIKの聞き取り概要、問題類型についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)聞き取り既出問題について調べておく</p> <p>4 TOPIK(聞き取り2) TOPIKの聞き取り既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの読解概要、問題類型についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)聞き取り既出問題について調べておく</p> <p>5 TOPIK(聞き取り3) TOPIKの聞き取り既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの聞き取り既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)聞き取り既出問題について調べておく</p> <p>6 TOPIK(聞き取り4) TOPIKの聞き取り既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの聞き取り既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)聞き取りの模擬テストを準備する</p> <p>7 TOPIK(聞き取り5) TOPIKの聞き取り模擬テスト 学習課題 復習 TOPIKの聞き取り既出問題についてもう一度確認する 予習 模擬テストで間違った問題について調べておく</p> <p>8 TOPIK(聞き取り6) TOPIKの聞き取り模擬テスト解説 学習課題 復習 模擬テストで間違った問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)読解既出問題について調べておく</p> <p>9 TOPIK(読解2) TOPIKの読解既出問題分析 学習課題 復習 模擬テストで間違った問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)読解既出問題について調べておく</p> <p>10 TOPIK(読解3) TOPIKの読解既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの読解既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)読解既出問題について調べておく</p> <p>11 TOPIK(読解4) TOPIKの読解既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの読解既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)読解の模擬テストを準備する</p> <p>12 TOPIK(読解5) TOPIKの読解模擬テスト 学習課題 復習 TOPIKの読解既出問題についてもう一度確認する 予習 模擬テストで間違った問題について調べておく</p> <p>13 TOPIK(読解6) TOPIKの読解模擬テスト解説 学習課題 復習 模擬テストで間違った問題についてもう一度確認する 予習 聞き取り・読解両方の模擬テストで間違った問題について調べておく</p> <p>14 TOPIK(聞き取り7、読解7) TOPIK聞き取り、読解模擬テスト解説、質疑応答 学習課題 復習 模擬テストで間違った問題についてもう一度確認する 予習 今までの学習内容をまとめる</p> <p>15 全体まとめ 学習課題 復習 韓国語能力試験(TOPIK)のという試験についてもう一度確認する</p>

予習 なし	
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	授業参加態度（10%）、課題又はグループワーク（30%）、定期試験（60%） 到達目標 ①韓国語能力試験（TOPIK）Ⅰの合格基準、格科目の細部内容、問題の構成などについて把握できる。 ②韓国語能力試験（TOPIK）Ⅰの「読解」問題にある程度対応できる。 ③韓国語能力試験（TOPIK）Ⅰの「聞き取り」問題にある程度対応できる。 ④同時期開催される韓国語科目と連動し、韓国語初級単語を1500個以上学習し、TOPIK2級合格を目指す。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	各授業で配布 参考書：「韓国語能力試験TOPIKⅠ完全対策」など
履修条件	
履修上の注意	予習・復習をしてくること
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	学習者の学習進度やレベルに応じて、学習計画に変更が生じることがある。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ	2年	1単位	必修
担当教員			
国際コミュニケーション学科教員			

講義概要	<p>1年時に実施した「地域を知る活動」で知り得た地域の情報や課題に対して、地域の人と密接に関わりを持ちながら、「地域への提案活動」を実施する。 具体的に、相浦、黒島、高島、3ヶ町商店街、（波佐見）地区でグループに別れて、2年時に実施する地域活動の内容を検討し、実施計画を策定して、活動を実施する。</p>
授業計画	<p>1 地域活動 ・企画構想・準備（具体的な担当地区のイベントを考えながら） ・地域の担当者との打ち合わせを含むフィールドワーク準備、計画、実施</p> <p>2 予習&復習： 地域理解 企画構想・準備（具体的な参加イベントを考えながら）</p> <p>3 地域理解 企画構想・準備・フィールドワーク準備（計画・予約等）</p> <p>4 地域理解 企画構想・準備・フィールドワーク準備（計画・予約等）</p> <p>5 フィールドワーク 各場所へ、フィールドワーク（黒島チーム・高島チーム・相浦チーム） ＊この日の補講「外国語Ⅱ」は、前後の月曜日4コマ目に実施 ＊現地訪問は、必要があれば、複数回可能とする。</p> <p>6 フィールドワーク 各場所へ、フィールドワーク（黒島チーム・高島チーム・相浦チーム） ＊この日の補講「外国語Ⅱ」は、前後の月曜日4コマ目に実施 ＊現地訪問は、必要があれば、複数回可能とする。</p> <p>7 プランニング 企画構想・準備</p> <p>8 プランニング 企画構想・準備</p> <p>9 プランニング 企画構想・準備</p> <p>10 プランニング 企画構想・準備</p> <p>11 フィールドワーク 「波佐見フィールドワーク」「船橋社長」の講話 ＊この日の補講「外国語Ⅱ」は、前後の月曜日4コマ目に実施</p> <p>12 フィールドワーク 「波佐見フィールドワーク」「船橋社長」の講話 ＊この日の補講「外国語Ⅱ」は、前後の月曜日4コマ目に実施</p> <p>13 プランニング 企画構想・準備</p> <p>14 プランニング 企画構想・準備</p> <p>15 プレゼンテーション 企画の中間プレゼンテーション&暫定企画書提出</p> <p>16 プレゼンテーション 企画の中間プレゼンテーション&暫定企画書提出</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①様々な取り組みにおいて、正しく情報を収集し、分析することができる。 ②地域活動における課題を発見することができる。 ③「地域への提案活動」の計画を立て、実施することができる。 ④実施した「地域での活動」を効果的にプレゼンテーションすることができる。 ⑤地域の人たちを含めていろいろな人とコミュニケーションができるようになる。</p> <p>グループ活動への取り組みに対して総合的に評価する。</p> <p>フィールドワーク感想レポート（30%）最終プレゼンテーションのルーブリック評価（70%）</p>
科目（教職課程用）	

教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	授業中に指示
履修条件	
履修上の注意	コミュニケーションが特に重要な科目です。普段から、いろいろな人とコミュニケーションをとるように心がけてください。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00） *その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	グループワークは、メンバー同士のコミュニケーションが非常に重要となります。「ほう（報告）れん（連絡）そう（相談）」を頻繁に行い、グループプロジェクトを完成させてください。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ & 6thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
岩崎 千恵			

講義概要	中級以上の日本語文法を使って、実用的な文章を作成することができる。 また、パソコンを使って文章を入力し、自分で添削ができるようになる。		
授業計画	1	<p>コース説明 コース説明および評価方法を理解する 教科書所持確認 文体の確認、文章の書き方</p> <p>→教員から提供される語彙を勉強</p>	
	2	<p>SNSの日本語 友人との連絡に今やSNSは有用なコミュニケーションツールであるため SNSでの日本語入力や日本語表現についても学ぶ</p>	
	3	<p>身近な事象に関して詳細に書いてみよう① コラムを読んで書き写す 読解</p> <p>→教員から提供される語彙を勉強</p>	
	4	<p>身近な事象に関して詳細に書いてみよう② 自分の生活について詳細に書く→友人との協働作業→教員へメールで添付提出 次に今、住んでいる家の間取りを絵で描く 【間取りクイズ】 隣の人の間取りを聞いて、想像して絵を描く</p>	
	5	<p>比較して詳細に書こう① コラムを読んで書き写す 読解</p> <p>→教員から提供される語彙を勉強</p>	
	6	<p>比較して詳細に書こう② 母国の食文化と日本の食文化について詳細に書く→友人との協働作業→教員へメールで添付提出</p>	
	7	<p>抽象的な事柄に関して詳細に書こう① コラムを読んで書き写す 読解</p> <p>→教員から提供される語彙を勉強</p>	
	8	<p>抽象的な事柄に関して詳細に書こう② 平和に関して詳細に書く→友人との協働作業→教員へメールで添付提出</p>	
	9	<p>抽象的な事柄に関して詳細に書こう③ コラムを読んで書き写す 読解</p> <p>→教員から提供される語彙を勉強</p>	
	10	<p>抽象的な事柄に関して詳細に書こう④ 誰かのために生きることの是非に関して書く→友人との協働作業→教員へメールで添付提出</p>	
	11	<p>これからの1年間に関して計画書を書いてみよう① コラムを読んで書き写す 読解</p> <p>→教員から提供される語彙を勉強</p>	
	12	<p>これからの1年間に関して計画書を書いてみよう② エクセルを使用して計画表を作ってみよう ○年間スケジュール ○週間スケジュール →友人との協働作業→教員へメールで添付提出</p>	
	13	<p>報告書を作成してみよう① 12で作成した週間スケジュールを参考に報告書を作成する →友人との協働作業→教員へメールで添付提出</p>	
	14	<p>民話翻訳を作成してみよう① 学生の母国に残る民話を日本語で作成してみよう</p>	
	15	<p>民話翻訳を作成してみよう② 学生の母国に残る民話を日本語で作成してみよう</p>	
	16	試験	

授業形態	演習、講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①教科書に出てくる文章を自分に置き換えて身の回りのことに関して表現することができる。</p> <p>②教科書に出てくる文章を自分に置き換えて抽象的な事象に関して表現することができる。</p> <p>③自分の考えを根拠のある情報に基づいて表現することができるようになる。</p> <p>④自分で作った日本語の文章を手書きだけでなく、パソコン入力ができるようになる。</p> <p>⑤SNSを利用して、自己表現ができるようになる。</p> <p>学習意欲 (20%) 語彙・表現活動シート (30%) 課題 (30%) 民話訳 (20%)</p>
科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	「できる日本語」中級、ことばノート中級
履修条件	
履修上の注意	欠席する場合は必ず授業が始まる前に連絡をしてください
オフィスアワー	木曜日 4 コマ目 (5Q)
備考・メッセージ	これから日本で学習する上で、また発表の機会がある場合に必要な日本語表現力を高める授業です。積極的に参加してください。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
牟田 美信			

講義概要	目安として (G1) 英検2級以上レベル、(G2) 2級レベル、(G3) 準2級レベルに分け、それぞれ上のクラスに移動することを目標に、卒業時には全員が英検2級以上を取得できるレベルに上げることを目標とする。テキストはVocabulary, Idioms Grammar, Composition, Reading, Listeningを含む英語総合問題集を使用する。かなりのスピードを必要とするので、十分の予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。3人の教員で、レベル別に授業を行う。		
授業計画	1	Let's Clean Up! 音の変化現象 文の種類 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと	
	2	Human Society いろいろな数値 動詞 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと	
	3	Express yourself with Emoji! 発音しづらい音を含む、語句の聞き取り 動詞 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと	
	4	Good Sleep, Good Health 挨拶文の聞き取り 助動詞 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと	
	5	Job Interview Success 提案文、勧誘文の聞き取り 名詞・冠詞 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと	
	6	Dress Your Own Way 依頼文の聞き取り 代名詞 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと	
	7	New Ways to Travel 絵や写真を頼りに聞き取る 形容詞・副詞 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと	
	8	Sports Anytime, Anywhere 疑問文の聞き取り 受動態 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと	
	9	How Do You Enjoy Music? 意見や主張を聞き取る 完了形 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと	
	10	Choose What Color to Paint カジュアルな言い回しや表現 不定詞 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと	
	11	The Future of Food	

	<p>フォーマルな言い回し表現 分詞・動名詞</p> <p>12 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと To Gain Experience in Business チャンクを意識する 比較</p> <p>13 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと Science We Should Know 場面を把握する 関係詞</p> <p>14 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと Apps That Change Your Life 話題を把握する 時制の一致</p> <p>15 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと If We Did Nothing for the Enviroment 要点を確実に聞き取る 仮定法</p> <p>復習：学習した内容をノートに整理しておくこと 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等を調べておくこと</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>このタームの終了時の目標として、G1は、TOEIC(CASEC) 700点、G2は、TOEIC(CASEC) 500点、G3は、TOEIC(CASEC)400点を目指します。</p> <p>特に、上記の目標達成のために、以下の5項目で各レベルまでの達成を目指します。</p> <p>① Vocabulary、Idiom：語彙やイディオムを増やす。 ② Grammar：苦手とする文法を理解する。 ③ Composition：基本的な英作文ができるようにする。 ④ Reading：英文読解の精度とスピードをあげる。 ⑤ Listening：正確に英語を聞き取れるようになる。</p> <p>授業への取り組み・姿勢、予習・復習の状況、筆記試験で総合的に評価する。</p> <p>筆記試験（80%）、授業態度及び授業中に課す課題（20%）</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	（レベルに合わせたクラス分け後に）授業中に指示します。参考）Target! Intermediate 金星堂
履修条件	
履修上の注意	授業に参加するにあたり、予習復習を必ずしておくこと。
オフィスアワー	木曜日（14：50－18：00） *その他、空きコマ（研究室ドアに掲示）も可
備考・メッセージ	資格取得を意識した短期集中型の授業なので進度も早い、個人個人で予習復習を十分にして積極的に取り組むこと。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
園田 靖			

講義概要	<p>目安として (G1) 英検2級以上レベル、(G2) 2級レベル、(G3) 準2級レベルに分け、それぞれ上のクラスに移動することを目標に、卒業時には全員が英検2級以上を取得できるレベルに上げることを目標とする。テキストはVocabulary, Idioms Grammar, Composition, Reading, Listeningを含む英語総合問題集を使用する。かなりのスピードを必要とするので、十分の予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。3人の教員で、レベル別に授業を行う。</p>
授業計画	<p>Listening Section: Part 1 Photographs 写真描写問題 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検2級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準2級問題の模擬問題、解説、復習</p> <p>復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。</p> <p>Listening Section: Part 2 Question-Response 応答問題1 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検2級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準2級問題の模擬問題、解説、復習</p> <p>復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。</p> <p>Listening Section: Part 2 Question-Response 応答問題2 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検2級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準2級問題の模擬問題、解説、復習</p> <p>復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。</p> <p>Listening Section: Part 3 Short Conversation 会話問題1 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検2級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準2級問題の模擬問題、解説、復習</p> <p>復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。</p> <p>Listening Section: Part 3 Short Conversation 会話問題2 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検2級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準2級問題の模擬問題、解説、復習</p> <p>復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。</p> <p>Listening Section: Part 4 Short Talks 説明文問題1 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検2級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準2級問題の模擬問題、解説、復習</p> <p>復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。</p> <p>Listening Section: Part 4 Short Talks 説明文問題2 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検2級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準2級問題の模擬問題、解説、復習</p> <p>復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。</p>

Reading Section: Part 5 Incomplete Sentences 短文穴埋め問題 1

- G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習
- G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習
- G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習

復習: 学習した内容をノートに整理しておくこと。
予習: 教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。

Reading Section: Part 5 Incomplete Sentences 短文穴埋め問題 2

- G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習
- G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習
- G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習

復習: 学習した内容をノートに整理しておくこと。
予習: 教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。

Reading Section: Part 5 Incomplete Sentences 短文穴埋め問題 3

- G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習
- G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習
- G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習

復習: 学習した内容をノートに整理しておくこと。
予習: 教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。

Reading Section: Part 6 Text Completion 長文穴埋め問題 1

- G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習
- G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習
- G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習

復習: 学習した内容をノートに整理しておくこと。
予習: 教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。

Reading Section: Part 7 Reading Comprehension 読解問題 1

- G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習
- G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習
- G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習

復習: 学習した内容をノートに整理しておくこと。
予習: 教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。

Reading Section: Part 7 Reading Comprehension 読解問題 2

- G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習
- G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習
- G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習

復習: 学習した内容をノートに整理しておくこと。
予習: 教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。

Listening Section: Shadowingシャドーイング

- G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習
- G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習
- G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習

復習: 学習した内容をノートに整理しておくこと。
予習: 教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。

Reading Section: Shadowingスキヤニング

- G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習
- G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習
- G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習

復習: 学習した内容をノートに整理しておくこと。
予習: 教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。

評価テスト

授業形態

演習

評価の観点、評価
手段・方法、評価
比率

このタームの終了時の目標として、G1は、TOEIC(CASEC) 700点、G2は、TOEIC(CASEC) 500点、G3は、TOEIC(CASEC) 400点を目指します。
特に、上記の目標達成のために、以下の5項目で各レベルまでの達成を目指します。
① Vocabulary、Idiom: 語彙やイディオムを増やす。
② Grammar: 苦手とする文法を理解する。
③ Composition: 基本的な英作文ができるようにする。

	<p>④ Reading：英文読解の精度とスピードをあげる。 ⑤ Listening：正確に英語を聞き取れるようになる。</p> <p>授業への取り組み・姿勢、予習・復習の状況、筆記試験で総合的に評価する。</p> <p>筆記試験（80％）、授業態度及び授業中に課す課題（20％）</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	（レベルに合わせたクラス分け後に）授業中に指示します。
履修条件	
履修上の注意	授業に参加するにあたり、予習復習を必ずしておくこと。
オフィスアワー	水曜日（13:10-16:30） *その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	資格取得を意識した短期集中型の授業なので進度も早い、個人個人で予習復習を十分にして積極的に取り組むこと。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
小嶋 栄子			

講義概要	受講者の日本語能力を考慮しながらさまざまな教材やプリントを用い、日本語の総合的な読解（文字・語彙・文法）力を高める。また、食に関する話題も含めた多様な話題の文章を読み進めるなかで語彙力を高め、同時に表記を学ぶ。受講者の活発な質疑応答を期待する。
授業計画	<p>1 オリエンテーション 授業に関するオリエンテーション 復習：オリエンテーションの確認 予習：「文法1」の語句の意味を調べてくる。</p> <p>2 文法1 初級教材から次第に難しい教材へと進みながら、文法力を高める。 復習：「文法1」の確認 予習：「文法2」の語句の意味を調べてくる。</p> <p>3 文法2 初級教材から次第に難しい教材へと進みながら、さまざまな文法を理解する。 復習：「文法2」の確認 予習：「短文読解1」の語句の意味を調べてくる。</p> <p>4 短文読解1 同一テーマのもと、日本語の短文を読み、その中の語句の意味と使い方を理解する。 復習：「語句の意味と使い方」の確認 予習：「短文読解2」の語句の意味を調べてくる。</p> <p>5 短文読解2 同一テーマのもと、日本語の短文を読み、新しい文型、文構成を理解し、必要な情報を得る。 復習：「新しい文型、文構成、必要な情報」の確認 予習：「短文読解3」の語句の意味を調べてくる。</p> <p>6 短文読解3 同一テーマのもと、日本語の短文を読み、内容を理解し論点や要旨をつかむ。 復習：「内容、論点」の確認 予習：「長文読解1」の語句の意味を調べてくる。</p> <p>7 長文読解1 日本語の長文を読み、その中の語句の意味と使い方を理解する。 復習：「語句の意味と使い方」の確認 予習：「長文読解2」の語句の意味を調べてくる。</p> <p>8 長文読解2 日本語の長文を読み、新しい文型、文構成を理解し、必要な情報を得る。 復習：「新しい文型、文構成、必要な情報」の確認 予習：「長文読解3」の語句の意味を調べてくる。</p> <p>9 長文読解3 日本語の長文を読み、内容を理解する。 復習：「内容」の確認 予習：「長文読解4」の語句の意味を調べてくる。</p> <p>10 長文読解4 日本語の長文を読み、論点や要旨をつかむ。 復習：「つかんだ論点、要旨」の確認 予習：「長文読解5」の語句の意味を調べてくる。</p> <p>11 長文読解5 日本語の長文を読み、これまで学んだことの実践をする。 復習：論点をつかみ、要旨をまとめるための諸項目の確認 予習：「総合実践1」の語句の意味を調べてくる。</p> <p>12 総合実践1 日本語留学試験、日本語能力試験に備え模擬テストをする。 復習：模擬テストでできなかった問題の見直し 予習：「総合実践2」の語句の意味を調べてくる。</p> <p>13 総合実践2 日本語留学試験、日本語能力試験に備え模擬テストをする。 復習：模擬テストでできなかった問題の見直し 予習：「総合実践3」の語句の意味を調べてくる。</p> <p>14 総合実践3 日本語留学試験、日本語能力試験に備え模擬テストをする。 復習：模擬テストでできなかった問題の見直し 予習：「総合実践4」の語句の意味を調べてくる。</p> <p>15 総合実践4 日本語留学試験、日本語能力試験に備え模擬テストをする。 復習：模擬テストでできなかった問題の見直し 予習：定期試験の準備</p>

授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①初中級を網羅する漢字も含め日本語での読み・書きができる。</p> <p>②食に関する話題も含め、初中級程度の文で書かれた文章の論点を指摘できる。</p> <p>③食に関する話題も含め、初中級程度の文で書かれた文章について母国との比較をするなどして周囲と討議できる。</p> <p>④食に関する話題も含め、初中級程度の文で書かれた文章について理解し、日本の（食）事情を把握できる。</p> <p>⑤日々の学びを振り返り、理解した語彙・文法を用いて表現できる。</p> <p><知識・理解> 小テスト 30%</p> <p><思考・判断> 授業での発表20%</p> <p><関心・意欲・態度> 受講態度 20%</p> <p><技能・表現> 課題での取組み 30%</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	<p>テキスト：最初の授業で指示する。</p> <p>参考書：授業を通して紹介する。</p>
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で質問等に対応します
備考・メッセージ	欠席の場合は欠席願（届）を必ず提出すること

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ & 6thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
中里 亜希子 ・ 岩見 真知子			
オムニバス			

講義概要	幅広い話題に対応できる日本語力を高めていく。その際、必要となる語彙や文法も併せて紹介し理解を深める。会話力の向上を目指す授業なので、ペアやグループワークが中心。また、会話だけではなく、ある一つのテーマについて人に伝える力も身に着けるため、時折、簡単なプレゼンテーションを行う。7月、12月に実施される、日本語能力試験対策として過去の問題を解くことで能力向上を図る。		
授業計画	1	1. イントロダクション 課題：次回の予習 — プリントを配布	
	2	2 場面別の敬語を学習する 1 ①訪問する ②簡単に挨拶する 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布	
	3	3 場面別の敬語を学習する 2 ③誘う ④お願いする 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布	
	4	4 場面別の敬語を学習する 3 ①さまざまな商品パッケージから「リサイクルマーク」、「健康に関することば」を見つけ出し、言葉の意味⑤断る ⑥申し出る 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布	
	5	5 場面別の敬語を学習する 4 ⑦お詫びする ⑧意見を言う 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布	
	6	6 場面別の敬語を学習する 5 ⑨予約を受ける ⑩サービスの敬語 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布	
	7	7 場面別の敬語を学習する 6 ⑪相談を受ける ⑫スピーチをする 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布	
	8	8 場面別の敬語を学習する 7 ⑬面接を受ける ⑭電話の敬語 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布	
	9	9 場面別の敬語を学習する 8 ⑮インタビューする ⑯報告をする 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布	
	10	10 場面別の敬語を学習する 9 ⑰司会の敬語 ⑱メールの敬語 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布	
	11	1 1 日本語能力試験対策 1 ①言語知識（文字・語彙） ②文法 ③読解 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布	
	12	1 2 日本語能力試験対策 2 ①言語知識（文字・語彙） ②文法 ③読解 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布	
	13	1 3 日本語能力試験対策 3 ①言語知識（文字・語彙） ②文法 ③読解 ④聴解 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布	
	14	1 4 日本語能力試験対策 4 ①言語知識（文字・語彙） ②文法 ③読解 ④聴解 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布	
	15	1 5 授業のまとめ 1	

	①すべての授業を振り返り、自分で理解度を確認する 課題：授業の復習 — プリントを配布
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>◎到達目標◎</p> <p>①既知の文法や語彙を会話場面で適切に使うことができるようになる。</p> <p>②特定の話題について、考えを述べ合い、相互の文化や習慣・考えの理解を深める。</p> <p>③さまざまな教材に接しながら、読む・書く・聞く・話すなどの基本的な技能を向上させる。</p> <p>④基本的なプレゼンテーションやスピーチができる。</p> <p>⑤日本語能力試験等、資格取得に向けて必要となる日本語表現を身に着ける。</p> <p>◎評価基準◎</p> <p>授業参加度（積極性）20%、課題・グループワーク20%、小テスト10%、定期試験50%</p> <p>◎評価方法◎</p> <p>授業中の学習態度意欲、定期試験の結果により総合的に評価する</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	教科書：授業で指示する。 参考書：授業をとおして紹介する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で質問等を受け付けます
備考・メッセージ	毎日の学習が成績向上につながります。N2めざして頑張りましょう。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	2年	2単位	必修
担当教員			
梶谷 良子			

講義概要	<p>国際コミュニケーション学科の学生の進路は実に多様であり、それぞれが自分自身の生き方(キャリア)を描くことで、自分自身の進路設定をすることができます。 しかし、そのキャリアを自分でプランニングするためには、それなりに時間をかけて、準備をする必要があります。</p> <p>この授業の前半では、「地域を支える企業を知る」というテーマで、地域の企業を調べることで、地域にどのような産業があり、どのような課題を抱えているのかについて知ることで、直前に迫った就職活動に役立てます。地域の事業所を訪問し、実際に自分の働くイメージを作り上げることも目標としています。自分自身の人生設計(キャリアデザイン)を就職活動を基点に自分でできるための授業になります。</p> <p>後半では、実際に就職活動で求められるビジネススキル・マナーについて学びます。</p>
授業計画	<p>1 ガイダンス ①今年の就活スケジュール ②就活の実際 (DVDを見て考える)</p> <p>2 就職活動とキャリアプランニング ①今年の就職戦線について新聞などを通して知る ②今何をすべきか ③就活で大切なこと</p> <p>3 社会で求められる能力 ①社会が求める能力とは？ ②社会が求める課題解決能力とは？ ③この授業がめざすもの</p> <p>4 地域の企業・職業を知る I ①グループ分け(担当企業を決める) ②まずは自分たちで地元の企業について調べる ③その企業が抱える課題について調べる ④調べてわかったこととわからなかったことをまとめる</p> <p>5 地域の企業・職業を知る II ①担当する企業が属する業界・業種の現状を調べる ②その業界や業種が抱える課題を調べる ③調べたことをまとめる</p> <p>6 地域の企業・職業を知る III ①自分たちで企業訪問時に聞きたいことをまとめる ②自分たちが調べたことで提案できることについてまとめる</p> <p>7 地域の企業・職業を知る IV ①実際に担当企業から説明を受ける ②担当企業に質問をする ③今回の訪問を通して学んだことをまとめ、グループで共有する</p> <p>8 従業員スタッフの資質 ①必要とされる要件 ②従業要件</p> <p>9 対人技能 接遇知識</p> <p>10 実務技能 社交業務</p> <p>11 職場でのデモンストレーション 実習①</p> <p>12 職場・業種に即した業務マナー 実務マナー①</p> <p>13 職場・業種に即した業務マナー 実務マナー②</p> <p>14 職場でのデモンストレーション 実習②</p> <p>15 プレゼンテーション グループでのプレゼンテーション、相互評価</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>前半の「地域を支える企業を知る」というテーマで行うキャリアプランニングでは、プレゼンテーションに対して学生によるルーブリックの相互評価を行います。(60%) 後半のビジネススキル・ビジネスマナーの評価は小テストで行い(20%)、総合的な授業参加態度(グループディスカッションなど)とします(20%)。</p>

	<p>①就職活動を含めたキャリアプランニングを作成することができる。</p> <p>②社会が求める3つの能力と12の能力要素を理解することができる。</p> <p>③自己PR、志望動機、履歴書を書くことができる。</p> <p>④就活上のビジネスマナーを身につけることができる。</p> <p>⑤働く上で必要な労働法規を理解することができる。</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	特に指定はしません。 必要な資料を配布するので、「Awesome Sasebo! Project】のファイルを持参してください。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
中里 亜希子			

講義概要	一刻も早く日本の生活に慣れるよう基本的会話に習熟し、まずはとりあえず日本語能力検定試験2級以上合格を目指す内容を扱う。
授業計画	<p>1 オリエンテーション 自己紹介、近隣環境の案内、必要に応じて身近な情報の提供など。</p> <p>2 中級内容の読解 (A) 語彙・語法の解説 (A) ビジネス漢字 (A)</p> <p>3 中級内容の読解 (B) 語彙・語法の解説 (B) ビジネス漢字 (B) 1分間スピーチ</p> <p>4 中級内容の読解 (C) 語彙・語法の解説 (C) ビジネス漢字 (C) 1分間スピーチ</p> <p>5 (各分野の小テスト) 語彙・語法の解説 (D) ビジネス漢字 (D) 1分間スピーチ</p> <p>6 N2程度の読解 (A) 語彙・語法の解説 (E) ビジネス漢字 (E) 1分間スピーチ</p> <p>7 N2程度の読解 (B) 語彙・語法の解説 (F) ビジネス漢字 (F) 1分間スピーチ</p> <p>8 N2程度の読解 (C) 語彙・語法の解説 (G) ビジネス漢字 (G) 1分間スピーチ</p> <p>9 (各分野の小テスト) 語彙・語法の解説 (H) ビジネス漢字 (H) 1分間スピーチ</p> <p>10 N2程度の読解 (D) 語彙・語法の解説 (I) ビジネス漢字 (I) 1分間スピーチ</p> <p>11 N2程度の読解 (E) 語彙・語法の解説 (J) ビジネス漢字 (J) 1分間スピーチ</p> <p>12 N2程度の読解 (F) 語彙・語法の解説 (K) ビジネス漢字 (K) 1分間スピーチ</p> <p>13 (各分野の小テスト) 語彙・語法の解説 (L) ビジネス漢字 (L) 1分間スピーチ</p> <p>14 新聞記事の読解 N2模擬試験</p> <p>15 定期試験に向けての復習 質問受付 (N2模擬試験)</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①日本の生活に必要な基本的会話及びビジネスシーンでのマナー、的確な敬語の運用力を身に付ける。</p> <p>②N2上級レベルの読解を身に付け、ビジネス漢字の習得に力を注ぎ、日頃の生活のより円滑な暮らしに資する。</p> <p>③日本社会に溶け込むより自然な発話能力を高め、日本人学生とのスムーズな会話が楽しめるようにする。</p> <p>④N2 (以上) 合格を目指す。</p>

	受講中の意欲 レポート等課題提出、その他、数回の小テストおよび定期試験で評価する。 学習意欲 (20%) 小テスト (20%) 定期試験 (50%) 課題への取り組み (10%)
科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	使用テキスト：開講はじめに指示する。 参考書：必要に応じて指示する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
沈 智炫			

講義概要	韓国語能力試験(TOPIK)は大韓民国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語試験である。韓国語(ハングル)の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示するとともに、韓国語の普及や試験結果の学習・留学・就職等への活用などを目的に、世界70カ国以上で一斉に実施されている。本授業は「TOPIK I I」を取得するために必要である文法・聞き取り・書き取り・読解などを学習した上で模擬試験を行い、本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにする。		
授業計画	1	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIK I Iの特徴、勉強方法について 学習課題 復習 なし 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 聞き取りについて調べておく	
	2	TOPIK(聞き取り1) TOPIKの聞き取り概要、問題類型分析、問題解説 学習課題 復習 TOPIK概要、勉強方法についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 書き取りについて調べておく	
	3	TOPIK(書き取り1) TOPIKの書き取り概要、問題類型分析、問題解説 学習課題 復習 TOPIKの聞き取り概要、問題類型についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 読解について調べておく	
	4	TOPIK(読解1) TOPIKの読解概要、問題類型分析、問題解説 学習課題 復習 TOPIKの書き取り概要、問題類型についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 聞き取り既出問題について調べておく	
	5	TOPIK(聞き取り2) TOPIKの聞き取り既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの読解概要、問題類型についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 聞き取り既出問題について調べておく	
	6	TOPIK(聞き取り3) TOPIKの聞き取り既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの聞き取り既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 書き取り既出問題について調べておく	
	7	TOPIK(書き取り2) TOPIKの書き取り既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの聞き取り既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 書き取り既出問題について調べておく	
	8	TOPIK(書き取り3) TOPIKの書き取り既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの書き取り既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 読解既出問題について調べておく	
	9	TOPIK(読解2) TOPIKの読解既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの書き取り既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 読解既出問題について調べておく	
	10	TOPIK(読解3) TOPIKの読解既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの読解既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 聞き取りの模擬テストを準備する	
	11	TOPIK(聞き取り模擬テスト) TOPIKの聞き取り模擬テスト実施 学習課題 復習 TOPIKの読解既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 書き取りの模擬テストを準備する	
	12	TOPIK(書き取り模擬テスト) TOPIKの書き取り模擬テスト実施 学習課題 復習 聞き取り模擬テストで間違った問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 読解の模擬テストを準備する	
	13	TOPIK(読解模擬テスト) TOPIKの読解模擬テスト実施 学習課題 復習 書き取り模擬テストで間違った問題についてもう一度確認する 予習 今までの模擬テストで間違った問題について調べておく	
	14	TOPIK(模擬テスト解説) TOPIK聞き取り、書き取り、読解の模擬テスト解説、質疑応答 学習課題 復習 読解模擬テストで間違った問題についてもう一度確認する 予習 今までの学習内容をまとめる	
	15	全体まとめ 学習課題 復習 韓国語能力試験(TOPIK) のという試験についてもう一度確認する	

予習 なし	
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	授業参加態度 (10%)、課題又はグループワーク (30%)、定期試験 (60%) 到達目標 ①韓国語能力試験 (TOPIK) II の合格基準、格科目の細部内容、問題の構成などについて把握できる。 ②韓国語能力試験 (TOPIK) II の「読解」問題にある程度対応できる。 ③韓国語能力試験 (TOPIK) II の「聞き取り」問題にある程度対応できる。 ④韓国語能力試験 (TOPIK) II の「書取り」問題にある程度対応できる。 ⑤韓国語能力試験 (TOPIK) II の 3 級以上習得を目指す。
科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	各授業で配布 参考書：「韓国語能力試験 TOPIK I I 完全対策」など
履修条件	
履修上の注意	予習・復習をしてくること
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	習者の学習進度やレベルに応じて、学習計画に変更が生じることがある。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
李 載宇			

講義概要	韓国語能力試験(TOPIK)は大韓民国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語試験である。韓国語(ハンゲル)の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示するとともに、韓国語の普及や試験結果の学習・留学・就職等への活用などを目的に、世界70カ国以上で一斉に実施されている。本授業は「TOPIK I」を取得するために必要である文法・聞き取り・読解などを学習した上で模擬試験を行い、本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにする。
授業計画	<p>1 オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKIの特徴、勉強方法について 学習課題 復習 なし 予習 韓国語能力試験(TOPIK)聞き取りについて調べておく</p> <p>2 TOPIK(聞き取り1) TOPIKの聞き取り概要、問題類型分析、問題解説 学習課題 復習 TOPIK概要、勉強方法についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)読解について調べておく</p> <p>3 TOPIK(読解1) TOPIKの読解概要、問題類型分析、問題解説 学習課題 復習 TOPIKの聞き取り概要、問題類型についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)聞き取り既出問題について調べておく</p> <p>4 TOPIK(聞き取り2) TOPIKの聞き取り既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの読解概要、問題類型についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)聞き取り既出問題について調べておく</p> <p>5 TOPIK(聞き取り3) TOPIKの聞き取り既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの聞き取り既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)聞き取り既出問題について調べておく</p> <p>6 TOPIK(聞き取り4) TOPIKの聞き取り既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの聞き取り既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)聞き取りの模擬テストを準備する</p> <p>7 TOPIK(聞き取り5) TOPIKの聞き取り模擬テスト 学習課題 復習 TOPIKの聞き取り既出問題についてもう一度確認する 予習 模擬テストで間違った問題について調べておく</p> <p>8 TOPIK(聞き取り6) TOPIKの聞き取り模擬テスト解説 学習課題 復習 模擬テストで間違った問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)読解既出問題について調べておく</p> <p>9 TOPIK(読解2) TOPIKの読解既出問題分析 学習課題 復習 模擬テストで間違った問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)読解既出問題について調べておく</p> <p>10 TOPIK(読解3) TOPIKの読解既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの読解既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)読解既出問題について調べておく</p> <p>11 TOPIK(読解4) TOPIKの読解既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの読解既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)読解の模擬テストを準備する</p> <p>12 TOPIK(読解5) TOPIKの読解模擬テスト 学習課題 復習 TOPIKの読解既出問題についてもう一度確認する 予習 模擬テストで間違った問題について調べておく</p> <p>13 TOPIK(読解6) TOPIKの読解模擬テスト解説 学習課題 復習 模擬テストで間違った問題についてもう一度確認する 予習 聞き取り・読解両方の模擬テストで間違った問題について調べておく</p> <p>14 TOPIK(聞き取り7、読解7) TOPIK聞き取り、読解模擬テスト解説、質疑応答 学習課題 復習 模擬テストで間違った問題についてもう一度確認する 予習 今までの学習内容をまとめる</p> <p>15 全体まとめ 学習課題 復習 韓国語能力試験(TOPIK)のという試験についてもう一度確認する</p>

予習 なし	
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	授業参加態度 (10%)、課題又はグループワーク (30%)、定期試験 (60%) 到達目標 ①韓国語能力試験 (TOPIK) Iの合格基準、格科目の細部内容、問題の構成などについて把握できる。 ②韓国語能力試験 (TOPIK) Iの「読解」問題にある程度対応できる。 ③韓国語能力試験 (TOPIK) Iの「聞き取り」問題にある程度対応できる。 ④同時期開催される韓国語科目と連動し、韓国語初級単語を1500個以上学習し、TOPIK2級合格を目指す。
科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	各授業で配布 参考書：「韓国語能力試験TOPIK I 完全対策」など
履修条件	
履修上の注意	予習・復習をしてくること
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	学習者の学習進度やレベルに応じて、学習計画に変更が生じることがある。

講義科目名称：日本語検定Ⅲ 上級

授業コード：22553

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
山本 みづほ			

講義概要	
授業計画	
授業形態	
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	
備考・メッセージ	

講義科目名称：日本語検定Ⅲ 中級

授業コード：22554

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
福元 美和子			

講義概要	
授業計画	
授業形態	
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	
備考・メッセージ	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
6thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
権 容善			

講義概要	韓国語能力試験(TOPIK)は大韓民国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語試験である。韓国語(ハングル)の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示するとともに、韓国語の普及や試験結果の学習・留学・就職等への活用などを目的に、世界70カ国以上で一斉に実施されている。本授業は「TOPIK I I」を取得するために必要である文法・聞き取り・書き取り・読解などを学習した上で模擬試験を行い、本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにする。		
授業計画	1	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIK I Iの特徴、勉強方法について 学習課題 復習 なし 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 聞き取りについて調べておく	
	2	TOPIK(聞き取り1) TOPIKの聞き取り概要、問題類型分析、問題解説 学習課題 復習 TOPIK概要、勉強方法についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 書き取りについて調べておく	
	3	TOPIK(書き取り1) TOPIKの書き取り概要、問題類型分析、問題解説 学習課題 復習 TOPIKの聞き取り概要、問題類型についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 読解について調べておく	
	4	TOPIK(読解1) TOPIKの読解概要、問題類型分析、問題解説 学習課題 復習 TOPIKの書き取り概要、問題類型についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 聞き取り既出問題について調べておく	
	5	TOPIK(聞き取り2) TOPIKの聞き取り既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの読解概要、問題類型についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 聞き取り既出問題について調べておく	
	6	TOPIK(聞き取り3) TOPIKの聞き取り既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの聞き取り既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 書き取り既出問題について調べておく	
	7	TOPIK(書き取り2) TOPIKの書き取り既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの聞き取り既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 書き取り既出問題について調べておく	
	8	TOPIK(書き取り3) TOPIKの書き取り既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの書き取り既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 読解既出問題について調べておく	
	9	TOPIK(読解2) TOPIKの読解既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの書き取り既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 読解既出問題について調べておく	
	10	TOPIK(読解3) TOPIKの読解既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの読解既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 聞き取りの模擬テストを準備する	
	11	TOPIK(聞き取り模擬テスト) TOPIKの聞き取り模擬テスト実施 学習課題 復習 TOPIKの読解既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 書き取りの模擬テストを準備する	
	12	TOPIK(書き取り模擬テスト) TOPIKの書き取り模擬テスト実施 学習課題 復習 聞き取り模擬テストで間違った問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 読解の模擬テストを準備する	
	13	TOPIK(読解模擬テスト) TOPIKの読解模擬テスト実施 学習課題 復習 書き取り模擬テストで間違った問題についてもう一度確認する 予習 今までの模擬テストで間違った問題について調べておく	
	14	TOPIK(模擬テスト解説) TOPIK聞き取り、書き取り、読解の模擬テスト解説、質疑応答 学習課題 復習 読解模擬テストで間違った問題についてもう一度確認する 予習 今までの学習内容をまとめる	
	15	全体まとめ 学習課題 復習 韓国語能力試験(TOPIK) のという試験についてもう一度確認する	

予習 なし	
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	授業参加態度 (30%)、課題又はグループワーク (30%)、定期試験(40%) 到達目標 ①韓国語能力試験 (TOPIK) II の合格基準、格科目の細部内容、問題の構成などについて把握できる。 ②韓国語能力試験 (TOPIK) II の「読解」問題にある程度対応できる。 ③韓国語能力試験 (TOPIK) II の「聞き取り」問題にある程度対応できる。 ④韓国語能力試験 (TOPIK) II の「書取り」問題にある程度対応できる。 ⑤韓国語能力試験 (TOPIK) II の 3 級以上習得を目指す。
科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	各授業で配布 参考書：「韓国語能力試験TOPIK I I 完全対策」など
履修条件	
履修上の注意	予習・復習をしてくること
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	習者の学習進度やレベルに応じて、学習計画に変更が生じることがある。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
6thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
青木 萌			

講義概要	主として、以下の二点について学習する。ひとつは、「中国語Ⅰ」で学んだ中国語の発音の向上を目指す。特に、四声と軽声の発音がより正確になるよう何度も練習する。また、方向補語や文末の人称代名詞に対する発音についても反復練習する。更には、一つの文を休まず一息で発音する訓練を行う。いまひとつは、「中国語Ⅰ」よりも複雑な文を解説して、的確な日本語への翻訳ができるよう学習し、中国語の検定試験であるHSK(漢語水平考試)の4級の合格を目指す。		
授業計画	1	オリエンテーション、模擬問題1 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習	
		学習課題 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	2	模擬問題2 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習	
		学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	3	模擬問題3 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習	
		学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	4	模擬問題4 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習	
		学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	5	模擬問題5 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習	
		学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	6	模擬問題6 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習	
		学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	7	模擬問題7 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習	
		学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	8	模擬問題8 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習	
		学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	9	模擬問題9 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習	
		学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	10	模擬問題10 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習	
		学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	11	模擬問題11 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習	

	<p>1 2</p> <p>学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 模擬問題12 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習</p> <p>1 3</p> <p>学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 模擬問題13 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習</p> <p>1 4</p> <p>学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 模擬問題14 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習</p> <p>1 5</p> <p>学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 模擬問題15 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する</p>
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>1. 評価の観点 授業で学んだ中国語の文を正確に発音することができ、また、HSK4級に合格(正答率6割)できる。</p> <p>2. 評価手段・方法 小テストと定期試験によって評価する。</p> <p>3. 評価比率 小テスト(50%)、定期試験(50%)</p>
科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	教科書と参考書は開講時に紹介する。
履修条件	
履修上の注意	毎回、模擬問題の解答や解答理由を求めるので、予習と復習を欠かさず行うこと。
オフィスアワー	授業終了後にその場で、或は、研究室で受け付ける。
備考・メッセージ	HSKの資格を持っていると、就職活動や編入学の際にとっても有利になります。HSKで高得点を取るコツを教えません。また、中国語の実践的な運用能力も向上させることができるので、ぜひ履修して下さい。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
6thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
牟田 美信			

講義概要	最近の国内外の時事問題に関して、広く知識を得て、自分の意見を持ち発言できるようにする。具体的には、教員が提示説明する時事問題に関して議論する。また、受講者が気になった新聞やネット記事を各自持ち寄り、「要旨」と「自分の意見」を述べ、ディスカッションを行い時事問題について理解を深める。授業の中で、各自「時事研究ノート」を作成する。ノートで扱う記事は、日本語又は英語の記事とする。		
授業計画	1	時事ノート記入・作成 新聞の構成を理解し、効率的な読み方を学習する。 (記事書き出し、読み確認、用語調べ、内容の図式化) →グループ討議 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。	
	2	グループ発表・討議 (記事書き出し、読み確認、用語調べ、内容の図式化) →グループ討議 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。	
	3	時事ノート記入・作成 (記事書き出し、読み確認、用語調べ、内容の図式化) →グループ討議 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。	
	4	グループ発表・討議 (記事書き出し、読み確認、用語調べ、内容の図式化) →グループ討議 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。	
	5	時事ノート記入・作成 (記事書き出し、読み確認、用語調べ、内容の図式化) →グループ討議 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。	
	6	グループ発表・討議 (記事書き出し、読み確認、用語調べ、内容の図式化) →グループ討議 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。	
	7	時事ノート記入・作成 (記事書き出し、読み確認、用語調べ、内容の図式化) →グループ討議 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。	
	8	グループ発表・討議 (記事書き出し、読み確認、用語調べ、内容の図式化) →グループ討議 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。	
	9	時事ノート記入・作成 (記事書き出し、読み確認、用語調べ、内容の図式化) →グループ討議 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。	
	10	グループ発表・討議 (記事書き出し、読み確認、用語調べ、内容の図式化) →グループ討議 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。	
	11	時事ノート記入・作成 (記事書き出し、読み確認、用語調べ、内容の図式化) →グループ討議 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。	
	12	グループ発表・討議 ②TED視聴→意見交換 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。	

	<p>13 時事ノート記入・作成 ①各自社説ノート作成（記事書き出し、読み確認、用語調べ、内容の図式化）→グループ討議</p> <p>復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。</p> <p>14 グループ発表・討議 （記事書き出し、読み確認、用語調べ、内容の図式化）→グループ討議</p> <p>復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。</p> <p>15 総合まとめ・プレゼンテーション 自分が一番気になった記事に関して、プレゼンテーションを行う。 *ノートの提出</p>
授業形態	講義と演習を組み合わせた授業とする。
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>以下がこの授業で達成してもらいたい項目である。</p> <p>①ニュースを正しく理解でき、記事内容を簡潔に要約できる。 ②要約した記事内容を口頭で第三者にわかりやすく説明できる。 ③新聞の社説の内容を正しく理解できる。 ④取り扱う国内・国際時事用語を正しく理解できる。 ⑤時事研究ノートを作成することができる。</p> <p>評価は、「時事研究ノート（70%）」、「授業での参加度・発言度（30%）」</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	「なるほど地図帳世界2019」（昭和社）、各社新聞、ネットニュース、その他、授業中に指示
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	木曜日（14:50-16:30）
備考・メッセージ	できるだけ毎日、新聞を読んだり、テレビのニュースを視聴すること。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ & 6thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
ルーク・ロベージュ			

講義概要	<p>COURSE OBJECTIVE : This course is designed to give students a brief introduction to the skills needed to teach English to young learners. Students will practice leading and designing songs, games and exercise. Also, focus will be on adapting and developing appropriate teaching materials. Students will acquire teaching skills through hands-on practice. Students will become familiar with popular EFL teaching resources. Students will also practice planning their own games and activities and presenting them to the class.</p> <p>Students that excel at course work and peer-teaching will have the opportunity to teach at a pre-school or for an elementary-aged English program.</p>
授業計画	<p>1 Lesson 1: Introduction to the course The course and course activities will be introduced to the class. Students will participate in a mini French lesson, play kids learning games.</p> <p>2 Lesson 2: Learning Groups Curriculum and Methodology Students will be given a very brief introduction into building and designing English Language curriculum for young learners. Students will also be introduced to ways in which to promote language acquisition for young learners. Students will be placed in learning groups.</p> <p>3 Lesson 3: Songs 1 Students will be introduced to, and practice some popular childrens songs. Students will also learn effective strategies to enhance language acquisition through song.</p> <p>4 Lesson 4: Songs 2 Students will be introduced to, and practice using popular childrens books.</p> <p>5 Lesson 5: Books Students will be introduced to, and practice using popular childrens books.</p> <p>6 Lesson 6: Textbooks and Games Students will be introduced to a wide variety of popular children's textbooks. Students will also become familiar with popular games for practicing words and language.</p> <p>7 Lesson 7: Course Project Student will work making their own unique teaching materials.</p> <p>8 Lesson 8: Course Project Student will work making their own unique teaching materials. 学習課題 復習 : previous work 予習 : the next step in completing and present project</p> <p>9 Lesson 9: Course Project Student will work making their own unique teaching materials. 学習課題 復習 : previous work 予習 : the next step in completing and present project</p> <p>10 Lesson 10: Course Project Student will work making their own unique teaching materials. 学習課題 復習 : previous work 予習 : the next step in completing and present project</p> <p>11 Lesson 11: Course Project Student will work making their own unique teaching materials. 学習課題 復習 : previous work 予習 : the next step in completing and present project</p> <p>12 Lesson 12: Course Project Presentations Students will present their course projects. Students will also peer-evaluate and self-evaluate.</p> <p>13 Lesson 13: Course Project Presentations Students will present their course projects. Students will also peer-evaluate and self-evaluate.</p> <p>14 Lesson 14: Song Presentations Students will each teach a children's song. 学習課題 復習 : songs from lesson 3 or other</p> <p>15 Lesson 15: Final Evaluations Students will evaluate the course and self-evaluate their participation in the course. 学習課題 復習 : Course work</p>
授業形態	Lecture
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>1. Students will be able to make and teach using flash cards.</p> <p>2. Students will be able to read children's books.</p> <p>3. Students will be able to make their own learning materials.</p> <p>4. Students will be able to sing English learning songs.</p>

	<p>5. Students will be able to teach an English song to their peers.</p> <p>Due to the interactive nature of the course, regular attendance and active participation are required. Grades will be based on attendance, participation, peer-teaching, peer-evaluations and a term project.</p> <p>Classroom Engagement (20%), Song Teaching (20%), Flashcards (20%), Book Reading (20%) Handmade learning materials (20%).</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	
履修条件	<p>This class requires that students have the language skills needed to lead classroom-learning activities entirely in English. Students wishing to enroll in this course require a minimum level of English proficiency to be successful. Students who do not meet the minimum level of English proficiency at the onset of the course may be excluded. The teacher will set the class limit.</p>
履修上の注意	
オフィスアワー	To be announced
備考・メッセージ	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
6thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
李 載宇			

講義概要	韓国語能力試験(TOPIK)は大韓民国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語試験である。韓国語(ハングル)の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示するとともに、韓国語の普及や試験結果の学習・留学・就職等への活用などを目的に、世界70カ国以上で一斉に実施されている。本授業は「TOPIK I」を取得するために必要である文法・聞き取り・読解などを学習した上で模擬試験を行い、本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにする。
授業計画	<p>1 オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKIの特徴、勉強方法について 学習課題 復習 なし 予習 韓国語能力試験(TOPIK)聞き取りについて調べておく</p> <p>2 TOPIK(聞き取り1) TOPIKの聞き取り概要、問題類型分析、問題解説 学習課題 復習 TOPIK概要、勉強方法についても一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)読解について調べておく</p> <p>3 TOPIK(読解1) TOPIKの読解概要、問題類型分析、問題解説 学習課題 復習 TOPIKの聞き取り概要、問題類型についても一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)聞き取り既出問題について調べておく</p> <p>4 TOPIK(聞き取り2) TOPIKの聞き取り既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの読解概要、問題類型についても一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)聞き取り既出問題について調べておく</p> <p>5 TOPIK(聞き取り3) TOPIKの聞き取り既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの聞き取り既出問題についても一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)聞き取り既出問題について調べておく</p> <p>6 TOPIK(聞き取り4) TOPIKの聞き取り既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの聞き取り既出問題についても一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)聞き取りの模擬テストを準備する</p> <p>7 TOPIK(聞き取り5) TOPIKの聞き取り模擬テスト 学習課題 復習 TOPIKの聞き取り既出問題についても一度確認する 予習 模擬テストで間違った問題について調べておく</p> <p>8 TOPIK(聞き取り6) TOPIKの聞き取り模擬テスト解説 学習課題 復習 模擬テストで間違った問題についても一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)読解既出問題について調べておく</p> <p>9 TOPIK(読解2) TOPIKの読解既出問題分析 学習課題 復習 模擬テストで間違った問題についても一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)読解既出問題について調べておく</p> <p>10 TOPIK(読解3) TOPIKの読解既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの読解既出問題についても一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)読解既出問題について調べておく</p> <p>11 TOPIK(読解4) TOPIKの読解既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの読解既出問題についても一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK)読解の模擬テストを準備する</p> <p>12 TOPIK(読解5) TOPIKの読解模擬テスト 学習課題 復習 TOPIKの読解既出問題についても一度確認する 予習 模擬テストで間違った問題について調べておく</p> <p>13 TOPIK(読解6) TOPIKの読解模擬テスト解説 学習課題 復習 模擬テストで間違った問題についても一度確認する 予習 聞き取り・読解両方の模擬テストで間違った問題について調べておく</p> <p>14 TOPIK(聞き取り7、読解7) TOPIK聞き取り、読解模擬テスト解説、質疑応答 学習課題 復習 模擬テストで間違った問題についても一度確認する 予習 今までの学習内容をまとめる</p> <p>15 全体まとめ 学習課題 復習 韓国語能力試験(TOPIK)のという試験についても一度確認する</p>

予習 なし	
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	授業参加態度（10%）、課題又はグループワーク（30%）、定期試験（60%） 到達目標 ①韓国語能力試験（TOPIK）Iの合格基準、格科目の細部内容、問題の構成などについて把握できる。 ②韓国語能力試験（TOPIK）Iの「読解」問題にある程度対応できる。 ③韓国語能力試験（TOPIK）Iの「聞き取り」問題にある程度対応できる。 ④韓国語能力試験（TOPIK）Iのレベルに合わせた単語をある程度覚えることができる。 ⑤同時期開催される韓国語科目と連動し、韓国語初級単語を1500個以上学習し、TOPIK2級合格を目指す。
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	各授業で配布 参考書：「韓国語能力試験TOPIK I 完全対策」など
履修条件	
履修上の注意	予習・復習をしてくること
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	学習者の学習進度やレベルに応じて、学習計画に変更が生じることがある。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
6thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
井上 麗奈			

講義概要	主として、以下の二点について学習する。ひとつは、「中国語Ⅰ」で学んだ中国語の発音の向上を目指す。特に、四声と轻声の発音がより正確になるよう何度も練習する。また、方向補語や文末の人称代名詞に対する発音についても反復練習する。更には、一つの文を休まず一息で発音する訓練を行う。いまひとつは、「中国語Ⅰ」よりも複雑な文を解説して、的確な日本語への翻訳ができるよう学習し、中国語の検定試験であるHSK(漢語水平考試)の4級の合格を目指す。		
授業計画	1	オリエンテーション、模擬問題1 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	2	模擬問題2 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	3	模擬問題3 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	4	模擬問題4 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	5	模擬問題5 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	6	模擬問題6 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	7	模擬問題7 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	8	模擬問題8 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	9	模擬問題9 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	10	模擬問題10 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	11	模擬問題11 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習	

	<p>1 2 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 模擬問題12 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習</p> <p>1 3 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 模擬問題13 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習</p> <p>1 4 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 模擬問題14 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習</p> <p>1 5 学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 模擬問題15 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語の意味を調べる 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する</p>
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>1. 評価の観点 授業で学んだ中国語の文を正確に発音することができ、また、HSK4級に合格(正答率6割)できる。</p> <p>2. 評価手段・方法 小テストと定期試験によって評価する。</p> <p>3. 評価比率 小テスト(50%)、定期試験(50%)</p>
科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	教科書と参考書は開講時に紹介する。
履修条件	
履修上の注意	毎回、模擬問題の解答や解答理由を求めるので、予習と復習を欠かさず行うこと。
オフィスアワー	授業終了後にその場で、或は、研究室で受け付ける。
備考・メッセージ	HSKの資格を持っていると、就職活動や編入学の際にとっても有利になります。HSKで高得点を取るコツを教えません。また、中国語の実践的な運用能力も向上させることができるので、ぜひ履修して下さい。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
6thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
福元 美和子			

講義概要	<p>国内外の時事問題に関して、広く知識を得て、自分の意見を持ち発言できるようにする。 具体的には、時事関連の映像（主に日本語）を見て、内容を理解し、自分の意見を述べ、議論する。 また、自分が関心を持つ自国の時事問題、あるいは、自国で大きな話題になっている時事問題について、要約し発表する。 各自、授業の中で「時事研究ノート」を作成する。 ノートで扱う記事は、日本語・英語、その他の言語の記事とする。</p>		
授業計画	1	<p>イントロダクション 学習項目 ①本授業内容の説明。 ②授業に関するアンケート ③時事ノートの作成の仕方の確認、グループ分け ④まとめ 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（言語は問わない） 予習：プリント</p>	
	2	<p>グループワーク ほか 学習項目 ①授業で取り上げられたニュース内容を理解する。 ②グループワーク（①の確認、討議、討議内容をまとめる、発表） ③まとめ 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（言語は問わない） 予習：プリント</p>	
	3	<p>グループワーク ほか 学習項目 ①授業で取り上げられたニュース内容を理解する。 ②グループワーク（①の確認、討議、討議内容をまとめる、発表） ③まとめ 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（言語は問わない） 予習：プリント</p>	
	4	<p>グループワーク ほか 学習項目 ①授業で取り上げられたニュース内容を理解する。 ②グループワーク（①の確認、討議、討議内容をまとめる、発表） ③まとめ 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（言語は問わない） 予習：プリント</p>	
	5	<p>グループワーク ほか 学習項目 ①授業で取り上げられたニュース内容を理解する。 ②グループワーク（①の確認、討議、討議内容をまとめる、発表） ③まとめ 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（言語は問わない） 予習：プリント</p>	
	6	<p>グループワーク ほか 学習項目 ①授業で取り上げられたニュース内容を理解する。 ②グループワーク（①の確認、討議、討議内容をまとめる、発表） ③まとめ 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（言語は問わない） 予習：プリント</p>	
	7	<p>グループワーク ほか 学習項目 ①授業で取り上げられたニュース内容を理解する。 ②グループワーク（①の確認、討議、討議内容をまとめる、発表） ③まとめ 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（言語は問わない） 予習：プリント</p>	
	8	<p>グループワーク ほか 学習項目 ①授業で取り上げられたニュース内容を理解する。 ②グループワーク（①の確認、予習で準備したことを述べる、討議、討議内容をまとめる、発表） ③まとめ 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（言語は問わない） 予習：プリント</p>	
	9	<p>グループワーク ほか 学習項目 ①授業で取り上げられたニュース内容を理解する。</p>	

	<p>②グループワーク (①の確認、予習で準備したことを述べる、討議、討議内容をまとめる、発表)</p> <p>③まとめ</p> <p>復習：学習した内容をノートに整理しておくこと (言語は問わない)</p> <p>予習：プリント</p> <p>グループワーク ほか</p> <p>学習項目</p> <p>①授業で取り上げられたニュース内容を理解する。</p> <p>②グループワーク (①の確認、予習で準備したことを述べる、討議、討議内容をまとめる、発表)</p> <p>③まとめ</p> <p>復習：学習した内容をノートに整理しておくこと (言語は問わない)</p> <p>予習：プリント</p> <p>グループワーク ほか</p> <p>学習項目</p> <p>①授業で取り上げられたニュース内容を理解する。</p> <p>②グループワーク (1) (①の確認、予習で準備したことを述べる、討議、討議内容をまとめる、発表)</p> <p>③グループワーク (2) 最終プレゼンテーションに向けて準備</p> <p>④まとめ</p> <p>復習：学習した内容をノートに整理しておくこと (言語は問わない)</p> <p>予習：プリント</p> <p>グループワーク ほか</p> <p>学習項目</p> <p>①授業で取り上げられたニュース内容を理解する。</p> <p>②グループワーク (1) (①の確認、予習で準備したことを述べる、討議、討議内容をまとめる、発表)</p> <p>③グループワーク (2) 最終プレゼンテーションに向けて準備</p> <p>④まとめ</p> <p>復習：学習した内容をノートに整理しておくこと (言語は問わない)</p> <p>予習：プリント</p> <p>グループワーク ほか</p> <p>学習項目</p> <p>①授業で取り上げられたニュース内容を理解する。</p> <p>②グループワーク (1) (①の確認、予習で準備したことを述べる、討議、討議内容をまとめる、発表)</p> <p>③グループワーク (2) 最終プレゼンテーションに向けて準備</p> <p>④まとめ</p> <p>復習：学習した内容をノートに整理しておくこと (言語は問わない)</p> <p>予習：プリント</p> <p>グループ発表①</p> <p>学習項目</p> <p>①グループ発表・評価 (内容に対しての疑問点や質問を述べる、基準に基づいて評価する)</p> <p>②まとめ</p> <p>復習：学習した内容をノートに整理しておくこと (言語は問わない)</p> <p>予習：プリント</p> <p>グループ発表②</p> <p>学習項目</p> <p>①グループ発表・評価 (内容に対しての疑問点や質問を述べる、基準に基づいて評価する)</p> <p>②まとめ</p> <p>※授業の最後に「時事ノート」提出</p>
1 0	
1 1	
1 2	
1 3	
1 4	
1 5	
授業形態	講義と演習を組み合わせた授業とする。
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>以下がこの授業で達成してもらいたい項目である。</p> <p>①授業で扱われたニュースを正しく理解でき、記事内容を簡潔に要約できる。</p> <p>②要約した記事内容を口頭で第三者にわかりやすく説明できる。</p> <p>③取り扱う日本国内・国際時事用語を正しく理解できる。</p> <p>④時事研究ノートを作成することができる。</p> <p>⑤新聞の社説の内容を正しく理解できる。</p> <p>評価は、「時事研究ノート (50%)」、「授業での参加度 (30%)」、「授業での発言度 (20%)」</p>
科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	各社新聞、ネットニュース、その他、授業中に指示。
履修条件	なし
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前夜で対応します。
備考・メッセージ	この授業では、授業以外でも準備や学習が必要になります。日本語だけではなく、みなさんが持つ言語能力をフルに活用して、今、日本国内の都市や地域では何が問題になっているのか、どんなことを日本人は話題にしているのか、内容を正確に理解し、日本人の国民性を感じたり、自国と比較したりしましょう。その中で、仲間と議論し、他国者の視点を理解し、自らの視野を大きく広げていきましょう。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
6thQ	2年	1単位	必修
担当教員			
国際コミュニケーション学科教員			

講義概要	1年時に実施した「地域を知る活動」で知り得た地域の情報や課題に対して、地域の人と密接に関わりを持ちながら、「地域への提案活動」を実施する。 具体的に、相浦、黒島、高島、3ヶ町商店街、（波佐見）地区でグループに別れて、2年時に実施する地域活動の内容を検討し、実施計画を策定して、活動を実施する。		
授業計画	1	地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備	
	2	地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備	
	3	地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備	
	4	地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備	
	5	地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備	
	6	地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備	
	7	地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備	
	8	地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備	
	9	地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備	
	10	地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備	
	11	地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備	
	12	地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備	
	13	地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備	
	14	地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備	
	15	中間発表 中間発表	
授業形態	演習		
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①様々な取り組みにおいて、正しく情報を収集し、分析することができる。 ②地域活動における課題を発見することができる。 ③「地域への提案活動」の計画を立てることができる。 ④「地域への提案活動」の計画を効果的にプレゼンテーションすることができる。 ⑤地域の人たちを含めていろいろな人とコミュニケーションができるようになる。</p> <p>グループ活動への取り組みに対して総合的に評価する。</p> <p>フィールドワーク感想レポート（30%）最終プレゼンテーションのルーブリック評価（70%）</p>		
科目（教職課程用）			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等			
教科書・参考書	授業中に指示		
履修条件			
履修上の注意	コミュニケーションが特に重要な科目です。普段から、いろいろな人とコミュニケーションをとるように心がけてください。		

オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00） *その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	グループワークは、メンバー同士のコミュニケーションが非常に重要となります。「ほう（報告）れん（連絡）そう（相談）」を頻繁に行い、グループプロジェクトを完成させてください。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ & 8thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
Luc Roberge & TBA			

講義概要	<p>This is a four skills-based course with a focus on communication designed to provide opportunities to improve English language knowledge and communication skills. Focus will be given to communication skills needed for informal, everyday situations.</p> <p>Students will meet twice a week for 90 minutes (for 30 lessons), and classes will be conducted entirely in English. Students will learn and practice vocabulary, grammar and expressions needed to talk about everyday topics, as well as the conversation strategies needed to communicate naturally. Much of class time will be devoted to small group and class discussion under the guidance of the teacher. Students will also learn about the culture and customs of people from other countries.</p>
授業計画	<p>Lesson 1: Introduction to the course Students will introduced to the contents of the course. Students will participate in communicative activities and icebreakers.</p> <p>Lesson 2: Pop Culture: Movie Study 1 Students will study language, grammar and culture through watching a popular movie. The movie will be used to demonstrate authentic language. Students will participate in individual, partner and group activities to develop their vocabulary, grammar, and conversation skills and cultural knowledge.</p> <p>学習課題 復習: None 予習: Gap Term Presentation</p> <p>Lesson 3: Pop Culture: Movie Study 2 Students will study language, grammar and culture through watching a popular movie. The movie will be used to demonstrate authentic language. Students will participate in individual, partner and group activities to develop their vocabulary, grammar, and conversation skills and cultural knowledge.</p> <p>Lesson 4: Pop Culture: Movie Study 3 Students will study language, grammar and culture through watching a popular movie. The movie will be used to demonstrate authentic language. Students will participate in individual, partner and group activities to develop their vocabulary, grammar, and conversation skills and cultural knowledge.</p> <p>Lesson 5: Pop Culture: Movie Study 4 Students will study language, grammar and culture through watching a popular movie. The movie will be used to demonstrate authentic language. Students will participate in individual, partner and group activities to develop their vocabulary, grammar, and conversation skills and cultural knowledge.</p> <p>Lesson 6: Pop Culture: Movie Study 5 Students will study language, grammar and culture through watching a popular movie. The movie will be used to demonstrate authentic language. Students will participate in individual, partner and group activities to develop their vocabulary, grammar, and conversation skills and cultural knowledge.</p> <p>Lesson 7: Pop Culture: Comedy Skits 1 Students will study language, grammar and culture through watching a popular movie. The movie will be used to demonstrate authentic language. Students will participate in individual, partner and group activities to develop their vocabulary, grammar, and conversation skills and cultural knowledge.</p> <p>Lesson 8: Pop Culture: Comedy Skits 1 Students will study language, grammar and culture through watching a comedy TV Show. The comedy TV show will be used to demonstrate authentic language. Students will participate in individual, partner and group activities to develop their vocabulary, grammar, and conversation skills and cultural knowledge, especially related to humor.</p> <p>Lesson 9: Pop Culture: Comedy Skits 2 Students will study language, grammar and culture through watching a comedy TV Show. The comedy TV show will be used to demonstrate authentic language. Students will participate in individual, partner and group activities to develop their vocabulary, grammar, and conversation skills and cultural knowledge, especially related to humor.</p> <p>Lesson 10: Pop Culture: Comedy Skits 3 Students will study language, grammar and culture through watching a comedy TV Show. The comedy TV show will be used to demonstrate authentic language. Students will participate in individual, partner and group activities to develop their vocabulary, grammar, and conversation skills and cultural knowledge, especially related to humor.</p> <p>Lesson 11: Pop Culture: Comedy Skits 4 Students will study language, grammar and culture through watching a comedy TV Show. The comedy TV show will be used to demonstrate authentic language. Students will participate in individual, partner and group activities to develop their vocabulary, grammar, and conversation skills and cultural knowledge, especially related to humor.</p> <p>Lesson 12: Pop Culture: Comedy Skits 5</p>

Students will study language, grammar and culture through watching a comedy TV Show. The comedy TV show will be used to demonstrate authentic language. Students will participate in individual, partner and group activities to develop their vocabulary, grammar, and conversation skills and cultural knowledge, especially related to humor.

Lesson 13: TED Talks : Ideas Worth Spreading 1

Students will introduced to Ted Talks. Students will learn about academic language and message delivery. Students will choose 1 video and paraphrase the message via a presentation to their peers.

Lesson 14: TED Talks : Ideas Worth Spreading 2

Students will introduced to Ted Talks. Students will learn about academic language and message delivery. Students will choose 1 video and paraphrase the message via a presentation to their peers.

Lesson 15: TED Talks : Ideas Worth Spreading 3

Students will introduced to Ted Talks. Students will learn about academic language and message delivery. Students will choose 1 video and paraphrase the message via a presentation to their peers.

Lesson 16: TED Talks : Ideas Worth Spreading 4

Students will introduced to Ted Talks. Students will learn about academic language and message delivery. Students will choose 1 video and paraphrase the message via a presentation to their peers.

Lesson 2: Pop Culture: Movie Study 1

Students will study language, grammar and culture through watching a popular movie. The movie will be used to demonstrate authentic language. Students will participate in individual, partner and group activities to develop their vocabulary, grammar, and conversation skills and cultural knowledge.

Lesson 18: Pop Culture: Movie Study 1

Students will study language, grammar and culture through watching a popular movie. The movie will be used to demonstrate authentic language. Students will participate in individual, partner and group activities to develop their vocabulary, grammar, and conversation skills and cultural knowledge.

Lesson 19: Pop Culture: Movie Study 1

Students will study language, grammar and culture through watching a popular movie. The movie will be used to demonstrate authentic language. Students will participate in individual, partner and group activities to develop their vocabulary, grammar, and conversation skills and cultural knowledge.

Lesson 20: Pop Culture: Movie Study 1

Students will study language, grammar and culture through watching a popular movie. The movie will be used to demonstrate authentic language. Students will participate in individual, partner and group activities to develop their vocabulary, grammar, and conversation skills and cultural knowledge.

Lesson 21: Pop Culture: Movie Study 1

Students will study language, grammar and culture through watching a popular movie. The movie will be used to demonstrate authentic language. Students will participate in individual, partner and group activities to develop their vocabulary, grammar, and conversation skills and cultural knowledge.

Lesson 22: Interview Project

Students will discuss and prepare for a 10-minute English interview given entirely in English.

Lesson 23: Interview Project

Students will discuss and prepare for a 10-minute English interview given entirely in English.

學習課題 復習 : TBA by teacher

予習 : TBA by teacher

Lesson 24: Interview Project

Students will discuss and prepare for a 10-minute English interview given entirely in English.

學習課題 復習 : TBA by teacher

予習 : TBA by teacher

Lesson 25: Interview Project

Students will discuss and prepare for a 10-minute English interview given entirely in English.

學習課題 復習 : TBA by teacher

予習 : TBA by teacher

Lesson 26: Interview Project

Students will discuss and prepare for a 10-minute English interview given entirely in English.

學習課題 復習 : TBA by teacher

予習 : TBA by teacher

Lesson 27: Interview Project

Students will discuss and prepare for a 10-minute English interview given entirely in English.

學習課題 復習 : TBA by teacher

予習 : TBA by teacher

	<p>Lesson 28: ENGLISH INTERVIEW Students will discuss and prepare for a 10-minute English interview given entirely in English.</p> <p>学習課題 復習 : TBA by teacher 予習 : TBA by teacher</p> <p>Lesson 29: ENGLISH INTERVIEW Students will discuss and prepare for a 10-minute English interview given entirely in English.</p> <p>学習課題 復習 : TBA by teacher 予習 : TBA by teacher</p> <p>Lesson 30: ENGLISH INTERVIEW Students will discuss and prepare for a 10-minute English interview given entirely in English.</p> <p>学習課題 復習 : TBA by teacher 予習 : TBA by teacher</p>
授業形態	exercises
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>1. Students will be able to use authentic language. 2. Students will be able to learn about pop-culture using online materials. 3. Students will be able to participate in a mini-skit. 4. Students will be able to study English using academic level presentations using TED Talks. 5. Students will be able to prepare and participate in an English Interview.</p> <p>Due to the interactive nature of the course, regular attendance and active participation are required. Grades will be based on classroom engagement (35%), classwork (25%), mini-projects (20%) and English Interview (20%)</p> <p>Grades will be based on classroom engagement (35%), classwork (25%), mini-projects (20%) and English Interview (20%)</p>
科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	
履修条件	Due to the interactive nature of the course, regular attendance and active participation are required. Lessons will be taught entirely in English. To enroll, student must meet the minimum language requirement. Lessons will be taught entirely in English. To enroll, student must meet the minimum language requirement.
履修上の注意	
オフィスアワー	To be announced
備考・メッセージ	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
ルーク・ロベージュ			

講義概要	This course is designed to provide students with opportunities to develop their writing skills. Focus of the course will be on writing related to work.
授業計画	<p>Lesson 1: Introduction to the Course The course will be introduced. Students will enrol to the course on njc.9learn.net. They will get an orientation to the course and the online materials, assignments and projects. Finally, students start to explore different types of occupations.</p> <p>All materials for the course will be provided by the teacher on njc.9learn.net. It is the students responsibility to keep up with their work.</p> <p>Lesson 2: Job Descriptions Students will review large numbers. Students will work in groups on terminology related to Qualifications and Benefits. Students will create a job description for their target job.</p> <p>学習課題 復習: Occupations Vocabulary Sheet located on njc.9learn.net 予習: TBA</p> <p>Lesson 3: Business Emails 1 Students will develop their knowledge about conventions, form, expressions, singnature etc, used in business emails.</p> <p>学習課題 復習: TBA 予習: TBA</p> <p>Lesson 4: Business Emails 2 Students will develop their knowledge about conventions, form, expressions, singnature etc, used in business emails.</p> <p>学習課題 復習: TBA 予習: TBA</p> <p>Lesson 5: Business Emails 3 Students will develop their knowledge about conventions, form, expressions, singnature etc, used in business emails.</p> <p>学習課題 復習: TBA 予習: TBA</p> <p>Lesson 6: Resume and Cover Letter 1 Students will develop their knowledge about conventions, form, expressions, singnature etc, used in English Resumes and Cover Letters.</p> <p>学習課題 復習: Students should review the contents of the previous lessons. 予習: Students should preview the upcoming work on njc.9learn.net</p> <p>Lesson 7: Resume and Cover Letter 2 Students will develop their knowledge about conventions, form, expressions, singnature etc, used in English Resumes and Cover Letters.</p> <p>学習課題 復習: Students should review the contents of the previous lessons. 予習: Students should preview the upcoming work on njc.9learn.net</p> <p>Lesson 8: Resume and Cover Letter 3 Students will develop their knowledge about conventions, form, expressions, singnature etc, used in English Resumes and Cover Letters.</p> <p>学習課題 復習: Students should review the contents of the previous lessons. 予習: Students should preview the upcoming work on njc.9learn.net</p> <p>Lesson 9: Resume and Cover Letter 4 Students will develop their knowledge about conventions, form, expressions, singnature etc, used in English Resumes and Cover Letters.</p> <p>学習課題 復習: Students should review the contents of the previous lessons. 予習: Students should preview the upcoming work on njc.9learn.net</p> <p>Lesson 10: Resume and Cover Letter 5 Students will develop their knowledge about conventions, form, expressions, singnature etc, used in English Resumes and Cover Letters.</p> <p>学習課題 復習: Students should review the contents of the previous lessons. 予習: Students should preview the upcoming work on njc.9learn.net</p> <p>Lesson 11: Resume and Cover Letter 4</p>

	<p>Students will develop their knowledge about conventions, form, expressions, singnature etc, used in English Resumes and Cover Letters.</p> <p>学習課題 復習 : Students should review the contents of the previous lessons. 予習 : Students should preview the upcoming work on njc.9learn.net</p> <p>Lesson 12: Job Interview Project 1</p> <p>Students will choose a job that they may be interested in pursuing. Students will make and English resume. Students will plan and prepare to participate in a mock interview completely in English.</p> <p>学習課題 復習 : Students should become familiar with the materials on njc.9learn.net 予習 : Students should be preparing a resume, cover letter and interview question responses.</p> <p>Lesson 13: Job Interview Project 2</p> <p>Students will choose a job that they may be interested in pursuing. Students will make and English resume. Students will plan, prepare and participate in a mock interview completely in English.</p> <p>学習課題 復習 : Students should become familiar with the materials on njc.9learn.net 予習 : Students should be preparing a resume, cover letter and interview question responses.</p> <p>Lesson 14: Job Interview Day 1</p> <p>Students will choose a job that they may be interested in pursuing. Students will make and English resume. Students will plan, prepare and participate in a mock interview completely in English.</p> <p>学習課題 復習 : Students should be ready for their interview on their selected interview time. 予習 : Students should be ready for their interview on their selected interview time.</p> <p>Lesson 15: Job Interview Day 2</p> <p>Students will choose a job that they may be interested in pursuing. Students will make and English resume. Students will plan, prepare and participate in a mock interview completely in English.</p> <p>学習課題 復習 : Students should be ready for their interview on their selected interview time. 予習 : Students should be ready for their interview on their selected interview time.</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>1. Students will be able to keep a weekly journal. 2. Students will be able to write business emails. 3. Students will be able to create a job description. 4. Students will be able to write a resume and cover letter. 4. Students will be able to participate in a mock interview.</p> <p>Grades will be based on classroom engagement, weekly journals, business emails, classwork, and a mock job interview.</p> <p>Grades will be based on engagement (20%), weekly journals (20%), classwork (30%) and job interview (30%).</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	There is no textbook for the course. All course materials will be available to registered students on njc.9learn.net. It is the student responsibility to become familiar with, and keep up with all their classwork.
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	<p>Feel free to visit me in my office anytime I am not in class or a meeting.</p> <p>Monday 3:00-5:30.</p>
備考・メッセージ	Hello students. Let's have fun learning together.

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
牟田 美信			

講義概要	毎回、異なる題材に沿って、英語で文章を書き、自分の意見を的確に表現できるようにする。また、TOEICの学習をベースに、実践的に英語の文法を学習する。授業の中で、語彙数を増やし、リスニング力を高め、文法理解力を高める。		
授業計画	1	Introduction & 英語で自己紹介 授業の進め方、評価方法の説明 レベル別の3クラスが全体で初回を行う。 「自己紹介」を英語で書いてみよう。内容の添削、発表練習 学習課題 復習：ライティング課題と発表の練習 予習：辞書の準備	
	2	Unit 1: Airport Security Grammar Points: Word Forms 語源に関する問題 Writing Task 学習課題 復習：自己紹介で使う表現を復習 予習：事項珠海の内容を考える	
	3	Unit2: Weekend Activities Grammar Points: Tricky Prepositions and Phrasal Verbs (1) 前置詞 Writing Task 学習課題 復習：このUnitで学んだ文法項目の復習。 予習：次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。	
	4	Unit 3: Ecology Grammar Points: Essential Comparatives 大切な比較表現のいろいろ Writing Task 学習課題 復習：このUnitで学んだ文法項目の復習。 予習：次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。	
	5	Unit 4: Housing and Property Grammar Points: Action Verbs and State Verbs 行動の動詞と状態の動詞 Writing Task 学習課題 復習：このUnitで学んだ文法項目の復習。 予習：次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。	
	6	Review Test レビューテスト 学習課題 復習：Unit 1 - 4 を復習 予習：次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。	
	7	Unit 5: Health and Welfare Grammar Points: Articles and Quantifiers 冠詞と数量詞 Writing Task 学習課題 復習：このUnitで学んだ文法項目の復習。 予習：次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。	
	8	Unit 6: Communications Grammar Points: Participles 分詞構文～ingと～ed Writing Task 学習課題 復習：このUnitで学んだ文法項目の復習。 予習：次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。	
	9	Unit 7: Careers and Employment Grammar Points: Future Tense 未来形のさまざまな表現 Writing Task 学習課題 復習：このUnitで学んだ文法項目の復習。 予習：次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。	
	10	Unit 8: Office Procedures and Protocol Grammar Points: Subject-Verb Agreement 主語と動詞の関係 Writing Task 学習課題 復習：このUnitで学んだ文法項目の復習。 予習：次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。	
	11	Review Test 2 レビューテスト	

	<p>12 学習課題 復習：Unit 5 - 8を復習 予習：次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。 Current Events and Public Affairs Grammar Points: To + Verb versus Verb + ing toをとる動詞とingをとる動詞 Writing Task</p> <p>13 学習課題 復習：このUnitで学んだ文法項目の復習。 予習：次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。 Marketing and Sales Campaigns Grammar Points: Past Modals with 'have + -ed' 助動詞をともなう過去完了形 Writing Task</p> <p>14 学習課題 復習：このUnitで学んだ文法項目の復習。 予習：次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。 Complaints and Troubleshooting Grammar Points: Conditional Sentences 第2、第3条件文 Writing Task</p> <p>15 学習課題 復習：このUnitで学んだ文法項目の復習。 予習：次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。 Innovations and Technology Grammar Points: Phrasal Verbs (2) 3語からなる熟語動詞 Writing Task</p> <p>16 学習課題 復習：このUnitで学んだ文法項目の復習。 予習：次のユニットの語彙を調べ、わからないところ明らかににする。 総合評価</p>
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①語彙数を増やす。 ②苦手とする英文法を正しく理解する。 ③正確に英語の音声聞きとる。 ④英文の内容を正しく理解できる。 ⑤日常で使う使う簡単な英語の文章をかくことができる。</p> <p>英文ライティングタスクと筆記試験で総合的に評価する。 筆記試験（80%）、英語ライティングタスク（20%）</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	参考) 「TOEIC Test : On Target book 2 - 南雲堂」、プリント教材、授業の中で指示する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	木曜日（14:50 - 16:20）
備考・メッセージ	英語ライティングに関して、個人個人のレベルは大きく異なる。様々な日常と関連した問題に取り組み、自分のレベル、弱点を早く発見し、それぞれにあった問題に取り組み弱みを克服することが肝要である。また、様々な日常の場面や、就職活動で役立つライティングスキルをしっかりと学んで欲しい。実際に英語を使う場面に応じた実践的な内容でもある。英語力の向上に期待したい。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
園田 靖			

講義概要	高校までに習得した英語の文法知識の復習と、説得力のある論理的な構造（パラグラフ）をもった英文を書けるようになることを目標とする。合わせて、ライティングだけでなく、リーディング・リスニング・スピーキングの各技能についても問題演習などを通じて養成することを目指す。
授業計画	<p>1. 初回オリエンテーション 授業概要の説明 「パラグラフ」と「段落」の違いについて、日本語話者にはなじみのない概念の知識を得る。</p> <p>※以降、各回の授業で必要に応じてハンドアウトを配布</p> <p>2. 時制の基本(1) 現在形と現在進行形、過去形 動詞の活用や時勢に合わせた変化についての復習をするとともに、各時制についてのイメージを捉え直す。</p> <p>3. 時制の基本(2) 現在完了形・過去完了系 「完了形」という名前のために勘違いしがちな英語の時制の感覚を把握する。</p> <p>4. 「法」について(1) 仮定法/命令法/直説法 高校までの文法事項の中で比較的難易度が高いと思われる「仮定法」の復習を前に、そもそも英文法における「法」とはなにかを学習する。</p> <p>5. 「法」について(2) 仮定法過去 基本となる仮定法過去の文法事項を確認し、同時にこの表現のもつイメージをつかむ。</p> <p>6. 「法」について(3) 仮定法過去完了 さらに仮定法についての復習を行うことで知識を深めつつ、助動詞の過去形の性質についても理解を広げる。</p> <p>7.</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	筆記試験（期末）：75% 授業態度や取り組み、授業内での課題等：25%
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	授業内で適宜ハンドアウトを配布する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	水曜1限（9:10～10:40） ほか、空きコマでも随時対応します。
備考・メッセージ	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
青木 萌			

講義概要	「中国語ライティング&グラマーⅠ」よりも複雑な中国語の文法と作文を学習する。文法では、中国語の基本構造として重要な主述構造、動目構造、動補構造、偏正構造、連合構造、述連構造において生じる中国語特有の文法現象について学ぶ。そして、これらの文法現象に該当する多くの実例を確認しながら、音読練習を何度も行う。作文では、基本構造を基に作成された並び替え問題を何度も行い、日常生活、学校、仕事、旅行などにおいて、中国語で比較的流暢に表現できるようにする。		
授業計画	1	オリエンテーション、模擬問題1 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	2	模擬問題2 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	3	模擬問題3 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	4	模擬問題4 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	5	模擬問題5 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	6	模擬問題6 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	7	模擬問題7 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	8	模擬問題8 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	9	模擬問題9 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	10	模擬問題10 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	11	模擬問題11 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習	

	<p>1 2 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 模擬問題12 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習</p> <p>1 3 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 模擬問題13 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習</p> <p>1 4 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 模擬問題14 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習</p> <p>1 5 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 模擬問題15 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する</p>
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>1. 評価の観点 HSK5級の読解問題と作文問題に合格(正答率6割)できる。</p> <p>2. 評価手段・方法 小テストと定期試験によって評価する。</p> <p>3. 評価比率 小テスト(50%)、定期試験(50%)</p>
科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	教科書と参考書は開講時に紹介する。
履修条件	
履修上の注意	毎回、模擬問題の解答や解答理由を求めるので、予習と復習を欠かさず行うこと。
オフィスアワー	授業終了後にその場で、或は、研究室で受け付ける。
備考・メッセージ	HSKの資格を持っていると、就職活動や編入学の際にとっても有利になります。HSKで高得点を取るコツを教えません。また、中国語の実践的な運用能力も向上させることができますので、ぜひ履修して下さい。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
井上 麗奈			

講義概要	「中国語ライティング&グラマーⅠ」よりも複雑な中国語の文法と作文を学習する。文法では、中国語の基本構造として重要な主述構造、動目構造、動補構造、偏正構造、連合構造、述連構造において生じる中国語特有の文法現象について学ぶ。そして、これらの文法現象に該当する多くの実例を確認しながら、音読練習を何度も行う。作文では、基本構造を基に作成された並び替え問題を何度も行い、日常生活、学校、仕事、旅行などにおいて、中国語で比較的流暢に表現できるようにする。		
授業計画	1	オリエンテーション、模擬問題1 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	2	模擬問題2 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	3	模擬問題3 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	4	模擬問題4 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	5	模擬問題5 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	6	模擬問題6 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	7	模擬問題7 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	8	模擬問題8 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	9	模擬問題9 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	10	模擬問題10 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	11	模擬問題11 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習	

	<p>1 2 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 模擬問題12 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習</p> <p>1 3 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 模擬問題13 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習</p> <p>1 4 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 模擬問題14 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習</p> <p>1 5 学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 模擬問題15 模擬問題を解く、模擬問題の解説、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する</p>
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>1. 評価の観点 HSK5級の読解問題と作文問題に合格(正答率6割)できる。</p> <p>2. 評価手段・方法 小テストと定期試験によって評価する。</p> <p>3. 評価比率 小テスト(50%)、定期試験(50%)</p>
科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	教科書と参考書は開講時に紹介する。
履修条件	
履修上の注意	毎回、模擬問題の解答や解答理由を求めるので、予習と復習を欠かさず行うこと。
オフィスアワー	授業終了後にその場で、或は、研究室で受け付ける。
備考・メッセージ	HSKの資格を持っていると、就職活動や編入学の際にとっても有利になります。HSKで高得点を取るコツを教えません。また、中国語の実践的な運用能力も向上させることができますので、ぜひ履修して下さい。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
未定			

講義概要	韓国語能力試験(TOPIK)は大韓民国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語試験である。韓国語(ハングル)の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示するとともに、韓国語の普及や試験結果の学習・留学・就職等への活用などを目的に、世界70カ国以上で一斉に実施されている。本授業は「TOPIK I I」を取得するために必要である文法・聞き取り・書き取り・読解などを学習した上で模擬試験を行い、本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにする。		
授業計画	1	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIK I Iの特徴、勉強方法について 学習課題 復習 なし 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 聞き取りについて調べておく	
	2	TOPIK(聞き取り1) TOPIKの聞き取り概要、問題類型分析、問題解説 学習課題 復習 TOPIK概要、勉強方法についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 書き取りについて調べておく	
	3	TOPIK(書き取り1) TOPIKの書き取り概要、問題類型分析、問題解説 学習課題 復習 TOPIKの聞き取り概要、問題類型についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 読解について調べておく	
	4	TOPIK(読解1) TOPIKの読解概要、問題類型分析、問題解説 学習課題 復習 TOPIKの書き取り概要、問題類型についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 聞き取り既出問題について調べておく	
	5	TOPIK(聞き取り2) TOPIKの聞き取り既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの読解概要、問題類型についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 聞き取り既出問題について調べておく	
	6	TOPIK(聞き取り3) TOPIKの聞き取り既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの聞き取り既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 書き取り既出問題について調べておく	
	7	TOPIK(書き取り2) TOPIKの書き取り既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの聞き取り既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 書き取り既出問題について調べておく	
	8	TOPIK(書き取り3) TOPIKの書き取り既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの書き取り既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 読解既出問題について調べておく	
	9	TOPIK(読解2) TOPIKの読解既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの書き取り既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 読解既出問題について調べておく	
	10	TOPIK(読解3) TOPIKの読解既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの読解既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 聞き取りの模擬テストを準備する	
	11	TOPIK(聞き取り模擬テスト) TOPIKの聞き取り模擬テスト実施 学習課題 復習 TOPIKの読解既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 書き取りの模擬テストを準備する	
	12	TOPIK(書き取り模擬テスト) TOPIKの書き取り模擬テスト実施 学習課題 復習 聞き取り模擬テストで間違った問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 読解の模擬テストを準備する	
	13	TOPIK(読解模擬テスト) TOPIKの読解模擬テスト実施 学習課題 復習 書き取り模擬テストで間違った問題についてもう一度確認する 予習 今までの模擬テストで間違った問題について調べておく	
	14	TOPIK(模擬テスト解説) TOPIK聞き取り、書き取り、読解の模擬テスト解説、質疑応答 学習課題 復習 読解模擬テストで間違った問題についてもう一度確認する 予習 今までの学習内容をまとめる	
	15	全体まとめ 学習課題 復習 韓国語能力試験(TOPIK) のという試験についてもう一度確認する	

予習 なし	
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	授業参加態度 (10%)、課題又はグループワーク (30%)、定期試験 (60%) 到達目標 ①韓国語能力試験 (TOPIK) II の合格基準、格科目の細部内容、問題の構成などについて把握できる。 ②韓国語能力試験 (TOPIK) II の「読解」問題にある程度対応できる。 ③韓国語能力試験 (TOPIK) II の「聞き取り」問題にある程度対応できる。 ④韓国語能力試験 (TOPIK) II の「書取り」問題にある程度対応できる。 ⑤韓国語能力試験 (TOPIK) II の 4 級以上習得を目指す。
科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	各授業で配布 参考書：「韓国語能力試験 TOPIK I I 完全対策」など
履修条件	
履修上の注意	予習・復習をしてくること
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	習者の学習進度やレベルに応じて、学習計画に変更が生じることがある。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
李 載宇			

講義概要	韓国語能力試験(TOPIK)は大韓民国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語試験である。韓国語(ハングル)の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示するとともに、韓国語の普及や試験結果の学習・留学・就職等への活用などを目的に、世界70カ国以上で一斉に実施されている。本授業は「TOPIK I I」を取得するために必要である文法・聞き取り・書き取り・読解などを学習した上で模擬試験を行い、本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにする。		
授業計画	1	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIK I Iの特徴、勉強方法について 学習課題 復習 なし 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 聞き取りについて調べておく	
	2	TOPIK(聞き取り1) TOPIKの聞き取り概要、問題類型分析、問題解説 学習課題 復習 TOPIK概要、勉強方法についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 書き取りについて調べておく	
	3	TOPIK(書き取り1) TOPIKの書き取り概要、問題類型分析、問題解説 学習課題 復習 TOPIKの聞き取り概要、問題類型についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 読解について調べておく	
	4	TOPIK(読解1) TOPIKの読解概要、問題類型分析、問題解説 学習課題 復習 TOPIKの書き取り概要、問題類型についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 聞き取り既出問題について調べておく	
	5	TOPIK(聞き取り2) TOPIKの聞き取り既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの読解概要、問題類型についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 聞き取り既出問題について調べておく	
	6	TOPIK(聞き取り3) TOPIKの聞き取り既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの聞き取り既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 書き取り既出問題について調べておく	
	7	TOPIK(書き取り2) TOPIKの書き取り既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの聞き取り既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 書き取り既出問題について調べておく	
	8	TOPIK(書き取り3) TOPIKの書き取り既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの書き取り既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 読解既出問題について調べておく	
	9	TOPIK(読解2) TOPIKの読解既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの書き取り既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 読解既出問題について調べておく	
	10	TOPIK(読解3) TOPIKの読解既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの読解既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 聞き取りの模擬テストを準備する	
	11	TOPIK(聞き取り模擬テスト) TOPIKの聞き取り模擬テスト実施 学習課題 復習 TOPIKの読解既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 書き取りの模擬テストを準備する	
	12	TOPIK(書き取り模擬テスト) TOPIKの書き取り模擬テスト実施 学習課題 復習 聞き取り模擬テストで間違った問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 読解の模擬テストを準備する	
	13	TOPIK(読解模擬テスト) TOPIKの読解模擬テスト実施 学習課題 復習 書き取り模擬テストで間違った問題についてもう一度確認する 予習 今までの模擬テストで間違った問題について調べておく	
	14	TOPIK(模擬テスト解説) TOPIK聞き取り、書き取り、読解の模擬テスト解説、質疑応答 学習課題 復習 読解模擬テストで間違った問題についてもう一度確認する 予習 今までの学習内容をまとめる	
	15	全体まとめ 学習課題 復習 韓国語能力試験(TOPIK) のという試験についてもう一度確認する	

予習 なし	
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	授業参加態度 (10%)、課題又はグループワーク (30%)、定期試験 (60%) 到達目標 ①韓国語能力試験 (TOPIK) II の合格基準、格科目の細部内容、問題の構成などについて把握できる。 ②韓国語能力試験 (TOPIK) II の「読解」問題にある程度対応できる。 ③韓国語能力試験 (TOPIK) II の「聞取り」問題にある程度対応できる。 ④韓国語能力試験 (TOPIK) II の「書取り」問題にある程度対応できる。 ⑤韓国語能力試験 (TOPIK) II の 3 級以上習得を目指す。
科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	各授業で配布 参考書：「韓国語能力試験 TOPIK I I 完全対策」など
履修条件	
履修上の注意	予習・復習をしてくること
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	習者の学習進度やレベルに応じて、学習計画に変更が生じることがある。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
牟田 美信			
オムニバス			

講義概要	<p>この授業の目的となるキーワードは、「協働」「比較文化」「異文化理解」「コミュニケーション」とする。</p> <p>これからのグローバル社会では、様々な国の出身者と協働で働き、生活を共にすることがますます必要となる。いくつかのプロジェクトを通して、多様な文化を理解し、価値観の違いを知り、また自国文化に関する理解を深める。</p> <p>1年次の「異文化理解演習」をベースに、さらに幾つかの国の文化を自国の文化と比較研究をおこなう。特に、日本、韓国、中国を中心に扱うが、日本人はもとより、この3カ国以外からの留学生にとっても、これら3カ国をより深く理解しておくことが重要だと考える。</p> <p>グループワークを通じたプロジェクト型の授業となるため、その中でコミュニケーション力を磨き、協調性を培い、責任感を育てる。グループ全員がそれぞれの立場からそれぞれの資質を活かし、プロジェクトにコミットすることに意義があり、共に学ぶ日本人・留学生が協働して、プロジェクトに取り組み、プレゼンテーション等の作成・発表を通して、5つの到達目標達成を目指す。</p>
授業計画	<p>1 基礎データの比較（人口、気候、言語、など） 日本、韓国、中国、ベトナム、ミャンマー、等の基本データを比較する。</p> <p>予習&復習：今回まとめた内容に新たな情報を追加する。</p> <p>2 ファッション・美容（各年代どのような服装が主流、化粧ほどの程度するなど） テキストの本項目読み合わせ → 論点をミニホワイトボードに掻き出す → 書かれた内容が事実かどうかを含め、母国の情報を提供し意見交換 → 出し合った内容をノートにまとめる。</p> <p>予習&復習：今回まとめた内容に新たな情報を追加する。予習として、次回扱う章を読んでおく。</p> <p>3 食事（どんな食事をするか、マナーなど） テキストの本項目読み合わせ → 論点をミニホワイトボードに掻き出す → 書かれた内容が事実かどうかを含め、母国の情報を提供し意見交換 → 出し合った内容をノートにまとめる。</p> <p>予習&復習：今回まとめた内容に新たな情報を追加する。予習として、次回扱う章を読んでおく。</p> <p>4 住まい（どんな家に住んでいる、家・マンションの値段など） テキストの本項目読み合わせ → 論点をミニホワイトボードに掻き出す → 書かれた内容が事実かどうかを含め、母国の情報を提供し意見交換 → 出し合った内容をノートにまとめる。</p> <p>予習&復習：今回まとめた内容に新たな情報を追加する。予習として、次回扱う章を読んでおく。</p> <p>5 健康・福祉（寿命、老人ホームの存在、介護の仕事の人気など） テキストの本項目読み合わせ → 論点をミニホワイトボードに掻き出す → 書かれた内容が事実かどうかを含め、母国の情報を提供し意見交換 → 出し合った内容をノートにまとめる。</p> <p>予習&復習：今回まとめた内容に新たな情報を追加する。予習として、次回扱う章を読んでおく。</p> <p>6 恋愛・結婚（出会う方法や場所、結婚式のやり方など） テキストの本項目読み合わせ → 論点をミニホワイトボードに掻き出す → 書かれた内容が事実かどうかを含め、母国の情報を提供し意見交換 → 出し合った内容をノートにまとめる。</p> <p>予習&復習：今回まとめた内容に新たな情報を追加する。予習として、次回扱う章を読んでおく。</p> <p>7 娯楽（各年齢層の娯楽、週末の過ごし方など） テキストの本項目読み合わせ → 論点をミニホワイトボードに掻き出す → 書かれた内容が事実かどうかを含め、母国の情報を提供し意見交換 → 出し合った内容をノートにまとめる。</p> <p>予習&復習：今回まとめた内容に新たな情報を追加する。予習として、次回扱う章を読んでおく。</p> <p>8 仕事（失業率、給与、など） テキストの本項目読み合わせ → 論点をミニホワイトボードに掻き出す → 書かれた内容が事実かどうかを含め、母国の情報を提供し意見交換 → 出し合った内容をノートにまとめる。</p> <p>予習&復習：今回まとめた内容に新たな情報を追加する。予習として、次回扱う章を読んでおく。</p> <p>9 文化（独特な文化、タブーなど） テキストの本項目読み合わせ → 論点をミニホワイトボードに掻き出す → 書かれた内容が事実かどうかを含め、母国の情報を提供し意見交換 → 出し合った内容をノートにまとめる。</p> <p>予習&復習：今回まとめた内容に新たな情報を追加する。予習として、次回扱う章を読んでおく。</p> <p>10 お金・経済（通貨の種類、主な産業、など）</p>

	<p>テキストの本項目読み合わせ →論点をミニホワイトボードに掻き出す →書かれた内容が事実かどうかを含め、母国の情報を提供し意見交換 →出し合った内容をノートにまとめる。</p> <p>予習&復習：今回まとめた内容に新たな情報を追加する。予習として、次回扱う章を読んでおく。</p> <p>11 教育（教育年限、学費など）</p> <p>テキストの本項目読み合わせ →論点をミニホワイトボードに掻き出す →書かれた内容が事実かどうかを含め、母国の情報を提供し意見交換 →出し合った内容をノートにまとめる。</p> <p>予習&復習：今回まとめた内容に新たな情報を追加する。予習として、次回扱う章を読んでおく。</p> <p>12 環境（ゴミ、公害など）</p> <p>テキストの本項目読み合わせ →論点をミニホワイトボードに掻き出す →書かれた内容が事実かどうかを含め、母国の情報を提供し意見交換 →出し合った内容をノートにまとめる。</p> <p>予習&復習：今回まとめた内容に新たな情報を追加する。予習として、次回扱う章を読んでおく。</p> <p>13 政治（選挙のやり方など）</p> <p>テキストの本項目読み合わせ →論点をミニホワイトボードに掻き出す →書かれた内容が事実かどうかを含め、母国の情報を提供し意見交換 →出し合った内容をノートにまとめる。</p> <p>予習&復習：今回まとめた内容に新たな情報を追加する。予習として、次回扱う章を読んでおく。</p> <p>14 交通（交通手段など）</p> <p>テキストの本項目読み合わせ →論点をミニホワイトボードに掻き出す →書かれた内容が事実かどうかを含め、母国の情報を提供し意見交換 →出し合った内容をノートにまとめる。</p> <p>予習&復習：今回まとめた内容に新たな情報を追加する。予習として、次回扱う章を読んでおく。</p> <p>15 まとめのプレゼンテーション</p> <p>この授業で理解した内容に関して、グループプレゼンテーションを行う。</p> <p>予習&復習：今回まとめた内容に新たな情報を追加する。</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>① 日本人と留学生の合同授業で多様な文化や価値観の違いを知り、理解し、自分なりに受容できるようになる。</p> <p>② 異文化間交流の中で自国の文化の特性を再認識し、見直し、交流の際の助力とすることができる。</p> <p>③ グループワークを通してコミュニケーション能力・リーダーシップ・責任感・協調性を醸成することができる。</p> <p>④ プレゼン作成、発表を通し調査・まとめ・発表能力をつけることができる。</p> <p>⑤ グループのメンバー一人一人が積極的に行事に参加、プロジェクトに取り組み、必ず自らの役割を果たすことができる。</p> <p>グループワークでの成果物（パワポ、ポスターなど）、発表内容、授業や諸行事への積極的な関わりで評価します。ルーブリック評価も取り入れます。</p> <p>課題40%、授業、グループワークへの積極的な参加30%、プレゼンテーション30%</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	（参考）「こんなにちがうよ！本人・韓国人・中国人」（PHP文庫）、プリント教材 *その他、授業中に指示する。
履修条件	
履修上の注意	グループプロジェクトを実施するが、グループメンバー全員が積極的に活動に参加すること。
オフィスアワー	月曜日1限（9：10～10：40）は研究室にいます。
備考・メッセージ	母語が異なるメンバーによるプロジェクトになるため、コミュニケーションが難しい時がある。その場合、辞書などを上手に使うなど、工夫してプロジェクトを完成すること。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ & 8thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
内山 智子			

講義概要	<ul style="list-style-type: none"> ・読んだり聞いたりする学習が幅広い生活の表現力向上に生きてはたらくように配慮しながら授業を行う。 ・学生の表現能力の実態に基づきながら、能力差に配慮した授業を行う。
授業計画	<p>1 オリエンテーション 授業に関するオリエンテーション</p> <p>学習課題 復習：オリエンテーションの確認 予習：「文型1」の語句を調べてくる。</p> <p>2 文型から1 様々な文型を使って、話したり書いたりする表現力をさらに高める1。</p> <p>学習課題 復習：「文型から1」の確認・見直し 予習：「文型から2」の語句を調べてくる。</p> <p>3 文型から2 様々な文型を使って、話したり書いたりする表現力をさらに高める2。</p> <p>学習課題 復習：「文型から2」の確認・見直し 予習：「文型から3」の語句を調べてくる。</p> <p>4 文型から3 様々な文型を使って、話したり書いたりする表現力をさらに高める3。</p> <p>学習課題 復習：「文型から3」の確認・見直し 予習：「文型から4」の語句を調べてくる。</p> <p>5 文型から4 様々な文型を使って、話したり書いたりする表現力をさらに高める4。</p> <p>学習課題 復習：「文型から4」の確認・見直し 予習：「文章から1」の語句を調べてくる。</p> <p>6 文章から1 文や文章を読む学習を通して、書く力をさらに高める1</p> <p>学習課題 復習：「文章から1」の確認・見直し 予習：「文章から2」の語句を調べてくる。</p> <p>7 文章から2 文や文章を読む学習を通して、書く力をさらに高める2</p> <p>学習課題 復習：「文章から2」の確認・見直し 予習：「文章から3」の語句を調べてくる。</p> <p>8 文章から3 文や文章を読む学習を通して、書く力をさらに高める3</p> <p>学習課題 復習：「文章から3」の確認・見直し 予習：「文章から4」の語句を調べてくる。</p> <p>9 文章から4 文や文章を読む学習を通して、書く力をさらに高める4</p> <p>学習課題 復習：「文章から4」の確認・見直し 予習：「聴解1」の語句を調べてくる。</p> <p>10 聴解から1 聴解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力をさらに高める1。</p> <p>学習課題 復習：「聴解から1」のスキプトの見直し 予習：「聴解から2」の語句を調べてくる</p> <p>11 聴解から2 聴解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力をさらに高める2。</p> <p>学習課題 復習：「聴解から2」のスキプトの見直し 予習：「聴解から3」の語句を調べてくる</p> <p>12 聴解から3 聴解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力をさらに高める3。</p> <p>学習課題 復習：「聴解から3」のスキプトの見直し 予習：「聴読解から1」の語句を調べてくる</p> <p>13 聴読解から1 聴読解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力をさらに高める1。</p>

	<p>学習課題 復習：「聴読解から1」のスキプトの見直し 予習：「聴読解から2」の語句を調べてくる</p> <p>1 4 聴読解から2 聴読解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力をさらに高める2。</p> <p>学習課題 復習：「聴読解から2」のスキプトの見直し 予習：「聴読解から3」の語句を調べてくる</p> <p>1 5 聴読解から3 聴読解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力をさらに高める3。</p> <p>学習課題 復習：「聴読解から3」のスキプトの見直し 予習：試験の準備</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①様々な文型を使って話したり書いたりする表現力をさらに高める。 ②多くの分野の文章を読むことによって、書く力をさらに高める。 ③聴解能力を高めながら話したり書いたりする表現力をさらに高める。 ④聴読解能力を高めながら話したり書いたりする表現力をさらに高める。 ⑤興味ある話題や課題等について、それらを書いたり話したりする表現力をさらに高める。</p> <p>平素の学習意欲（20%）、レポート・発表（20%）、定期試験（60%）</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	<p>テキスト：最初の授業で指示する。 参考書：授業で随時指示する。</p>
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	授業の最初に日常の出来事を短いスピーチにまとめて発表してもらいます。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ & 6thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
岩崎 千恵			

講義概要	<p>本授業では、全15回の講義を通して、日本語を教える基盤となる下記3つについて学生個々人が見聞を深める機会としたい。</p> <p>①世界・日本における日本語教育の現状 ②留学生の日本語学習過程 ③日本語教師という職業・役割</p> <p>本授業では日本語教育の現状を知り、留学生の日本語学習過程や環境を理解した上で教育指導案を書くことができるように指導案作りもカリキュラムに入れている。将来、日本語教師に関心のある学生や教えることに興味のある学生を対象としているので、積極的な参加を期待します。</p>
授業計画	<p>1 オリエンテーション この授業の内容・展開を知る。「日本語教師」とはどんな職業かを知り、直接法を体験する。</p> <p>2 日本語教育1（世界） 世界の日本語教育について学ぶ。 関連するテーマについて見聞を深め、自分自身の知識や経験と照らし合わせて考える。 予習：次回テーマについてプリントを読む。 復習：今回のテーマを振り返り、小テストに備える。</p> <p>3 日本語教育2（日本国内） 日本国内における日本語教育について学ぶ。 関連するテーマについて見聞を深め、自分自身の知識や経験と照らし合わせて考える。 予習：次回テーマについてプリントを読む。 復習：今回のテーマを振り返り、小テストに備える。</p> <p>4 言語としての日本語 日本語の概要について学ぶ。 関連するテーマについて見聞を深め、自分自身の知識や経験と照らし合わせて考える。 予習：次回テーマについてプリントを読む。 復習：今回のテーマを振り返り、小テストに備える。</p> <p>5 文字・表記1 日本語の文字・表記について学ぶ。 関連するテーマについて見聞を深め、自分自身の知識や経験と照らし合わせて考える。 予習：次回テーマについてプリントを読む。 復習：今回のテーマを振り返り、小テストに備える。</p> <p>6 文字・表記2 日本語の文字・表記について学ぶ。 関連するテーマについて見聞を深め、自分自身の知識や経験と照らし合わせて考える。 予習：次回テーマについてプリントを読む。 復習：今回のテーマを振り返り、小テストに備える。</p> <p>7 文法1 文法について学ぶ。 関連するテーマについて見聞を深め、自分自身の知識や経験と照らし合わせて考える。 予習：次回テーマについてプリントを読む。 復習：今回のテーマを振り返り、小テストに備える。</p> <p>8 文法2 文法について学ぶ。 関連するテーマについて見聞を深め、自分自身の知識や経験と照らし合わせて考える。 予習：次回テーマについてプリントを読む。 復習：今回のテーマを振り返り、小テストに備える。</p> <p>9 社会言語学1 社会言語学について学ぶ。 関連するテーマについて見聞を深め、自分自身の知識や経験と照らし合わせて考える。 予習：次回テーマについてプリントを読む。 復習：今回のテーマを振り返り、小テストに備える。</p> <p>10 社会言語学2 社会言語学について学ぶ。 関連するテーマについて見聞を深め、自分自身の知識や経験と照らし合わせて考える。 予習：次回テーマについてプリントを読む。 復習：今回のテーマを振り返り、小テストに備える。</p> <p>11 留学生への日本語教育 1</p>

	<p>外国における日本語教育とは別に、日本で日本語を学習する留学生は在留資格、生活、学費などを取り巻く様々な制限や問題を抱えている。日本語教育を実施する上での日本における留学生を取り巻く現状を把握し、留学生理解を図ることでより良い日本語教育への気づきを得る</p> <p>予習：発表に備えて準備をする。 復習：今回のテーマを振り返り、小テストに備える</p> <p>留学生への日本語教育 2 本学の留学生や知り合いの留学生等にインタビューをし、現状を把握し問題点、改善点、日本語教師としての支援に何が可能なのかを調べて、まとめる（グループ発表）</p> <p>予習：次週の発表に備える 復習：今回のテーマを振り返り、小テストに備える</p> <p>留学生への日本語教育 3 前週で調べたことを発表し、理解を深める。 日本語教育に必要な「指導案」の作成方法について学ぶ</p> <p>予習：指導案の構成を考える 復習：指導案作りを念頭に復習する</p> <p>留学生への日本語教育 4 指導案作成</p> <p>復習：日本語教師の役割について考える。 総括 授業や指導案作りを通して日本語教育・日本語教師についての気づきを共有する。</p> <p>試験 今までのミニテスト+授業内容の理解度を確認します</p>
授業形態	講義・アクティブラーニング
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>到達目標</p> <p>①世界・日本における日本語教育の概要を知る。 ②自分の周囲の留学生や外国人の日本での生活を考えながら、日本語教育を学ぶことができる。 ③日本語を外国語として学ぶ人の立場になり、日本語について考えることができる。 ④日本語教育における基本的な専門語彙や教授法を学ぶことができる。 ⑤日本語教師の職業や役割を知る。 ⑥当たり前に使っている日本語を改めて確認することができる。</p> <p>評価方法 学習意欲 (30%) ミニテスト (30%) 課題・レポート (20%) 試験 (20%)</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：適宜プリントで配布する。
履修条件	留学生と関わることができ、視野が広い学生を期待します
履修上の注意	本授業では本学の留学生や日本語教師、外部の日本語を勉強している外国人へのインタビュー調査も授業の一環として予定されている。それらの経験をもとに指導案作りを行うため、積極的な授業参加を期待する
オフィスアワー	金曜 2 コマ目 (10 : 50-12 : 20) に研究室にどうぞ。
備考・メッセージ	周囲の留学生の友だちや外国人のことを考えながら、授業を受けてみてください。日本語の面白さ・難しさ、奥深さを皆で共有しながら学びましょう。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
牟田 美信			
実務教員			

講義概要	<p>将来、ホテル・航空・旅行業界などのホスピタリティビジネス（サービス業）に従事しようと考えている者が、実際のサービスの在り方を学び、働くことの本質を体験から学ぶ。 「ギャップイヤー事前指導」でインターンシップ参加に必要な知識を得た後、インターンシップに参加することになる。 インターンシップ期間中は、担当教員が各施設を訪問し、現場担当者との意見交換を実施し、インターンシップ状況を確認する。参加者は毎回の出勤日の日誌をネット上で記入する。 インターンシップ終了後、「ギャップイヤー事後指導」において、職業体験の振り返りをおこなう。同一の職場での継続、又は異なる職場でも構わないが、90時間以上の就業体験をもって評価を行う。</p>
授業計画	インターンシップ先で就業体験をする。
授業形態	実習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>本科目をインターンシップⅢ（応用）と位置づけ、5つの指標を到達目標として設定する。</p> <p>①【自己変革】他人の言動を観察し、良い点は取り入れ、自分をより成長させることができる。 ②【主体性】社会・実習先の帰属意識をより高め、周囲の状況から課題を発見し、積極的に自分ができることを行うことができる。 ③【規律性・忍耐力】新しい職務に取り組む中でも、様々な課題・問題を熟考し、確実に役割・目標を全うできる。 ④【ストレスコントロール力】新しい職務に取り組む中でも、ストレスをコントロールしながら自分の役割を着実に果たすことができる。 ⑤【良い行いの習慣化】良いと思われる言動を自ら進んで取り入れ、習慣化させることができる。</p> <p>インターンシップ期間中及び終了後の提出物で評価する。 インターンシップ日誌（80%）、職場担当者の評価（20%）</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	授業中に指示をする。
履修条件	「ギャップイヤー事前指導」の単位を修得し、「ギャップイヤー事後指導」を履修すること。
履修上の注意	インターンシップに参加するという明確な意識を持ち、日頃の学習態度、服装等に注意を払うこと。上記が守れない場合や学習態度等、インターンシップに不適切であると判断した場合は、参加を辞退してもらう。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00） *その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	インターンシップに参加することで、自分の適性を知ることができ、働くことの自信に繋がります。積極的に参加することを勧めます。

講義科目名称：日本語ライティング&グラマーⅡ 上級

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
福元 美和子			

講義概要	
授業計画	
授業形態	
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	
備考・メッセージ	

講義科目名称：日本語ライティング&グラマーⅡ 中級

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
内山 智子			

講義概要	
授業計画	
授業形態	
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	
備考・メッセージ	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ & 8thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
青木 萌			

講義概要	就職活動や編入学に大きく役立つ中国語の検定試験HSK(漢語水平考試)の模擬問題を用いて中国語を学習し、HSK5級の合格を目指す。主に、聞き取りの対策を行い、中国語のラジオやテレビの内容が概ね聞き取れる能力を養う。本授業の前半では、模擬問題を解いて、答え合わせを行う。そして、問題の中で読み方や日本語の意味が分からなかった単語を黒板に書いて、学習する。授業の後半においては、書き取りの練習や発音練習を行う。		
授業計画	1	オリエンテーション、模擬問題1 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習	
		学習課題 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	2	模擬問題2 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習	
		学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	3	模擬問題3 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習	
		学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	4	模擬問題4 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習	
		学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	5	模擬問題5 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習	
		学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	6	模擬問題6 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習	
		学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	7	模擬問題7 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習	
		学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	8	模擬問題8 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習	
		学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	9	模擬問題9 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習	
		学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	10	模擬問題10 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習	
		学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	11	模擬問題11 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習	

	<p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 模擬問題12 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 模擬問題13 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 模擬問題14 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 模擬問題15 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する</p>
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>1. 評価の観点 HSK5級の聞き取り問題に合格(正答率6割)できる。</p> <p>2. 評価手段・方法 小テストと定期試験によって評価する。</p> <p>3. 評価比率 小テスト(50%)、定期試験(50%)</p>
科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	教科書と参考書は開講時に紹介する。
履修条件	
履修上の注意	毎回、模擬問題の解答や解答理由を求めらるので、予習と復習を欠かさず行うこと。
オフィスアワー	授業終了後にその場で、或は、研究室で受け付ける。
備考・メッセージ	HSKの資格を持っていると、就職活動や編入学の際にとっても有利になります。HSKで高得点を取るコツを教えます。 また、中国語の実践的な運用能力も向上させることができますので、ぜひ履修して下さい。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ & 6thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
張逸芝			

講義概要	就職活動や編入学に大きく役立つ中国語の検定試験HSK(漢語水平考試)の模擬問題を用いて中国語を学習し、HSK5級の合格を目指す。主に、聞き取りの対策を行い、中国語のラジオやテレビの内容が概ね聞き取れる能力を養う。本授業の前半では、模擬問題を解いて、答え合わせを行う。そして、問題の中で読み方や日本語の意味が分からなかった単語を黒板に書いて、学習する。授業の後半においては、書き取りの練習や発音練習を行う。		
授業計画	1	オリエンテーション、模擬問題1 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習	
		学習課題 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	2	模擬問題2 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習	
		学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	3	模擬問題3 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習	
		学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	4	模擬問題4 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習	
		学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	5	模擬問題5 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習	
		学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	6	模擬問題6 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習	
		学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	7	模擬問題7 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習	
		学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	8	模擬問題8 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習	
		学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	9	模擬問題9 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習	
		学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	10	模擬問題10 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習	
		学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する	
	11	模擬問題11 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習	

	<p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 模擬問題12 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 模擬問題13 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 模擬問題14 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する 模擬問題15 模擬問題を解く、模擬問題の解説、書き取り練習、音読練習</p> <p>学習課題 予習:分からない単語を調べておく 復習:模擬問題の解答を再度確認し、音読練習する</p>
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>1. 評価の観点 HSK5級の聞き取り問題に合格(正答率6割)できる。</p> <p>2. 評価手段・方法 小テストと定期試験によって評価する。</p> <p>3. 評価比率 小テスト(50%)、定期試験(50%)</p>
科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	教科書と参考書は開講時に紹介する。
履修条件	
履修上の注意	毎回、模擬問題の解答や解答理由を求めらるので、予習と復習を欠かさず行うこと。
オフィスアワー	授業終了後にその場で、或は、研究室で受け付ける。
備考・メッセージ	HSKの資格を持っていると、就職活動や編入学の際にとっても有利になります。HSKで高得点を取るコツを教えます。 また、中国語の実践的な運用能力も向上させることができますので、ぜひ履修して下さい。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ & 6thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
未定			

講義概要	韓国語能力試験(TOPIK)は大韓民国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語試験である。韓国語(ハングル)の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示するとともに、韓国語の普及や試験結果の学習・留学・就職等への活用などを目的に、世界70カ国以上で一斉に実施されている。本授業は「TOPIK I I」を取得するために必要である文法・聞き取り・書き取り・読解などを学習した上で模擬試験を行い、本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにする。
授業計画	<p>1 オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIK I Iの特徴、勉強方法について 学習課題 復習 なし 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 聞き取りについて調べておく</p> <p>2 TOPIK(聞き取り1) TOPIKの聞き取り概要、問題類型分析、問題解説 学習課題 復習 TOPIK概要、勉強方法についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 書き取りについて調べておく</p> <p>3 TOPIK(書き取り1) TOPIKの書き取り概要、問題類型分析、問題解説 学習課題 復習 TOPIKの聞き取り概要、問題類型についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 読解について調べておく</p> <p>4 TOPIK(読解1) TOPIKの読解概要、問題類型分析、問題解説 学習課題 復習 TOPIKの書き取り概要、問題類型についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 聞き取り既出問題について調べておく</p> <p>5 TOPIK(聞き取り2) TOPIKの聞き取り既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの読解概要、問題類型についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 聞き取り既出問題について調べておく</p> <p>6 TOPIK(聞き取り3) TOPIKの聞き取り既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの聞き取り既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 書き取り既出問題について調べておく</p> <p>7 TOPIK(書き取り2) TOPIKの書き取り既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの聞き取り既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 書き取り既出問題について調べておく</p> <p>8 TOPIK(書き取り3) TOPIKの書き取り既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの書き取り既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 読解既出問題について調べておく</p> <p>9 TOPIK(読解2) TOPIKの読解既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの書き取り既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 読解既出問題について調べておく</p> <p>10 TOPIK(読解3) TOPIKの読解既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの読解既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 聞き取りの模擬テストを準備する</p> <p>11 TOPIK(聞き取り模擬テスト) TOPIKの聞き取り模擬テスト実施 学習課題 復習 TOPIKの読解既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 書き取りの模擬テストを準備する</p> <p>12 TOPIK(書き取り模擬テスト) TOPIKの書き取り模擬テスト実施 学習課題 復習 聞き取り模擬テストで間違った問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 読解の模擬テストを準備する</p> <p>13 TOPIK(読解模擬テスト) TOPIKの読解模擬テスト実施 学習課題 復習 書き取り模擬テストで間違った問題についてもう一度確認する 予習 今までの模擬テストで間違った問題について調べておく</p> <p>14 TOPIK(模擬テスト解説) TOPIK聞き取り、書き取り、読解の模擬テスト解説、質疑応答 学習課題 復習 読解模擬テストで間違った問題についてもう一度確認する 予習 今までの学習内容をまとめる</p> <p>15 全体まとめ 学習課題 復習 韓国語能力試験(TOPIK) のという試験についてもう一度確認する</p>

予習 なし	
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	授業参加態度 (10%)、課題又はグループワーク (30%)、定期試験 (60%) 到達目標 ①韓国語能力試験 (TOPIK) II の合格基準、格科目の細部内容、問題の構成などについて把握できる。 ②韓国語能力試験 (TOPIK) II の「読解」問題にある程度対応できる。 ③韓国語能力試験 (TOPIK) II の「聞き取り」問題にある程度対応できる。 ④韓国語能力試験 (TOPIK) II の「書取り」問題にある程度対応できる。 ⑤韓国語能力試験 (TOPIK) II の 4 級以上習得を目指す。
科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	各授業で配布 参考書: 「韓国語能力試験 TOPIK I I 完全対策」など
履修条件	
履修上の注意	予習・復習をしてくること
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	習者の学習進度やレベルに応じて、学習計画に変更が生じることがある。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ & 6thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
李 載宇			

講義概要	韓国語能力試験(TOPIK)は大韓民国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語試験である。韓国語(ハングル)の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示するとともに、韓国語の普及や試験結果の学習・留学・就職等への活用などを目的に、世界70カ国以上で一斉に実施されている。本授業は「TOPIK I I」を取得するために必要である文法・聞き取り・書き取り・読解などを学習した上で模擬試験を行い、本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにする。
授業計画	<p>1 オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIK I Iの特徴、勉強方法について 学習課題 復習 なし 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 聞き取りについて調べておく</p> <p>2 TOPIK(聞き取り1) TOPIKの聞き取り概要、問題類型分析、問題解説 学習課題 復習 TOPIK概要、勉強方法についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 書き取りについて調べておく</p> <p>3 TOPIK(書き取り1) TOPIKの書き取り概要、問題類型分析、問題解説 学習課題 復習 TOPIKの聞き取り概要、問題類型についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 読解について調べておく</p> <p>4 TOPIK(読解1) TOPIKの読解概要、問題類型分析、問題解説 学習課題 復習 TOPIKの書き取り概要、問題類型についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 聞き取り既出問題について調べておく</p> <p>5 TOPIK(聞き取り2) TOPIKの聞き取り既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの読解概要、問題類型についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 聞き取り既出問題について調べておく</p> <p>6 TOPIK(聞き取り3) TOPIKの聞き取り既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの聞き取り既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 書き取り既出問題について調べておく</p> <p>7 TOPIK(書き取り2) TOPIKの書き取り既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの聞き取り既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 書き取り既出問題について調べておく</p> <p>8 TOPIK(書き取り3) TOPIKの書き取り既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの書き取り既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 読解既出問題について調べておく</p> <p>9 TOPIK(読解2) TOPIKの読解既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの書き取り既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 読解既出問題について調べておく</p> <p>10 TOPIK(読解3) TOPIKの読解既出問題分析 学習課題 復習 TOPIKの読解既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 聞き取りの模擬テストを準備する</p> <p>11 TOPIK(聞き取り模擬テスト) TOPIKの聞き取り模擬テスト実施 学習課題 復習 TOPIKの読解既出問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 書き取りの模擬テストを準備する</p> <p>12 TOPIK(書き取り模擬テスト) TOPIKの書き取り模擬テスト実施 学習課題 復習 聞き取り模擬テストで間違った問題についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験(TOPIK) 読解の模擬テストを準備する</p> <p>13 TOPIK(読解模擬テスト) TOPIKの読解模擬テスト実施 学習課題 復習 書き取り模擬テストで間違った問題についてもう一度確認する 予習 今までの模擬テストで間違った問題について調べておく</p> <p>14 TOPIK(模擬テスト解説) TOPIK聞き取り、書き取り、読解の模擬テスト解説、質疑応答 学習課題 復習 読解模擬テストで間違った問題についてもう一度確認する 予習 今までの学習内容をまとめる</p> <p>15 全体まとめ 学習課題 復習 韓国語能力試験(TOPIK) のという試験についてもう一度確認する</p>

予習 なし	
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	授業参加態度 (10%)、課題又はグループワーク (30%)、定期試験 (60%) 到達目標 ①韓国語能力試験 (TOPIK) II の合格基準、格科目の細部内容、問題の構成などについて把握できる。 ②韓国語能力試験 (TOPIK) II の「読解」問題にある程度対応できる。 ③韓国語能力試験 (TOPIK) II の「聞き取り」問題にある程度対応できる。 ④韓国語能力試験 (TOPIK) II の「書取り」問題にある程度対応できる。 ⑤韓国語能力試験 (TOPIK) II の 3 級以上習得を目指す。
科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	各授業で配布 参考書：「韓国語能力試験 TOPIK I I 完全対策」など
履修条件	
履修上の注意	予習・復習をしてくること
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	習者の学習進度やレベルに応じて、学習計画に変更が生じることがある。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
8thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
小嶋 栄子			

講義概要	さまざまな教材やプリントを用い、日本語の総合的な聴解・聴読解力を高めていく。受講者の活発な質疑応答を期待する。
授業計画	<p>1 オリエンテーション、聴解スキル・聴読解スキル 授業に関するオリエンテーション、聴解スキル・聴読解スキル 復習：「授業に関するオリエンテーション、聴解スキル・聴読解スキル」の確認</p> <p>2 日常生活 1 衣食住 日常生活 1 衣食住を通して聴解の力を高める 復習：「日常生活 1 衣食住」のスク립トを読んで語句の意味を確認する。</p> <p>3 日常生活 2 暮らし 日常生活 2 暮らしを通して聴解の力を高める 復習：「日常生活 2 暮らし」のスク립トを読んで語句の意味を確認する。</p> <p>4 日常生活 3 余暇 日常生活 3 余暇に関する聴解練習 復習：「日常生活 3 余暇」のスク립トを読んで語句の意味を確認する。</p> <p>5 日常生活 4 買い物 日常生活 4 買い物に関する聴解練習 復習：「日常生活 4 買い物」のスク립トを読んで語句の意味を確認する。</p> <p>6 日常生活 5 その他 日常生活 5 その他に関する聴解練習 復習：「日常生活 5 その他」のスク립トを読んで語句の意味を確認する。</p> <p>7 キャンパスライフ 6 オリエンテーション1 キャンパスライフ 6 オリエンテーション1に関する聴解練習 復習：「キャンパスライフ 6 オリエンテーション1」のスク립トを読んで語句の意味を確認する。</p> <p>8 キャンパスライフ 6 オリエンテーション2 キャンパスライフ 6 オリエンテーション2に関する聴読解練習 復習：「キャンパスライフ 6 オリエンテーション2」のスク립トを読んで語句の意味を確認する。</p> <p>9 キャンパスライフ 7 科目登録1 キャンパスライフ 7 科目登録1に関する聴読解練習 復習：「キャンパスライフ 7 科目登録1」のスク립トを読んで語句の意味を確認する。</p> <p>10 キャンパスライフ 7 科目登録2 キャンパスライフ 7 科目登録2に関する聴読解練習 復習：「キャンパスライフ 7 科目登録2」のスク립トを読んで語句の意味を確認する。</p> <p>11 キャンパスライフ 8 学生課・教務課1 キャンパスライフ 8 学生課・教務課1に関する聴読解練習 復習：「キャンパスライフ 8 学生課・教務課1」のスク립トを読んで語句の意味を確認する。</p> <p>12 キャンパスライフ 8 学生課・教務課2 キャンパスライフ 8 学生課・教務課2に関する聴読解練習 復習：「キャンパスライフ 8 学生課・教務課2」のスク립トを読んで語句の意味を確認する。</p> <p>13 キャンパスライフ 9 施設利用1 キャンパスライフ 9 施設利用1に関する聴読解練習 復習：「キャンパスライフ 9 施設利用1」のスク립トを読んで語句の意味を確認する。</p> <p>14 キャンパスライフ 9 施設利用2 キャンパスライフ 9 施設利用2に関する聴読解練習 復習：「キャンパスライフ 9 施設利用2」のスク립トを読んで語句の意味を確認する。</p>

	<p>15</p> <p>する。 キャンパスライフ 10 課外活動 キャンパスライフ 10 課外活動に関する聴読解練習</p> <p>復習：「キャンパスライフ 10 課外活動」のスク립トを読んで語句の意味を確認する。 予習：定期試験の準備をする。</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①自然なスピードの講義の内容をだいたい聞き取ることができる。</p> <p>②自然なスピードの留学生ライフの内容をだいたい聞き取ることができる。</p> <p>③自然なスピードのキャンパス事務連絡の内容をだいたい聞き取ることができる。</p> <p>④日本語能力試験において、上級者はN2、中級者はN3の内容を身につけることができる。</p> <p>⑤話し言葉に慣れ、日常の会話に生かすことができる。</p>
科目（教職課程用）	<p>平素の学習意欲（20%）を重視し、学習状況並びに試験（50%）などにより行う。</p> <p>日頃のノート（30%）についても随時点検し、評価の対象とする。</p>
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	<p>平素の学習意欲（20%）</p> <p>学習状況並びに試験（50%）</p> <p>日頃のノート（30%）</p>
教科書・参考書	<p>テキスト：最初の授業で指示する。</p> <p>参考書：授業を通して紹介する。</p>
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	毎週火曜日 5 限。
備考・メッセージ	<p>・欠席の場合は、必ず友人を通すかメールで連絡すること。 （教員のメールアドレスは、授業開始時に知らせる）</p>

講義科目名称：日本語演習Ⅱ 中級

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
8thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
内山 智子			

講義概要	
授業計画	
授業形態	
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	
備考・メッセージ	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ & 8thQ	2年	1単位	選択
担当教員			
ルーク・ロベージュ			

講義概要	This course is a project-based student-centered course. Students will be required to work actively and collaboratively to finish several course projects.		
授業計画	1	異文化コミュニケーションⅡへの導入 (9月29日) Introduction: Students will be given an introduction to the course. Students will start their first project. 学習課題 復習: To be announced by the teacher 予習: To be announced by the teacher	
	2	Video Contest 2 Students, in groups of 1 or 2, will plan, prepare and make a short 1-2 minute video that will be submitted for the NJC Video Contest at the annual school festival. 学習課題 復習: To be announced by the teacher 予習: To be announced by the teacher	
	3	Video Contest 3 Students, in groups of 1 or 2, will plan, prepare and make a short 1-2 minute video that will be submitted for the NJC Video Contest at the annual school festival. 学習課題 復習: To be announced by the teacher 予習: To be announced by the teacher	
	4	Video Contest 4 Students, in groups of 1 or 2, will plan, prepare and make a short 1-2 minute video that will be submitted for the NJC Video Contest at the annual school festival. 学習課題 復習: To be announced by the teacher 予習: To be announced by the teacher	
	5	Sasebo Tourism Project 1 Students will participate in a class project. Each student, or pair of students, will research and prepare a short tourism video to describe Sasebo tourist locals. 学習課題 復習: To be announced by the teacher 予習: To be announced by the teacher	
	6	Sasebo Tourism Project 2 Students will participate in a class project. Each student, or pair of students, will research and prepare a short tourism video to describe Sasebo tourist locals. 学習課題 復習: To be announced by the teacher 予習: To be announced by the teacher	
	7	Sasebo Tourism Project 3 Students will participate in a class project. Each student, or pair of students, will research and prepare a short tourism video to describe Sasebo tourist locals. 学習課題 復習: To be announced by the teacher 予習: To be announced by the teacher	
	8	Sasebo Tourism Project 4 Students will participate in a class project. Each student, or pair of students, will research and prepare a short tourism video to describe Sasebo tourist locals. 学習課題 復習: To be announced by the teacher 予習: To be announced by the teacher	
	9	Movie Study 1 Students will study a popular movie. Through the study of the movie, students will develop authentic vocabulary, grammar, expressions and cultural knowledge. 学習課題 復習: To be announced by the teacher 予習: To be announced by the teacher	
	10	Movie Study 2 Students will study a popular movie. Through the study of the movie, students will develop authentic vocabulary, grammar, expressions and cultural knowledge. 学習課題 復習: To be announced by the teacher 予習: To be announced by the teacher	
	11	Movie Study 3 Students will study a popular movie. Through the study of the movie, students will develop authentic vocabulary, grammar, expressions and cultural knowledge.	

	<p>12 学習課題 復習: To be announced by the teacher 予習: To be announced by the teacher Movie Study 4 Students will study a popular movie. Through the study of the movie, students will develop authentic vocabulary, grammar, expressions and cultural knowledge.</p> <p>13 学習課題 復習: To be announced by the teacher 予習: To be announced by the teacher Movie Study 5 Students will study a popular movie. Through the study of the movie, students will develop authentic vocabulary, grammar, expressions and cultural knowledge.</p> <p>14 学習課題 復習: To be announced by the teacher 予習: To be announced by the teacher Hero's Journey Project Students will become familiar with stages of the Hero's Journey. Students will demonstrate their knowledge and understanding of the stages through a class presentation to their peers.</p> <p>15 学習課題 復習: To be announced by the teacher 予習: To be announced by the teacher Hero's Journey Project Students will become familiar with stages of the Hero's Journey. Students will demonstrate their knowledge and understanding of the stages through a class presentation to their peers.</p> <p>16 学習課題 復習: To be announced by the teacher 予習: To be announced by the teacher Hero's Journey Project - Presentation Students will become familiar with stages of the Hero's Journey. Students will demonstrate their knowledge and understanding of the stages through a class presentation to their peers.</p> <p>This is the final presentation day.</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>1. Students will be able to plan, and make a short video for the NJC school Festival video contest. 2. Students will be able to make a class video about tourist locations in Sasebo. 3. Students will be able to study authentic language through study of a popular movie. 4. Students will be able to learn the Hero's Journey. 5. Students will be able to make a class presentation.</p> <p>Video 25%, Tourism project 25%, Movie Study and classroom engagement 25%, HJ Presentation 25%.</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	None
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	
備考・メッセージ	特になし

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ & 8thQ	2年	1単位	選択
担当教員			
青木 萌			

講義概要	<p>本授業では、現代中国語の研究書として有名な朱德熙著の《語法講義》、および、これまでの中国語の授業で学習した内容を基にしながら、各グループに分かれて、現代中国語の文法について討論し、発表を行う。世界的にも依然として適切な解釈が成されていない文法現象である“的”構文、繰り返し表現、時間表現などについても調査する。これによって、現代中国語の文法に対する基礎知識を養い、同時に、複雑な文法現象に対する理解を深めることができる。また、この学習が、今後の本学科の「卒業研究」の授業や、中国の4年制大学へ編入した場合に必要な論文作成の大きな助けとなる。授業では基本的に全て中国語を用いる。中国人留学生の受講も歓迎し、中国語母語話者との討論も積極的に行う。</p>
授業計画	<p>1 オリエンテーション グループ分け、担当範囲の確認、文法単位についての概論</p> <p>学習課題 復習：ノートを読み直し、問題点があれば、書き加えて次回の講義で報告する。</p> <p>2 文法単位について 各班による発表、質疑応答</p> <p>学習課題 予習：担当範囲の箇所を解読し、要点をノートにまとめ、発表できるようにする。 復習：ノートを読み直し、問題点があれば、書き加えて次回の講義で報告する。</p> <p>3 主述構造について① 各班による発表、質疑応答</p> <p>学習課題 予習：担当範囲の箇所を解読し、要点をノートにまとめ、発表できるようにする。 復習：ノートを読み直し、問題点があれば、書き加えて次回の講義で報告する。</p> <p>4 主述構造について② 各班による発表、質疑応答</p> <p>学習課題 予習：担当範囲の箇所を解読し、要点をノートにまとめ、発表できるようにする。 復習：ノートを読み直し、問題点があれば、書き加えて次回の講義で報告する。</p> <p>5 動目構造について① 各班による発表、質疑応答</p> <p>学習課題 予習：担当範囲の箇所を解読し、要点をノートにまとめ、発表できるようにする。 復習：ノートを読み直し、問題点があれば、書き加えて次回の講義で報告する。</p> <p>6 動目構造について② 各班による発表、質疑応答</p> <p>学習課題 予習：担当範囲の箇所を解読し、要点をノートにまとめ、発表できるようにする。 復習：ノートを読み直し、問題点があれば、書き加えて次回の講義で報告する。</p> <p>7 動補構造について① 各班による発表、質疑応答</p> <p>学習課題 予習：担当範囲の箇所を解読し、要点をノートにまとめ、発表できるようにする。 復習：ノートを読み直し、問題点があれば、書き加えて次回の講義で報告する。</p> <p>8 動補構造について② 各班による発表、質疑応答</p> <p>学習課題 予習：担当範囲の箇所を解読し、要点をノートにまとめ、発表できるようにする。 復習：ノートを読み直し、問題点があれば、書き加えて次回の講義で報告する。</p> <p>9 偏正構造について① 各班による発表、質疑応答</p> <p>学習課題 予習：担当範囲の箇所を解読し、要点をノートにまとめ、発表できるようにする。 復習：ノートを読み直し、問題点があれば、書き加えて次回の講義で報告する。</p> <p>10 偏正構造について② 各班による発表、質疑応答</p> <p>学習課題 予習：担当範囲の箇所を解読し、要点をノートにまとめ、発表できるようにする。</p>

	<p>1 1 復習:ノートを読み直し、問題点があれば、書き加えて次回の講義で報告する。 連合構造について 各班による発表、質疑応答</p> <p>学習課題 予習:担当範囲の箇所を解説し、要点をノートにまとめ、発表できるようにする。 復習:ノートを読み直し、問題点があれば、書き加えて次回の講義で報告する。</p> <p>1 2 述連構造について① 各班による発表、質疑応答</p> <p>学習課題 予習:担当範囲の箇所を解説し、要点をノートにまとめ、発表できるようにする。 復習:ノートを読み直し、問題点があれば、書き加えて次回の講義で報告する。</p> <p>1 3 述連構造について② 各班による発表、質疑応答</p> <p>学習課題 予習:担当範囲の箇所を解説し、要点をノートにまとめ、発表できるようにする。 復習:ノートを読み直し、問題点があれば、書き加えて次回の講義で報告する。</p> <p>1 4 前置詞について① 各班による発表、質疑応答</p> <p>学習課題 予習:担当範囲の箇所を解説し、要点をノートにまとめ、発表できるようにする。 復習:ノートを読み直し、問題点があれば、書き加えて次回の講義で報告する。</p> <p>1 5 前置詞について② 各班による発表、質疑応答</p> <p>学習課題 予習:担当範囲の箇所を解説し、要点をノートにまとめ、発表できるようにする。 復習:ノートを読み直し、問題点があれば、書き加えて次回の講義で報告する。</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>1. 評価の観点 テキスト(《語法講義》)を正確に解説し、積極的に中国語を用いて自分の見解を述べることができる。</p> <p>2. 評価手段・方法 グループ発表と定期試験によって評価する。</p> <p>3. 評価比率 グループ発表(50%)、定期試験(50%)</p>
科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	教科書と参考書は開講時に紹介する。
履修条件	
履修上の注意	極めて難しい問題について中国語で討論するので、予習と復習を欠かさず行うこと。
オフィスアワー	授業終了後にその場で、或は、研究室で受け付ける。
備考・メッセージ	これまでに学んだ中国語を最大限にいかして、この講義に挑戦してください。頑張れば頑張るほど、中国語の奥深さを味わうことができますと思います。みんなで一緒に探求しましょう！

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ & 8thQ	2年	1単位	選択
担当教員			
井上 麗奈			

講義概要	<p>本授業では、現代中国語の研究書として有名な朱德熙著の《語法講義》、および、これまでの中国語の授業で学習した内容を基にしながら、各グループに分かれて、現代中国語の文法について討論し、発表を行う。世界的にも依然として適切な解釈が成されていない文法現象である“的”構文、繰り返し表現、時間表現などについても調査する。これによって、現代中国語の文法に対する基礎知識を養い、同時に、複雑な文法現象に対する理解を深めることができる。また、この学習が、今後の本学科の「卒業研究」の授業や、中国の4年制大学へ編入した場合に必要な論文作成の大きな助けとなる。授業では基本的に全て中国語を用いる。中国人留学生の受講も歓迎し、中国語母語話者との討論も積極的に行う。</p>
授業計画	<p>1 オリエンテーション グループ分け、担当範囲の確認、文法単位についての概論</p> <p>学習課題 復習：ノートを読み直し、問題点があれば、書き加えて次回の講義で報告する。</p> <p>2 文法単位について 各班による発表、質疑応答</p> <p>学習課題 予習：担当範囲の箇所を解読し、要点をノートにまとめ、発表できるようにする。 復習：ノートを読み直し、問題点があれば、書き加えて次回の講義で報告する。</p> <p>3 主述構造について① 各班による発表、質疑応答</p> <p>学習課題 予習：担当範囲の箇所を解読し、要点をノートにまとめ、発表できるようにする。 復習：ノートを読み直し、問題点があれば、書き加えて次回の講義で報告する。</p> <p>4 主述構造について② 各班による発表、質疑応答</p> <p>学習課題 予習：担当範囲の箇所を解読し、要点をノートにまとめ、発表できるようにする。 復習：ノートを読み直し、問題点があれば、書き加えて次回の講義で報告する。</p> <p>5 動目構造について① 各班による発表、質疑応答</p> <p>学習課題 予習：担当範囲の箇所を解読し、要点をノートにまとめ、発表できるようにする。 復習：ノートを読み直し、問題点があれば、書き加えて次回の講義で報告する。</p> <p>6 動目構造について② 各班による発表、質疑応答</p> <p>学習課題 予習：担当範囲の箇所を解読し、要点をノートにまとめ、発表できるようにする。 復習：ノートを読み直し、問題点があれば、書き加えて次回の講義で報告する。</p> <p>7 動補構造について① 各班による発表、質疑応答</p> <p>学習課題 予習：担当範囲の箇所を解読し、要点をノートにまとめ、発表できるようにする。 復習：ノートを読み直し、問題点があれば、書き加えて次回の講義で報告する。</p> <p>8 動補構造について② 各班による発表、質疑応答</p> <p>学習課題 予習：担当範囲の箇所を解読し、要点をノートにまとめ、発表できるようにする。 復習：ノートを読み直し、問題点があれば、書き加えて次回の講義で報告する。</p> <p>9 偏正構造について① 各班による発表、質疑応答</p> <p>学習課題 予習：担当範囲の箇所を解読し、要点をノートにまとめ、発表できるようにする。 復習：ノートを読み直し、問題点があれば、書き加えて次回の講義で報告する。</p> <p>10 偏正構造について② 各班による発表、質疑応答</p> <p>学習課題 予習：担当範囲の箇所を解読し、要点をノートにまとめ、発表できるようにする。</p>

	<p>1 1 復習:ノートを読み直し、問題点があれば、書き加えて次回の講義で報告する。 連合構造について 各班による発表、質疑応答</p> <p>学習課題 予習:担当範囲の箇所を解説し、要点をノートにまとめ、発表できるようにする。 復習:ノートを読み直し、問題点があれば、書き加えて次回の講義で報告する。</p> <p>1 2 述連構造について① 各班による発表、質疑応答</p> <p>学習課題 予習:担当範囲の箇所を解説し、要点をノートにまとめ、発表できるようにする。 復習:ノートを読み直し、問題点があれば、書き加えて次回の講義で報告する。</p> <p>1 3 述連構造について② 各班による発表、質疑応答</p> <p>学習課題 予習:担当範囲の箇所を解説し、要点をノートにまとめ、発表できるようにする。 復習:ノートを読み直し、問題点があれば、書き加えて次回の講義で報告する。</p> <p>1 4 前置詞について① 各班による発表、質疑応答</p> <p>学習課題 予習:担当範囲の箇所を解説し、要点をノートにまとめ、発表できるようにする。 復習:ノートを読み直し、問題点があれば、書き加えて次回の講義で報告する。</p> <p>1 5 前置詞について② 各班による発表、質疑応答</p> <p>学習課題 予習:担当範囲の箇所を解説し、要点をノートにまとめ、発表できるようにする。 復習:ノートを読み直し、問題点があれば、書き加えて次回の講義で報告する。</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>1. 評価の観点 テキスト(《語法講義》)を正確に解説し、積極的に中国語を用いて自分の見解を述べることができる。</p> <p>2. 評価手段・方法 グループ発表と定期試験によって評価する。</p> <p>3. 評価比率 グループ発表(50%)、定期試験(50%)</p>
科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	教科書と参考書は開講時に紹介する。
履修条件	
履修上の注意	極めて難しい問題について中国語で討論するので、予習と復習を欠かさず行うこと。
オフィスアワー	授業終了後にその場で、或は、研究室で受け付ける。
備考・メッセージ	これまでに学んだ中国語を最大限にいかして、この講義に挑んでください。頑張れば頑張るほど、中国語の奥深さを味わうことができますと思います。みんなで一緒に探求しましょう!

講義科目名称：韓国語アクティブラーニング

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ & 8thQ	2年	1単位	選択
担当教員			
未定			

講義概要	
授業計画	
授業形態	
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	
備考・メッセージ	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ & 8thQ	2年	1単位	選択
担当教員			
李 載宇			

講義概要	定型化された教科書の文形から離れて実際使われている韓国語の言語活動と接して、「自分のことば」としての韓国語を練習することを目的とする。同じ性別・同じ年齢代の韓国人が使用することばで構成されたコンテンツを体験して感想を語り合い、自分のことばで表現することで、より完成度の高い韓国語を駆使できるようにする。
授業計画	<p>1 オリエンテーション 授業概要、アンケート、外国語コンテンツの利用方法について WEBTOON「大学日記」、映画「建築学概論」紹介 学習課題 復習：なし 予習：韓国語のWEB TOONについて調べておく</p> <p>2 「大学日記」1 WEB TOONの内容を読んで、単語と表現をチェックする。 動画を通じて正確な発音を確認する。 学習課題 復習：外国語コンテンツの利用方法についても一度確認する 予習：WEBTOON「大学日記」台詞の発音について調べておく</p> <p>3 「大学日記」2 WEB TOON動画をベースで練習して、自分も演技してみる。 ポイントは「イントネーション」と「感情表現」 学習課題 復習：韓国語のWEB TOONについても一度確認する 予習：WEBTOON「大学日記」Qシートについて調べておく</p> <p>4 「大学日記」3 WEB TOONの内容をベースに、自分が再構成してみる。 内容を構成できたら、Qシートを作成してみる。もしできれば絵まで追加する。 学習課題 復習：WEBTOON「大学日記」台詞の発音についても一度確認する 予習：WEBTOON「大学日記」内容と単語について調べておく</p> <p>5 「大学日記」4 WEB TOONの内容を読んで、単語と表現をチェックする。 動画を通じて正確な発音を確認する。 学習課題 復習：WEBTOON「大学日記」Qシートについても一度確認する 予習：WEBTOON「大学日記」台詞の発音について調べておく</p> <p>6 「大学日記」5 WEB TOON動画をベースで練習して、自分も演技してみる。 ポイントは「イントネーション」と「感情表現」 学習課題 復習：WEBTOON「大学日記」内容と単語についても一度確認する 予習：WEBTOON「大学日記」Qシートについて調べておく</p> <p>7 「大学日記」6 WEB TOONの内容をベースに、自分が再構成してみる。 内容を構成できたら、Qシートを作成してみる。もしできれば絵まで追加する。 学習課題 復習：WEBTOON「大学日記」台詞の発音についても一度確認する 予習：映画「建築学概論」について調べておく</p> <p>8 「建築学概論」1 韓国映画「建築学概論」感想1 映画の中に出てくる単語、表現を整理する。 学習課題 復習：WEBTOON「大学日記」Qシートについても一度確認する 予習：映画「建築学概論」について調べておく</p> <p>9 「建築学概論」2 韓国映画「建築学概論」感想2 映画の中に出てくる単語、表現を整理する。 学習課題 復習：映画「建築学概論」についても一度確認する 予習：映画「建築学概論」の単語と表現について調べておく</p> <p>10 「建築学概論」3 映画の内容をまとめて韓国語で整理する。 記憶に残る「1シーン」を選んで、再現するための役割分担を行う。 学習課題 復習：映画「建築学概論」についても一度確認する 予習：映画「建築学概論」の演技と発音について調べておく</p> <p>11 「建築学概論」4 映画のシーン再現1 発音と感情伝達に注意して、映画の1シーンを直接演じてみる。 各グループで感想を語り合い、フィードバックを行う。 学習課題 復習：映画「建築学概論」の単語と表現についても一度確認する 予習：映画「建築学概論」の演技と発音について調べておく</p> <p>12 「建築学概論」5 映画のシーン再現2 発音と感情伝達に注意して、映画の1シーンを直接演じてみる。 各グループで感想を語り合い、フィードバックを行う。 学習課題 復習：映画「建築学概論」の単語と表現についても一度確認する 予習：映画「建築学概論」の演技と発音について調べておく</p>

	<p>13 「建築学概論」 6 映画のシーン再現 3 発音と感情伝達に注意して、映画の1シーンを直接演じてみる。 各グループで感想を語り合い、フィードバックを行う。 学習課題 復習：映画「建築学概論」の単語と表現についても一度確認する 予習：映画「建築学概論」の演技と発音について調べておく</p> <p>14 「建築学概論」 7 映画のシーン再現 4 発音と感情伝達に注意して、映画の1シーンを直接演じてみる。 各グループで感想を語り合い、フィードバックを行う。 学習課題 復習：映画「建築学概論」の単語と表現についても一度確認する 予習：今まで勉強した内容について調べておく</p> <p>15 まとめ WEBTOONで一番記憶に残るエピソードと、映画で一番記憶に残るシーンを選択する。 授業アンケート 学習課題 復習：映画「建築学概論」の単語と表現についても一度確認する 予習：なし</p>
授業形態	講義・演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>授業参加度（10%）、課題又はグループワーク（30%）、定期試験（60%）</p> <p>①最新コンテンツを通じて学生達の年齢層に合わせた韓国語の表現を確認できる。 ②正しい発音と単語・熟語の使い方を把握して、直接使用することができる。 ③韓国で知名度の高い視聴覚資料を通じて韓国文化への理解を高めることができる。</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	各授業で教員が準備する
履修条件	
履修上の注意	グループプロジェクトを実施するが、グループメンバー全員が積極的に活動に参加すること。
オフィスアワー	授業の前後で対応します
備考・メッセージ	学習者の学習進度やレベルに応じて、学習計画に変更が生じることがある。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ & 8thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
梶谷 良子			
実務教員			

講義概要	<p>一年生時に学んだビジネスマナーの内容を『わかる』から確実に『できる』ようにする。内容を復習、再確認することでそれをしっかりと身につけ各自の就職へと結びつける。また、卒業後、社会人として働くための心構え、自覚を促す。</p>		
授業計画	1	<p>言葉遣い 正しい敬語の遣い方（復習編） 就職面接時の言葉遣い</p> <p>復習：正しい敬語の遣い方を確認する</p>	2
	2	<p>面接指導 就職面接での好感の持てる立ち居振る舞い 就職面接に向けての身だしなみ</p> <p>予習：マナーテキストを読む 復習：立ち居振る舞いの練習をする</p>	3
	3	<p>面接指導 ロールプレイング（Ⅰ）</p> <p>予習：言葉遣い、立ち居振る舞いの練習をする 復習：指摘された点を再確認する</p>	4
	4	<p>面接指導 ロールプレイング（Ⅱ）</p> <p>予習：質疑応答の練習をしておく 復習：指摘された点を再確認する</p>	5
	5	<p>電話対応 復習編</p> <p>予習：マナーテキストの電話対応を読み直す 復習：講義内容を確認する</p>	6
	6	<p>電話対応 応用編（Ⅰ）</p> <p>予習：実習内容を確認しておく 復習：実習編（Ⅰ）の練習</p>	7
	7	<p>電話対応 応用編（Ⅱ）</p> <p>予習：実習内容を確認しておく 復習：実習編（Ⅱ）の練習</p>	8
	8	<p>冠婚葬祭のマナー 復習編</p> <p>予習：マナーテキストを読み直す 復習：講義内容を確認する</p>	9
	9	<p>冠婚葬祭のマナー 御参りの仕方</p> <p>予習：マナーテキストを読み直す 復習：ロールプレイングを試してみる</p>	10
	10	<p>来客対応 復習編</p> <p>予習：マナーテキストを読み直す 復習：講義内容を確認する</p>	11
	11	<p>来客対応 席次について</p> <p>予習：マナーテキストを読み直す 復習：配付されたプリントを確認する</p>	12
	12	<p>来客対応 ロールプレイング</p>	

	<p>13 予習：マナーテキストを読み直す 復習：講義内容を確認する 名刺交換のマナー ロールプレイング</p> <p>14 予習：マナーテキストを読み返す 復習：友人どうして名刺交換をやる お茶の淹れ方・出し方・いただき方 ロールプレイング</p> <p>15 予習：マナーテキストを読み直す 復習：家で実際にお茶を淹れてみる テーブルマナー 洋食のマナー、和食のマナー</p> <p>予習：マナーテキストを読み返す 復習：講義内容を確認する</p>
授業形態	講義 ロールプレイング
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①就職面接に向けての好感の持てる立ち居振る舞いを身につけることができる。 ②社会人として働くために必要なビジネスマナーを身につけることができる。 ③社会人に必要な一般マナーを身につけることができる。</p> <p>試験（筆記60%、実技40%、授業態度にて評価する）</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	『センス・アップ マナーテキスト』ソシアル淳心
履修条件	
履修上の注意	原則として制服又はスーツ ビジネスの場にふさわしく身だしなみを整えて（髪型・くつ）授業に出席すること
オフィスアワー	授業終了後に対応します。
備考・メッセージ	授業のはじめと終了時には笑顔で敬礼の挨拶をしましょう。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ	2年	1単位	必修
担当教員			
国際コミュニケーション学科教員			

講義概要	<p>1年時に実施した「地域を知る活動」で知り得た地域の情報や課題に対して、地域の人と密接に関わりを持ちながら、「地域への提案活動」を実施する。 具体的に、相浦、黒島、高島、3ヶ町商店街、（波佐見）地区でグループに別れて、2年時に実施する地域活動の内容を検討し、実施計画を策定して、活動を実施する。</p>
授業計画	<p>1 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 ?9/xx 高島「どっとこいin高島」&キャンプ *他のチームにも参加呼びかけ。</p> <p>2 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 ?9/xx 高島「どっとこいin高島」&キャンプ *他のチームにも参加呼びかけ。</p> <p>3 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備</p> <p>4 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備</p> <p>5 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 10/17（火）相浦おくんちお下り *留学生を含めてできるだけ、全員参加?企画は、代表グループ *他のチームにも参加呼びかけ。</p> <p>6 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 10/17（火）相浦おくんちお下り *留学生を含めてできるだけ、全員参加?企画は、代表グループ *他のチームにも参加呼びかけ。</p> <p>7 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備</p> <p>8 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備</p> <p>9 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 （月曜授業） 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備</p> <p>10 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 （月曜授業） 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備</p> <p>11 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備</p> <p>12 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備</p> <p>13 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備</p> <p>14 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備</p> <p>15 中間発表 中間発表</p> <p>16 中間発表 中間発表</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①様々な取り組みにおいて、正しく情報を収集し、分析することができる。 ②地域活動における課題を発見することができる。 ③「地域への提案活動」の計画を立てることができる。 ④「地域への提案活動」の計画を効果的にプレゼンテーションすることができる。 ⑤地域の人たちを含めていろいろな人とコミュニケーションができるようになる。</p> <p>グループ活動への取り組みに対して総合的に評価する。</p> <p>フィールドワーク感想レポート（30%）最終プレゼンテーションのルーブリック評価（70%）</p>
科目（教職課程用）	

教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	授業中に指示
履修条件	
履修上の注意	コミュニケーションが特に重要な科目です。普段から、いろいろな人とコミュニケーションをとるように心がけてください。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00） *その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	グループワークは、メンバー同士のコミュニケーションが非常に重要となります。「ほう（報告）れん（連絡）そう（相談）」を頻繁に行い、グループプロジェクトを完成させてください。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
8thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
牟田 美信			

講義概要	英語演習Ⅰで学習した内容をベースに、さらに上のレベルの英語学習を行う。自分の弱点を理解し、効果的に4技能を伸ばす。特に、語彙数を増やし、英語独特の言い回し、イディオムなども理解する。具体的には、アメリカABC放送のテレビ番組で取り上げられた記事を映像を通し学習し、総合的な英語力を高める。定着をはかるために、毎回小テストを行います。
授業計画	<p>1 Sister Jean: Basketball Team's Secret Weapon 記事背景理解 → 語彙理解 → 本文ディクテーション → 記事内容理解 → (応用) 会話文ディクテーション → ディスカッション 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。</p> <p>2 Blood Testing: Charged with Massive Fraud 復習小テスト → 記事背景理解 → 語彙理解 → 本文ディクテーション → 記事内容理解 → (応用) 会話文ディクテーション → ディスカッション 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。</p> <p>3 Millionaire Millennial 復習小テスト → 記事背景理解 → 語彙理解 → 本文ディクテーション → 記事内容理解 → (応用) 会話文ディクテーション → ディスカッション 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。</p> <p>4 Fighting Robocalls 復習小テスト → 記事背景理解 → 語彙理解 → 本文ディクテーション → 記事内容理解 → (応用) 会話文ディクテーション → ディスカッション 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。</p> <p>5 The Blue World 復習小テスト → 記事背景理解 → 語彙理解 → 本文ディクテーション → 記事内容理解 → (応用) 会話文ディクテーション → ディスカッション 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。</p> <p>6 Moment of Impact 復習小テスト → 記事背景理解 → 語彙理解 → 本文ディクテーション → 記事内容理解 → (応用) 会話文ディクテーション → ディスカッション 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。</p> <p>7 Father's New Hand 復習小テスト → 記事背景理解 → 語彙理解 → 本文ディクテーション → 記事内容理解 → (応用) 会話文ディクテーション → ディスカッション 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。</p> <p>8 Trump's Weapon Ban? 復習小テスト → 記事背景理解 → 語彙理解 → 本文ディクテーション → 記事内容理解 → (応用) 会話文ディクテーション → ディスカッション 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。</p> <p>9 American Men's Bobsledding Team 復習小テスト → 記事背景理解 → 語彙理解 → 本文ディクテーション → 記事内容理解 → (応用) 会話文ディクテーション → ディスカッション 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。</p> <p>10 Made in America: Recycling Discarded Water Bottles 復習小テスト → 記事背景理解 → 語彙理解 → 本文ディクテーション → 記事内容理解 → (応用) 会話文ディクテーション → ディスカッション 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。</p> <p>11 The Children of Syria 復習小テスト → 記事背景理解 → 語彙理解 → 本文ディクテーション → 記事内容理解 →</p>

	<p>(応用) 会話文ディクテーション → ディスカッション</p> <p>復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。</p> <p>12 Honoring Martin Luther King Jr. 復習小テスト → 記事背景理解 → 語彙理解 → 本文ディクテーション → 記事内容理解 → (応用) 会話文ディクテーション → ディスカッション</p> <p>復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。</p> <p>13 Inside the Drug Cartel 復習小テスト → 記事背景理解 → 語彙理解 → 本文ディクテーション → 記事内容理解 → (応用) 会話文ディクテーション → ディスカッション</p> <p>復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。</p> <p>14 Triggering a Trade War? 復習小テスト → 記事背景理解 → 語彙理解 → 本文ディクテーション → 記事内容理解 → (応用) 会話文ディクテーション → ディスカッション</p> <p>復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。</p> <p>15 Data Grab: Elections and Facebook 復習小テスト → 記事背景理解 → 語彙理解 → 本文ディクテーション → 記事内容理解 → (応用) 会話文ディクテーション → ディスカッション</p> <p>復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。</p> <p>16 評価 まとめと評価</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>1) 各レベルの英文を正しく理解する (読解)。 2) 各レベルの英語リスニングを正しく理解する (リスニング)。 3) 英語の文法を正しく理解する (文法)。 4) 日本語を英語に正しく訳す。 5) 学んだ英語を使い、<input type="checkbox"/> 特定の話題について英語で会話をする。</p> <p>授業中の小テストと最終の筆記試験で総合的に評価する。</p> <p>筆記試験 (80%)、小テスト (20%)</p>
科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	ABC World News Tonight 金星堂
履修条件	
履修上の注意	毎回必ず予習・復習をおこなうこと。
オフィスアワー	木曜日 (14:50~16:20)
備考・メッセージ	英語学習は、根気よく、継続が必要です。毎回の予習・復習を必ずやるように習慣付けること。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
8thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
園田 靖			

講義概要	日本人が誤りがちな英語の単語の使い分け・表現をテーマにした短いエッセイを授業ごとに1編ずつ読み、文章の読解力や語彙力の養成、文法知識の確認をするとともに、異なる文化や言語表現についての理解を深める。
授業計画	<p>print 紙に印刷したものについて日常的に使う「プリント」ははたして英語なのか？ ・基本的な文法事項、発音等について確認しつつエッセイを読む。</p> <p>don't / can't 「私は英語を話せません」 I don't speak English, I can't speak English... どちらが正解？ ・基本的な文法事項、発音等について確認しつつエッセイを読む。</p> <p>mansions 「家は一戸建てですか？」 「いえ、マンションに住んでいます」 日本では一般的、でもこれを英語で言うと…？ ・基本的な文法事項、発音等について確認しつつエッセイを読む。</p> <p>infinitives and gerunds(不定詞と動名詞) 動詞の「to～」形と「～ing」形について、イメージと使い分けのルールを知ろう ・基本的な文法事項、発音等について確認しつつエッセイを読む。</p> <p>expect / look forward to 「期待しています」という表現の、日本語・英語間での勘違いしやすいポイント ・基本的な文法事項、発音等について確認しつつエッセイを読む。</p> <p>look / see / watch すべて「見る」でまとめてよいものか？ ・基本的な文法事項、発音等について確認しつつエッセイを読む。</p> <p>wish / hope どんなことを「望み」ますか ・基本的な文法事項、発音等について確認しつつエッセイを読む。</p> <p>passive voice (受身) 「てんぷらはトムによって食べられた」…受身にするにも理由がある ・基本的な文法事項、発音等について確認しつつエッセイを読む。</p> <p>made of / made by / made from それは何からできているんですか？ ・基本的な文法事項、発音等について確認しつつエッセイを読む。</p> <p>case by case 「それはケースバイケースだね」などと言うけれど… 具体的にはどういう意味？ ・基本的な文法事項、発音等について確認しつつエッセイを読む。</p> <p>put on / wear / take off 服や帽子などを身につける、脱ぐという基本的な動作についての英語表現のいろいろ ・基本的な文法事項、発音等について確認しつつエッセイを読む。</p> <p>Yes 「はい」「そうです」という意味だから間違えうわけがない…と思っていないですか？ ・基本的な文法事項、発音等について確認しつつエッセイを読む。</p> <p>in time / on time 約束や予定の時間に、「間に合う」のか、「予定通り」なのか？ ・基本的な文法事項、発音等について確認しつつエッセイを読む。</p> <p>countable / uncountable (可算名詞と非可算名詞) I bought eggs and milk. 「私は卵『たち』と牛乳を買いました」 カウントできるかどうか、英語における大まかな考え方 ・基本的な文法事項、発音等について確認しつつエッセイを読む。</p> <p>(15回目授業時) 試験 ここまでの授業内容で扱ったようなエッセイ読解を中心とした問題を出題します。</p> <p>(16回目授業：評価期間内) 解説 試験の答案を返却し、内容について解説・確認をします。</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>以下の項目について達成することを目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 授業ごとにテーマに沿ったショートエッセイを読み、内容を把握できる。 2) 取り上げられている単語・表現等について、自身で使えるよう身につけることができる。 3) 英語の基本的な文法知識について復習・習得することができる。 4) 論理的な文章の構造を意識しながら読むことができる。 5) 日本と英語圏での感覚の違い、犯しやすい間違いについて知識を深めることができる。 <p>評価方法： 筆記試験 (70%)</p>

	授業内での課題提出（30%）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	授業内で適宜ハンドアウトを配布するため、購入は不要。
履修条件	
履修上の注意	紙の辞書・電子辞書・スマートフォン等、英単語の意味を自分で確認できるものを用意しておくこと。
オフィスアワー	
備考・メッセージ	

講義科目名称：日本語アクティブラーニング

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
8thQ	2年	1単位	選択
担当教員			
岩崎 千恵 ・ 中里 亜希子			

講義概要	卒業研究につながる自己の課題解決のためのアクティブラーニングを日本語で行います。身の回りで疑問に思うこと、気になることを解決するために、どのような方法があり、どのように解決することができるのかなどの検証の仕方、まとめ方を学びます。
授業計画	<p>1 コース説明 アクティブラーニングがなんであるかを理解し、本授業の内容及び、評価方法について理解する</p> <p>2 身近な諸問題に関して考える 問題の見つけ方について学習する 不思議なこと、不安なこと、新しく知って興味を覚えたもの等に関してグループディスカッションをして 様々な諸問題に気付く 課題解決のための調べ方を知る</p> <p>3 グーグルを使った調査方法と図書館利用 グーグルや、図書館を使った調査方法の仕方を知り、実施してみる</p> <p>4 課題解決のための調べ方について体験学習する ある課題に関して、実際に解決のために調査を行う ※3名ずつのグループ</p> <p>5 課題発表 1～4までの課題に対して調査した結果を発表する</p> <p>6 卒業研究のテーマ探し 卒業研究に応用できるように、研究テーマ設定をする</p> <p>7 研究論文の書き方① 通常文とは異なる研究論文の書き方を学ぶ</p> <p>8 研究論文の書き方② 引用の書き方、参考文献等の書き方を学ぶ</p> <p>9 研究① 研究テーマに関して予測を立てる</p> <p>10 研究② 研究テーマに関して調べ学習・実施する</p> <p>11 研究③ 研究テーマに関して調べ学習・実施する</p> <p>12 中間発表 各自発表 相互学習を実施</p> <p>13 研究④ 1 2 で指摘された部分に関して訂正、再調査を実施</p> <p>14 研究⑤ 研究テーマに関して調べ学習・実施する</p> <p>15 研究⑥ 研究テーマに関して調べ学習・実施する</p>
授業形態	実習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>本講義の評価の観点は以下の通りである。</p> <p>①自分に身近なことに対して問題意識を持つことができる ②調べ学習の方法を身に付け、問題解決に挑む気持ちを持つことができる ③根拠のある情報の取捨選択ができるようになる ④日本語でパワーポイントを使って明確に発表原稿が書くことができるようになる</p> <p>学習意欲 (20%) 記録シート (20%) 発表 (30%) 課題 (30%)</p>
科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	

教科書・参考書	教員が適時準備
履修条件	
履修上の注意	欠席する場合は必ず授業が始まる前に連絡をしてください
オフィスアワー	水曜日3コマ目 メールや電話で予約してきてください
備考・メッセージ	身近な事象で気になることや調べてみたいことなどを考えてみましょう 正しい情報の取捨選択も学ぶことができます。生きる力の学習です！

講義科目名称：Awesome Sasebo！V（完成）

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
8thQ	2年	1単位	必修
担当教員			
国際コミュニケーション学科教員			

講義概要	1年時に実施した「地域を知る活動」で知り得た地域の情報や課題に対して、地域の人と密接に関わりを持ちながら、「地域への提案活動」を実施する。 具体的に、相浦、黒島、高島、3ヶ町商店街、（波佐見）地区でグループに別れて、2年時に実施する地域活動の内容を検討し、実施計画を策定して、活動を実施する。		
授業計画	11/28	フィールドワーク 「有田フィールドワーク」（地域おこし先進地区視察1）	
	11/28	フィールドワーク 「有田フィールドワーク」（地域おこし先進地区視察1）	
	12/5	プレゼン準備 グループプレゼンテーション作成	
	12/5	プレゼン準備 グループプレゼンテーション作成	
	12/12	プレゼン準備 グループプレゼンテーション作成	
	12/12	プレゼン準備 グループプレゼンテーション作成	
	12/19	プレゼンテーション 1年生への発表（1年生のスケジュールと照らし合わせると12/19は発表日です）	
	12/19	プレゼンテーション 1年生への発表（1年生のスケジュールと照らし合わせると12/19は発表日です）	
	1/9	プレゼンテーション改善・準備 グループプレゼンテーション作成&リハーサル	
	1/9	プレゼンテーション改善・準備 グループプレゼンテーション作成&リハーサル	
	1/16	プレゼンリハーサル グループプレゼンテーション作成&リハーサル	
	1/16	プレゼンリハーサル グループプレゼンテーション作成&リハーサル	
	1/23	発表 1年生への最終発表（1年生のスケジュールと照らし合わせると1/23は発表日です） ?1/26 相浦地区（万年青市民大学）での学生プレゼン	
	1/23	発表 1年生への最終発表（1年生のスケジュールと照らし合わせると1/23は発表日です） ?1/26 相浦地区（万年青市民大学）での学生プレゼン	
	1/30	評価 最終評価→学修成果記録ノート？	
	1/30	評価 最終評価→学修成果記録ノート？	
授業形態	演習		
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①様々な取り組みにおいて、正しく情報を収集し、分析することができる。 ②地域活動における課題を発見することができる。 ③「地域への提案活動」の計画を立てることができる。 ④「地域への提案活動」の計画を効果的にプレゼンテーションすることができる。 ⑤地域の人たちを含めていろいろな人とコミュニケーションができるようになる。 グループ活動への取り組みに対して総合的に評価する。 フィールドワーク感想レポート（30%）最終プレゼンテーションのルーブリック評価（70%）		
科目（教職課程用）			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等			
教科書・参考書	授業中に指示		
履修条件			

履修上の注意	コミュニケーションが特に重要な科目です。普段から、いろいろな人とコミュニケーションをとるように心がけてください。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00） *その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	グループワークは、メンバー同士のコミュニケーションが非常に重要となります。「ほう（報告）れん（連絡）そう（相談）」を頻繁に行い、グループプロジェクトを完成させてください。

講義科目名称：卒業研究

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
8thQ	2年	2単位	必修
担当教員			
国際コミュニケーション学科教員			

講義概要	<p>①2年間の学びの総まとめとなる研究を行う。 ②「自分が知りたいこと」、「他の人にも伝えたいこと」「疑問に思ふこと」を文献調査、アンケート調査などを行いながら卒業研究としてまとめ発表をおこなう。 ③研究テーマは担当教員と協議し決定する。</p>
授業計画	<p>1 卒業研究レポートの作成の概要に関して ①この講義が目指すもの ②卒業研究を受講する上での注意事項について ③昨年先輩たちの卒業研究を知る</p> <p>2 テーマ、及び作成方法の検討 ①各担当教員の指導の下、いくつかテーマの候補を検討する ②各担当教員の指導の下どのような作成方法が良いかについて検討する</p> <p>3 テーマ、及び作成方法の決定 ①各担当教員の指導の下、テーマを決定する ②各担当教員の指導の下、作成方法を決定する</p> <p>4 卒業研究作成作業（文献購読を含む）</p> <p>5 卒業研究作成作業（文献購読を含む）</p> <p>6 卒業研究作成作業（文献購読を含む）</p> <p>7 中間報告</p> <p>8 卒業研究作成作業（文献購読を含む）</p> <p>9 卒業研究作成作業（文献購読を含む）</p> <p>10 卒業研究作成作業（文献購読を含む）</p> <p>11 卒業研究作成作業（文献購読を含む）</p> <p>12 卒業研究作成作業（文献購読を含む）</p> <p>13 卒業研究プレゼンテーション、ディフェンス（教員からの口頭質問への回答）及びレポートの提出</p> <p>14 卒業研究プレゼンテーション（教員からの口頭質問への回答）及びレポートの提出</p> <p>15 卒業研究プレゼンテーション（教員からの口頭質問への回答）及びレポートの提出</p>
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①もの事を客観的、分析的に見ることができるようになる。 ②明確、論理的に文章を書けるようになる。 ③知りたいと思った事象について、新しい発見ができるようになる。 ④自分が調査、研究したことを上手に伝える（プレゼンテーション）ことができるようになる。 ⑤自分が調査、研究したことにたいして、教員からの質問に正確に答えることができるようになる。</p> <p>卒業研究文書をルーブリック評価（100%）</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	特に指定しない
履修条件	
履修上の注意	<p>・A4で10ページ以内。 ・スタイル「タイトル、はじめに、。。本文（1、2、）。。、まとめ、文献」</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットから引用する場合、必ずURLを明記すること。 ・関連の本を最低2冊読み、卒業研究レポートに引用すること。 ・「自分が知りたいこと」、「他の人にも伝えたいこと」「疑問に思うこと」「アンケート調査」など基本的に題材は自由。
オフィスアワー	授業が開講される月曜日と木曜日の放課後は原則としてオフィスアワーとします。ただし、担当教員に必ず確認をしてください。
備考・メッセージ	2年間の学びの集大成となる大切な科目です。積極的に、教員にコンタクトを取り助言を求めることを期待します。